# （仮称）古河消防署駅西出張所建設工事

令和２年３月

一級建築士事務所
KATO
ARCHITECTS&SYSTEMS
株式会社 カトウ建築事務所

# 図 面 リ ス ト

| 意 匠 図 | | | 構 造 図 | | | 機 械 設 備 図 | | | 電 気 設 備 図 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 図面番号 | 図面名称 | 縮尺 | 図面番号 | 図面名称 | 縮尺 | 図面番号 | 図面名称 | 縮尺 | 図面番号 | 図面名称 | 縮尺 |
| Ａ－００１ | 図面リスト | — | Ｓ－００１ | 構造設計標準仕様 | — | Ｍ－００１ | 機械設備 特記仕様書（１） | — | Ｅ－００１ | 電気設備 特記仕様書 | — |
| Ａ－００２ | 特記仕様書（１） | — | Ｓ－００２ | 鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１） | — | Ｍ－００２ | 機械設備 特記仕様書（２） | — | Ｅ－００２ | 電気設備 配置図 | 1/100 |
| Ａ－００３ | 特記仕様書（２） | — | Ｓ－００３ | 鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２） | — | Ｍ－００３ | 機械設備 配置図，凡例，桝表 | 1/100,50,30 | Ｅ－００３ | 自家用発電機設備図 | 1/25 |
| Ａ－００４ | 特記仕様書（３） | — | Ｓ－００４ | 鉄骨構造標準図（１） | — | Ｍ－００４ | 機械設備 機器表，器具表，凡例 | — | Ｅ－００４ | 照明姿図・電灯・動力幹線系統図 | — |
| Ａ－００５ | 特記仕様書（４） | — | Ｓ－００５ | 鉄骨構造標準図（２） | — | Ｍ－００５ | 給排水衛生設備　1階平面詳細図 | 1/50 | Ｅ－００５ | 動力制御盤図 | — |
| Ａ－００６ | 特記仕様書（５） | — | Ｓ－００６ | 柱脚標準図 | — | Ｍ－００６ | 給排水衛生設備　2階平面詳細図 | 1/50 | Ｅ－００６ | 電灯分電盤図 | — |
| Ａ－００７ | 特記仕様書（６） | — | Ｓ－００７ | デッキスラブ標準図 | — | Ｍ－００７ | 受水槽（ＷＴ－１）　参考図 | 1/20 | Ｅ－００７ | 電灯設備　１階平面詳細図 | 1/50 |
| Ａ－００８ | 案内図・配置図 | 1/5000,100 | Ｓ－００８ | ソイルセメントコラム特記仕様書 | — | Ｍ－００８ | 換気設備 平面図 | 1/100 | Ｅ－００８ | 電灯設備　２階平面詳細図 | 1/50 |
| Ａ－００９ | 面積求積図 | 1/100,200 | Ｓ－００９ | ソイルセメントコラム伏図 | 1/100 | Ｍ－００９ | 空調設備 平面図 | 1/100 | Ｅ－００９ | コンセント設備　１階平面詳細図 | 1/50 |
| Ａ－０１０ | 仕上表 | — | Ｓ－０１０ | 伏図 | 1/100 | | | | Ｅ－０１０ | コンセント設備　２階平面詳細図 | 1/50 |
| Ａ－０１１ | ピット図 | 1/100 | Ｓ－０１１ | 軸組図 | 1/30 | | | | Ｅ－０１１ | 放送設備　１階平面詳細図 | 1/50 |
| Ａ－０１２ | 平面図（１） | 1/100 | Ｓ－０１２ | 基礎リスト（１） | 1/30 | | | | Ｅ－０１２ | 放送設備　２階平面詳細図 | 1/50 |
| Ａ－０１３ | 平面図（２） | 1/100 | Ｓ－０１３ | 基礎リスト（２） | 1/30 | | | | Ｅ－０１３ | 弱電設備　１階平面詳細図 | 1/50 |
| Ａ－０１４ | 立面図 | 1/100 | Ｓ－０１４ | 地中梁・スラブリスト | 1/30 | | | | Ｅ－０１４ | 弱電設備　２階平面詳細図 | 1/50 |
| Ａ－０１５ | 断面図 | 1/100 | Ｓ－０１５ | 柱芯線図、鉄骨リスト | 1/100,50,30 | | | | Ｅ－０１５ | 電気錠設備 仕様書 | — |
| Ａ－０１６ | 矩計図（１） | 1/30 | Ｓ－０１６ | 雑詳細図（１） | 1/30 | | | | Ｅ－０１６ | 電気錠設備　１階平面詳細図 | 1/50 |
| Ａ－０１７ | 矩計図（２） | 1/30 | Ｓ－０１７ | 雑詳細図（２） | 1/20,1/30 | | | | | | |
| Ａ－０１８ | 階段詳細図 | 1/30 | Ｓ－０１８ | 雑詳細図（３） | 1/20,1/30 | | | | | | |
| Ａ－０１９ | １階平面詳細図 | 1/50 | Ｓ－０１９ | 鉄骨詳細図 | 1/30 | | | | | | |
| Ａ－０２０ | １階展開図（１） | 1/50 | | | | | | | | | |
| Ａ－０２１ | １階展開図（２） | 1/50 | | | | | | | | | |
| Ａ－０２２ | １階展開図（３） | 1/50 | | | | | | | | | |
| Ａ－０２３ | １階展開図（４） | 1/50 | | | | | | | | | |
| Ａ－０２４ | １階展開図（５） | 1/50 | | | | | | | | | |
| Ａ－０２５ | ２階平面詳細図 | 1/50 | | | | | | | | | |
| Ａ－０２６ | ２階展開図（１） | 1/50 | | | | | | | | | |
| Ａ－０２７ | ２階展開図（２） | 1/50 | | | | | | | | | |
| Ａ－０２８ | ２階展開図（３） | 1/50 | | | | | | | | | |
| Ａ－０２９ | 天井伏図 | 1/100 | | | | | | | | | |
| Ａ－０３０ | 建具キープラン | 1/100 | | | | | | | | | |
| Ａ－０３１ | 建具表（１） | 1/50 | | | | | | | | | |
| Ａ－０３２ | 建具表（２） | 1/50 | | | | | | | | | |
| Ａ－０３３ | 部分詳細図（１） | 各図 | | | | | | | | | |
| Ａ－０３４ | 部分詳細図（２） | 各図 | | | | | | | | | |
| Ａ－０３５ | 部分詳細図（３） | 各図 | | | | | | | | | |
| Ａ－０３６ | 部分詳細図（４） | 各図 | | | | | | | | | |
| Ａ－０３７ | 部分詳細図（５） | 1/20 | | | | | | | | | |
| Ａ－０３８ | トイレブース詳細図 | 1/50,1/5 | | | | | | | | | |
| Ａ－０３９ | サインキープラン | 1/100 | | | | | | | | | |
| Ａ－０４０ | サイン詳細図 | 各図 | | | | | | | | | |
| Ａ－０４１ | オーバードア詳細図 | 各図 | | | | | | | | | |
| Ａ－０４２ | 押出成形セメント板詳細図 | 1/5 | | | | | | | | | |
| Ａ－０４３ | 越屋根詳細図、ルーバー詳細図 | 各図 | | | | | | | | | |
| Ａ－０４４ | 庇・笠木・軒裏詳細図 | 各図 | | | | | | | | | |
| Ａ－０４５ | ホースタワー詳細図（１） | 1/30,15 | | | | | | | | | |
| Ａ－０４６ | ホースタワー詳細図（２） | 1/40,20 | | | | | | | | | |
| Ａ－０４７ | 外構平面図 | 1/100 | | | | | | | | | |
| Ａ－０４８ | 外構詳細図（１） | 各図 | | | | | | | | | |
| Ａ－０４９ | 外構詳細図（２） | 各図 | | | | | | | | | |
| Ａ－０５０ | 仮設計画図（参考図） | 1/100 | | | | | | | | | |


一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEM
千葉県知事登録　No.1-1709-4702
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206　加藤 義道


| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |


本　　社
千葉市中央区栄町36番10号　YS千葉中央ビル
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1336
FAX 03-5201-1013


工事名　(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事

図 名　図面リスト

S=　—

DATE　******

No.　A-001

| 工事名 | （仮称）古河消防署駅西出張所建設工事 |
|---|---|

# 特記仕様書

## Ⅰ　工事概要

**１．工事場所**　古河市本町一丁目4434番17　　用途地域　商業地域・第一種住居地域

**２．敷地面積**　897.81㎡　（２項道路後退後 894.03㎡）

**３．工事種目（建物概要）**

| | | |
|---|---|---|
| 建築面積 | 280.52 ㎡ | |
| 延床面積 | 410.94 ㎡ | |
| 消防署庁舎 | 鉄骨造　２階建て | 新築一棟 |
| 床 面 積 | 403.54㎡ | |
| ２階 | 134.55㎡ | |
| １階 | 268.99㎡ | |
| 駐輪場 | アルミ製　平屋建て | 新築一棟 |
| 床 面 積 | 7.40㎡ | |
| ホース乾燥塔 | 電動式　10本 | 新設一基 |
| ゴミ庫 | アルミ製 1200W×700D×650～1200H | 新設二台 |
| 囲障 | コンクリート製 H=2m、スチールメッシュフェンス H=2m | |
| | コンクリート製 H=1.2mの上ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ H=0.8m | 新設一式 |
| 舗装 | コンクリート舗装、浸透性アスファルト舗装 | 新設一式 |
| 植栽 | 低木、客土共 | 新植一式 |

**４．工　　期**　契 約 日から令和 3 年 6 月 末 日まで

**５．工事範囲**

※「３．工事種目」全てを工事範囲とする。
・「３．工事種目」のうち＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿の工事範囲は下記表のとおりとする。
　ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

| | |
|---|---|
| ２　仮設工事 | ※工事範囲全て |
| ３　土工事 | |
| ４　地業工事 | |
| ５　鉄筋工事 | |
| ６　コンクリート工事 | |
| ７　鉄骨工事 | |
| ８　ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ＡＬＣﾊﾟﾈﾙ・押出成形セメント板工事 | |
| ９　防水工事 | |
| １０　石　工　事 | |
| １１　タイル工事 | |
| １２　木工事 | |
| １３　屋根及びとい工事 | |
| １４　金属工事 | |
| １５　左官工事 | |
| １６　建具工事 | |
| １７　塗装工事 | |
| １８　内装工事 | |
| １９　ユニット及びその他の工事 | |
| ２０　外構工事 | |
| ２１　電気設備工事 | |
| ２２　機械設備工事 | |
| | |

## Ⅱ　適用範囲

（１）本特記仕様書は国土交通大臣官房営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」による。
　優先順位は次の通りとする。
　　ア　質疑回答書
　　イ　特記仕様書
　　ウ　設計図
　　エ　公共建築工事標準仕様書
　　オ　建築工事監理指針（エに伴う）
　　カ　ＪＡＳＳ（建築工事標準仕様書（社）日本建築学会）
（２）標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。
（３）特記仕様書の表記
　１）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
　２）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　　⊙印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。⊙ 印と ※の場合は、⊙のみを適用する。
　３）特記事項に記載の（　．）内の表示番号は、公共建築工事標準仕様書（以下、（建築工事編）平成２８年版を「標準仕様書」という。）の当該項目、当該図表を示す。
　４）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。
　５）本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成29年法律第100号）」に基づく、「環境物品等の調達の推進方針（平成29年2月7日閣議決定）」（以下「グリーン購入法基本方針」）による特定調達品目の判断基準等を満たす環境物品等を選択するよう努めるものとする。なお、□G 印は設計図書で定めのある品目を示す。

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|

### 1 一般共通事項

**① 適用基準等**

⊙建築工事標準詳細図（国土交通大臣官房官庁営繕部監修　平成３１年版）

**② 条件明示事項**

※火災保険等（種類　　期間　工事完成期日後１４日を含む期間　）

**③ 工事実績情報の登録**　(1.1.4)

※行う　・行わない

**④ 適用区分**　(1.2.2)

⊙建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
⊙風圧力
　風速（Vo= 30 m/s）
　地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ）
・積雪荷重
　平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域　別表（　　）
・

**⑤ 設計ＧＬ**

※図示　・設計ＧＬ＝現状ＧＬ　・ベンチマーク位置　図示

**⑥ 電気保安技術者**　(1.3.3)

※適用する

**⑦ 発生材の処理等**　(1.3.11)

⊙構外搬出適正処理
・引き渡しを要するもの（・図示　　・　　）

注 a）発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書　を添えて監督員に報告する。
　b）産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。
　c）引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。

**⑧ 環境への配慮**

建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④）を満たすものとする。
①　合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
②　接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③　接着剤は、可塑剤（フタル酸ｼﾞ-n-ブチル及びフタル酸ｼﾞ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④　①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

**⑨ 材料の品質等**　(1.4.2)

　本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。
　材料・機材等の製造業者等は次の（１）から（６）すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。
（１）品質及び性能に関する試験データが整備されていること
（２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
（３）安定的な供給が可能であること
（４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
（５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
（６）販売、保守等の営業体制が整えられていること
※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁　平成18年2月15日）に準拠した証明書を、監督員に提出する。

**⑩ 県産品の使用**

　受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は茨城県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、茨城県産とするよう努める。

**⑪ 技能士**　(1.5.2)

| 適用工事種別 | 技　能　検　定　作　業 |
|---|---|
| 仮設工事 | ⊙とび作業 |
| 鉄筋工事 | ⊙鉄筋組立作業 |
| コンクリート工事 | ⊙型枠施工作業　⊙ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業 |
| 鉄骨工事 | ⊙構造物鉄工事作業　⊙とび作業 |
| ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ 押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事 | ・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業<br>⊙ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ工事作業 |
| 防水工事 | ⊙ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　⊙ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業<br>・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業<br>⊙塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業<br>⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾗｰﾁ工法防水工事作業<br>・FRP防水工事作業 |
| 石工事 | ・石張り作業 |
| タイル工事 | ・タイル張り作業 |
| 木工事 | ・大工工事作業 |
| 屋根及びとい工事 | ⊙内外装板金作業　・スレート工事作業 |
| 金属工事 | ⊙鋼製下地工事作業　・内外装板金作業 |
| 左官工事 | ⊙左官作業 |
| 建具工事 | ⊙ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業 ⊙ガラス工事作業 ⊙自動ドア施工作業 |
| カーテンウォール工事 | ・金属製カーテンウォール工事作業　・ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業<br>・ガラス工事作業 |
| 塗装工事 | ・建築塗装作業 |
| 内装工事 | ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　・カーペット系床仕上作業<br>・ボード仕上げ工事作業　・壁装作業 |
| 排水工事 | ・建築配管作業 |
| 舗装工事 | ・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾞｯﾏｰｶｰ工事作業 |
| 植栽工事 | ・造園工事作業 |

**⑫ 予備材料の名称と数量**

次の材料を予備材料として工事完成時に納入する。
※監督員の指示による
・

**⑬ 完成図等**　(1.7.1～3)[表1.7.1]

完成図（製本）　※二つ折り（Ａ３版）製本、２部
完成図（電子化媒体）　※CD-R、１部
　CADデータの形式　※SXF(sfc)　⊙JWW　⊙DXF
　verについては監督員と協議する。

保全に関する資料　提出部数　※１部　・　部
施工図　⊙二つ折り（Ａ１版）製本を１部提出
保証書
　防水工事　※屋上防水　・外壁防水　・金属屋根　・
　　建物引き渡し日から１０年間、請負者、施工者、材料メーカーの３者連名とし２部提出する。
　防水工事以外　⊙１部提出

**⑭ 工事写真**

茨城県電子納品運用ガイドラインの適用
　※対象（建築・設備工事電子納品写真作成要領により作成.CD-Rを１部提出）
　・対象外
写真アルバムの提出　⊙行う（2部）　・行わない

**⑮ 完成写真**　(1.7.1)

茨城県電子納品運用ガイドラインの適用
　※対象（建築・設備工事電子納品写真作成要領により作成.CD-Rを１部提出）
　・対象外
写真アルバムの提出　⊙行う（２部）　・行わない
　分類・規格　※カラーキャビネ版　・カラー全紙パネル
　撮影個所
　　⊙外部（5枚）内部（19枚）
　　・外観正面（　）
撮影者は建築完成写真撮影の実績のある業者とし、監督員の承諾を受けること。
フィルムを使用した場合、フィルム原版は撮影業者の保管とする。

**16　施設CADデータの更新**

※行う　・行わない

**⑰ 施設使用マニュアルの作成**　[1.8.3]

※２部　・
注　工事目的物の引渡しに際しては、建物を構成する部分で通常取扱いに注意を要するものについては、その使用方法について解説したマニュアルを作成し、施設を管理することとなる者へ引き渡す。

**⑱ その他**

※建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。

### 2 仮設工事

**① 足場その他**　(2.2.4)

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり掘重き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

**② 工事概要案内板**

※設置する　・設置しない

**③ 監督員事務所**　(2.3.1)

規模　・既存建物内の一部を使用　・構内に新設　　㎡
　　・構内に新設　　㎡
　　⊙設置しない（下記備品のみ用意する）
備品（　　名分相当）
　⊙机　⊙椅子　⊙書棚　・黒板　・製図板等　・掛時計　・寒暖計　⊙長靴
　⊙雨合羽　⊙保護帽　⊙懐中電灯　⊙安全帯　⊙軍手　⊙衣類ロッカー
　・冷暖房機器　・消火器　・湯沸器　・茶器　・掃除用具　・電話機
　・ＦＡＸ　・電子メール通信機器　・スキャナー　・プリンター

**④ 工事用水**

構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）

**⑤ 工事用電力**

構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）

**⑥ 工事用搬入路**

※図示　・

**⑦ 仮囲い**

⊙設置する　・

**⑧ 交通誘導員**

・必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。
⊙図示による

**⑨ 快適トイレ**

仕様　※図示　・

### 3 土工事

**① 埋戻し及び盛土**　(3.2.3)

埋戻し及び盛土の種別
・Ａ種　適用場所（　　）
⊙Ｂ種　適用場所（　　）
・Ｃ種　適用場所（　　）土質（　　）受渡場所（　　）
・Ｄ種（細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。）
　　適用場所（　　）
　　六価クロム溶出試験　・行う　・行わない
・

**② 建設発生土の処理**　(3.2.5)

⊙指定場所処分　・構内指示の場所にたい積　・構内指示の場所に敷き均し
　指定場所：茨城県古河市釈迦地内（工事場所からの距離6.9km）

**③ 山留めの存置**　(3.3.3)

存置範囲（※図示　・　　）

### 4 地業工事　5 鉄筋工事　6 コンクリート工事　7 鉄骨工事

特記仕様書（構造関係）による

### 8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

**1　補強コンクリートブロック造**

ブロックの種類　(8.2.2、5)

| 断面形状及び圧縮強さによる区分 | 正味厚さ(mm) | モジュール呼び寸法(mm) 長さ | 高さ | 化粧の有無 | 適用箇所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ※空洞ブロック-16 | | | | ・無　・有 | | |
| ・ | | | | ・無　・有 | | |
| ・ | | | | ・無　・有 | | |

　各部の配筋　※図示　・

**2　コンクリートブロック帳壁及び塀**

ブロックの種類　(8.2.3、3)

| 断面形状及び圧縮強さによる区分 | 正味厚さ(mm) | モジュール呼び寸法(mm) 長さ | 高さ | 化粧の有無 | (表8.3.1)以外の適用箇所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・空洞ブロック-08 | | | | ・無　・有 | | |
| ・空洞ブロック-16 | | | | ・無　・有 | | |
| ・型枠状ブロック-20 | | | | ・無　・有 | | |
| ・ | | | | ・無　・有 | | |

　各部の配筋　※図示　・

**③ ＡＬＣパネル**　(8.4.2～5)

| パネルの区分 | 単位荷重(N/m²) | 厚さ(mm) | 長さ(mm) | 耐火性能 | 表面加工 | 構法の種別 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・外壁パネル | | ・100<br>・ | | 有(1)時間 | ・平<br>・意匠 | ・Ａ種・Ｂ種 |
| ・間仕切壁パネル | | ・100<br>・ | | ・有(1)時間<br>・無 | ・平<br>・意匠 | ・Ｃ種・Ｄ種・Ｅ種 |
| ・屋根パネル | | ・100<br>・ | | 有(0.5)時間 | 平 | Ｆ種 |
| ⊙床パネル | | ⊙100<br>・ | | ⊙有(1)時間 | | |

外壁・屋根パネルの工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合　・
外壁、間仕切パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅（mm）　・20　・
外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する　・適用しない

**④ 押出成形セメント板**　(8.5.2～5)

| パネルの種類 | 表面形状 | 厚さ(mm) | 幅(mm) | 工法の種別 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⊙外壁パネル | ⊙Ｆ（ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ） | ・50⊙60・ | 600 | ⊙Ａ種<br>⊙Ｂ種 | |
| | ⊙Ｄ（ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ） | ・50⊙60 | | | |
| | ⊙Ｔ（ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ） | 60 | | | |
| ・間仕切壁パネル | ・Ｆ（ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ） | ・50・60・ | 600 | ・Ｂ種<br>・Ｃ種 | |
| | ・Ｄ（ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ） | ・50・60 | | | |
| | ・Ｔ（ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ） | 60 | | | |

外壁パネルの工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法
パネル相互の目地幅（mm）※長辺　8　短辺　15　・
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅（mm）　※15　・
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認の上、施工計画書を提出する。

| | | 開口の大きさ | 切断後のパネルの残り部分の幅 |
|---|---|---|---|
| パネルに開口を設ける場合 | 短辺 | ・　・図示 | ・　・図示 |
| | 長辺 | ・　・図示 | ・　・図示 |
| パネルを切り欠く場合 | 短辺 | ・　・図示 | ・　・図示 |
| | 長辺 | ・　・図示 | ・　・図示 |

⊙外壁パネルタイルベースは完全乾式工法とし、タイルはLIXILベルバーチシリーズ同等品とする

### 9 防水工事

**① アスファルト防水**　(9.2.2～5)（表9.2.3～9）

屋根保護防水
防水層の種別

| 種別 | 施工箇所 | 断熱材 G | 絶縁用シート | 立上り部の保護 |
|---|---|---|---|---|
| ・Ａ－１ | | | ※ｶﾞﾗｽﾚｰﾝﾌｨﾙﾑ 厚さ0.15mm以上<br>・ | ⊙乾式保護材<br>・ｺﾝｸﾘｰﾄ押え |
| ・Ａ－２ | | | | |
| ・Ａ－３ | | | | |
| ・Ｂ－１ | | | | |
| ・Ｂ－２ | | | | |
| ・Ｂ－３ | | | | |
| ・Ａ Ｉ－１ | | (材質)※JIS A 9521による押出法ｽﾀﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種b(ｽｷﾝ層付)又はJIS A 9511によるA種押出法ｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板3種b（ｽｷﾝあり）<br>・<br>(厚さ)⊙25mm・50mm・ | ※ﾌﾗｯﾄｻｰﾝｸﾛｽ 70g/m²程度<br>・ | |
| ⊙Ａ Ｉ－２ | 1階屋上 | | | |
| ・Ａ Ｉ－３ | | | | |
| ・Ｂ Ｉ－１ | | | | |
| ・Ｂ Ｉ－２ | | | | |
| ・Ｂ Ｉ－３ | | | | |

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による

平場の保護コンクリートの厚さ
　こて仕上げ　※水下　80mm以上　・
　床タイル張り　※水下　60mm以上　・

⊙乾式保護材
　窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの。
　金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。

屋根露出防水
防水層の種別

| 種別 | 施工箇所 | 断熱材 G | 仕上塗料 種類 | 仕上塗料 使用量 | 高日射反射率防水の適用G |
|---|---|---|---|---|---|
| ・Ｄ－１ | | | ・製造所の指定による | ・製造所の指定による | ・ |
| ・Ｄ－２ | | | | | ・ |
| ・Ｄ－３ | | | | | ・ |
| ・Ｄ－４ | | | | | ・ |
| ・Ｄ Ｉ－１ | | (材質)※JIS A 9521による硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種1号若しくは2号で、透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A9511によるA種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの<br>・<br>(厚さ)・25mm　・ | | | ・ |
| ・Ｄ Ｉ－２ | | | | | ・ |

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置　※図示　・

屋内防水
防水層の種別

| 種別 | 施工箇所 | 種別 | 施工箇所 |
|---|---|---|---|
| ・Ｅ－１ | | ・Ｅ－２ | |

保護層　・設ける（※図示　・　　）　・設けない

立上りコンクリート打放し仕上げ
　※標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げの種別]のＢ種　・
押え金物の材質及び形状
　※アルミニウム製　Ｌ－30×15×2.0mm程度　・
防水層の下地モルタル塗り　・適用する（施工範囲　※図示　・　　）
　　・適用しない
屋根排水溝　※図示　・

**2　改質アスファルトシート防水**　(9.3.2、3)(表9.3.1～3)

防水層の種別

| 種別 | 施工箇所 | 断熱材 G | 防湿層 | 仕上塗料 種類 | 仕上塗料 使用量 | 高日射反射率防水の適用G |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・ＡＳ－Ｔ１ | | | | ・製造所の指定による | ・製造所の指定による | ・ |
| ・ＡＳ－Ｔ２ | | | | | | ・ |
| ・ＡＳ－Ｔ３ | | | | | | ・ |
| ・ＡＳ－Ｔ４ | | | | | | ・ |
| ・ＡＳ－Ｊ１ | | | | | | ・ |
| ・ＡＳＩ－Ｔ１ | | (材質)※JIS A 9521による硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの<br>・<br>(厚さ)・25mm　・ | ・設ける<br>・<br>(改質アスファルト製造所の仕様による)<br>・設けない | | | ・ |
| ・ＡＳＩ－Ｊ１ | | | | | | ・ |

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による　・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による　・
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による　・
押え金物
　※改質アスファルト製造所の仕様による　・


一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEM
千葉県知事登録　No.1-1709-4702
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206　加藤 義道


| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |


本　社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1336
FAX 03-5201-1013


| 工事名 | (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 | S= — |
|---|---|---|
| | | DATE ****** |
| 図名 | 特記仕様書（１） | No. A-002 |

③ 合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2～4)(表9.4.1、2)

防水層の種別

| 種別 | 施工箇所 | 絶縁用シートの材質 | 断熱材 G | 仕上塗料 種類 | 仕上塗料 使用料 | 高日射反射率防水の適用G |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・S－F１ | | | | ・製造所の指定による | ・製造所の指定による | ・ |
| ・S－F２ | | | | | | |
| ・S－M１ | | | | ・製造所の指定による | ・製造所の指定による | ・ |
| ・S－M２ | | | | | | ・ |
| ・S－M３ | | | | | | ・ |
| ・SI－F１ | | | (材質)※標準仕様書3.5.2(C)(3)(ⅱ)による・(厚さ) ・25mm○50mm | ○製造所の指定による | ○製造所の指定による | ・ |
| ○SI－F２ | 2階屋上 | | | | | |
| ・SI－M１ | | | (材質)※標準仕様書3.5.2(C)(3)(ⅰ)による・(厚さ) ・25mm・ | ・製造所の指定による | ・製造所の指定による | ・ |
| ・SI－M２ | | ※発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ・ | | | | |

屋内防水

防水層の種類

| 種別 | 施工箇所 | 保護層 平場のﾓﾙﾀﾙ塗り 塗り厚さ | 保護層 平場のﾓﾙﾀﾙ塗り ・床塗り工法 | 保護層 平場のﾓﾙﾀﾙ塗り ・下地ﾓﾙﾀﾙ塗り | 立上り部の保護 ﾓﾙﾀﾙ塗り厚さ |
|---|---|---|---|---|---|
| ・S-C1 | ・ | ・ | ※標準仕様書15.2.5(b)(2)及び(3)に準じる・ | ※標準仕様書15.2.5(C)(1)に準じる・ | ※7mm以下・ |

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ

ルーフィングシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書　表9.4.1、表9.4.2及び表9.4.3による　・

絶縁用シートの材質
　※発泡ポリエチレンシート　・

固定金具の材質及び寸法形状
　※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面又は両面に樹脂を積層加工した鋼板
　・

ＰＣコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理
　・行う（・図示　・　　）・行わない

ＰＣコンクリート部材の入隅部の増張り（種別　S-F1,SI-F1,S-C1の場合）
　・行う（・図示　・　　）・行わない

ＡＬＣパネル下地の入隅部の増張り（種別　S-C1の場合）
　・行う（・図示　・　　）・行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
　建築基準法に基づき定まる風圧力（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

④ 塗膜防水

※特定化学物質障害予防規則の対象とならない材とする

防水層の種別

(9.5.3)(表9.5.1、2)

| 種別 | 施工箇所 | 仕上塗料 種類 | 仕上塗料 使用量 | 保護層 | 高日射反射率防水の適用G |
|---|---|---|---|---|---|
| ・X－1 | | ・製造所の指定による・ | ・製造所の指定による・ | | ・ |
| ○X－2 | パラペット天端 | ○製造所の指定による | ○製造所の指定による | | ○ |
| ・Y－1 | ※地下外壁防水 | | | | |
| ・Y－2 | ※屋内防水・ | | | ・適用する・適用しない | |

⑤ ケイ酸質系塗布防水

(9.6.1、3)(表9.6.1、2)

防水層の種別

| 種別 | 施工箇所 | 種別 | 施工箇所 |
|---|---|---|---|
| ※C－ＵＩ | 防火水槽床、壁 | ・C－ＵＰ | |

⑥ 脱気装置

(9.2.3)(9.3.3)(9.5.3)

| 種別 | 種類 | 設置数量 |
|---|---|---|
| D-1 D-2 D-3 D-4<br>DI-1 DI-2 AS-T3 AS-T4<br>AS-J2 ASI-T1 ASI-J1 | ※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類製造所の仕様による・ | ※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類製造所の仕様による・　個／㎡ |
| X-1 | ・防水層の主材料の製造所の仕様による・ | ・防水層の主材料の製造所の仕様による・　個／㎡ |

⑦ シーリング

(9.7.2、3)(表9.7.1)

下表以外は、標準仕様書表9.7.1による
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による

| 施工箇所 | シーリング材の種類（記号） |
|---|---|
| | |
| | |
| | |

シーリング材の目地寸法　※標準仕様書9.7.3(a)(1)～(3)による　・

注　接着性試験を行う。ただし、同じ材料の組合わせで実施した試験成績書がある場合は、監督員の承諾を受けて試験を省略することができる。

⑧ 防水工事施工票

※設置する（　ヶ所）（施工年月日は防水工事施工完了日（手直しは除く）を記入）

## 10 石工事

① 施工

(10.1.3、5)

石材の割付け　※標準仕様書10.1.3(a)(1)、(2)による　・図示
粗面仕上げの場合ののみ込み部分の仕上げ　・図示　・
屋内の床を本磨きとする場合のワックスかけ　・行う（適用場所　・すべて　・　）
・行わない

② 石材等

天然石

(10.2.1、3)(表10.2.1、2)

| 施工箇所 | 品質 | 石材の種類 | 形状 | 寸法(mm) | 厚さ(mm) | 表面仕上げ | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・1等品<br>・2等品 | | ※正方形に近い矩形・ | | | | |
| | ・1等品<br>・2等品 | | ※正方形に近い矩形・ | | | | |

テラゾブロック

| 施工箇所 | 種石の種類 | 種石の大きさ(mm) | 形状 | 仕上げ面 | 寸法(mm) | 表面仕上げ | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ※大理石・花こう岩 | ※1.5～12・ | ・平もの・役もの | ・片面・両面 | | | |
| | ※大理石・花こう岩 | ※1.5～12・ | ・平もの・役もの | ・片面・両面 | | | |

人造石

| 施工箇所 | 材　種 | 厚み(mm) | 寸法による区分 | 表面仕上げ | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ﾗｲﾆﾝｸﾞ天板 | ※人造大理石 | ⊙　20 | ・３００型<br>・４００型 | | |
| 汚垂石 | ※ｾﾗﾐｯｸ | ⊙　6 | ・３００型<br>・４００型 | | |

取付け用モルタル、既調合の目地モルタル、石表面処理材、裏打ち処理材
　※石材施工業者の指定する製品　・

3　外壁湿式工法

(10.2.2、3)(10.3.2、3)

受金物　　材質　※SS400　・
　　形状及び寸法　・L-75×75×6(mm)の加工　L=100mm
　　・L-75×75×6(mm)の加工　L=150mm

アンカーの材質及び径　※SS400　M12　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（　　）
ドレインパイプの材質　・樹脂ネット製パイプ　クロスメッシュ巻き25～35φ
　・

石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※流し筋工法　・あと施工ｱﾝｶｰ工法
　・あと施工ｱﾝｶｰ、横筋流し工法
目地　一般目地　目地幅(mm)　※6以上　・
　　シーリング材　・適用する　・適用しない
　　伸縮調整目地　位置　※標準仕様書11.1.1による　・図示
　　シーリング材の目地寸法　※標準仕様書9.7.3(a)(3)による　・図示

4　内壁空積工法

(10.2.2)(10.4.2、3)

受金物　　材質　※SS400　・
　　形状及び寸法　・L-75×75×6(mm)の加工　L=100mm
　　・L-75×75×6(mm)の加工　L=150mm
　　・

アンカーの材質及び径　※SS400　M12　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（　　）
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※あと施工アンカー、横筋流し工法　・あと施工アンカー工法
目地　一般目地　目地幅(mm)　※6以上　・
　　シーリング材　・適用する　・適用しない
　　伸縮調整目地　位置　※標準仕様書11.1.1による　・図示
　　シーリング材の目地寸法　※標準仕様書9.7.3(a)(3)による　・図示

5　乾式工法

(10.2.2)(10.5.2、3)(表10.2.4)

取付け方式　・スライド方式　・ロッキング方式
アンカーの材質及び形状　※ステンレス(SUS304)　M10　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（　　）
だぼ用の穴の位置　※標準仕様書10.5.2(b)(1)による　・図示
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
外壁の工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1、・1.15、・1.3）倍の風圧力に対応した工法
目地　目地幅(mm)　※8以上　・
シーリング材　・適用する（※標準仕様書9章7節による　・図示）　・適用しない

6　床及び階段の石張り

(10.6.2、3)

床石張りの裏面処理　・適用する　・適用しない
階段張りの裏面処理　・適用する　・適用しない
目地　一般目地　目地幅(mm)　・図示　・
　　シーリング材　・適用する　・適用しない
　　伸縮調整目地　位置　※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6m程度ごと及び他部材との取り合い部
　　・図示
　　シーリング材の目地寸法　※標準仕様書9.7.3(a)(3)による　・図示

7　アーチ、上げ裏等の石張り

(10.2.2)(10.7.1、2)

取付け金物　※標準仕様書10.2.2(c)による　・
　引金物、だぼ、かすがい及び受金物　※標準仕様書10.2.2(a)による　・
　ファスナー　※標準仕様書10.2.2(b)のスライド式に準ずる・
　吊金物及び化粧吊りボルト
　　・設ける　吊金物　　※ステンレス（SUS304)径6mm長さ80mm(加工物)
　　・
　　吊りボルト　※ステンレス(SUS304)M10化粧ナット付き
　　・
　　・設けない
アンカーの材質及び径　・SS400　M12　・ステンレス(SUS304)M10　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（　　）
取付け工法　　・内壁空積工法　　・乾式工法
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
目地　一般目地　目地幅(mm)　※6以上　・
　　伸縮調整目地　位置　※他の部位との取合い部　・図示
　　シーリング材の目地寸法　※標準仕様書9.7.3(a)(3)による　・図示

8　笠木、甲板等の石張り

(10.2.2)(10.7.1、3)

取付け金物　※標準仕様書10.2.2(c)による　・
　引金物、だぼ、かすがい及び受金物　※標準仕様書10.2.2(a)による　・
　ファスナー　※標準仕様書10.2.2(b)のスライド式に準ずる
アンカーの材質及び径　・ステンレス(SUS304)M10　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（　　）
取付け工法　　・外壁湿式工法　　・乾式工法
石裏面処理　・適用する　・適用しない
乾式工法の場合の取付け代　※標準仕様書10.5.3(b)による　・
石裏の補強用モルタル　・適用する　・適用しない

## 11 タイル工事

① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置　※標準仕様書 表11.1.1による　・図示

(11.1.3)(表11.1.1)

② セメントモルタルによる陶磁器質タイル(セラミックタイル)張り 300角

(11.2.2、3、7)

タイルの形状・寸法等

| 施工箇所 | 形状/寸法(mm) | 吸水率による区分 Ⅰ種 | Ⅱ種 | Ⅲ種 | うわぐすり 無ゆう | 施ゆう | 役物 有 | 無 | 色 標準 | 特注 | 再生材の適用G | 耐凍害性 有 | 無 | 滑り抵抗性 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 玄関床 | 300角 | ⊙ | ・ | ・ | ⊙ | ・ | ・ | ⊙ | ⊙ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |
| | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　○行わない
見本焼き　・行う　○行わない
モルタル塗りのコンクリート素地面の処理
　・MCR工法　・目荒し工法（高圧水洗処理）　・
壁タイル張りの工法
　外壁タイル　・密着張り　・改良積上げ張り　・改良圧着張り
　内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

・既製調合モルタル
　モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

③ 乾式工法
陶磁器質タイル張り(セラミックタイル)張り

(11.3.2～4、7)

タイルの形状・寸法等

| 施工箇所 | 形状/寸法(mm) | 吸水率による区分 Ⅰ種 | Ⅱ種 | Ⅲ種 | うわぐすり 施ゆう | 無ゆう | 役物 有 | 無 | 色 標準 | 特注 | 再生材の適用G | 耐凍害性 有 | 無 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 外壁 | 225×72 | ・ | ・ | ⊙ | ・ | ⊙ | ・ | ⊙ | ⊙ | ・ | ・ | ・ | ・ | |
| | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |

※ LIXILベルバーチテッセラ同等品

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　○行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・
外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材
　打継ぎ目地　　※ポリウレタン系シーリング材　・
　ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
　伸縮調整目地　　※変成シリコーン系シーリング材　・
　その他の目地　　※変成シリコーン系シーリング材　・
モルタル塗りのコンクリート素地面の処理　・MCR工法・目荒し工法(高圧水洗処理)　・

4　陶磁器質タイル(セラミックタイル)型枠先付け

(11.4.2、3)(表11.4.1)

タイルの形状・寸法等

| 施工箇所 | 形状/寸法(mm) | 吸水率による区分 Ⅰ種 | Ⅱ種 | Ⅲ種 | うわぐすり 施ゆう | 無ゆう | 役物 有 | 無 | 色 標準 | 特注 | 再生材の適用G | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |
| | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない

タイル型枠先付けの種類

| 種類 | 適用タイル | タイル型枠先付け面のせき板の種別 |
|---|---|---|
| ・タイルシート法 | ・小口タイル | ※標準仕様書6.8.3(b)(2) |
| ・目地桝法 | ・二丁掛けタイル | ・金属製タイル先付け用パネル |
| ・桟木法 | 大形タイル | ・ |

## 12 木工事

1　表面仕上げ

(12.1.4)

| 表面仕上げの種別 | 適用箇所 |
|---|---|
| ・A種 | |
| ・B種 | |
| ・C種 | |

② 製材 G

(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 等級 | 形状 | 含水率 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 図示 | タモ | 図示 | ※2級・ | | ※A種・B種・ | ・ |
| | | | ※2級・ | | ※A種・B種・ | ・ |
| | | | ※2級・ | | ※A種・B種・ | ・ |

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 等級 | 形状 | 含水率 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 見え掛り面 | | | ※上小節・ | | ※A種・B種・ | ・ |
| 見え掛り面以外 | | | ※小節以上・ | | ※A種・B種・ | ・ |

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 等級 | 形状 | 含水率 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ※1等　・ | | ※10%以下・A種・B種・ | ・<br>・ |
| | | | ※1等　・ | | ※10%以下・A種・B種・ | ・ |

「製材の日本農林規格」以外の製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 造作材の材面の品質 | 防虫処理 | 難燃処理 | 含水率 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | (　　)<br>造作材の場合(※A種・B種) | ・ | ・ | ※A種・B種・ | ・ |

・代用樹種を使用できない箇所（　　）
○和室造作部の仕上げは、白木用ワックス塗布とする

3　造作用集成材 G

(12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 見付け材面の等級 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|
| | | | ※１等　・２等 | ・ |
| | | | ※１等　・２等 | ・ |
| | | | ※１等　・２等 | ・ |

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

| 施工箇所 | 化粧薄板の樹種 | 芯材の樹種 | 寸法(mm) | 化粧薄板の厚さ(mm) | 見付け材面の等級 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | ※１等　・２等 | ・ |
| | | | | | ※１等　・２等 | ・ |
| | | | | | ※１等　・２等 | ・ |

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

| 施工箇所 | 化粧薄板の樹種 | 芯材の樹種 | 寸法(mm) | 化粧薄板の厚さ(mm) | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | ・ |
| | | | | | ・ |

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 見付け材面の品質 | 含水率 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ※15%以下　・ | ・ |
| | | | | | ・ |
| | | | | | ・ |

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

| 施工箇所 | 化粧薄板の樹種 | 芯材の樹種 | 寸法(mm) | 化粧薄板の厚さ(mm) | 見付け材面の品質 | 含水率 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | ※15%以下・ | ・ |

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

| 施工箇所 | 化粧薄板の樹種 | 芯材の樹種 | 寸法(mm) | 化粧薄板の厚さ(mm) | 見付け材面の品質 | 含水率 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | ※15%以下・ | ・ |

4　造作用単板積層材G

(12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・
・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 表面の化粧加工 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|
| | | ・有り（加工　・天然木加工・塗装加工）<br>・無し（等級：・１等　・２等　・３等　） | ・ | ・ |

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 表面の品質 | 防虫処理 | 含水率 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | ・有り<br>(加工・天然木加工・塗装加工)<br>・無し（　　） | ・ | ※14%以下 | ・ |

5　床張り用合板等

(12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・
・「合板の日本農林規格」による普通合板 G

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 表板の樹種名 | 接着の程度 | 板面の品質 | 防虫処理の適用 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | ※5.5・ | | ※1類・2類 | 広葉樹　※２等以上 1等<br>針葉樹　※C-D以上・ | ・ | ・ |
| | ※5.5・ | | ※1類・2類 | 広葉樹　※２等以上 1等<br>針葉樹　※C-D以上・ | ・ | ・ |

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 等級 | 表板の樹種名 | 接着の程度 | 板面の品質 | 有効断面係数比 | 防虫処理 | 強度等級 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ※12・15 | ※2級以上・1級 | | ※1類・特類 | ※C-D以上・ | | ・ | ・指定する（　）<br>・指定しない | ・ |

・パーティクルボード G

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 表裏面の状態による区分 | 曲げ強さによる区分 | 接着剤による区分 | 難燃性による区分 |
|---|---|---|---|---|---|
| | ※15・ | | ※13タイプ・ | ※P又はM・ | |

・構造用パネル

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 等級 |
|---|---|---|
| | | ・１級　・２級　・３級　・４級 |

6　接着剤

(12.2.2、3)

接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。
ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・

7　防腐・防蟻処理

(12.3.1、2)

・防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材
　適用部位：（　　）
・薬剤の加圧注入による防腐、防蟻処理

| 適用部位 | 保存処理性能区分 |
|---|---|
| | ・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４ |
| | ・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４ |

・薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理

| 適用部位 | 処理の方法 |
|---|---|
| | ※標準仕様書12.3.1(3)(ⅱ)①～④による　・ |
| | ※標準仕様書12.3.1(3)(ⅱ)①～④による　・ |

・ボード原料接着剤への薬剤混入による防腐、防蟻処理
　適用部位（　　）

## 13 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺

(13.2.2、3)

| 施工箇所 | 板及びｺｲﾙの種類 | 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 | 厚さ(mm) | 屋根葺形式 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 屋上腰屋根 | ※JIS G 3322の屋根用ｺｲﾙ・ | ふっ素ガルバリウム鋼板 | 0.45 | ・心木なし瓦棒葺<br>・立平葺・縞掛葺<br>・横葺○縦馳葺き | |

下葺材料　・アスファルトルーフィング　940
　○改質アスファルトルーフィング下葺材
　（・一般タイプ・複層材タイプ○粘着層付タイプ）

工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1○1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

雪止め　・設置する　○ 設置しない


一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIOS
千葉県知事登録　No.1-1709-4702
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206　加藤 義道


| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |


本　社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1338
FAX 03-5201-1013


工事名　(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事

図名　特記仕様書（２）

S=　—
DATE　******
No.　A-003

## 14 金属工事

### 2 折板葺

(13.2.2)(13.3.2、3)(表13.2.1)

| 施工箇所 | 形式 | 山高、山ピッチによる区分 | | 耐力による区分 | 材料による区分 | 厚さ(mm) | 軒先面戸板 | 耐火性能 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 山高 | 山ピッチ | | | | | |
| | ・重ね形<br>・はぜ締め形<br>・かん合形 | | | (　)種 | ※鋼板製<br>・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金板製 | | ・有り<br>・無し | ・30分<br>・無し |
| | ・ | | | | | | | |

材料　板及びコイルの種類（　　）
　　塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（　　）
断熱材　・有り（種別：　　厚さ(mm)：　　防火性能：　時間）
　　・無し
工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

### 3 粘土瓦葺

(13.4.2、3)

| 施工箇所 | 種類 | | | 大きさ | 産地 | 役物瓦の種類 | 雪止め瓦 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 製法による区分 | 形状による区分 | 寸法による区分 | | | | |
| | | | | | | | ・適用する<br>・適用しない |
| | | | | | | | ・適用する<br>・適用しない |

瓦桟木　材質　※杉又はひのき　・
　　寸法　※幅21×高さ15(mm)　・
棟補強用心材　材質　※杉又はひのき　・
　　寸法　※幅40×高さ30(mm)　・
工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

瓦桟木の留付け工法　※図示　・
棟の工法　※標準仕様書13.4.3(d)(1)～(4)による　・

### ④ といし

(13.5.2、3)(表13.5.5)

**といの材質　・配管用鋼管　⊙硬質ポリ塩化ビニル管（カラー）　・**
ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
　※規制対象外　・
鋼管製といの防露巻き　・適用する（工法：※標準仕様書表13.5.5による　・　）
　　・適用しない

ルーフドレン

| 種別 | 施工箇所 |
|---|---|
| ⊙ろく屋根用（⊙縦型　⊙横型） | 図示 |
| ・バルコニー用 | |
| ・バルコニー中継用 | |

### ① ステンレスの表面仕上げ

(14.2.1)

| 種　類 | 施工箇所（手すり、タラップ、建具以外） |
|---|---|
| ※ＨＬ程度 | |
| ・鏡面仕上程度 | |
| ・No.2Ｂ程度 | |

### ② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)(表14.2.1)

| 種　別 | 皮膜又は複合皮膜の種類 | 施工箇所（成形板、笠木、建具以外） |
|---|---|---|
| ・A-1種 | ※AA15・ | |
| ・A-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ) | ※AA15・ | |
| ・B-1種 | ※B　・ | |
| ⊙B-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ⊙ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ) | ※B　・ | **ルーバー** |
| ⊙C-1種 | ※AA6・ | **外壁** |
| ・C-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ) | ※AA6・ | |
| ・D種 | | |
| ・ | | |

陽極酸化皮膜の着色方法　※二次電解着色　・三次電解着色

### ③ 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)(表14.2.2)

| 表面処理方法 | 種　別 | 施工箇所（手すり、タラップ以外） |
|---|---|---|
| 溶融亜鉛めっき | ⊙Ａ種 | 図示 |
| | ・Ｂ種 | |
| | ・Ｃ種 | |
| 電気亜鉛めっき | ・Ｄ種 | |
| | ・Ｅ種 | |
| | ・Ｆ種 | |

### ④ 軽量鉄骨天井下地

(14.4.2～4)(表14.4.1)

野縁等の種類
　屋外（※25形　・19形）　屋内（※19形　・25形）
⊙屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1⊙1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

　**野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔　⊙ 900　・**
　**周辺部の端からの間隔　⊙ 100　・**
　**野縁の間隔　⊙ 表14.4.2　・**

⊙吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
　補強方法　※図示　・

⊙天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合
　補強方法　※標準仕様書14.4.4(h)(1)～(2)による　・図示　・

・天井のふところが3.0mを超える場合
　補強方法　※図示　・

・天井下地材における耐震性を考慮した補強
　補強箇所　・図示　・
　補強方法　※図示　・

### ⑤ 軽量鉄骨壁下地

(14.5.3)(表14.5.1)

スタッド、ランナーの種類
　※標準仕様書14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類　・図示　・
スタッドの高さが5.0mを超える場合　※図示　・

### 6 金属成形板張り

(14.6.2、3)(表14.2.1)

| 種別 | 製法 | 形状 | 板幅(mm) | 寸法(mm) | 厚さ(mm) | 表面処理 種別 | 表面処理 皮膜等の種類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ | ・押出し<br>・ロール | ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形 | | | | ・B-1種 | ※B　・ |
| | ・プレス<br>・ | パネル形 | | | | ・B-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ<br>・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系<br>・ｽﾃﾝｶﾗｰ) | ※B　・ |
| | ・ | | | | | ・C-1種 | ※AA6　・ |
| | | | | | | ・C-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ<br>・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系<br>・ｽﾃﾝｶﾗｰ) | ※AA6　・ |
| | | | | | | ・D種 | |
| ・ | | | | | | | |

取付け用下地　※標準仕様書14.4による　・図示　・
伸縮調整継手　・設ける（施工箇所　・図示　・　　）　・設けない

### ⑦ アルミニウム製笠木

(14.7.2、3)(表14.2.1)(表14.7.1)

種類　・250形　⊙300形　・350形
表面処理　種別（Ｂ-1）種　皮膜等の種類（※標準仕様書 表14.2.1による　・　）
　　着色（・アンバー　・ブロンズ　⊙ブラック系　・ステンカラー）
笠木の固定金具の工法等
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1⊙1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

### ⑧ 手すり及びタラップ

(14.8.2、3)

手すり　⊙ステンレス製　SUS304（表面処理　※HL程度　・No.2B程度　・　）
　　⊙鋼製　（表面処理　⊙溶融亜鉛めっきA種　・　）
タラップ　⊙ステンレス製　SUS304（表面処理　※研磨なし　・　）
　　・鋼製　（表面処理　※溶融亜鉛めっきC種　・　）

## 15 左官工事

### ① モルタル塗り

(15.2.2、5)

既製目地材　・設ける　施工箇所（　　）　形状（※図示　・　）
　　⊙設けない
床目地　・設ける（工法※押し目地　・　）
　　⊙設けない
外壁タイル張り下地の均しモルタルの接着力試験　・適用する　・適用しない

### ② 床コンクリートの直均し仕上げ

(6.2.5)(15.4.2)

**下表以外は標準仕様書15.4.2による**

| 施工箇所 | 平たんさ(mm) | 備　考 |
|---|---|---|
| ⊙フリーアクセスフロア（支柱調整式）範囲 | ⊙1mにつき10以下<br>・ | |
| ・ | | |

### 3 セルフレベリング材塗り

(15.4.2)(表15.4.1)

・せっこう系　・セメント系

### ④ 仕上塗材仕上げ

(15.5.2)

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
　※規制対象外　・
仕上塗材の種類

| 種　類 | 呼び名 | 防火材料 | 仕上げの形状等 |
|---|---|---|---|
| ・薄付け仕上塗材 | ・外装薄塗材Ｓｉ | ・ | ・砂壁状 |
| | ・可とう形外装薄塗材Ｓｉ | ・ | ・ゆず肌状（・吹付け・ﾛｰﾗｰ塗り） |
| | ・外装薄塗材Ｅ | ・ | ・さざ波状 |
| | ・可とう形外装薄塗材Ｅ | ・ | ・平たん状 |
| | ・防水形外装薄塗材Ｅ | ・ | ・凹凸状（・吹付け・こて塗り） |
| | ・外装薄塗材Ｓ | ・ | ・着色骨材砂壁状(・吹付け・こて塗り) |
| | ・内装薄塗材Ｃ | ・ | ・砂壁状じゅらく |
| | ・内装薄塗材Ｌ | ・ | ・京壁状じゅらく |
| | ・内装薄塗材Ｓｉ | ・ | 吸放湿性　・適用する　・適用しない |
| | ・内装薄塗材Ｅ | ・ | |
| | ・内装薄塗材Ｗ | ・ | |
| ・厚付け仕上塗材 | ・外装厚塗材Ｃ | ・ | ・吹放し　・凸部処理　・平たん状 |
| | ・外装厚塗材Ｓｉ | ・ | ・凹凸状　・ひき起こし　・かき落とし |
| | ・外装厚塗材Ｅ | ・ | 吸放湿性　・適用する　・適用しない |
| | ・内装厚塗材Ｃ | ・ | 上塗材　・適用する　・適用しない |
| | ・内装厚塗材Ｌ | ・ | |
| | ・内装厚塗材Ｇ | ・ | |
| | ・内装厚塗材Ｓｉ | ・ | |
| | ・内装厚塗材Ｅ | ・ | |
| ⊙複層仕上塗材 | ・複層塗材ＣＥ | ・ | ⊙ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸模様 |
| | ・可とう形複層塗材ＣＥ | ・ | 耐候性　※耐候形３種 |
| | ・複層塗材Ｓｉ | ・ | |
| | ⊙複層塗材Ｅ | ・ | 上塗材 |
| | ・複層塗材ＲＥ | ・ | 溶　媒　※水系　・溶剤系 |
| | ・防水形複層塗材ＣＥ | ・ | ・弱溶剤系 |
| | ・防水形複層塗材Ｅ | ・ | 樹　脂　※アクリル系　・ |
| | ・防止形複層塗材ＲＥ | ・ | 外　観　※つやあり・つやなし |
| | ・防水形複層塗材ＲＳ | ・ | ・メタリック |
| ・軽量骨材仕上塗材 | ・吹付用軽量塗材 | ・ | |
| | ・こて塗用軽量塗材 | ・ | |
| ⊙自然石調装飾仕上塗材 | ⊙自然石調装飾仕上塗材塗材 | | ⊙ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝﾀｲﾌﾟ（ぬれ色防止） |
| | | | ⊙化粧目地（発泡目地）：図示 |

### 5 ＡＬＣパネルの場合の下地処理

内壁目地部の形状　※Ｖ形目地付き　・　(15.5.4)

### 6 マスチック塗料塗り

種別　・Ａ種　・Ｂ種　(15.6.2)

### 7 ロックウール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・　(15.8.2、3)
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・
吹付け厚さ(mm)　・図示　・25　・

## 16 建具工事

### ① 防火戸

※建具表による　・　(16.1.3)

### ② 見本の製作等

建具見本の製作　・行う（建具符号：　　）　(16.1.4)
　　⊙行わない
建具見本の程度　・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
　　・納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　　）
　　・行わない

### ③ 防犯建物部品

(16.1.6)

・適用する（※建具表による　・　）
⊙適用しない

### ④ アルミニウム製建具

(16.2.2、4、5)(表14.2.1)

性能等級
　外部に面する建具　・Ａ種（建具符号：※建具表による　・　）
　　⊙Ｂ種（建具符号：※建具表による　・　）
　　・Ｃ種（建具符号：※建具表による　・　）
　防音ドアセット、防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　）
　　（建具符号：・建具表による　・　）
　　・適用しない
　断熱ドアセット、断熱サッシG　・適用する　断熱性の等級（　）
　　（建具符号：・建具表による　・　）
　　・適用しない
　耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　）
　　（建具符号：・建具表による　・　）
　　・適用しない
枠の見込み寸法　⊙建具表による　・
表面処理
　外部に面する建具　・B-1種　・B-2種　・
　　皮膜等の種類（※標準仕様書 表14.2.1による　・　）
　　着色（・アンバー・ブロンズ⊙ブラック系・ステンカラー）
　屋内の建具　・C-1種　・C-2種　・
　　皮膜等の種類（※標準仕様書 表14.2.1による　・　）
　　着色（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー）
結露水の処理方法　※図示　・
水切り板、ぜん板　※図示　・

### ⑤ 網戸等

(16.2.3)

| 種類 | 材種 | 線径 | 網目 |
|---|---|---|---|
| ⊙防虫網 | **⊗合成樹脂製ﾌﾟﾘｰﾂ網**<br>・ガラス繊維入り合成樹脂製<br>・ステンレス(SUS316)製 | ⊗0.25mm以上<br>・ | ⊗16～18メッシュ<br>・ |
| ・防鳥網 | ステンレス(SUS304)線材 | 1.5mm | 網目寸法15mm |

### 6 樹脂製建具

(16.2.5)(16.3.2～5)

性能等級
　外部に面する建具　・Ａ種（建具符号：・建具表による　・　）
　　・Ｂ種（建具符号：・建具表による　・　）
　　・Ｃ種（建具符号：・建具表による　・　）
　防音ドアセット、防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（・T-1　・T-2）
　　（建具符号：・建具表による　・　）
　　・適用しない
　断熱ドアセット、断熱サッシG　・適用する　断熱性の等級（・H-4　・H-5　・H-6　）
　　（建具符号：・建具表による　・　）
　　・適用しない
　耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　）
　　（建具符号：・建具表による　・　）
　　・適用しない
枠の見込み寸法　・建具表による　・
表面色　※標準色　・特注色
水切り板、ぜん板　※図示　・
ガラス　※複層ガラス　・

### ⑦ 鋼製建具

(16.2.2)(16.4.2～4)(表16.4.2)

性能等級
　簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号：・建具表による　・　）
　　⊙適用しない
　外部に面する建具の耐風圧性　・S-4（建具符号：・建具表による　・　）
　　⊙S-5（建具符号：・建具表による　・　）
　　・S-6（建具符号：・建具表による　・　）
　　・
　防音ドアセット、防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　）
　　（建具符号：・建具表による　・　）
　　・適用しない
　断熱ドアセット、断熱サッシG　・適用する　断熱性の等級（　）
　　（建具符号：・建具表による　・　）
　　・適用しない
　耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　）
　　（建具符号：・建具表による　・　）
　　・適用しない

鋼板

| 材料 | めっき付着量 | 厚さ |
|---|---|---|
| ⊙JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板） | ※Z12又はF12　・ | **⊙標準仕様書表16.4.3による**<br>・ |
| ・JIS G 3317（溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板） | ※Y08　・ | |

### ⑧ 鋼製軽量建具

(16.2.2)(16.5.2～4)

性能等級
　簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号：・建具表による　・　）
　　⊙適用しない
　防音ドアセット、防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　）
　　（建具符号：・建具表による　・　）
　　・適用しない
　断熱ドアセット、断熱サッシG　・適用する　断熱性の等級（　）
　　（建具符号：・建具表による　・　）
　　・適用しない
　耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　）
　　（建具符号：・建具表による　・　）
　　・適用しない
鋼板　※亜鉛めっき鋼板　・ビニル被覆鋼板　・カラー鋼板
鋼板の厚さ　⊙標準仕様書表16.5.1による　・
召合せ、縦小口包み板の材質　⊗鋼板　・建具表による

### ⑨ ステンレス製建具

(16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～4)

性能等級
　簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号：・建具表による　・　）
　　⊙適用しない
　外部に面する建具の耐風圧性　・S-4（建具符号：・建具表による　・　）
　　⊙S-5（建具符号：・建具表による　・　）
　　・S-6（建具符号：・建具表による　・　）
　　・
　防音ドアセット、防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　）
　　（建具符号：・建具表による　・　）
　　・適用しない
　断熱ドアセット、断熱サッシG　・適用する　断熱性の等級（　）
　　（建具符号：・建具表による　・　）
　　・適用しない
　耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　）
　　（建具符号：・建具表による　・　）
　　・適用しない
鋼板（屋外）　※SUS430J1L、SUS443J1、SUS304　・
鋼板（屋内）　※SUS430、SUS430J1L、SUS443J1、SUS304　・
表面仕上げ　※ＨＬ　・鏡面仕上げ　・
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

### ⑩ 木製建具

(16.7.2～4)

建具材の加工、組立時の含水率　※Ｂ種　・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※規制対象外　・

・フラッシュ戸
　表面材の合板の種類

| 合板の種類 | 規格等 | 備考 |
|---|---|---|
| ・普通合板　G | 表面の樹種<br>生地、透明塗料塗り<br>（※ラワン程度　・　）<br>不透明塗料塗り<br>（※しな程度　・　）<br>板面の品質（　）<br>接着の程度（・１類　・２類）<br>防虫処理　・行う | |
| ・天然木　化粧合板　G | 樹種名（　　）<br>接着の程度（・１類　・２類）<br>防虫処理　・行う | |
| ⊙特殊加工　化粧合板　G | 化粧加工の方法<br>（⊙ｵｰﾊﾞｰﾚｲ・ﾌﾟﾘﾝﾄ・塗装）<br>表面性能（　　）タイプ<br>接着の程度（・１類　・２類）<br>防虫処理　・行う | |

表面板の厚さ　※表16.7.6による　・

・かまち戸
　かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
　見込み寸法　※36mm　・建具表による　・
・ふすま
　張りの種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型）
　上張り(押入等の裏側以外)　・鳥の子　・新鳥の子又はビニル紙程度
　縁仕上　・塗り縁　・生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
　見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・
・戸ぶすま
　見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
・紙張り障子
　見込み寸法　※30mm　・建具表による　・

枠及びくつずりの材料　・建具表による　・

### ⑪ 建具用金物

金物の種類・見え掛り部の材質等　(16.8.2、3)(表16.8.1)
　※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による　・
樹脂製建具に使用する丁番　※標準仕様書表16.8.3による　・
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置　⊙建具表による　・

### ⑫ 鍵

(16.8.4)

マスターキー　⊙製作する　・製作しない
その他の鍵　※各室３本１組　・
鍵箱　※有り　・無し

### ⑬ 自動ドア開閉機構

(16.9.2、3)(表16.9.1、2)

| 自動ドア | 性能 | 防錆 | センサーの種類 | 凍結防止 |
|---|---|---|---|---|
| ・SSLD-1<br>⊙SSLD-2<br>・DSLD-1<br>・DSLD-2 | ※標準仕様書表16.9.1による<br>・ | ・適用する<br>⊙適用しない | ・マットスイッチ<br>・光線（反射）スイッチ<br>・熱線スイッチ<br>・音波スイッチ<br>⊙光電スイッチ<br>・電波スイッチ<br>⊙タッチスイッチ<br>・押しボタンスイッチ<br>**⊙フットスイッチ**<br>・多機能トイレスイッチ | ・行う<br>（適用箇所は建具表による）<br>⊙行わない |
| ・SWD-1<br>・SWD-2 | ※標準仕様書表16.9.2による<br>・ | | | |
| ・図示 | ・ | | | |

### ⑭ 自閉式上吊り引戸装置

(16.10.3)

性能　※標準仕様書表16.10.1による　・

### 15 重量シャッター

(16.11.2、3)

| シャッターの種類 | 耐風圧強度 |
|---|---|
| ・管理用シャッター | 耐風圧強度（　　）N/㎡ |
| ・外壁用防火シャッター | 耐風圧強度（　　）N/㎡ |
| ・屋内用防火シャッター | |
| ・屋内用防煙シャッター | |

開閉機能による種類　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式
管理用シャッターのシャッターケース　・設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
　鋼板の種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）
　　・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
　めっきの付着量　※Z12又はF12　・

### 16 軽量シャッター

(16.12.2～4)

開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度（　　）N/㎡
スラットの材質
　・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
　　めっき付着量　（※Z06又はF06　・　）
　・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板）
　　めっき付着量　（※AZ90　・　）
スラットの形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

### ⑰ オーバーヘッドドア

(16.13.2、3)

| セクション材料による区分 | 耐風圧区分(Pa) | 開閉方式による区分 | 収納形式による区分 | ガイドレールの材質 |
|---|---|---|---|---|
| **・スチールタイプ**<br>⊙アルミニウムタイプ<br>・ファイバーグラスタイプ | ⊙125<br>・100<br>・75<br>・50 | ※バランス式<br>・チェーン式<br>⊙電動式 | ・スタンダード形<br>⊙ローヘッド形<br>・ハイリフト形<br>・バーチカル形 | ※溶融亜鉛めっき鋼板<br>・ステンレス鋼板 |

### ⑱ ガラス

(16.14.2～4)(表16.14.1)

適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。
・合わせガラス

| 品種 | 構成種類 | 性能 |
|---|---|---|
| ・フロート合わせガラス | ・フロート板合わせガラス<br>・熱線吸収、フロート板合わせガラス | ・Ⅰ類 |
| ・網入磨き合わせガラス | ・網入磨き、フロート板合わせガラス<br>・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス | ・Ⅱ-1類・Ⅱ-2類<br>・Ⅲ類 |

・強化ガラス

| 材料板ガラスによる種類 | 種類 | 性能 |
|---|---|---|
| ⊙フロートガラス | ⊙フロート強化ガラス<br>・熱線吸収強化ガラス | ・Ⅰ類　・Ⅲ類 |
| ⊙型板ガラス | ⊙型板強化ガラス | |

・熱線吸収板ガラス

| 品種 | 性能 | 色調 |
|---|---|---|
| ・熱線吸収フロート板ガラス | ・１種　・２種 | ・ブルー　・グレー　・ブロンズ |
| ・熱線吸収網入磨き板ガラス | | |

⊙複層ガラス

| 品種 | 断熱性 | 日射熱遮へい性 |
|---|---|---|
| ⊙断熱複層ガラス | ・１種 | U1 |
| | ・２種 | U2 |
| | ・３種 | U-3-1　・U-3-2 |
| ・日射熱遮へい複層ガラス | ・４種 | E4 |
| | ・５種 | E5 |

・熱線反射ガラス

| 品種 | 日射遮へい性 | 耐久性 |
|---|---|---|
| ・熱線反射ガラス<br>色調（・ブルー　・グレー） | ・１種 | A種 |
| | ・２種 | ・A種　・B種 |
| ・高性能熱線反射ガラス<br>色調（・ブロンズ　・シルバー） | ・３種 | B種 |

反射被膜面　・内面　・外面
映像調整　・行わない　・行う

・倍強度ガラス

| 材料板ガラスによる種類の名称 | 色調 |
|---|---|
| ・フロート倍強度ガラス | ― |
| ・熱線吸収倍強度ガラス | ・ブルー　・グレー　・ブロンズ |

ガラスの留め材及び溝の大きさ

| 建具の種類 | ガラス留め材 | ガラス溝の大きさ(mm) |
|---|---|---|
| アルミニウム製 | ⊙シーリング材<br>・ガスケット<br>・グレイジングチャンネル形<br>・ | ※標準仕様書表16.14.1による<br>・図示<br>・ |
| 鋼製及び鋼製軽量 | ⊙シーリング材<br>・ | ※標準仕様書表16.14.1による<br>・図示　・ |
| ステンレス製 | ・シーリング材<br>・ | ※標準仕様書表16.14.1による<br>・図示　・ |


一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&ASSOCIATES
千葉県知事登録　No.1-1709-4702
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206　加藤 義道


| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |


本　社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1338
FAX 03-5201-1013


工事名　(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事
図名　特記仕様書（３）
S= —
DATE ******
No. A-004

## 19 ガラスブロック

(16.14.5)

| 表面形状 | 呼び寸法 | 厚さ | 色調 クリア | 色調 乳白 | 目地幅(mm) 平積み | 目地幅(mm) 曲面積み | 伸縮調整目地(mm) | 防火性能 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ・正方形 | ・125×125 | 80 | ・ | ・ | ※8～15<br>・15～25<br>・ | 外側 ※15以下<br>・<br>内側 ※6以上<br>・ | ※6m以下ごとに10～25<br>・図示<br>・ | ※無し<br>・有り |
| | ・160×160 | ・95<br>・125 | ・ | ・ | | | | |
| | ・200×200 | ・95<br>・125 | ・ | ・ | | | | |
| | ・320×320 | 95 | ・ | ・ | | | | |
| ・長方形 | ・250×125 | 80 | ・ | ・ | | | | |
| | ・320×160 | 95 | ・ | ・ | | | | |

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材　・設ける（形状　※図示　・　　）
　　・設けない
力骨　材質　※ステンレス鋼（SUS304）　・
　　寸法　※径5.5mm　・
　　形状　※はしご形状複筋及び単筋　・
化粧目地モルタルの色（　　）
金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　　・アルミニウム製
　　寸法　※図示　・
　　形状　※図示　・
工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

目地部の力骨の補強方法
　※ガラスブロック製造所の仕様による　　・図示　・

# 17 カーテンウォール工事

## 1 取付方法、性能等

(17.1.3)(17.2.2)(17.3.2)

取付方法　・層間方式　・柱・梁方式　・方立方式　・スパンドレル方式　・
性能

| 耐震性能 水平方向(kH) | 耐震性能 垂直方向(KV) | 水密性 | 気密性 | 遮音性 | 断熱性 | 耐火性能 | 耐温度差性(℃) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ・1.0<br>・ | ・0.5<br>・ | | | | | ・30分<br>・1時間 | ・80<br>・70<br>・60 |

耐風圧性能
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

| 支点間距離(h) | 耐風圧性能 | 状態 |
|---|---|---|
| 4m以下 | ・たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること<br>・ | 部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。 |
| 4mを超える | ・ | |

層間変位追従性

| 建築物の構造種別 | 層間変位量(h=支点間距離) | 変位後の状態 |
|---|---|---|
| 鉄骨造 | ・±(1/200)×h以上<br>・ | 部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。 |
| 鉄筋コンクリート造<br>鉄骨鉄筋コンクリート造 | ・±(1/300)×h以上<br>・ | ｼｰﾘﾝｸﾞは補修程度の損傷であること。 |

シーリング材
下表以外は標準仕様書表9.7.1による

| 被着体の組合せ | | シーリング材の種別 記号 | シーリング材の種別 主成分による区分 |
|---|---|---|---|
| 金属 | ガラス | | |
| | 石、タイル | | |
| ガラス | ガラス | | |
| カーテンウォール板間目地 | | | |

構造用ガスケット
・適用する（施工箇所　・図示　・　　）
　材質　・クロロプレン系　　・EPDM系　　・シリコーン系
　形状　・H型　　・Y型　　・C型
　寸法(mm)　ガラス板厚(　　)、支持枠の厚さ(　　)、ウェブの寸法(　　)
・適用しない

断熱材 G
　種類（　　）
　厚さ(mm)（　　）
　施工箇所　・図示　・

耐火材料

| 施工部位 | 種　別 | 規格等 |
|---|---|---|
| ・ファスナー部 | | |
| ・取付けブラケット | | |
| ・パネル目地部 | | |
| ・層間ふさぎ | | |

## 2 メタルカーテンウォール

カーテンウォールの材料

| 材料 | 規格等 | | 映像調整 |
|---|---|---|---|
| ※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 | ※標準仕様書16.2.3による<br>・ | ・A-1種　・A-2種　・<br>皮膜等の種類(※標準仕様書表14.2.1による　・　)<br>着色（・ｱﾝﾊﾞｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ<br>・ﾌﾞﾗｯｸ系　・ｽﾃﾝｶﾗｰ） | ・行う<br>・行わない |
| ・ | | | |

製品及び取付位置の寸法許容差　※標準仕様書表17.2.1～3による
ガラス溝の寸法、形状　※製造所の仕様による　・

## 3 PCカーテンウォール

(17.3.2～5)(表17.3.2)

カーテンウォールの材料
　コンクリート　※標準仕様書17.3.2(a)(ⅰ)～(ⅳ)による　・
　鉄筋　※SD295A（・D13　　・D10）
　補強鉄線の径(mm)　※3.2　　・4.0　　・5.0　　・6.0
　配筋　※図示
先付けの材料　・サッシ枠　　・ゴンドラ用ガイドレール
表面仕上げ材　・磁器質タイル
　　・石材（・花こう岩　　・大理石　・　　）
　　・
ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)
　・h=-1～+2、W1及びW2=±1
製品及び取付位置の寸法許容差　※標準仕様書表17.3.1～2による　・

# 18 塗装工事

## ① 材料

(18.1.3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・
⊙防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
　　・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　　）

## ② 素地ごしらえ

(18.2.2～7)

| 下地面等 | | 種別 | | |
|---|---|---|---|---|
| 木部 | 不透明塗料塗りの場合 | ※A種 | ・B種 | |
| | 透明塗りの場合 | ※B種 | ・A種 | |
| 鉄鋼面 | | ※C種 | ・A種 | ・B種 |
| 亜鉛めっき鋼面 | | ・A種 | ⊙B種 | |
| モルタル面及びプラスター面 | | ※B種 | ・A種 | |
| コンクリート面（ＤＰ以外）及びＡＬＣパネル面 | | ※B種 | ・A種 | |
| 押出成形セメント板面 | | ・A種 | ⊙B種 | |
| せっこうボード面及びその他ボード面 | 目地：継目処理工法 | ※A種 | ・B種 | |
| | 目地：継目処理工法以外 | ※B種 | ・A種 | |

## ③ 錆止め塗料塗り

(18.3.2、3)

| 下地面等 | | 工程の種別 | | 塗料の種別 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 鉄鋼面 | 見え掛り部分 | ※A種 | ・B種 | | |
| | 見え隠れ部分 | ※B種 | ・A種 | | |
| 亜鉛めっき鋼面 | 鋼製建具 | ※A種 | ・B種 | ・A種 | ⊙B種 |
| | 鋼製建具以外 | ※B種 | ・A種 | ・C種 | |

## ④ 塗装

(18.4.1～18.14.2)

| 塗装 | | 種別 | | 塗料の種類 |
|---|---|---|---|---|
| ⊙合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り（SOP） | 木部屋外 | ※A種 | ・B種 | ※1種　・2種 |
| | 木部屋内 | ※B種 | ・A種 | ※1種　・2種 |
| | 鉄鋼面 | ※B種 | ・A種 | ※1種　・2種 |
| | 亜鉛めっき鋼面 | ― | | ※1種　・2種 |
| ⊙クリヤラッカー塗り（CL） | | ※B種 | ・A種 | ― |
| ・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD) | | ※B種 | ・A種 | ― |
| ⊙耐候性塗料塗り(DP) | 鉄鋼面 | ― | | 上塗り等級(1)級 |
| | 亜鉛めっき鋼面 | ― | | 上塗り等級(1)級 |
| | ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面 | ・A種 | ・B種　・C種 | ― |
| ⊙つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP-G) | ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面等 | ※B種 | ・A種 | ― |
| | 屋内の鉄鋼面 | ※B種 | ・A種 | ― |
| ⊙合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) | | ※B種 | ・A種 | ― |
| ・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) | | ※B種 | ・A種 | ― |
| ・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) | | ※B種 | ・A種 | ― |
| ・ラッカーエナメル塗り(LE) | | ※B種 | ・A種 | ― |
| ・オイルステイン塗り(OS) | | ― | | ― |
| ・木材保護塗料塗り(WP) | | ※B種 | ・A種 | ― |

屋上、屋根面の金属面に塗装する場合の塗料は高日射反射率塗装 G とする。

・高日射反射率塗料塗り G
　下地調整（改修標準仕様書表7.2.2）　・ＲＡ種　・ＲＢ種　・ＲＣ種

| 工程 | 塗料の他 規格番号 | 規格名称 | 種類 | 等級 | 塗付け量(kg/㎡) |
|---|---|---|---|---|---|
| 塗料塗り | JIS K 5675 | 耐候性屋根用塗料 | 2種 | ・1級<br>・2級<br>・3級 | 塗料製造所の仕様による |

# 19 内装工事

## ① 接着剤

(19.2.2)

接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・
接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示　・

## ② ビニル床シート G

(19.2.2、3)

| 種類 | JIS記号 | 施工箇所 | 色柄 | 特殊機能 | 厚さ(mm) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ⊙発泡層のないもの | ⊗FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ)<br>⊙防汚、消臭型 | 一般部<br>トイレ | ・無地<br>⊙ﾏｰﾌﾞﾙ柄 | ・帯電防止<br>・耐動荷重性 | ・2.0<br>⊙2.5 | |
| ・発泡層のあるもの | ・ | | ・無地<br>・柄物 | ・防滑性<br>・耐薬品性 | | |

工法　※熱溶接工法　　・突付け（施工箇所：　　）
特殊機能
　帯電防止　・帯電防止性能評価値（JIS　A　1455）1.2以上～3.2未満
　　又は体積電気抵抗値（JIS　A　1454）1×10⁷　～1×10¹⁰ Ω程度
　　・

## ③ ビニル床タイル G

(19.2.2)

| JIS記号 | 施工箇所 | 色柄 | 寸法 | 特殊機能 | 厚さ(mm) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・ＦＴ（複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） | | ・無地<br>・柄物 | ・300×300<br>・450×450 | ・帯電防止<br>・防滑性 | ※2.0<br>・2.5<br>・3.0 | |
| ・ＫＴ（ｺﾝﾎﾟｼｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） | | ・無地<br>・柄物 | ・300×300<br>・450×450 | ・帯電防止<br>・防滑性 | ・2.0<br>・3.0 | |
| ＯＦＯＡ（置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） | 事務室 | ・無地<br>⊙柄物 | ⊙500×500 | ⊙帯電防止<br>・防滑性 | ⊙5.0 | |

特殊機能
　帯電防止　⊙帯電防止性能評価値（JIS　A　1455）1.2以上～3.2未満
　　又は体積電気抵抗値（JIS　A　1454）1×10⁷　～1×10¹⁰ Ω程度
　　・

## ④ ビニル幅木

(19.2.2)

材質　　⊙軟質　　・硬質
高さ(mm)　※60　　・75
厚さ(mm)　※1.5以上　・

## 5 ゴム床タイル

(19.2.2)

色柄　　（　　）
厚さ(mm)　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)（　　）

## 6 カーペット敷き G

・織じゅうたん　(19.3.3.4)(表19.3.1)

| 種別 | パイル形状 | 織り方 | 色柄等 | 帯電性 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・Ａ種<br>・Ｂ種<br>・Ｃ種 | ・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ<br>・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ<br>・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用 | ・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ<br>・ﾀﾞﾌﾞﾙｱｯﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ<br>・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ | ・無地<br>・柄物<br>（標準品） | ・適用する<br>（性能：※人体帯電圧3kv以下　・　・　）<br>・適用しない | |

下敷き材
　※反毛フェルト（JIS　L　3204）の第2種2号　呼び厚さ8mm　・

・タフテッドカーペット

| パイル形状 | ﾊﾟｲﾙ長さ(mm) | 工法 | 帯電性 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ・カットパイル | ・5～7　・ | ※全面接着工法<br>・グリッパー工法 | ・適用する<br>（性能：※人体帯電圧3kv以下　・　）<br>・適用しない | |
| ・ループパイル | ・4～6　・ | | | |
| ・レベルループパイル | ・4　・ | | | |
| ・カット、ループ併用 | ・ | | | |

下敷き材（グリッパー工法の場合）
　※反毛フェルト（JIS　L　3204）の第2種2号　呼び厚さ8mm　・

・ニードルパンチカーペット
　厚さ(mm)（　）帯電性　・適用する（性能：※人体帯電圧3kv以下　・　　）
　　・適用しない
　備考（　　）

・タイルカーペット

| パイル形状 | 種　別 | 施工箇所 | 寸法 | 総厚さ(mm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ※ループパイル | ※第一種<br>・第二種 | | ※500×500<br>・ | ※6.5<br>・ | |
| ・カットパイル | ・第一種<br>・第二種 | | ※500×500<br>・ | ※6.5<br>・ | |
| ・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用 | ・第一種<br>・第二種 | | ※500×500<br>・ | ※6.5<br>・ | |

タイルカーペットの敷き方　平　場　※市松敷き　　・模様流し　・
　　階段部分　※模様流し　　・市松敷き　・
見切り、押え金物　・適用する（材質、形状等　　※図示　・　　）
　　・適用しない

## ⑦ 合成樹脂塗床

(19.4.2、3)(表19.4.4.5)

| 種別 | 施工箇所 | 工法 | 仕上げの種類 |
|---|---|---|---|
| ・厚膜型塗床材（弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床） | | | ※平滑仕上げ<br>・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ |
| ⊙厚膜型塗床材（ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床） | | ・薄膜流し展べ工法<br>⊙厚膜流し展べ工法<br>・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法 | ・平滑仕上げ<br>⊙防滑仕上げ（骨材入り） |
| ・薄膜型塗床材（ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床） | | | ※平滑仕上げ |
| ・ｱｸﾘﾙ樹脂塗床（JIS　K　5970）（防塵塗料塗り） | | ※製造所の指定による | 工程<br>塗布量（kg/㎡）<br>※0.25kg/㎡以上<br>表面仕上げ<br>※平滑　・防滑<br>溶剤<br>※水性　・溶剤系　・無溶剤系<br>仕上げ色<br>※標準色　・ |

塗料のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

## 8 フローリング張り

(19.5.2～6)(表19.5.1～5)

単層フローリング G

| 種類 | 工法 | 樹種 | 厚さ(mm) | 大きさ | 仕上塗装 | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等 | ・釘留め工法（根太張り） | ※なら<br>・桧 | 15 | 板幅75<br>板長さ500以上 | ・塗装品<br>・無塗装品 | ・ |
| | ・釘留め工法（直張り） | ※なら<br>・ | ・12以上<br>・ | 板幅75<br>板長さ500以上 | | ・ |
| | ・接着工法 | ※なら<br>・桧 | ・12以上<br>・15 | 板幅75<br>板長さ500以上 | | ・ |
| ・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ1等 | 接着工法 | ※なら | 15 | 303×303 | ・塗装品<br>・無塗装品 | ・ |
| ・ﾓｻﾞｲｸﾊﾟｰｹｯﾄ1等 | 接着工法 | ・ | ・ | ・ | ・塗装品<br>・無塗装品 | ・ |

複合フローリング G

| 種類 | 工法 | 樹種 | 厚さ/大きさ(mm) | 種別 | 防湿処理 | 塗装仕上げ | 間伐材等の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ・天然木化粧複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ | ・釘留め工法（根太張り）<br>・釘留め工法（直張り） | ※なら<br>・ | | ・A種<br>・B種<br>※C種 | ・適用する<br>・適用しない | ・塗装品<br>・無塗装品 | ・ |
| | ・接着工法 | ※なら<br>・ | 板厚<br>・8以上・<br>板幅<br>・75以上<br>板長さ<br>900以上 | | | | ・ |

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外
接着工法の場合の緩衝材　※合成樹脂発泡シート　・
現場塗装仕上げ　・行う（施工箇所　　）
　　※ウレタン樹脂ワニス塗り
　　・オイルステインの上、ワックス塗り
　　・生地のままワックス塗り
　・行わない

## 9 畳敷き

(19.6.2)(表19.6.1)

種別　・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ・KT-Ⅱ・KT-Ⅲ・KT-K・KT-N）
下地の種類　・標準仕様書　表12.6.1による床組
　　・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G ）
　　・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

## ⑩ せっこうボードその他のボード張り

(19.7.2、3)(表19.7.1)

| 種　類 | JIS記号 | 厚さ(mm)、規格等 |
|---|---|---|
| ⊙硬質木毛セメント板 G | HW | ・15　・⊗18　・25　・ |
| ・中質木毛セメント板 G | MW | ・15　・20　・25　・ |
| ・普通木毛セメント板 G | NW | ・15　・20　・25　・30 |
| ・硬質木片セメント板 G | HF | ・12　・15　・18　・21　・ |
| ・普通木片セメント板 G | NF | ・30　・ |
| ⊙けい酸カルシウム板 | 0.8FK<br>1.0FK | タイプ2（無石綿）　⊙6　・8 |
| ⊙ロックウール化粧吸音板 | DR | ⊙フラットタイプ<br>（・9(不燃)　⊙12(不燃)　・　）<br>・凹凸タイプ<br>（・12(不燃)　・15(不燃)　・19(不燃)　・　） |
| ・ロックウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号 | RW-B | ・25　・ |
| ・グラスｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ号32K | GW-B | ⊙50（ガラスクロス包）　・ |
| ⊙せっこうボード | GB-R | ⊙9.5(準不燃)　⊗12.5(不燃)　・15(不燃) |
| ⊙不燃積層せっこうボード | GB-N | ⊙9.5（不燃）　⊙化粧無（下地張り用）<br>⊙化粧有（トラバーチン模様） |
| ⊙シージングせっこうボード | GB-S | 12.5（※不燃　・準不燃） |
| ⊙強化せっこうボード | GB-F | ・12.5（不燃）　⊙15（不燃） |
| ・せっこうラスボード | GB-L | 9.5 |
| ・化粧せっこうボード(木目) | GB-D | 12.5（不燃）幅440mm程度<br>模様(・柾目　・板目)専用下地材有り |
| ⊙化粧せっこうボード（トラバーチン模様） | GB-D | 9.5（準不燃） |
| ⊙普通合板 G | | 表面の材種<br>生地、透明塗料塗り<br>（※ﾗﾜﾝ程度　・　　）<br>不透明塗料塗り<br>（※しな程度　・　　）<br>板面の品質（　　）<br>接着の程度（　　）<br>厚さ(mm)（　　）<br>・防虫処理 |
| ・天然木化粧合板 G | | 化粧板の樹種名（シナ(不燃)）<br>接着の程度（⊙1類　・2類）<br>厚さ(mm)（6　　）<br>・防虫処理 |
| ・特殊加工化粧合板 G | | 化粧加工の方法（・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装）<br>表面性能（　　）タイプ<br>接着の程度（・1類　・2類）<br>厚さ(mm)（　　）<br>・防虫処理 |
| ⊙メラミン樹脂化粧板 | | JIS K6903による（⊗1.2　⊙3.0　） |
| ⊙ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂化粧板 | | |
| ・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ G | MDF | ・3　・7　・9　・12　・ |
| ・単板張りパーティクルボード G | | ・無研磨板VN　・研磨板VS<br>・10　・12　・15　・18　・ |
| ・化粧パーティクルボード G | | ・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲＤＶ　・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲＤＯ<br>・塗装ＤＣ<br>・10（難燃）　・12（難燃）　・ |
| ・ハードボード(素地) G | HB | ・未研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）RN<br>・研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）RS |
| ・ハードボード（化粧） G | | ・内装用DI　・外装用DE<br>・2.5　・3.5　・5　・7 |
| ・インシュレーションボード | IB | A級（・天井仕上　・内装仕上　・　　）<br>・9　・12　・15　・18 |

せっこうボード等の下地は図示による。

遮音シール材　⊙適用する（・シーリング材　・ジョイントコンパウンド）
　　・適用しない
合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
　※規制対象外　・
合板類の張付け　　※Ｂ種　　・Ａ種
せっこうボードの目地工法　⊙仕上げ表による　・

## ⑪ 壁紙張り

(19.8.2、3)

壁紙のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

| 施工箇所 | 壁紙の種類 紙 | 織物 | ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ | 無機質 | その他 | 防火種別 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 図示 | ・ | ・ | ・ | ⊙ | ・ | ⊙不燃・準不燃 | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・不燃・準不燃 | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・不燃・準不燃 | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・不燃・準不燃 | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・不燃・準不燃 | |

モルタル、プラスター面の素地ごしらえ　※Ｂ種　・Ａ種
コンクリート・ＡＬＣ面の素地ごしらえ　※Ｂ種　・Ａ種
せっこうボード面の素地ごしらえ　※Ｂ種　・Ａ種

## ⑫ 断熱材 G

(19.9.2、3)

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※規制対象外　・

⊙断熱材打込み工法

| 種類 | | 厚さ(mm) | 施工箇所 |
|---|---|---|---|
| ・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材 | | ・ | ・ |
| ・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材(ｽｷﾝ層なし) | | ・ | ・ |
| ・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材 | | ・ | ・ |
| ・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材 | | ・ | ・ |
| ・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材 | | ・ | ・ |
| ⊙押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材（スキンなし） | ・保温板(2種b) | ・25・ | ・ |
| | ⊙保温板(3種b) | ・25⊙30 | ⊙スラブ下　・ |
| | ・ | ・ | ・ |
| ・A種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材 | | ・ | ・ |
| ・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ保温材(3種2号を除く) | | ・ | ・ |

・断熱材現場発泡工法
　断熱材の種類　※A種1　　・B種1
　厚さ(mm)　　⊙25　　・30　　・15
　施工箇所　　⊙図示　　・


一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&STATIONS
千葉県知事登録　No.1-1709-4702
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206　加藤 義道


| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |


本　社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1330
FAX 03-5201-1013


工事名　(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事

図名　特記仕様書（4）

S=　—
DATE　******
No.　A-005

# 20 ユニット及びその他工事

## ① フリーアクセスフロア

(20.2.2)

| 施工箇所 | 構　法 | 寸法(mm) | 高さ(mm) | 耐震性能 | 所定荷重(N) | 表面仕上げ材 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務室 | ・置敷式<br>⊙支柱<br>調整式 | ⊙600×600<br>・ | 100 | ⊙1.0G<br>・0.6G | ⊙3,000<br>・5,000 | ⊙帯電防止床ﾀｲﾙ<br>・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ<br>・ | |
| | ・置敷式<br>・支柱<br>調整式 | ・500×500<br>・ | | ・1.0G<br>・0.6G | ・3,000<br>・5,000 | ・帯電防止床ﾀｲﾙ<br>・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ<br>・ | |
| | ・置敷式<br>・支柱<br>調整式 | ・500×500<br>・ | | ・1.0G<br>・0.6G | ・3,000<br>・5,000 | ・帯電防止床ﾀｲﾙ<br>・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ<br>・ | |

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(b)(5)(ⅰ)～(ⅲ)による　・
厚さ　±0.5mm
平坦度　パネル周辺部　1.0mm以下
　　図心と各頂点を結ぶ線上部　2.0mm以下

表面仕上げ材の品質、性能は、標準仕様書19章による。
構成材の材質　・アルミニウム製　・鋼製（仕上げ：　　）　⊙図示
スロープ及びボーダー　・製造所の仕様による　・図示
配線用取り出しパネル
　フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　・20～30パーセント　⊙図示
　配線取り出し開口　・パネル１枚につき、40mm×80mm程度の開口１箇所以上
　　⊙図示
空調用吹き出し（吸い込み）パネル　⊙なし　・あり（形式、施工箇所：図示）

## 2　可動間仕切

(20.2.3)

| 構造形式 | 構成基材の種類 | | 総厚さ(mm) | 表面仕上材 | | | 遮音性(db/500HZ) | 防火性能 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ｽﾀｯﾄﾞ | パネル | | 材質 | 厚さ(mm) | ﾊﾟﾈﾙ表面仕上げ | | |
| ・スタッド式（内蔵）<br>・スタッド式（露出）<br>・パネル式<br>・スタッドパネル式 | | | ・ | ・鋼板 | ・0.6<br>・0.8 | ・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又は ｱｸﾘﾙ樹脂焼<br>・壁紙張り | ・0<br>・12<br>・20<br>・28<br>・36 | ・不燃 |

パネル内に取付ける建具　・あり（※図示　・　）　・なし
ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書 16章 8節 の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
パネル材のホルムアルデヒド放射量　※規制対象外

## 3　移動間仕切

(20.2.4)

| 構造形式 | 操作方法 | 圧接装置の操作方法 | 総厚さ(mm) | 表面仕上材 | | 遮音性(db/500HZ) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 材質 | パネル表面仕上げ | |
| ・平行方向移動式<br>・二方向移動式 | ・手動式<br>・電動式<br>・部分電動式 | ・プッシュ式<br>・ハンドル式<br>・ | | ・鋼板<br>・ | ・焼付塗装<br>・壁紙張り<br>・ | ・36未満<br>・36以上 |

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500HZの音についての透過損失とする。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の５倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
・図示

## ④ トイレブース

(20.2.5)

| 表面材の種類 | 脚部形状 | ドアエッジ | |
|---|---|---|---|
| | | 形状 | 材質 |
| ⊙メラミン樹脂系化粧板<br>・ポリエステル樹脂系化粧板 | ※幅木タイプ<br>・ | ・標準<br>⊙R | ⊙アルミニウム製<br>・ステンレス製<br>・表面材と同材 |

## 5　視覚障害者用床タイル

(11.2.2)(19.2.2)

| 施工箇所 | | 種類 | 寸法(mm) | 厚さ(mm) |
|---|---|---|---|---|
| 屋内 | | ・塩化ビニル製 | ・300×300・ | ・7.0　・ |
| | | ・セラミックタイル G | ・300×300・ | ・ |
| | | ・レジンコンクリート製・コンクリート製 | ・300×300・ | ・ |
| 屋外 | | ・磁器質タイル・せっ器質タイル | ・300×300・ | ・ |
| | | ・レジンコンクリート製・コンクリート製 | ・300×300・ | ・ |

ブロックパターンは、JIS T 9251による。

## ⑥ 階段滑り止め

(20.2.6)

| 材種 | 幅(mm) | 取付け工法 | 端部フラットエンド | |
|---|---|---|---|---|
| ⊙ステンレス製(SUS304)<br>ビニルタイヤ入り | ⊙40<br>・ | ※接着工法<br>・埋込み工法 | ⊙あり | ⊙ビニル製<br>・ステンレス製 |
| | | | ・なし | ー |

## ⑦ 手すり

| 材種 | 表面仕上げ | 直径(mm) | 取付箇所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ・集成材 | ・クリアラッカー　・ | ・35　・45　・ | | |
| ・ステンレスパイプ | ・HL　・ | | | |
| ⊙鋼製パイプ | ⊙DP　・SOP　・ | ⊙60 | 屋上訓練用 | |
| ⊙ビニル製ハンドレール | ・ | ⊙40 | 階段室 | |
| ⊙アルミ手摺 | ⊙アルミ（B-2） | ⊙50×40 | 屋上 | |

## ⑧ 黒板及びホワイトボード G

(20.2.8)

| 種　類 | | 寸法(mm) | 色　彩 | 形式 | |
|---|---|---|---|---|---|
| ・黒板 | ※焼付け<br>・ | | ※緑<br>・黒 | ・平面<br>・曲面 | ・ｽｸﾘｰﾝ付引分<br>・ |
| ⊙ホワイトボード | ほうろう | | 白 | ⊙平面<br>・曲面 | ・ｽｸﾘｰﾝ付引分<br>・ |

## ⑨ 鏡・姿見

(20.2.9)

取付箇所（　トイレ、洗面所、仮眠室　）
寸法（mm）　⊙図示　・
厚さ（mm）　※ 5　・

## ⑩ 表示

(20.2.10)

| 区分 | 材質 | 寸法(mm) | 厚さ(mm) | 取付高さ(mm) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⊙衝突防止表示<br>（⊙両面・片面） | ⊙ステンレス製<br>・図示 | ⊙30φ<br>・ | ・市販品<br>・ | ・図示<br>・ | |
| ⊙室名札 | ・アクリル板<br>・ | ⊙図示<br>・ | ・5<br>・ | ・図示<br>・ | |
| ⊙ピクトグラフ | ⊙アクリル板<br>・ | ⊙図示<br>・ | ・5<br>・ | ・図示<br>・ | |
| ・とびら番号 | ・アクリル板<br>・ | ・図示<br>・ | ・5<br>・ | ・図示<br>・ | |
| ⊙庁舎案内板 | ・アクリル板<br>⊙　SUS製 | ⊙図示<br>・ | ・5<br>・ | ・図示<br>・ | |
| ・各階案内板 | ・アクリル板<br>・ | ・図示<br>・ | ・5<br>・ | ・図示<br>・ | |
| ・ | | | | | |

案内用図記号はJIS　Z　8210による。
誘導標識、非常用進入口等の表示　※消防法に適合する市販品
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。

## 11　煙突ライニング

(20.2.11)

・煙突用成形ライニング材
　適用安全使用温度　・400℃　・650℃　・
・キャスタブル耐火材
　煙突用成形ライニング材の製造所の指定する製品とする。

## ⑫ ブラインド

(20.2.12)

| 形式 | 操作方法 | 種　類 | スラットの材種 | ｽﾗｯﾄ幅(mm) | ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙのの材種 | 寸法・取付箇所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ⊙横形 | ⊙手動 | ※ギヤ式<br>・コード式<br>・操作棒式 | ※アルミニウム合金製<br>・ | ※25<br>・ | ※鋼製<br>・ｱﾙﾐ製 | ・図示<br>・ |
| | ・電動 | ー | | | | |
| ・縦形 | ・手動 | ※２本操作ｺｰﾄﾞ式<br>・１本操作ｺｰﾄﾞ式 | ・アルミスラット<br>・クロススラット<br>・ | ・80<br>・100 | ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 | ・図示<br>・ |
| | ・電動 | ー | | | | |

アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 G とする

## 13　ロールスクリーン

(20.2.13)

| 材種 | 操作方法 | 遮光性 | 寸法(mm) | 取付箇所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・ポリエステル<br>・ | ・電動式<br>・スプリング式<br>・チェーン式 | ・１級<br>・２級<br>・３級 | ・図示<br>・ | ・図示<br>・ | |

巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造所の仕様による。

## 14　カーテン

(20.2.14)

| 形式 | | 開閉方式 | ひだの種類 | きれ地の種別、品質、特殊加工等 | 取付箇所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・シングル<br>・ダブル | ・片引き<br>・引分け | ・手引き<br>・ひも引き<br>・電動 | ・フランスひだ<br>・箱ひだ、つまひだ<br>・ﾌﾞﾚｰひだ、片ひだ | | ・図示<br>・ | |
| ・シングル<br>・ダブル | ・片引き<br>・引分け | ・手引き<br>・ひも引き<br>・電動 | ・フランスひだ<br>・箱ひだ、つまひだ<br>・ﾌﾞﾚｰひだ、片ひだ | | ・図示<br>・ | |

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、G とする
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

## 15　カーテンレール

(20.2.14)

材種　※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
　　・ステンレス製
形式　⊙シングル　・ダブル
　　⊙片引き　・引分け
強さによる区分　※10-90　・
仕上げ　※アルマイト　・
形状　※角形　・

## ⑯ ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝型×深さ(mm)　・90×150　・120×80　⊙120×150　・150×80　・図示
材質　・集成材（仕上げ：　　）
　・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
　　表面処理・C-1
　　・C-2（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー）
　　・
　皮膜等の種類　※標準仕様書表14.2.1による　・
　⊙鋼製（仕上げ：ＳＯＰ　）

## ⑰ 天井点検口

| 材種 | 寸法 | 形式 | | 外枠 | 内枠 |
|---|---|---|---|---|---|
| ※アルミニウム製<br>・ | ⊙450×450<br>・600×600<br>・ | ⊙一般形 | ・屋内外用<br>⊙屋内用 | ・額縁タイプ<br>⊙目地タイプ | ・額縁タイプ<br>・目地タイプ |
| | | ・気密形 | | | |

## ⑱ 床点検口

| 材種 | 寸法 | 形式 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ・アルミニウム製<br>⊙ステンレス製<br>・鋼製 | ・450×450<br>⊙600×600<br>・ | ・一般形<br>⊙密閉形 | ・屋内外用<br>⊙屋内用 | ⊙鍵付き |

密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。

## 19　耐震スリット

| 方　向 | タ　イ　プ | 耐火性能 | 防水性能 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ・垂直方向<br>・水平方向 | ※完全（全貫通型） | ・耐火型<br>・非耐火型 | ・有り<br>・無し | |

目地

| 目地 | 内壁 | 外壁 |
|---|---|---|
| 目地材 | ・ｼｰﾘﾝｸﾞ材（見え掛かりのみ）<br>・ | ・シーリング材（見え掛かりのみ）<br>・シーリング材（内外とも） |
| 目地寸法（幅mm×深さmm） | ・20×10　・ | ・20×10　・ |

目地材の材質は標準仕様書表9.7.2による。

## ⑳ 止水版

形式　・差込式　⊙据置式　・壁張り式
施工箇所　・図示　・

## 21　エキスパンション・ジョイント金物

| 材種 | クリアランス(mm) | | 変位追従性能(mm) | 耐火性能 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 躯体間 | 仕上材間 | | | |
| ・アルミニウム製<br>・ステンレス製 | ・50<br>・100<br>・150<br>・ | ・ | X：±<br>Y：±<br>Z：± | ・有り<br>（　　）<br>・無し | |

外部は防水型とする。

## 22　くつふきマット

| 材種 | 受け枠 | 備考 |
|---|---|---|
| ・塩化ビニル又はゴム製<br>・硬質アルミニウム合金製<br>・ステンレス鋼(SUS304)製<br>・ | ・ステンレス製(SUS304)<br>・硬質アルミニウム合金<br>・ | |

## ㉓ 流し台ユニット（ｼｽﾃﾑｷｯﾁﾝ）

| 材種 | 寸法(mm) | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| | W | D | H | |
| ⊙流し台 | ⊙150<br>・1500<br>⊙1950 | ・550<br>⊙600<br>・650 | ・800<br>⊙850 | トラップ付き<br>天板ステンレス製 |
| ⊙ｶﾞｽｺﾝﾛ台（ﾋﾞﾙﾄｲﾝ） | ⊙600 | ・550<br>⊙600<br>・650 | ・620<br>・670 | バックガード有り<br>天板ステンレス製 |
| ⊙つり戸棚 | ⊙1950<br>⊙1500 | ⊙350 | ⊙700<br>⊙900 | ※キッチン用<br>※作業台用 |
| ⊙作業台 | ⊙1500<br>・900 | ⊙450 | ⊙850<br>・700 | |
| ⊙水切り | ⊙1200 | ー | ー | 市販品ステンレス製<br>・１段式　・ |

品質・性能　JIS　A　4420による。
形状　※図示　・

## ㉔ 旗竿

| 材種 | 形式 | 高さ(mm) | 操作方法 | 固定方法 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・アルミニウム合金製<br>・ | ・テーパー式<br>・同一断面式 | | ・ハンドル式<br>・ロープ式 | ・埋込式<br>・ベース式<br>・バンド式 | |

## ㉕ 旗竿受金物

材種　・ステンレス製（SUS304）　・

## ㉖ 車止め支柱

| 形式 | | 材種 | 柱径、肉厚(mm) | 高さ(mm) |
|---|---|---|---|---|
| ・上下式鎖内臓式 | ・標準品<br>・スプリング式 | ・ステンレス製<br>・ | ・ | ・ |
| ・ | | | | |

## ㉗ フェンス

フェンスの種類
　・ひし形金網
　（・着色塗装亜鉛めっき鉄線製　・合成樹脂被覆鉄線製　・亜鉛めっき鉄線製）
　・被覆エキスパンドメタル
　⊙被覆溶接金網（高耐候性樹脂粉体塗装）
　・
高さ　⊙図示　・

## ㉘ 鋼製書架及び物品棚

| 種　類 | 規　格　等 | ＪＩＳによる種類 |
|---|---|---|
| ・鋼製書架 | JIS　S　1039の規格による | ⊙１種　・２種　・３種 |
| ・鋼製物品棚 | | ・４種　・５種　・６種　・ |

## ㉙ 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

## ㉚ 洗面カウンター

材種　・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材）　⊙人工大理石
奥行き(mm)　・約450　⊙約600

## ㉛ 屋外掲示板

照明器具　※有り　・無し
施　錠　※有り　・無し
製 造 所（　　）

## ㉜ 鋼製家具

材質、形状、寸法　※図示　・
合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
　※規制対象外　・

## ㉝ ユニットバス

FRP製、1216、1418タイプ、折れ戸、風呂ふた、防湿鏡、タオル掛け、収納棚

## ㉞ 洗濯機パン

FRP製、800×600、1か所のみ配管スペース付き

## ㉟ 消火器ボックス

埋込型：ｽﾁｰﾙ粉体塗装（ユニオンUFB-1F2204-PWH同等品）2か所
床置き型：スチール製焼付塗装（杉田エースFB-3N-08W同等品）1か所
屋外型：SUS製（ユニオンUFB-3S-2760-HLN同等品）1か所

## ㊱ 装飾用化粧モール

GRC製、150×65、DP塗装（アートホクストン同等品）

## ㊲ ユニットフロア

ゴム製支持脚、パーティクルボード t=20+耐水合板 t=15　仕上げ厚150

## ㊳ 天井付昇降式物干

ｽﾁｰﾙ、SUS製天井付け昇降式 W= 1200（杉田ACE URM-S同等品）

## ㊴ アルミ庇

W1000ｘD600（株式会社共和 ｱﾙﾌｨﾝ AD2同等品）1か所

# 21 排水工事

## ① 屋外雨水排水管（設備工事）

(21.2.1、2)(表21.2.1、2)

材料

| 材種 | 管の種類 | 形状 | 呼び径 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ・遠心力鉄筋コンクリート管<br>・ | ※外圧管（1種）<br>・ | ・Ｂ形管<br>・ | ※図示<br>・ | |
| ・硬質ポリ塩化ビニル管 | ・ＶＰ | | ※図示　・ | |
| | ・ＶＵ | | ※図示　・ | |
| | ・RS-VU G | | ※図示　・ | |

基床の厚さ及び種類　・図示　・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　※接着剤　・
側溝の形状及び寸法　・図示　・
排水升の種類　・図示　・
**砂地業に用いる材料　※標準仕様書(21.2.1)(g)(1)　・図示**
**砂利地業に用いる材料　※標準仕様書(21.2.1)(g)(2)　・図示**
コンクリート基礎等に用いる材料
　※標準仕様書　6章14節により、設計基準強度18N/mm2とする。
　ただし、コンクリートが簡易な場合の調合(容積比)は、セメント１：砂２：砂利４程度とする。
　・図示

凍上抑制層の厚さ　・図示　・　(21.2.2)(表21.2.2)
凍上抑制層に用いる材料　・
砂の粒度試験　・行う　・行わない

## ② 鋳鉄製ふた

(21.2.1)

| 名称 | 種類 | 適用荷重 | 鍵 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 鋳鉄製マンホールふた | ・水封形<br>・簡易密閉形（パッキン式）<br>⊙密閉形（テーパ・パッキン式）<br>・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式）<br>・RS-VU G | ・Ｔ－２用<br>・Ｔ－６用<br>⊙Ｔ－２０用<br>・ | ⊙有り<br>・無し | 左記以外の品質等は、（公社）空気調和衛生工学会SHASE-S209による。 |

## ③ グレーチング

(21.2.1)

| 材質 | 形式 | 用途 | 適用荷重 | ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ | 亜鉛めっき（付着量） | 上面形状 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ⊙鋼製 | ・受枠付きボルト固定<br>・ | ・溝ふた（横断用）<br>・溝ふた（側溝用）<br>⊙桝ふた用<br>・Ｕ字溝用 | ⊙歩行用 | ⊙普通目<br>・ | ・（　　）<br>・ | ・凹凸形<br>・ |
| | | | ・T-2用<br>・T-6用<br>・T-14用<br>・T-20用 | ・普通目<br>・細目 | ・（　　）<br>・ | ・平形<br>・ |
| ⊙ステンレス製 | ⊙受枠付きボルト固定<br>・ | ⊙溝ふた（横断用）<br>・溝ふた（側溝用）<br>・桝ふた用<br>・Ｕ字溝用 | ⊙歩行用 | ⊙細目 | ー | ・凹凸形<br>・ |
| | | | ・T-2用<br>・T-6用<br>・T-14用<br>⊙T-20用 | | | ・平形<br>・ |
| ⊙鋳鉄製 | ⊙3点固定式 | ⊙溝ふた（横断用） | ⊙T-20用 | | ※ﾄﾗｲｵﾞｯﾄﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ同等品 | |

## ④ 街きょ、縁石、側溝

(21.3.1)(表21.3.1)

| 種類 | 形状、寸法 |
|---|---|
| ⊙縁石 | ⊙図示　・ |
| ・Ｌ形側溝 | ・図示　・ |
| ・Ｕ形側溝 | ・図示　・ |
| ・Ｕ形側溝ふた | ・図示　・ |
| ⊙境界石 | ⊙100×100×600　・ |

地業の材料　※標準仕様書(4.6.2)(a)による　・図示
砂利地業の厚さ　※100(mm)　・図示
コンクリート基礎等に用いる材料
　※標準仕様書　6章14節により、設計基準強度18N/mm²とする。
　ただし、コンクリートが簡易な場合の調合（容積比）
　セメント１：砂２：砂利４程度とする。
　・図示
凍上抑制層の厚さ　・図示　・　(21.2.2)(表21.2.2)
凍上抑制層に用いる材料　・
砂の粒度試験　・行う　・行わない

## ⑤ 埋戻し土

※Ｂ種　・　(21.2.1)

# 22 舗装工事

## ① 路床

(22.2.2、3、5)(表22.2.1)

路床の材料

| 種別 | 材料 | 厚さ(mm) |
|---|---|---|
| ⊙盛土 | ・Ａ種　⊙Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種<br>・建設汚泥から再生した処理土 G | ・図示<br>・ |
| ⊙凍上抑制層 | ⊙再生クラッシャラン G　・クラッシャラン<br>・切込み砂利<br>・川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量6%以下）<br>・ | ・図示<br>・ |
| ⊙フィルター層 | ⊙川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量6%以下）<br>・ | ・図示<br>・ |

路床安定処理
　・添加材料による安定処理
　　種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントＢ種 G
　　・フライアッシュセメントＢ種
　　・生石灰（・特号　・1号）　・消石灰（・特号　・1号）
　　・固化材（・セメント系　・石灰系）
　　添加量　kg/m³（目標CBR　・5以上　・　　）
　・路床置換処理
置換厚さ　※図示　・
置換材料の種類、品質　※図示　・

・不織布（ジオテキスタイル）
　単位面積質量　・60g/m²以上　・
　厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
　引張強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
　透水係数　・1.5×10-1cm/sec以上　・

試験
　砂の粒度試験　・行う　・行わない
　路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　・行う（　　箇所）　・行わない
　現場ＣＢＲ試験　⊙行う（　　箇所）　・行わない
　安定処理土のＣＢＲ試験　・行う（　　箇所）　・行わない
　路床締固め度の試験　・行う　・行わない
　六価クロム溶出試験　・行う　・行わない


一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEM
千葉県知事登録　No.1-1709-4702
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206　加藤 義道


| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |


本　社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1336
FAX 03-5201-1013


工事名　(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事
図名　特記仕様書（５）
S=　—
DATE　******
No.　A-006

② 路盤

(22.3.2、3、5)(表22.3.1)

路盤の構成及び厚さ　⊙図示　・

路盤材料

| 種　別 | | |
|---|---|---|
| 砕　石 | ・クラッシャラン | |
| | ・粒度調整砕石 | |
| 再生材 | ⊙クラッシャラン G | |
| | ⊙粒度調整砕石 G | |
| ・クラッシャラン鉄鋼スラグ G | | |
| ・粒度調整鉄鋼スラグ G | | |
| ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G | | |

試験

路盤締固め度の試験　※行う　・行わない

3　アスファルト舗装

(22.4.2～6)(表22.4.4、5)

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示　・

材料

アスファルト　・再生アスファルト G　・ストレートアスファルト

骨材　・道路用砕石

・アスファルトコンクリート再生骨材 G

加熱アスファルト混合物等の種類

| 区分 | 地域 | 種類 |
|---|---|---|
| ・表層 | ・一般地域 | ・密粒度アスファルト混合物（１３） |
| | | ・細粒度アスファルト混合物（１３） |
| | ・寒冷地域 | ・密粒度アスファルト混合物（１３Ｆ） |
| ・基層 | 一般及び寒冷地域 | 粗粒度アスファルト混合物（２０） |

配合

| ふるいの呼び名 | ふるい通過質量百分率（%）<br>粗粒度アスファルト混合物(20) |
|---|---|
| 26.5　mm | 100 |
| 19.0　mm | 95～100 |
| 13.2　mm | 70～90 |
| 4.75　mm | 35～55 |
| 2.36　mm | 20～35 |
| 600　μm | 11～23 |
| 300　μm | 5～16 |
| 150　μm | 4～12 |
| 75　μm | 2～7 |
| アスファルト量（%） | 4.5～6.0 |

シールコートの施工　・行う　・行わない

試験

アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度

④ コンクリート舗装

(22.5.2～4、6)(表22.5.1、3)(図22.5.1)

コンクリート舗装の構成及び厚さ

| 区分 | 部位 | 構成 | 厚さ(mm) |
|---|---|---|---|
| コンクリート版 | ⊙車路、駐車場 | ※図示 | ⊙150　・200 |
| | ・歩行者用通路 | ※図示 | ※　70　・ |

縁部立下り寸法等　・図示

材料

コンクリート　⊙標準仕様書22.5.1による　・

早強セメント　・使用する　・使用しない

注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ

アスファルト乳剤

⊙プライムコート(1.5L/㎡)

溶接金網

敷設位置　※ｺﾝｸﾘｰﾄ版厚150mmの場合は、1/2程度の位置とする

※コンクリート版厚200mmの場合は、表面から1/3程度の位置とする

・図示

目地

種類、間隔、構造　※標準仕様書表22.5.4及び図22.5.1による　・図示

舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度

5　カラー舗装

(22.6.2～6)(表22.6.2)

| 区分 | 種　類 | | 部　位 | 厚さ(mm) |
|---|---|---|---|---|
| 表層 | ・加熱アスファルト混合物<br>・石油樹脂系混合物 | ・カラー骨材舗装<br>・ﾍﾟﾝｶﾞﾗ混入ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装<br>・樹脂系混合式舗装 | ・車路、駐車場 | 50 |
| | | | ・歩行者用通路 | 30 |

・加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による

材料

添加する材料　・着色骨材（　　）　・自然石（　　）

配合

結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量　・

・カラー舗装（常温系）の構成及び厚さ　※図示

| カラー舗装材 | 区分 | 種　類 | 部　位 | 厚さ(mm) |
|---|---|---|---|---|
| ・塗布式樹脂舗装<br>・ニート式舗装 | 表層 | ・加熱アスファルト混合物 | ・車路、駐車場 | 50 |
| | | | ・歩行者用通路 | 30 |
| | | ・コンクリート版 | ・車路、駐車場 | ・150・200 |
| | | | ・歩行者用通路 | 70 |

加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による

コンクリート版は、コンクリート舗装による

配合

ニート舗装及び塗布式樹脂舗装の配合等

⑥ 透水性舗装

透水性舗装構成及び厚さ　※図示

| 区分 | 種類 | 部位 | 厚さ(mm) |
|---|---|---|---|
| 表層 | ・改質アスファルトⅠ型 | 車路、駐車場 | 50 |
| | ⊙透水性用開粒度アスファルト | 歩行者用通路 | 30 |
| | ・透水性コンクリート | | 70 |
| | ・透水性インターロッキングブロック | ・車路、駐車場 | 80 |
| | | ・歩行者用通路 | 60 |
| 敷砂層 | ・砂 | ・車路、駐車場 | 20 |
| | | ・歩行者用通路 | 30 |
| フィルター層 | 川砂、海砂又は良質な山砂 | | 150 |
| | (75μmふるい通過料6%以下) | | |

アスファルト乳剤（プライムコート）の施工は行わない。

⊙透水性アスファルト舗装

・ポーラスアスファルト混合物(13)　⊙開粒度アスファルト混合物(13)

配合　(表22.7.1)

| ふるいの呼び名 | ふるいの通過質量百分率（%） | |
|---|---|---|
| | 車路、駐車場 | 歩行者用通路 |
| 19mm | 100 | 100 |
| 13.2mm | 90～100 | 95～100 |
| 4.75mm | 11～35 | 20～36 |
| 2.36mm | 10～20 | 12～25 |
| 300μm | ― | 5～13 |
| 75μm | 3～7 | 3～6 |
| アスファルト量（%） | 4～6 | 3.5～5.5 |

基準値　(表22.7.2)

| 項目 | 基準値 | |
|---|---|---|
| | ・車路、駐車場 | ・歩行者用通路 |
| 最大粒径（mm） | 13 | |
| 安定度　(kN) | 3.43以上 | 3.0以上 |
| フロー値　(1/100cm) | ― | 20～40 |
| 空隙率　(%) | 20程度 | 12以上 |
| 動的安定度　(回/mm) | 3,000以上 | ― |
| 透水係数　(cm/s) | $1\times10^{-2}$以上 | |

試験

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

・不織布（ジオテキスタイル）

敷設位置　※フィルター層と路床の間に敷設　・図示

舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの　・

・透水性コンクリート舗装　(22.5.2～4、6)

コンクリート舗装に対する基準値

| 項目 | 基準値 |
|---|---|
| 最大粒径　(mm) | 13 |
| 空隙率　(%) | 20以上 |
| 透水係数　(cm/s) | $1\times10^{-2}$以上 |
| 目地の間隔 | 版厚の20倍程度 |

構成、厚さはコンクリート舗装による

・不織布（ジオテキスタイル）

敷設位置　※フィルター層と路床の間の敷設　・図示

・透水性コンクリート平板舗装　(22.8.2、3)

透水性コンクリート平板舗装は、ブロック系舗装による

・透水性インターロッキングブロック舗装　(22.8.2、3)

透水性インターロッキングブロック舗装は、ブロック系舗装による

7　半たわみ性舗装

半たわみ舗装（車路、駐車場）の構成及び厚さ　※図示　(22.3.2、3、5)(表22.3.1)

| 区分 | 種類 | 厚さ(mm) |
|---|---|---|
| 表層 | 半たわみ性舗装用アスファルト混合物Ⅰ型(13) | 40 |
| 基層 | 再生粗粒度アスファルト混合物(20) | 40 |

試験

半たわみ性舗装用アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

材料

浸透用セメントミルクの標準的な性状

| 項目 | 性状 | 試験方法 |
|---|---|---|
| フロー値(アロート)砂 | 10～14 | 舗装調査・試験法便覧（C041） |
| 圧縮強度(７日養生)　MPa | 9.8～29.4 | JIS　R　5201 |
| 曲げ強度(７日養生)　MPa | 2.0以上 | 舗装調査・試験法便覧（C041） |

配合

半たわみ性舗装用アスファルト混合物の標準配合

| ふるいの呼び名 | ふるい通過質量百分率（%） |
|---|---|
| 19.0　mm | 100 |
| 13.2　mm | 95～100 |
| 4.75　mm | 10～35 |
| 2.36　mm | 5～22 |
| 600　μm | 4～12 |
| 300　μm | 3～12 |
| 75　μm | 1～6 |
| アスファルト量（%） | 3～4.5 |

半たわみ性舗装用アスファルト混合物のマーシャル安定度試験に対する基準値

| 項目 | 基準値 |
|---|---|
| 密度　(g/cm3) | 1.9以上 |
| 安定度　(kN) | 2.94以上 |
| フロー値　(1/100cm) | 20～40 |
| 空隙率　(%) | 20～28 |
| 突固め回数　(回) | 50 |

施工

アスファルト混合物等の施工は、標準仕様書22.4.5による。

浸透用セメントミルクの施工は、(1)から(5)による

(1) 浸透用セメントミルクの製造は、一般に移動式ミキサによって行うが、工事規模が大きい場合には専用の移動式や固定式の混合プラントを用いることもある。

(2) 浸透用セメントミルクの施工は、一般に舗装体表面の温度が50℃程度以下になってから行う。その場合、舗装体にごみ、泥、水などが残っていないことを確認する。浸透作業は、一般に振動ローラ等により行う。

(3) セメントミルクが舗装表面に残っていると、路面のすべり抵抗値を低下させることがあるので、舗装表面の骨材の凹凸が現れる程度にセメントミルクをゴムレーキ等で除去する。特にすべり止め対策を必要とするところは、硅砂の使用及び余剰セメントミルクのよりいっそうの除去等、材料や施工法等で対処するか、場合によっては施工後ショットブラスト等で表面を粗くすることが必要である。

(4) 交通開放までの一般的な養生期間は、下表に示すとおりである。

| セメントミルクの種類 | 養生期間 |
|---|---|
| 普通タイプ | 約 3 日 |
| 早強タイプ | 約 1 日 |
| 超速硬タイプ | 約 3 時間 |

(5) 浸透用セメントミルクを注入する前に交通開放すると、骨材の剥奪や飛散、またはごみ、泥等による汚れが生じることがあるので、基本的には注入前に交通開放を行わないようにする。

試験

締固め度　標準仕様書22.4.2(b)による

舗装厚さの許容差　※標準仕様書 22.4.2(c) による

舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度

8　弾性舗装

(22.4.2～6)（表22.4.2～6）

弾性舗装（歩行者用通路）の構成及び厚さ　※図示

| 区分 | 種類 | 厚さ(mm) |
|---|---|---|
| 表層 | 弾性舗装材 | 15～20 |
| 基層 | 再生密粒度アスファルト混合物 (13) | 30 |

加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による

9　ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装（歩行者用通路）の構成及び厚さ　※図示　(22.9.2、3)

| 種類 | 寸法(mm) | 厚さ(mm) | 目地材 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ※普通平板（N）<br>・透水平板（P）<br>・ | ※300角<br>・ | ※60 | ※砂<br>・モルタル | 表面加工<br>・研ぎ出し<br>・洗い出し<br>・たたき出し |

歩行者用通路に使用する普通平板は G（再生材料を用いた舗装用ブロック）、透水平板はG（透水性コンクリート）とする。

仕上り面の平たん性　※ 走行、歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm 以内とする。

・インターロッキングブロック舗装の構成及び厚さ　※図示

| 種　類 | 部位 | 厚さ(mm) | 曲げ強度(N/mm²) | 横断面勾配 | 目地材 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・ 普通ブロック(N)<br>・ 透水性ブロック（P） | ・車路、駐車場 | 80 | 5.0以上 | 2% | 砂 | 色彩、表面加工<br>・ 標準品<br>・ |
| | ・歩行者用通路 | 60 | 3.0以上 | 1.5～2% | | |

| 区　分 | 部位 | 厚さ(mm) | 種　類 |
|---|---|---|---|
| 敷砂層 | ・車路、駐車場 | 20 | 砂 |
| | ・歩行者用通路 | 30 | |
| フィルター層 | | 100 | 川砂、海砂又は良質な山砂<br>(75μmふるい通過量6%以下) |

歩行者用通路に使用するブロックは G（再生材料を用いた舗装用ブロック）、透水性ブロックは G（透水性コンクリート）とする。

・ 不織布（ジオテキスタイル）

敷設位置　※図示

・敷砂層と路盤の間に敷設

・フィルター層と路床の間に敷設

舗装の割付（車路、駐車場）　・ヘリンボンボンド(45°)・ヘリンボンボンド(90°)

仕上り面の平たん性　※ 走行、歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm 以内とする。

・ 舗石（歩行者用通路）舗装の構成及び厚さ　※図示

| 種　類 | 寸法(mm) | 厚さ(mm) | 目地材 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ※ 小舗石（花こう岩）<br>・ | ・ | ・ | ﾓﾙﾀﾙ | ・ うろこ張り<br>・ |

| 区　分 | 種　類 | 厚さ(mm) | 備考 |
|---|---|---|---|
| 敷砂層 | ※砂　・空練りﾓﾙﾀﾙ | 30 | |
| 基層 | ・コンクリート版 | 70 | |
| | ・再生粗粒度アスファルト混合物（20） | 50 | |

コンクリート版は、コンクリート舗装による

加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による

仕上り面の平たん性　※ 歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm 以内とする。

⑩ 砂利敷き

⑪ 路面標示用塗料

(22.9.2)

種別

・Ａ種（施工範囲：・図示　・通路　・　）

⊙Ｂ種（施工範囲：⊙図示　・建物周囲　・　）

JIS K 5665(路面標示用塗料）による

| 種類 | 施工 | 適用 | 色 | 幅(mm) | 塗布厚さ(mm) |
|---|---|---|---|---|---|
| ・１種 G | 常温 | 液状 | ⊙白<br>・ | ⊙150<br>・100 | ⊙1.0<br>・ |
| ・２種 G | 加熱 | | | | |
| ※3種1号 | 溶融 | 粉体状 | | | |

G 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

23 植栽及び屋上緑化工事

① 植栽地の確認等

(23.1.3)

土壌の水素イオン濃度（pH）試験　⊙行う　・行わない

電気伝導度（EC）の試験　・行う　⊙行わない

② 植栽基盤の整備

| 植栽 | 工法 | 有効土層の厚さ(cm) | 整備範囲 | 土壌改良材 |
|---|---|---|---|---|
| ⊙樹木 | ※Ａ種<br>・Ｂ種<br>・Ｃ種<br>・Ｄ種 | 樹高12m以上<br>（※100　・120　・150）<br>樹高7m以上～12m未満<br>（※80　・100）<br>樹高3m以上～7m未満<br>（※60　・80）<br>樹高3m未満<br>（※50　・60） | ・葉張り部分<br>⊙植栽部分<br>・図示<br>・ | ・適用する<br>⊙適用しない |
| ※芝、地被類 | ※Ｂ種<br>・ | ※20<br>・ | ・植栽部分<br>・図示<br>・ | ・適用する<br>・適用しない |

植栽基盤の排水設備　・設ける（※図示　・　）　⊙設けない

③ 植込み用土

※現場発生土の良質土　⊙客土　(23.2.3)

4　土壌改良材

(23.2.3)

・バーク堆肥 G

施工箇所　※植栽範囲　・図示

使用量　植栽基盤面積１㎡あたり（・50L　・　）

・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト） G

施工箇所　※植栽範囲　・図示

使用量　植栽基盤面積１㎡あたり（・10L　・　）

材料

「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする。

⑤ 樹木

(23.3.2)

樹種、寸法、株立数等　※図示　・

6　支柱

(23.3.2、3)

支柱材　※丸太（間伐材）G　・真竹

防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　・

形式　・図示　・

7　幹巻き用材料

材料　(23.3.2)

※幹巻き用テープ　・わら及びこも

8　芝

(23.4.2、3)

種類　※コウライシバ　・ノシバ　・

芝張りの工法

平地　※目地張り　・べた張り

法面　・目地張り　※べた張り

9　吹付けは種

(23.4.2)

| 種子の種類 | 発芽率 | 種子の量（g/㎡） | 備考 |
|---|---|---|---|
| ※洋芝類（採取後２年以内）<br>・ | ※発芽率80%以上 | | |

⑩ 地被類

(23.4.2)

| 樹種 | コンテナ径 | 単位面積当たりのコンテナ数 | 芽立数 |
|---|---|---|---|
| ・ | | | |
| ・ | | | |

⑪ 新植、移植樹木、芝等の枯補償

(23.3.4、6)(23.4.7)

新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間

※引渡しの日から１年　・無し

移植樹木の枯損処置を行う期間

※引渡しの日から１年　・無し

12　屋上緑化 G

植栽基盤及び材料　(23.5.2、3)

・屋上緑化システム

土壌層の厚さ　・図示　・

排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　）　・板状成型品

植込み用土　※改良土　・人工軽量土

樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等　※図示　・

見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※図示　・

・屋上緑化軽量システム

樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等　※図示　・

見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※図示　・

工法　(23.5.4)

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

支柱　・設置する（形式　・図示　・　）

かん水装置　・設置する（種類　・　）

24 ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定

① ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定

※　測定する　・測定しない

測定する場合は以下による

1　測定室

⊙測定室は、監督員の指定する室（５　室）とする。　・図示による

2　測定時期　※工事完了後

3　検査項目、検査方法及び判定基準

1）検査項目は、以下ア）～カ）の６品目とする。

ア）ホルムアルデヒド

イ）トルエン

ウ）キシレン

エ）エチルベンゼン

オ）スチレン

カ）パラジクロロベンゼン

2）検査方法

①検体の採取方法は吸引方式（アクティブ法）または拡散方式（パッシブ法）による。

②ホルムアルデヒドについては以下のいづれかの方法による。

・ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着／溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法（以下ＨＰＬＣ）により行うものとする。

・パッシブ採取機器により採取し、ＨＰＬＣまたはガスクロマトグラフ法（以下ＧＣ）あるいはＡＨＭＴ－吸光光度法（以下ＡＨＭＴ－Ａｂｓ）のうち採取機器に適応した分析法による。

③トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンについては以下のいづれかの。方法による。

・固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法の３種の方法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ／質量分析法（以下ＧＣ／ＭＳ）により行うものとする。

・パッシブ採取機器により採取しＧＣまたはＧＣ／ＭＳのうち採取機器に適応した分析法による。

3）判定基準

厚生労働省が定める指針値以下とする。（量単位の換算は２５℃）

ア）ホルムアルデヒトは、100μg/m³（0.08ppm）以下であること。

イ）トルエンは、260μg/m³（0.07ppm）以下であること。

ウ）キシレンは、870μg/m³（0.20ppm）以下であること。

エ）エチルベンゼンは、3,800μg/m³（0.88ppm）以下であること。

オ）スチレンは、220μg/m³（0.05ppm）以下であること。

カ）パラジクロロベンゼンは、240μg/m³（0.04ppm）以下であること。

4　採取及び分析

採取及び分析する者は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者とする。

5　報告書

報告書は、監督員に２部提出するものとする。


一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&STUDIOS

千葉県知事登録　No.1-1709-4702

株式会社　カトウ建築事務所

一級建築士 NO.130206　加藤 義道

本　社　千葉市中央区栄町36番10号　TEL 043-201-1277　FAX 043-201-1280

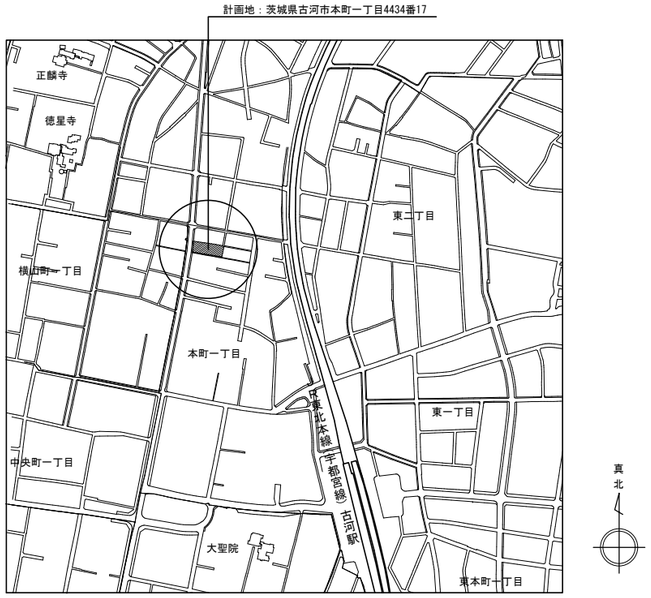
東京事務所　東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号　TEL 03-3510-1330　FAX 03-5201-1013


| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |

工事名　(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事

図名　特記仕様書（６）

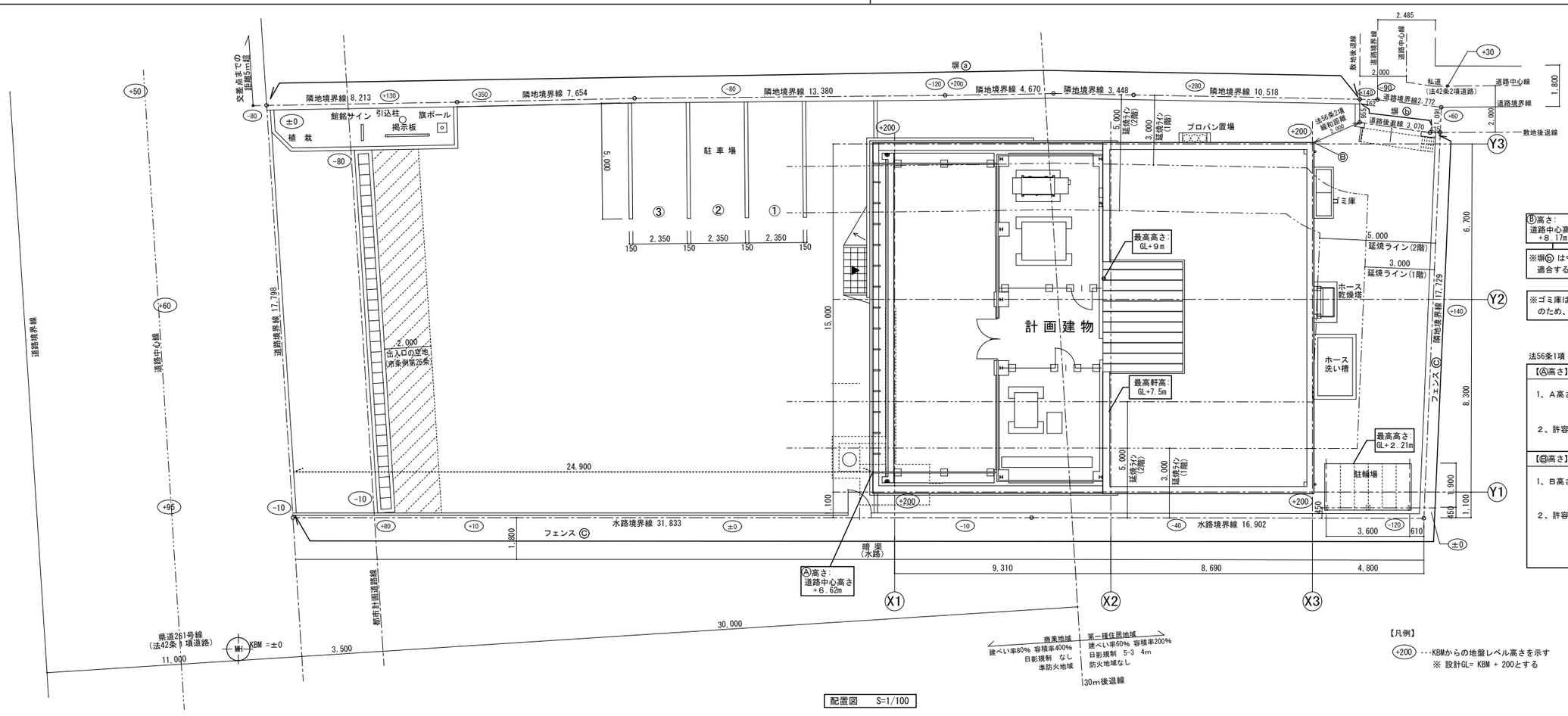
S=　―　DATE　******　No.　A-007




案内図　S=1/5,000

| 敷　地　概　要 | | | |
|---|---|---|---|
| 計　画　地 | 古河市本町一丁目4434番17 | | |
| 敷地面積 | 現況敷地 897.81 ㎡　/　私道側敷地後退後 面積　894.03 ㎡ | | |
| 前面道路 | 法42条1項1号 幅員11m（都市計画道路 横山大山線ー 計画決定）<br>法42条　2項 幅員 2.5m（現況） | | |
| 用途地域 | 計画道路より30m以内 | 商業地域　400%／80% | |
| | 計画道路より30m超え | 第1種住居地域　200%／60% | |
| 防火地域 | 計画道路より30m以内 | 準防火地域 | |
| 日影規制 | 計画道路より30m以内 | なし | |
| | 計画道路より30m超え | 5時間 ー 3時間（測定面4m） | |
| 地域地区 | 計画道路より30m以内 | | |
| | 計画道路より30m超え | 法22条区域 | |

| 計　画　概　要 | | | |
|---|---|---|---|
| 用　　途 | 消防署（出張所） | | |
| 規　　模 | 地上２階建 | | |
| 構　　造 | 鉄骨造 | | |
| 最高高さ | 9.00 m | | |
| 軒　　高 | 7.50 m | | |
| 建築面積 | 280.52 ㎡ | 建ぺい率 | 31.37 % |
| 延床面積 | 410.94 ㎡（容積率対象 328.92 ㎡） | 容積率 | 36.79 % |




配置図　S=1/100

Ⓑ高さ：道路中心高さ+8.17m

※塀Ⓑは令130条の12の三号に適合する構造とする。

※ゴミ庫は高さ1,400未満のため、非建築物である。

法56条1項 斜線検討式

【Ⓐ高さ】

1、A高さ：6.47m + 0.15m = 6.62m
↑A高さ　↑0.2(GL)ー0.05(道路中心高さ)

2、許容高さ：24.9m × 1.25 = 31.125m
↑境界線までの水平距離

【Ⓑ高さ】

1、B高さ：8.00m + 0.17m = 8.17m
↑B高さ　↑0.2(GL)ー0.03(道路中心高さ)

2、許容高さ：8.00m × 1.25 = 10.00m
↑境界線までの水平距離
・法56条2項緩和距離2m
・道路幅員4m
・対面側後退距離 2m

【凡例】

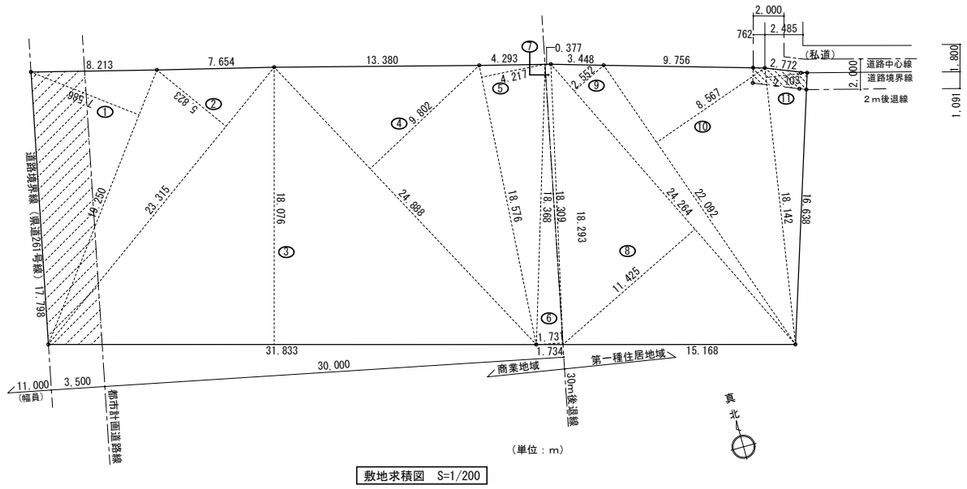
+200 ・・・KBMからの地盤レベル高さを示す
※ 設計GL= KBM + 200とする

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&ASSOCIATES 株式会社 カトウ建築事務所<br>一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | 千葉県知事登録 No.1-1709-4702 | APPR | CHKD | DRAWN | 本　社 千葉市中央区栄町36番10号 TEL 043-201-1277 FAX 043-201-1280<br>東京事務所 東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号 TEL 03-3510-1336 FAX 03-5201-1013 |

| | |
|---|---|
| 工事名 | (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 |
| 図名 | 案内図・配置図 |
| S | A1:1/5,000,100 A3:1/10,000,200 |
| DATE | ****** |
| No. | A-008 |

## 敷地面積 求積図

S=1/200、S=1/50




敷地求積図 S=1/200

面積算定表　　面積単位：㎡

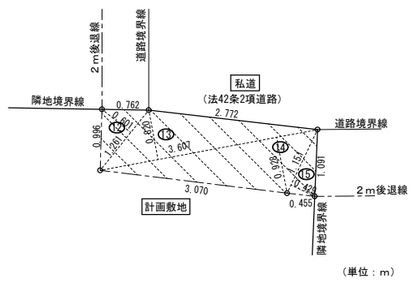
| | ①商業地域 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 番号 | 底辺(m) | 高さ(m) | 倍面積 |
| 現況敷地 | 1 | 19.250 | 7.586 | 146.0305 |
| | 2 | 23.315 | 5.823 | 135.7632 |
| | 3 | 31.833 | 18.076 | 575.4133 |
| | 4 | 24.888 | 9.802 | 243.9521 |
| | 5 | 18.576 | 4.217 | 78.3349 |
| | 6 | 18.368 | 1.731 | 31.7950 |
| | 倍面積合計 | | | 1211.2890 |
| | 倍面積÷2 | | | 605.6445 |
| | 商業地域地積 | | | 605.64 |
| | ②第一種住居地域 | | | |
| | 番号 | 底辺(m) | 高さ(m) | 倍面積 |
| | 7 | 18.309 | 0.377 | 6.9024 |
| | 8 | 24.264 | 11.425 | 277.2162 |
| | 9 | 24.264 | 2.552 | 61.9217 |
| | 10 | 22.092 | 8.567 | 189.2621 |
| | 11 | 18.142 | 2.703 | 49.0378 |
| | 倍面積合計 | | | 584.3402 |
| | 倍面積÷2 | | | 292.1701 |
| | 第一種住居地積 | | | 292.17 |
| 敷地後退 | ③私道側 敷地後退 | | | |
| | 番号 | 底辺(m) | 高さ(m) | 倍面積 |
| | 12 | 1.261 | 0.601 | 0.7578 |
| | 13 | 3.607 | 0.820 | 2.9577 |
| | 14 | 3.607 | 0.928 | 3.3472 |
| | 15 | 1.151 | 0.429 | 0.4937 |
| | 倍面積合計 | | | 7.5564 |
| | 倍面積÷2 | | | 3.7782 |
| | 敷地後退面積 | | | 3.77 |

計画敷地面積

| | | |
|---|---|---|
| ①+② | 合計 | 897.8146 |
| 計画敷地面積 | | 897.81 |

2項道路後退後 敷地面積

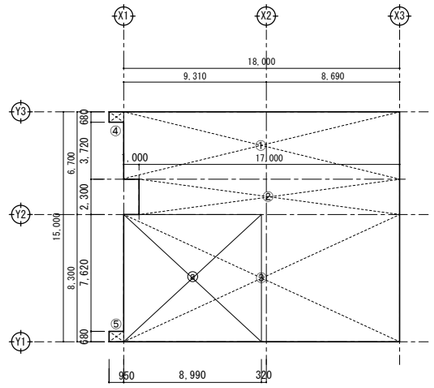
| | | |
|---|---|---|
| ①+②−③ | 合計 | 894.0364 |
| 私道側 後退後 敷地面積 | | 894.03 |



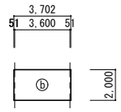

東側 2m後退 敷地求積図 S=1/50

## 床面積 求積図

S=1/200




【消防庁舎】




【駐輪場】

1階床面積 求積図 S=1/200

面積算定表　　面積単位：㎡

1階求積表

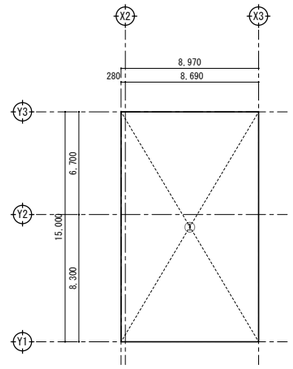
| 番号 | 計算式 | | | 計(㎡) |
|---|---|---|---|---|
| ① | 18.00 | × | 4.40 | 79.2000 |
| ② | 17.00 | × | 2.30 | 39.1000 |
| ③ | 18.00 | × | 8.30 | 149.4000 |
| ④ | 0.95 | × | 0.68 | 0.6460 |
| ⑤ | 0.95 | × | 0.68 | 0.6460 |
| 合計 | | | | 268.9920 |
| | | | | |
| | 1階床面積 | | | 268.99 |

駐輪場面積

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ⓑ | 3.702 | × | 2.00 | 7.4040 |
| 合計 | | | | 7.4040 |
| | | | | |
| 駐輪場面積 | | | | 7.40 |

法52条車庫・駐輪場面積

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ⓐ | 8.99 | × | 8.30 | 74.6170 |
| ⓑ | 3.702 | × | 2.00 | 7.4040 |
| 合計 | | | | 82.0210 |
| 車庫・駐輪場面積 | | | | 82.02 |




【消防庁舎】

2階床面積 求積図 S=1/200

面積算定表　　面積単位：㎡

2階求積表

| 番号 | 計算式 | | | 計(㎡) |
|---|---|---|---|---|
| ① | 15.00 | × | 8.97 | 134.5500 |
| 合計 | | | | 134.5500 |
| | | | | |
| | 2階床面積 | | | 134.55 |

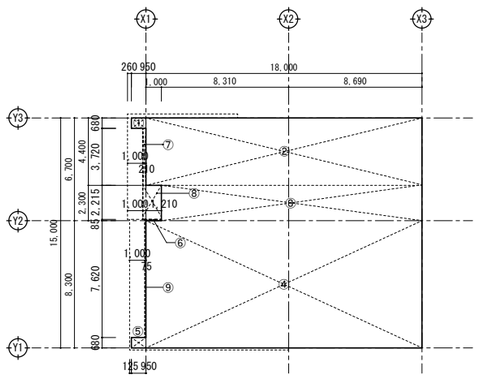
| 面積表 | |
|---|---|
| 建築面積 | 280.52 |

| 消防庁舎床面積 | |
|---|---|
| 2階床面積 | 134.55 |
| 1階床面積 | 268.99 |
| 消防庁舎床面積 | 403.54 |
| | |
| 駐輪場床面積 | |
| 1階床面積 | 7.40 |
| 延床面積 | 410.94 |

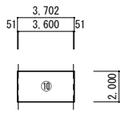
| 法52条容積率対象面積 |
|---|
| 410.94/5=82.188 (車庫等の面積 82.02) |
| ∴410.94-82.02=328.92 |

## 建築面積 求積図

S=1/200




【消防庁舎】




【駐輪場】

面積算定表　　面積単位：㎡

| 番号 | 計算式 | | | 計(㎡) |
|---|---|---|---|---|
| ① | 0.95 | × | 0.68 | 0.6460 |
| ② | 18.00 | × | 4.40 | 79.2000 |
| ③ | 17.00 | × | 2.30 | 39.1000 |
| ④ | 18.00 | × | 8.30 | 149.4000 |
| ⑤ | 0.95 | × | 0.68 | 0.6460 |
| ⑥ | 1.00 | × | 0.085 | 0.0850 |
| ⑦ | 0.21 | × | 3.72 | 0.7812 |
| ⑧ | 1.21 | × | 2.215 | 2.68015 |
| ⑨ | 0.075 | × | 7.705 | 0.577875 |
| ⑩ | 3.702 | × | 2.00 | 7.4040 |
| 合計 | | | | 280.520225 |
| | | | | |
| | 建築面積 | | | 280.52 |

建築面積 求積図 S=1/200


一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS
千葉県知事登録 No.1-1709-4702
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206 加藤 義道


| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |


本社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1335
FAX 03-5201-1013


工事名：(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事

図名：面積求積図

S A1:1/100,200 A3:1/200,400

DATE ******

No. A-009

## 外部仕上表

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 屋上（1階） | 保護ｺﾝｸﾘｰﾄ t=80(ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭφ6@100)<br>伸縮目地 既製品3m内外<br>硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ t=25<br>ｱｽﾌｧﾙﾄ防水A1-2<br>ｺﾝｸﾘｰﾄ金ごて t=80(ｽﾗﾌﾞ勾配) | 笠木<br>（車庫上） | 縞鋼板t=4.5溶融亜鉛ﾒｯｷ、一部ｱﾙﾐ既製品（300×70）<br>防水ｼｰﾄ<br>L-100×50×9 | 外壁 | 押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t=60(横張)の上、磁器質ﾀｲﾙ(接着工法)<br>一部 押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t=60(縦張)の上、複層塗材E(一部吹分)<br>中柱形：ｱﾙｺﾐﾊﾟﾈﾙt=0.2 焼付塗装<br>目隠しﾙｰﾊﾞｰ：ｱﾙﾐ押出型材25x50 @50(格子)電解二次着色、<br>胴縁 C100x50x3.2 DP<br>外壁(腰)：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放、自然石調装飾仕上塗材 化粧目地切 | 屋上<br>機械設備置場 | 壁：押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t=60 複層塗材E(一部吹分)<br>柱：角型鋼管200×200×12 溶融亜鉛めっき、L-50x50x6 溶融亜鉛めっき |
| 屋上（2階） | 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水 S-F2<br>ALCﾊﾟﾈﾙ t=100 | 笠木<br>（2F屋上） | ｱﾙﾐ既製品(300×70)<br>防水ｼｰﾄ | 外壁<br>（腰屋根） | 押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t=60(縦張)の上、複層塗材E、<br>防水立上げ、ｱﾙﾐ二重水切 | ルーフドレイン | 鋳鉄製打込型 縦型φ75<br>鋳鉄製打込型 横型φ75 |
| | | 庇 | ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t=2.0 曲げ加工<br>シール | 竪樋 | ｶﾗｰVP管φ75（SUS製支持金物共） | ホース乾燥塔 | ・電動ﾈｰｽﾘﾌﾗｰ(ﾎｰｽ10本掛)<br>・RC基礎、鉄骨控柱 |
| 越屋根 | ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.45(たてﾊｾﾞ葺)<br>ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ<br>高圧木毛・木片ｾﾒﾝﾄ板 t=20<br>母屋：C-100x50x20x2.3 @600 SOP | 手すり | φ50ｽﾁｰﾙ製 H=720 SOP | タラップ | SUSタラップ W400×@350×22φ<br>L-50x50(通シ) | 舗装 | ・ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装 t=150、溶接金網φ6(100x100)（規格C-15-20）<br>・透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装 （規格A5-15-15） |
| | | 丸環 | 既製品 SUS製φ19×R50 | アンテナマスト | SUS製ﾎﾟｰﾙ :L=2,500 φ60.5 t=3.9(別途工事) | 塀<br>フェンス | ・化粧ＣＢ塀H1,200(下部)、ｱﾙﾐﾙｰﾊﾞｰﾌｪﾝｽH800(上部)<br>・ｽﾁｰﾙ製ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽH2,000、ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ扉W900 H2,000 |
| | | | | 駆付通報ＢＯＸ | 窓付ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ:鋼板t=1.6（別途工事） | 植栽 | ・中木、低木 |

・建物に使用する材料において、建築基準法37条に該当する材料は、同条に適合する品質を確保するものとする。
・居室（ｶﾞﾗﾘ等で換気経路で居室とつながる室を含む）仕上および下地材に使用する建築材料は全てﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ発散量がＦ☆☆☆☆の規格に適合するもの、および国土交通省告示によりﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ発散建築材料に定められていないものを使用して製作されたものを使用すること。
・床下、天井裏、壁内に使用する建築材料は全て、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量がＦ☆☆☆☆以上の規格に適合するものを使用する。（材料の製作、施工に使用する接着剤類、塗装類及び、家具等を含む）
・外装ﾀｲﾙ・・・乾式工法（※ LIXILベルバーチテッセラ同等品以上）とする。
・断熱材・・・最上階ｽﾗﾌﾞ裏：硬質発泡ｳﾚﾀﾝt=25吹付とする(車庫を除く)。
　外壁裏側：硬質発泡ｳﾚﾀﾝt=25吹付とする。
　埋戻し部（居室）　：硬質ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ t=30　敷込み
　ピット部（１Ｆ厨房ｽﾗﾌﾞ裏）：硬質ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ t=30　打込み
・ALC屋根・・・2F天井裏の吊材は埋設筋工法による取付とする。
・仮眠室およびトイレ周りの間仕切壁は天井裏まで下地GB-R12.5を施工のこと

## 内部仕上表

| 階 | 室名 | 下地 | 床 | 巾木 | 下地 | 壁 | 下地 | 天井 | 天井高 | 廻縁 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ | 廻縁 ＢＯＸ | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1階 | 風除室 | RC | ﾓﾙﾀﾙ下地<br>300角 磁器質ﾀｲﾙ | SUS幅木<br>H=60 | LGS65形 | GB-R t=12.5＋9.5の上、ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板t=3<br>一部【耐火壁】GB-F t=15 ＋ｹｲｶﾙ板 t=6の上、化粧ｹｲｶﾙ板t=6(ｼﾞｮｲﾅｰ工法) | LGS | GB-R t=9.5の上、<br>岩綿吸音板 t=9 | 2,700 | 塩ビ製 | | 掲示板 |
| | 事務室 | RC | OAﾌﾛｱ下地 H=100<br>置敷ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t=5.0 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60<br>一部<br>RC下地塗床仕上H=100 | LGS65形 | GB-R t=12.5＋9.5 EP<br>一部【耐火壁】GB-F t=15 ＋ｹｲｶﾙ板 t=6 EP | LGS | GB-R t=9.5の上、<br>岩綿吸音板 t=9 | 2,700 | 塩ビ製 | アルミ製 鋼製SOP | 収納ｶｳﾝﾀｰ |
| | 書庫・倉庫１ | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 | ﾋﾞﾆﾙ幅木<br>H=60 | LGS65形 | GB-R t=12.5<br>ｹｲｶﾙ板 t=6 EP-G | LGS | GB-D t=9.5（書庫）<br>鋼板 t=4.5 SOP（倉庫１） | 2,500 | 塩ビ製 | | ｽﾁｰﾙ書棚（別途） |
| | 食堂 | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 | ﾋﾞﾆﾙ幅木<br>H=60 | LGS65形 | GB-R t=12.5＋9.5 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張<br>一部【耐火壁】GB-F t=15 ＋ｹｲｶﾙ板 t=6 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 | LGS | GB-R t=9.5の上、<br>岩綿吸音板 t=9 | 2,500 | 塩ビ製 | アルミ製 鋼製SOP | ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ |
| | 厨房 | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>厨房用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0（耐熱性、水はけ性、防滑性） | ﾋﾞﾆﾙ幅木<br>H=60 | LGS65形 | GB-S t=12.5＋化粧ｹｲｶﾙ板 t=6（ｼﾞｮｲﾅｰ工法：不燃）【不燃】<br>一部【耐火壁】GB-F t=15 ＋化粧ｹｲｶﾙ板 t=6（ｼﾞｮｲﾅｰ工法:不燃）【不燃】 | LGS | GB-R t=9.5の上、<br>岩綿吸音板 t=9【不燃】 | 2,500 | 塩ビ製 | アルミ製 鋼製SOP | ｷｯﾁﾝｾｯﾄ(L=2,700)、吊戸棚、作業台、水切棚(SUS製)<br>収納ｶｳﾝﾀｰ、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ、ｶﾞｽﾃｰﾌﾞﾙ、SUS製床見切(厨房～食堂) |
| | 倉庫２ | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 | ﾋﾞﾆﾙ幅木<br>H=60 | LGS65形 | GB-R t=12.5<br>ｹｲｶﾙ板 t=6 EP-G | LGS | GB-D t=9.5 | 2,500 | 塩ビ製 | | |
| | 男性トイレ<br>女性トイレ | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>ﾄｲﾚ用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0（防滑性、防湿性、耐尿汚染性）<br>男子のみ：一部 汚垂ﾀｲﾙ t=5.5 | ﾋﾞﾆﾙ幅木<br>H=60 | LGS65形 | GB-S t=12.5<br>化粧ｹｲｶﾙ板 t=6（ｼﾞｮｲﾅｰ工法） | LGS | GB-D t=9.5 | 2,400 | 塩ビ製 | | ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板：ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑt=20、手洗ｶｳﾝﾀｰ、化粧鏡 |
| | 車庫 | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗床(白線引:溶融式 線幅100) | RC下地塗床仕上げ<br>H=100 | LGS90形 | 外壁側：押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t=60 EP-G（腰壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 EP-G）【不燃】、<br>一部【耐火壁】GB-F t=15 ＋ｹｲｶﾙ板 t=6 EP-G【不燃】 | LGS | ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ表し | 4,850 | 塩ビ製 | | ﾎｰｽﾗｯｸ（別途） |
| | 出動準備室 | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗床 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=100<br>一部<br>RC下地塗床仕上H=100 | LGS65形 | 【耐火壁】GB-F t=15 ＋ｹｲｶﾙ板 t=6 EP-G | LGS | GB-D t=9.5 | 2,500 | 塩ビ製 | | 回転式防火衣ﾛｯｶｰ、固定式防火衣ﾛｯｶｰ、消火器BOX |
| | 救急消毒室 | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗床 | RC下地塗床仕上げ<br>H=100 | LGS65形 | 【耐火壁】GB-F t=15 ＋ｹｲｶﾙ板 t=6の上、<br>化粧ｹｲｶﾙ板 t=6（ｼｰﾘﾝｸﾞ工法） | LGS | ｹｲｶﾙ板 t=6 EP 目透し | 2,400 | 塩ビ製 | | 排水ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ、洗濯機ﾊﾟﾝ、二槽流し、汚物流し、ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板：SUS製 |
| | 資機材倉庫 | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗床 | RC下地塗床仕上げ<br>H=100<br>一部 ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=100 | LGS65形 | 外壁側：押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t=60 EP-G（腰壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放シ EP-G）、<br>一部【耐火壁】GB-F t=15 ＋ｹｲｶﾙ板 t=6 EP-G | LGS | ｹｲｶﾙ板 t=6 EP 目透し | 3,000 | 塩ビ製 | | ﾎﾞﾝﾍﾞﾗｯｸ(空気、酸素）（別途）、ﾀｲﾔﾗｯｸ（別途）、消火器置場（置き型） |
| | 油庫 | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ（水勾配） | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>H=150 | LGS65形 | 外壁側：押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t=60（腰壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放シ）<br>一部 GB-R t=12.5 の上、ｹｲｶﾙ板 t=6 EP-G | LGS | ｹｲｶﾙ板 t=6 EP | 3,000 | 塩ビ製 | | 排水溝、ため桝（格子蓋） |
| 2階 | 仮眠室 | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 | ﾋﾞﾆﾙ幅木<br>H=60 | LGS65形 | GB-R t=12.5＋9.5<br>ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 | LGS | GB-R t=9.5の上、<br>ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 | 2,500 | アルミ製 | 鋼製SOP | 化粧鏡 |
| | 多目的室 | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 | ﾋﾞﾆﾙ幅木<br>H=60 | LGS65形 | GB-R t=12.5＋9.5<br>ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 | LGS | GB-R t=9.5の上、<br>ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 | 2,500 | アルミ製 | 鋼製SOP | |
| | 倉庫３ | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 | ﾋﾞﾆﾙ幅木<br>H=60 | LGS65形 | GB-R t=12.5<br>ｹｲｶﾙ板 t=6 EP-G | LGS | GB-D t=9.5 | 2,500 | 塩ビ製 | | |
| | 洗面洗濯室 | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 | ﾋﾞﾆﾙ幅木<br>H=60 | LGS65形 | GB-S t=12.5<br>化粧ｹｲｶﾙ板 t=6（ｼﾞｮｲﾅｰ工法） | LGS | GB-D t=9.5 | 2,400 | 塩ビ製 | | 洗面ｶｳﾝﾀｰ、化粧鏡、ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板：人造大理石、隔て板<br>洗濯機ﾊﾟﾝ |
| | 脱衣室 | RC | ﾕﾆｯﾄﾌﾛｱ H=150（耐水合板t15捨貼）<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 | ﾋﾞﾆﾙ幅木<br>H=60 | LGS65形 | GB-S t=12.5<br>化粧ｹｲｶﾙ板 t=6（ｼﾞｮｲﾅｰ工法） | LGS | ｹｲｶﾙ板 t=6 EP | 2,400 | 塩ビ製 | | ﾀｵﾙ掛け |
| | 男性トイレ | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>ﾄｲﾚ用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0（防滑性、防湿性、耐尿汚染性）<br>一部 汚垂ﾀｲﾙ t=5.5 | ﾋﾞﾆﾙ幅木<br>H=60 | LGS65形 | GB-S t=12.5<br>化粧ｹｲｶﾙ板 t=6（ｼﾞｮｲﾅｰ工法） | LGS | GB-D t=9.5 | 2,400 | 塩ビ製 | | ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板：人造大理石、手洗ｶｳﾝﾀｰ、化粧鏡 |
| | 女性仮眠室 | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 | ﾋﾞﾆﾙ幅木<br>H=60 | LGS65形 | GB-R t=12.5＋9.5<br>ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 | LGS | GB-R t=9.5の上、<br>ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 | 2,500 | アルミ製 | 鋼製SOP | 姿見（400×1200）、昇降式物干、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ |
| | 女性トイレ | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>ﾄｲﾚ用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0（防滑性、防湿性、耐尿汚染性） | ﾋﾞﾆﾙ幅木<br>H=60 | LGS65形 | GB-S t=12.5＋9.5<br>ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 | LGS | GB-D t=9.5 | 2,400 | 塩ビ製 | | ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板：ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑt=20 |
| | 洗濯脱衣室 | RC | ﾕﾆｯﾄﾌﾛｱ H=150（耐水合板t15捨貼）<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 | ﾋﾞﾆﾙ幅木<br>H=60 | LGS65形 | GB-S t=12.5<br>ｹｲｶﾙ板 t=6 EP | LGS | ｹｲｶﾙ板 t=6 EP | 2,400 | 塩ビ製 | | 洗面ｶｳﾝﾀｰ、化粧鏡、洗濯機ﾊﾟﾝ、タオル掛け |
| | ユニットバス | RC | | | | | | | — | | | |
| 共通 | 廊下 | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 | ﾋﾞﾆﾙ幅木<br>H=60 | LGS65形 | GB-R t=12.5＋9.5 EP<br>一部 GB-F t=15 ＋ｹｲｶﾙ板 t=6 EP（耐火壁） | LGS | GB-D t=9.5 | 2,500 | 塩ビ製 | | 消火器BOX |
| | 階段室 | RC | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 | ﾋﾞﾆﾙ幅木<br>H=60 | LGS65形 | GB-R t=12.5＋9.5 EP | LGS | GB-D t=9.5 | — | 塩ビ製 | | 笠木：ﾀﾓ集成材t=25 CL、手すり：SUS製樹脂被覆φ40<br>ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ：SUS製W35(ｺﾞﾑ付) |

### 【防火認定材】

■外　装　(法2条1項 九の三号(ロ) → 令109条の3 一号)(法22条)(法63条)

| 適用部分 | 材料 | 仕様 | 適用告示 | 適用部分 | 材料 | 仕様 | 認定番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 車庫屋上 | 屋根：ｺﾝｸﾘｰﾄ金ごて t=80 (ｽﾗﾌﾞ勾配)<br>(仕　上：保護ｺﾝｸﾘｰﾄ t=80(ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭφ6@100)　)<br>(下　地：硬質ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ t=50　ｱｽﾌｧﾙﾄ防水A1-2) | 耐火構造 | 建設省告示1399号 第5 | 越屋根 | 仕　上：ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.45(たてﾊｾﾞ葺)<br>ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ<br>下　地：高圧木毛・木片ｾﾒﾝﾄ板 t=20<br>母　屋：C-100x50x20x2.3 @600 SOP | 耐火構造 | FP030RF-9114 |
| 2階屋上 | 屋根：軽量気泡ｺﾝｸﾘｰﾄﾊﾟﾈﾙ t=100<br>(仕　上：合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水 S-F2)<br>(ﾊﾟﾈﾙ裏：硬質発泡ｳﾚﾀﾝ t=25) | 耐火構造 | 建設省告示1399号 第5 | 外壁<br>(非耐力壁) | 押出成形ｾﾒﾝﾄ板t=60 | 耐火１時間 | FP060NE-9035 |

■車　庫　(市条例第29条の区画 )

| 適用部分 | | 材料 | 仕様 | 適用告示/認定番号 |
|---|---|---|---|---|
| 天井 | | | | |
| 壁 | 間仕切<br>(非耐力壁) | 仕上：ｹｲｶﾙ板 t=6 EP-G(ｼﾞｮｲﾅｰ工法)<br>下地：GB-F t=15 | 耐火１時間 | FP060NP-0241 |
| 床 | | 仕　上：エポキシ樹脂塗床<br>スラブ：コンクリート金ゴテ | 耐火構造 | 平12年5月1399号 |
| | | | | |

### 【不燃、準不燃材料】認定番号

| | | |
|---|---|---|
| ＧＢ－Ｒ | t= 9.5 | 準不燃ＱＭ－９８２８ |
| ＧＢ－Ｓ | t=12.5 | 準不燃ＱＭ－９６３９ |
| ＧＢ－Ｆ | t=15 | 不燃ＮＭ－８６１５ |
| ケイカル板 | t= 6 | 不燃ＮＭ－１２１７ |
| 化粧ケイカル板 | t= 6 | 不燃ＮＭ－４２２７ |
| 岩綿吸音板 | t=12 | 不燃ＮＭ－８５９９ |
| ALCパネル | t=100 | FP030RF-9320 |
| ビニルクロス | | 準不燃ＱＭ－０８２２ |

### 【記号説明】

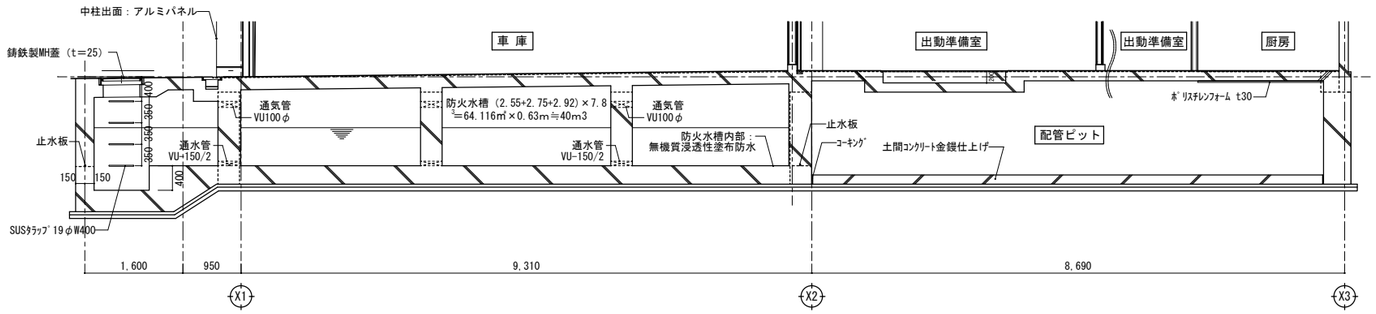
| | |
|---|---|
| ＧＢ－Ｒ | 普通せっこうボード |
| ＧＢ－Ｓ | シージングせっこうボード |
| ＧＢ－Ｆ | 強化せっこうボード |
| ＧＢ－Ｄ | 化粧せっこうボード（トラバーチン） |
| ケイカル板 | けい酸カルシウム板 |
| ＥＰ | 合成樹脂エマルションペイント塗り |
| ＣＬ | クリヤラッカー塗り |
| ＤＰ | 耐候性塗料塗り |
| ALCﾊﾟﾈﾙ | 軽量気泡ｺﾝｸﾘｰﾄ板 |


一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STORE
千葉県知事登録 No.1-1709-4702
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206 加藤 義道
本社 千葉市中央区栄町36番10号 TEL 043-201-1277 FAX 043-201-1280
東京事務所 東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号 TEL 03-3510-1336 FAX 03-5201-1013

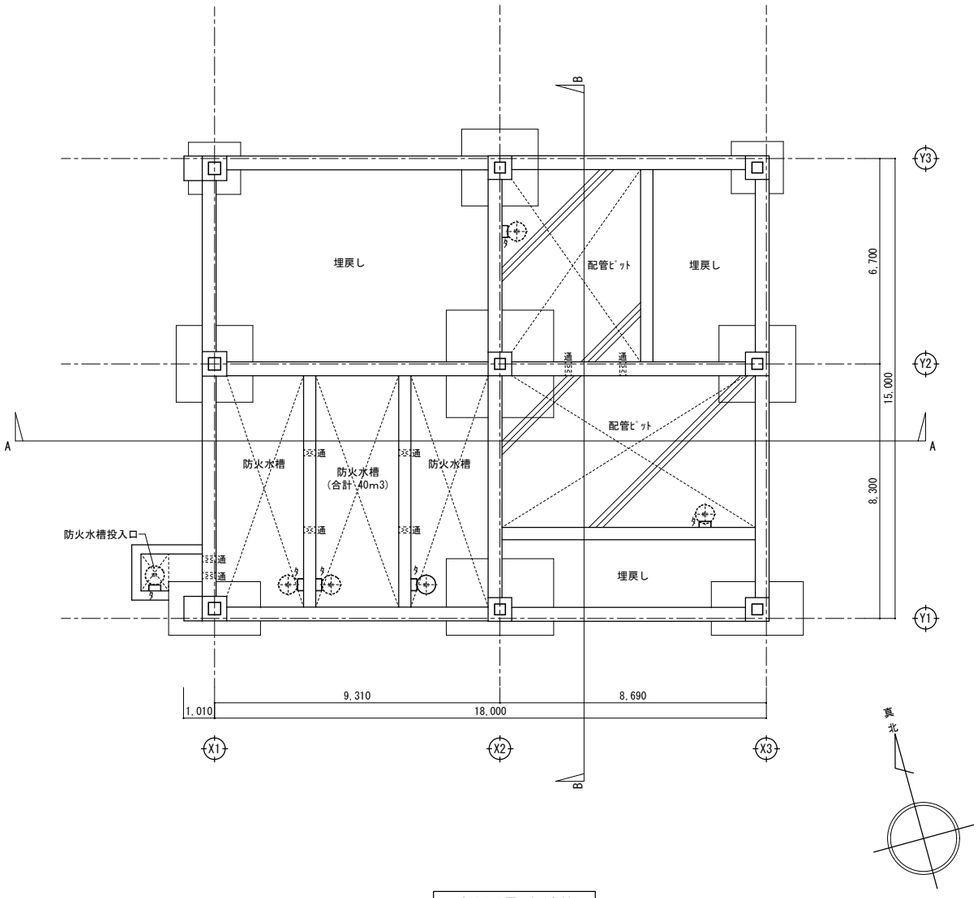

| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |

工事名：(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事
図名：仕上表
S= —
DATE ******
No. A-010

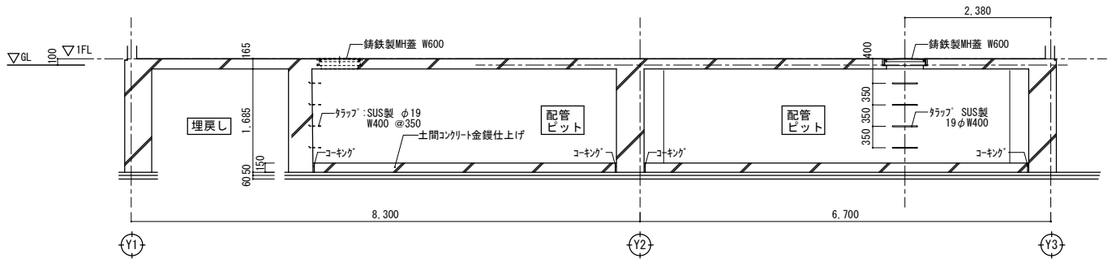
| 凡　例 | |
|---|---|
| ※通 | 上部：通気管 VU100φ　下部：通水管VU150/2φ |
| タ[ | タラップ：SUS製 φ19 W400 @350 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |




A-Aピット断面図　S=1/50



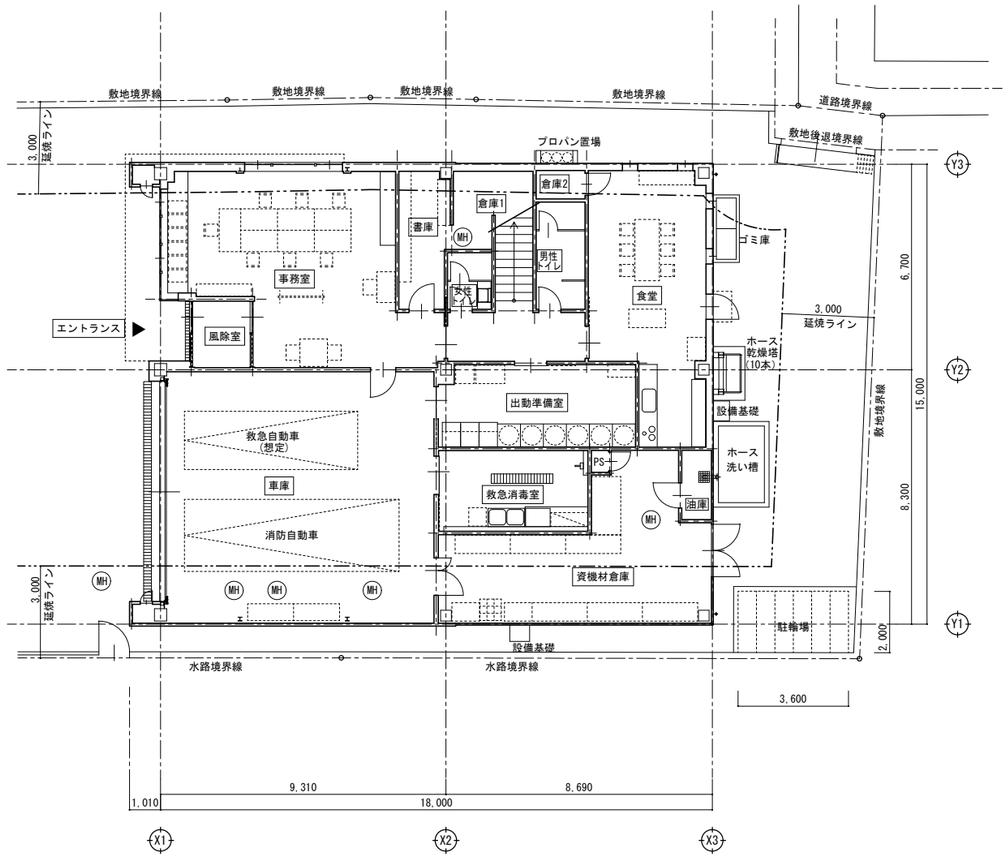

ピット平面図　S=1/100



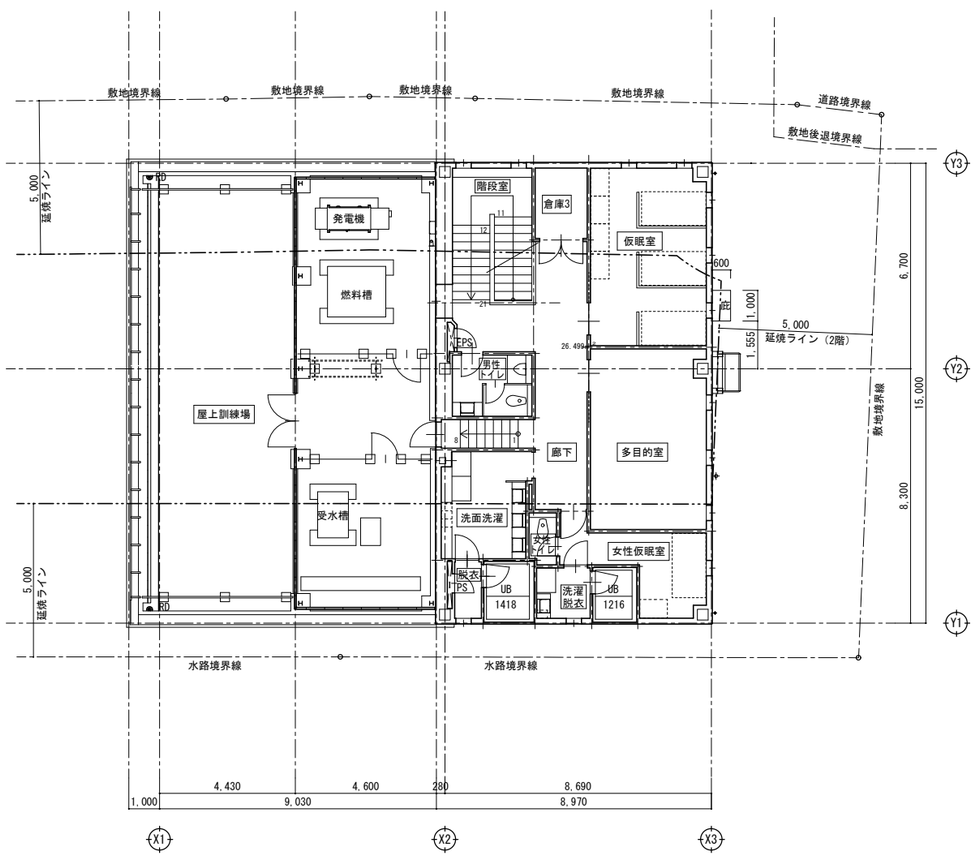

B-B ピット断面図　S=1/50

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS<br>一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | 千葉県知事登録 No.1-1709-4702<br>株式会社 カトウ建築事務所 | APPR | CHKD | DRAWN | 本　社<br>千葉市中央区栄町36番10号<br>TEL 043-201-1277<br>FAX 043-201-1280<br>東京事務所<br>東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号<br>TEL 03-3510-1336<br>FAX 03-5201-1013 |

| | |
|---|---|
| 工事名 | (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 |
| 図　名 | ピット図 |
| S= | A1：1/100<br>A3：1/200 |
| DATE | ****** |
| No. | A-011 |

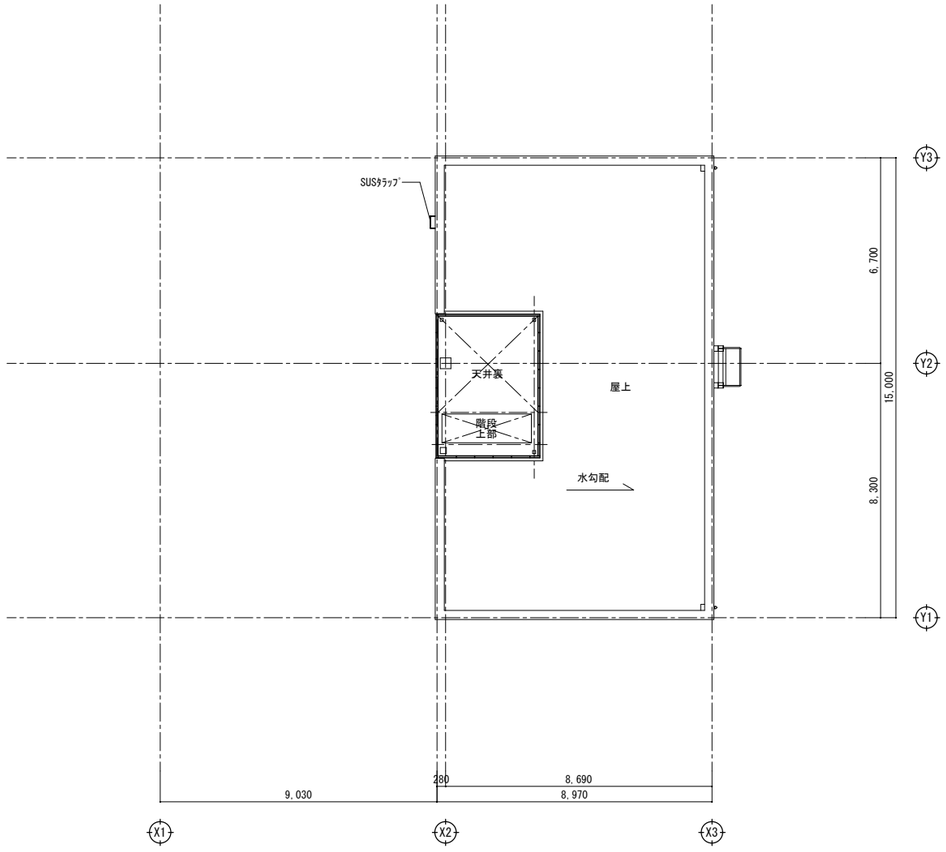



1階平面図　S=1/100

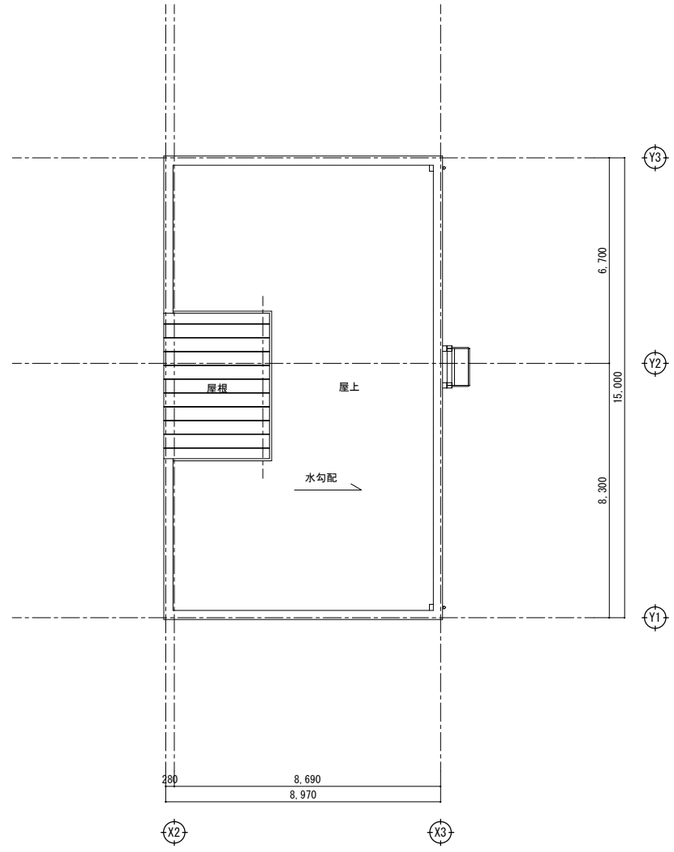



2階平面図　S=1/100

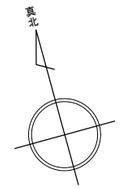
| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&ASSOCIATES 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | 千葉県知事登録 No.1-1709-4702 | APPR | CHKD | DRAWN | 本社 千葉市中央区栄町36番10号 TEL 043-201-1277 FAX 043-201-1280 東京事務所 東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号 TEL 03-3510-1336 FAX 03-5201-1013 | 工事名 (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 | S= A1：1/100 A3：1/200 |
| | | | | | | 図名 平面図（1） | DATE ****** No. A-012 |




屋階平面図　S=1/100



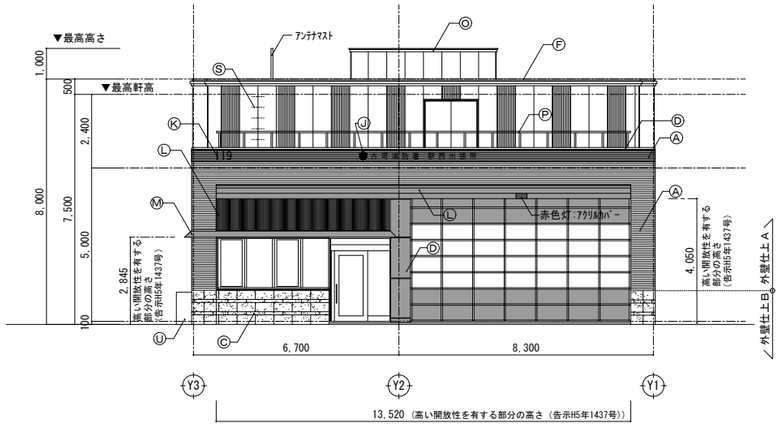

屋根伏図　S=1/100



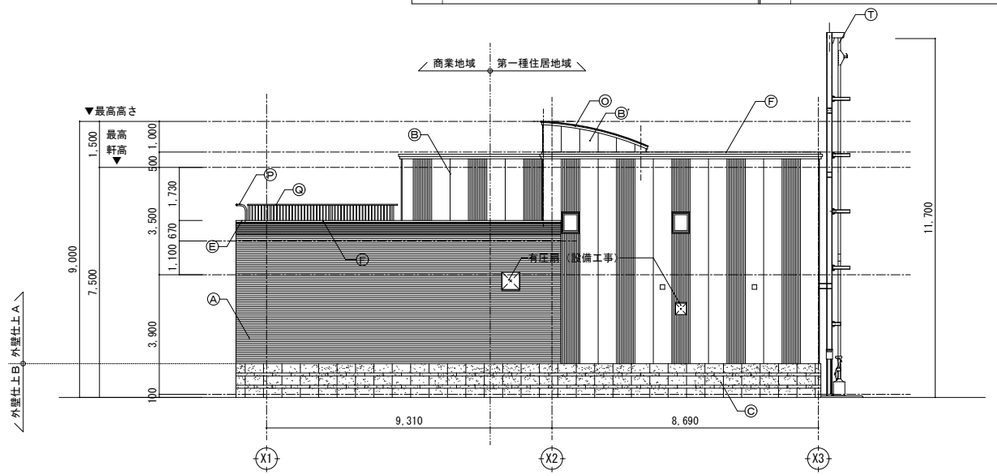

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&STUDIO 千葉県知事登録 No.1-1709-4702 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | APPR | CHKD | DRAWN | 本社 千葉市中央区栄町36番10号 TEL 043-201-1277 FAX 043-201-1280 東京事務所 東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号 TEL 03-3510-1336 FAX 03-5201-1013 | 工事名 (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 | S= A1：1/100 A3：1/200 |
| | | | | | 図名 平面図（2） | DATE ****** No. A-013 |

外壁仕上げ凡例

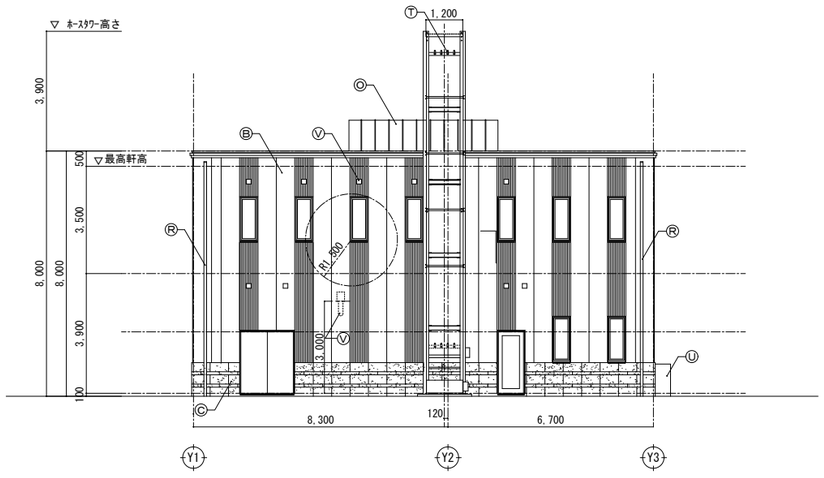
| 符号 | 仕　様 | 符号 | 仕　様 |
|---|---|---|---|
| Ⓐ | 押出成形ｾﾒﾝﾄ板t=60の上、磁器質ﾀｲﾙ | Ⓝ | ― |
| Ⓑ | 押出成形ｾﾒﾝﾄ板t=60(縦張) 複層塗材E(一部色分け) | Ⓞ | 越屋根：ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.45(たてﾊﾞｾﾞ葺) |
| Ⓑ' | 押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t=60(縦張)の上、複層塗材E | Ⓟ | 手すり：φ50ｽﾁｰﾙ製 H=720 SOP |
| Ⓒ | ｺﾝｸﾘｰﾄ打放、自然石調装飾仕上塗材 目地切 | Ⓠ | 手すり：ｱﾙﾐ製 H=720 |
| Ⓓ | 中柱形：ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=2.0　焼付塗装 | Ⓡ | 竪樋： ｶﾗｰVP管φ75 |
| Ⓔ | 笠木：縞鋼板t=4.5溶融亜鉛ﾒｯｷ | Ⓢ | ﾀﾗｯﾌﾟ |
| Ⓕ | 笠木：ｱﾙﾐ既製品W=300 | Ⓣ | ﾎｰｽ乾燥塔(ﾎｰｽ10本掛) |
| Ⓙ | 館銘ｻｲﾝ | Ⓤ | ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ置場 |
| Ⓚ | 119ｻｲﾝ | Ⓥ | ﾍﾞﾝﾁﾚｰﾀｰ(機械設備工事) |
| Ⓛ | 目隠しﾙｰﾊﾞｰ：ｱﾙﾐ押出型材25x50 @50(格子)電解二次着色 | Ⓦ | SUSﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ(機械設備工事) |
| Ⓜ | 庇、軒裏：ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=2.0 曲げ加工 | | |



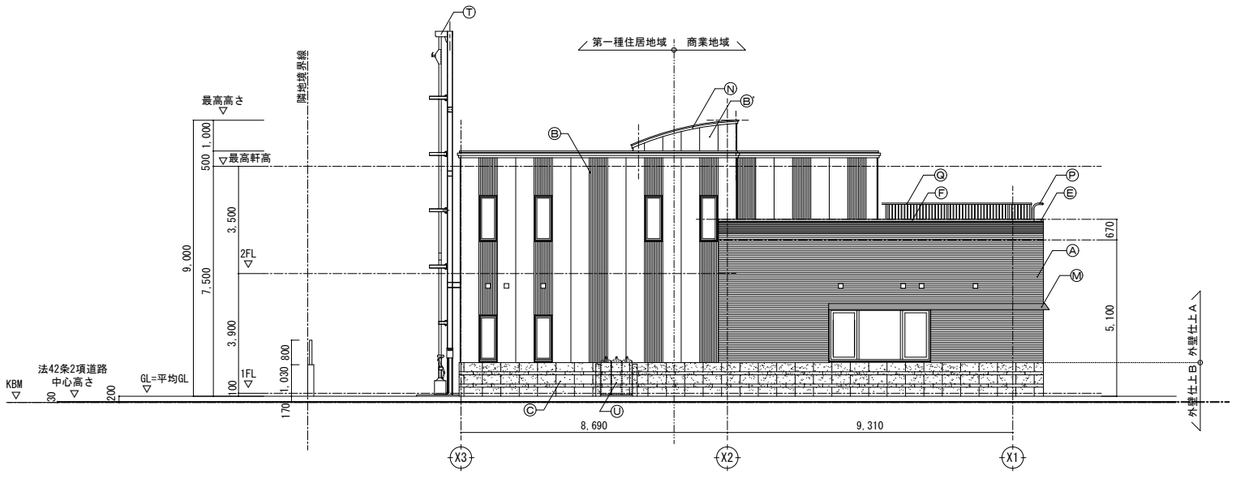

西立面図




南立面図



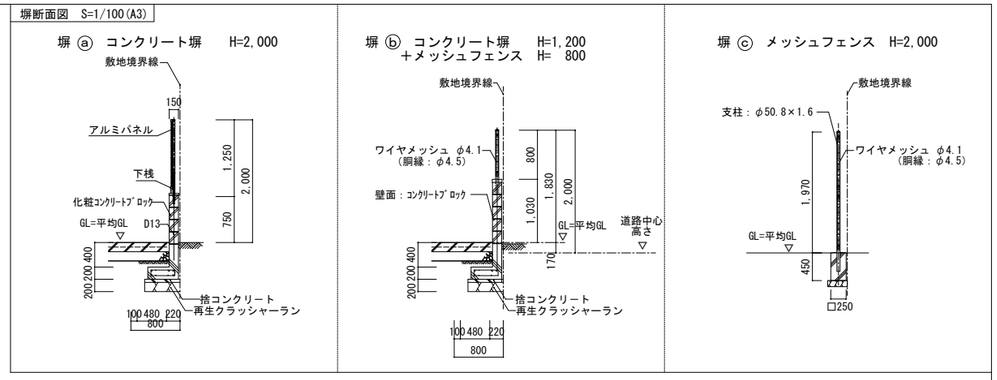

東立面図

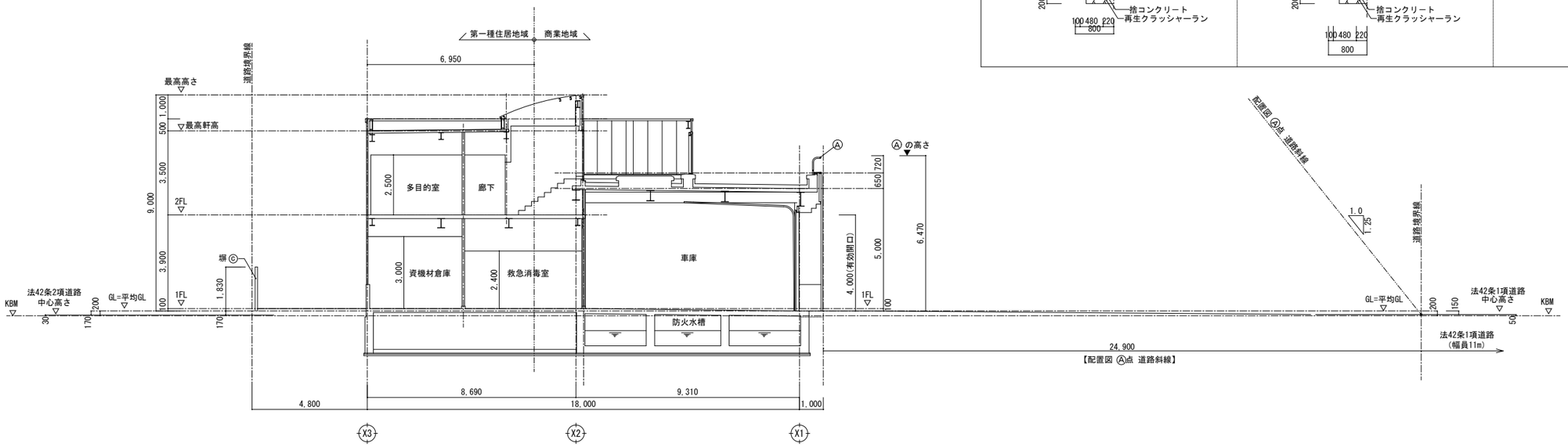



北立面図

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&DESIGNS<br>千葉県知事登録 No.1-1709-4702<br>株式会社 カトウ建築事務所<br>一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | APPR | CHKD | DRAWN | 本　社<br>千葉市中央区栄町36番10号<br>TEL 043-201-1277<br>FAX 043-201-1280<br>東京事務所<br>東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号<br>TEL 03-3510-1336<br>FAX 03-5201-1013 | 工事名<br>(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事<br>図　名<br>立面図 | S= A1：1/100<br>A3：1/200<br>DATE<br>******<br>No.<br>A-014 |

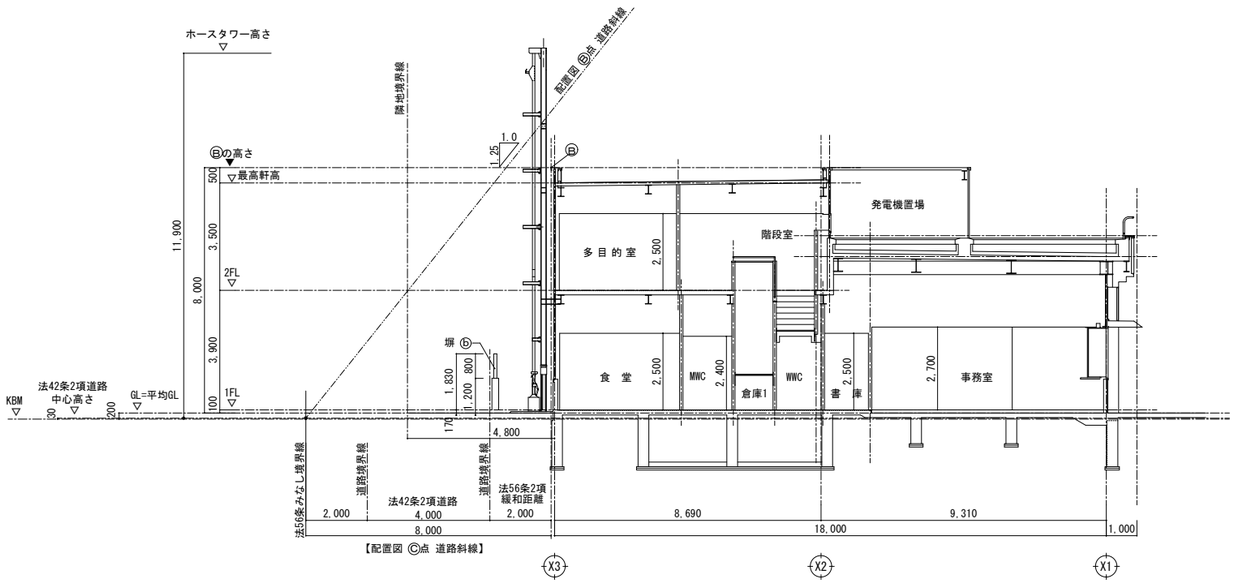
| 法５６条１項高さ制限確認表 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 起算点までの距離 | 制限高さ 計算式 | 当該部分の高さ | 判 定 |
| 西側 Ⓐ 点 | 24.9m<br>境界線までの水平距離 | 24.9m × 1.25 = 31.125m | 6.47m + 0.15m = 6.62m<br>↑0.2(GL)−0.05(道路中心高さ) | ＯＫ |
| 東側 Ⓑ 点 | 8.0m<br>当該部分から<br>反対側までの水平距離 | 8.0m × 1.25 = 10.00m | 8.00m + 0.17m = 8.17m<br>↑0.2(GL)−0.03(道路中心高さ) | ＯＫ |



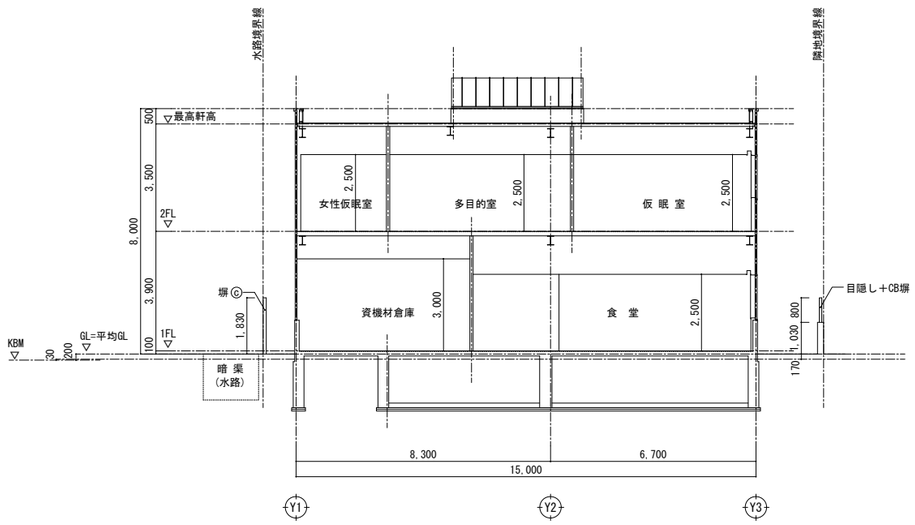




Y方向断面

■凡例 区画範囲を示す（古河市条例第29条）【耐火１時間】間仕切壁

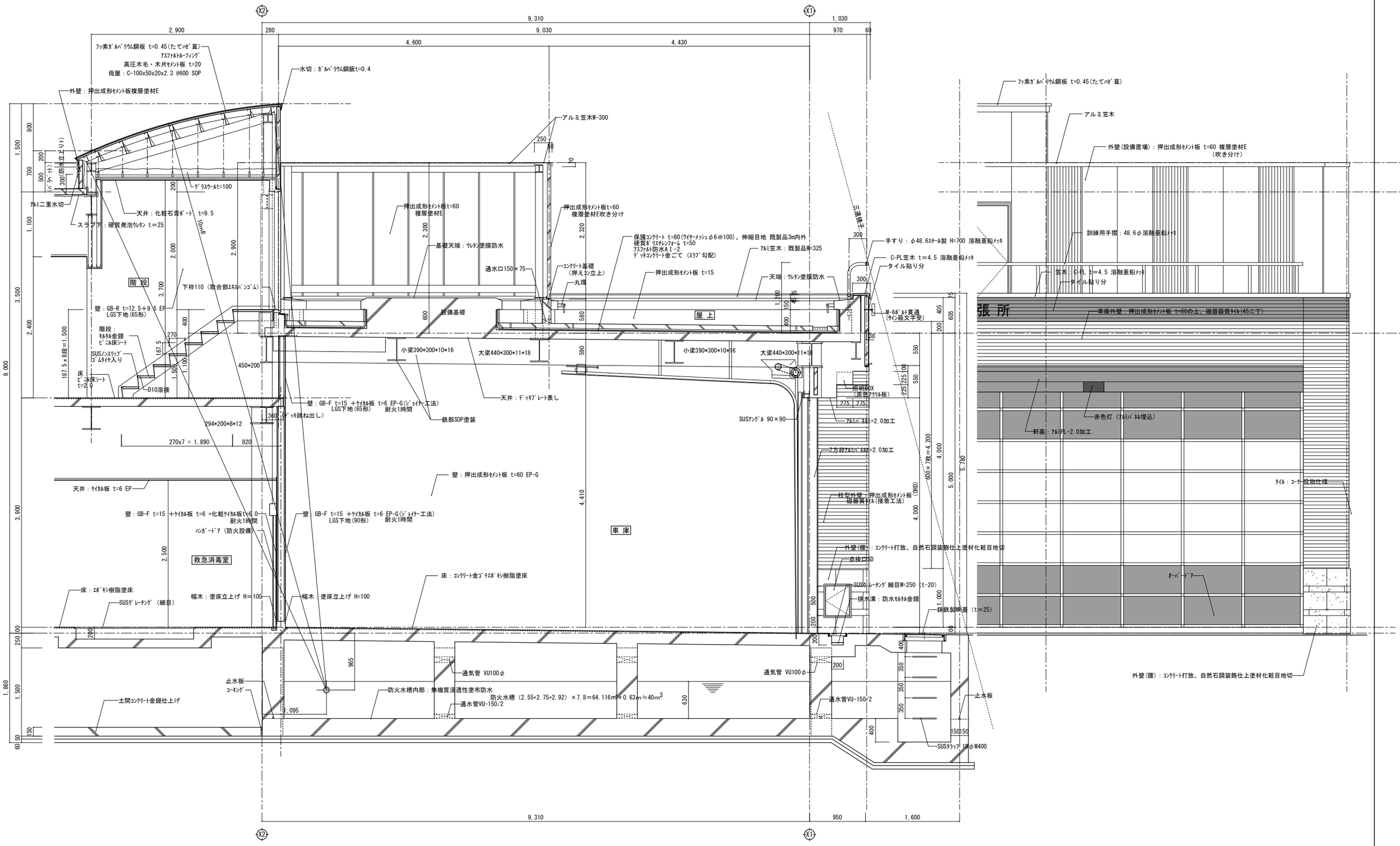



Y方向断面




X方向断面

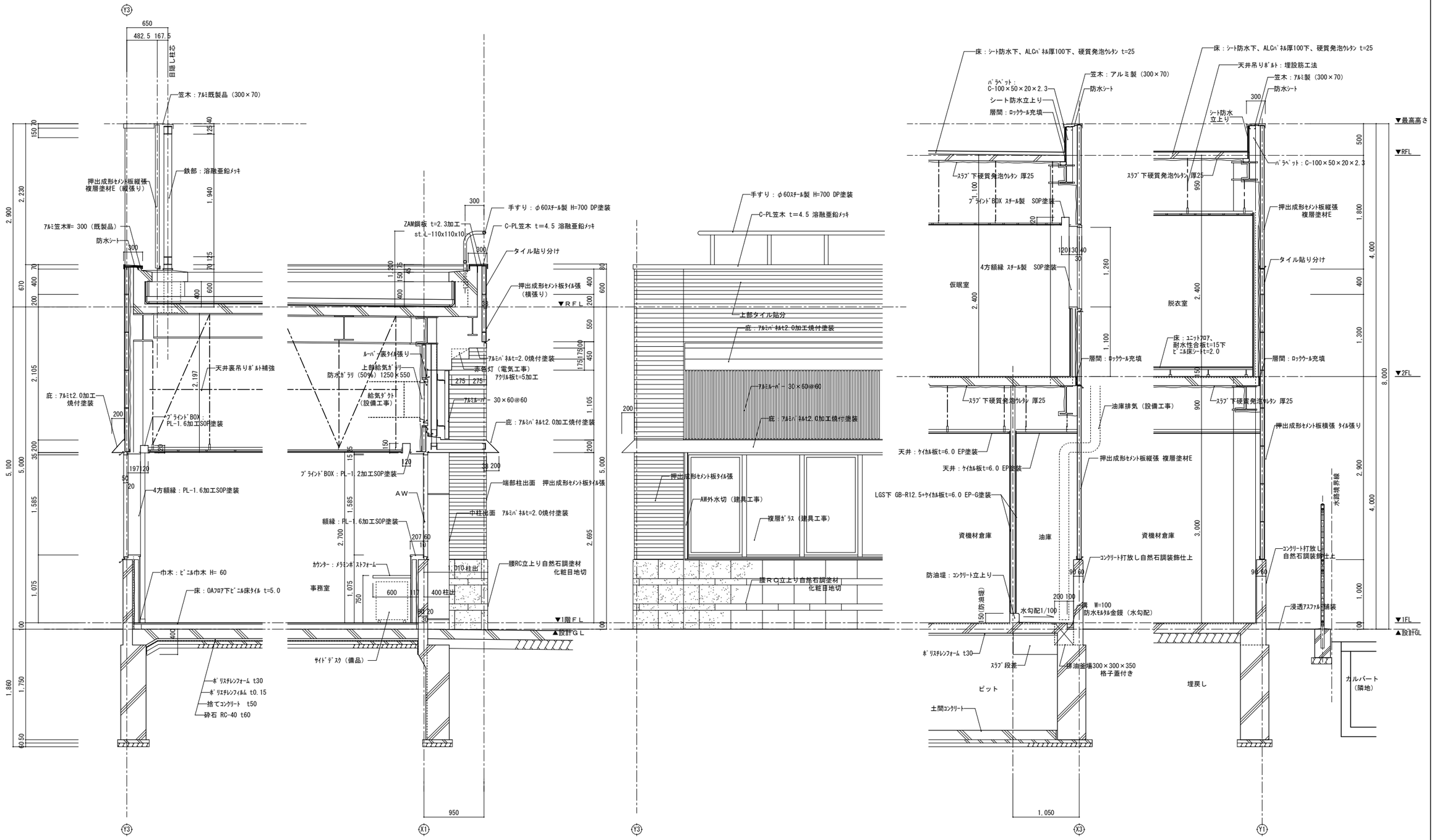
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS | 千葉県知事登録 No.1-1709-4702<br>株式会社 カトウ建築事務所<br>一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | APPR | CHKD | DRAWN | 本 社<br>千葉市中央区栄町36番10号<br>TEL 043-201-1277<br>FAX 043-201-1280<br>東京事務所<br>東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号<br>TEL 03-3510-1336<br>FAX 03-5201-1013 | 工事名<br>(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事<br>図 名<br>断面図 | S= A1：1/100<br>A3：1/200<br>DATE<br>******<br>No. A-015 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|




矩計図 1/30

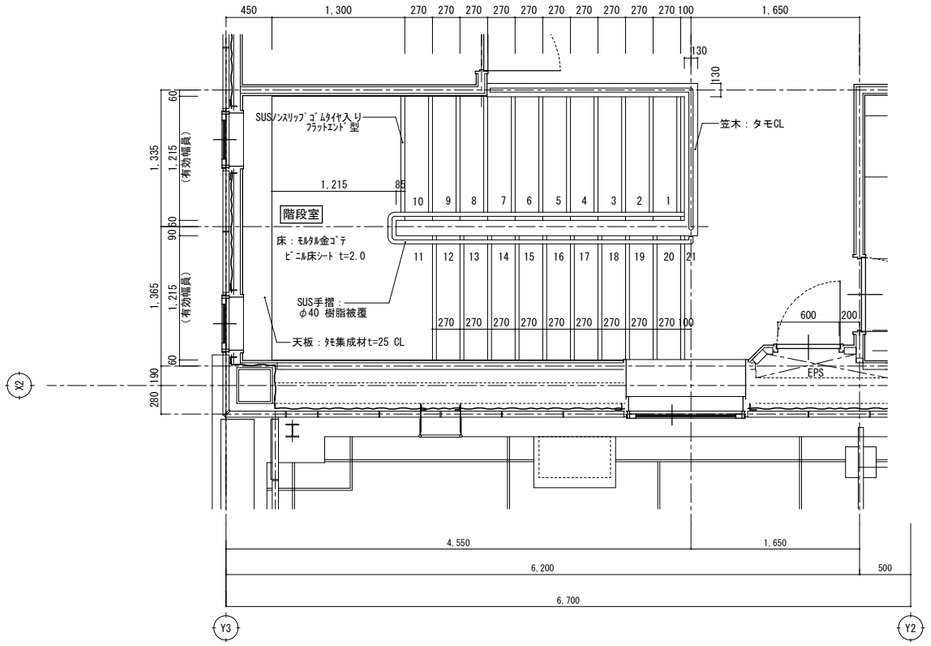
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&STUDIO 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | 千葉県知事登録 No.1-1709-4702 | APPR | CHKD | DRAWN | 本社 千葉市中央区栄町36番10号 TEL 043-201-1277 FAX 043-201-1280 東京事務所 東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号 TEL 03-3510-1336 FAX 03-5201-1013 |

| | |
|---|---|
| 工事名 | (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 |
| 図名 | 矩計図 (1) |
| S= | A1 : 1/30 A3 : 1/60 |
| DATE | ****** |
| No. | A-016 |

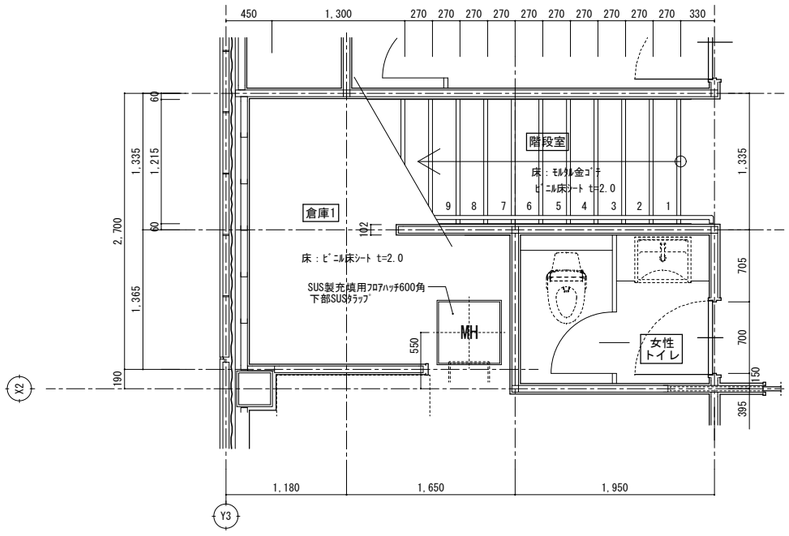



断面詳細図 1/30

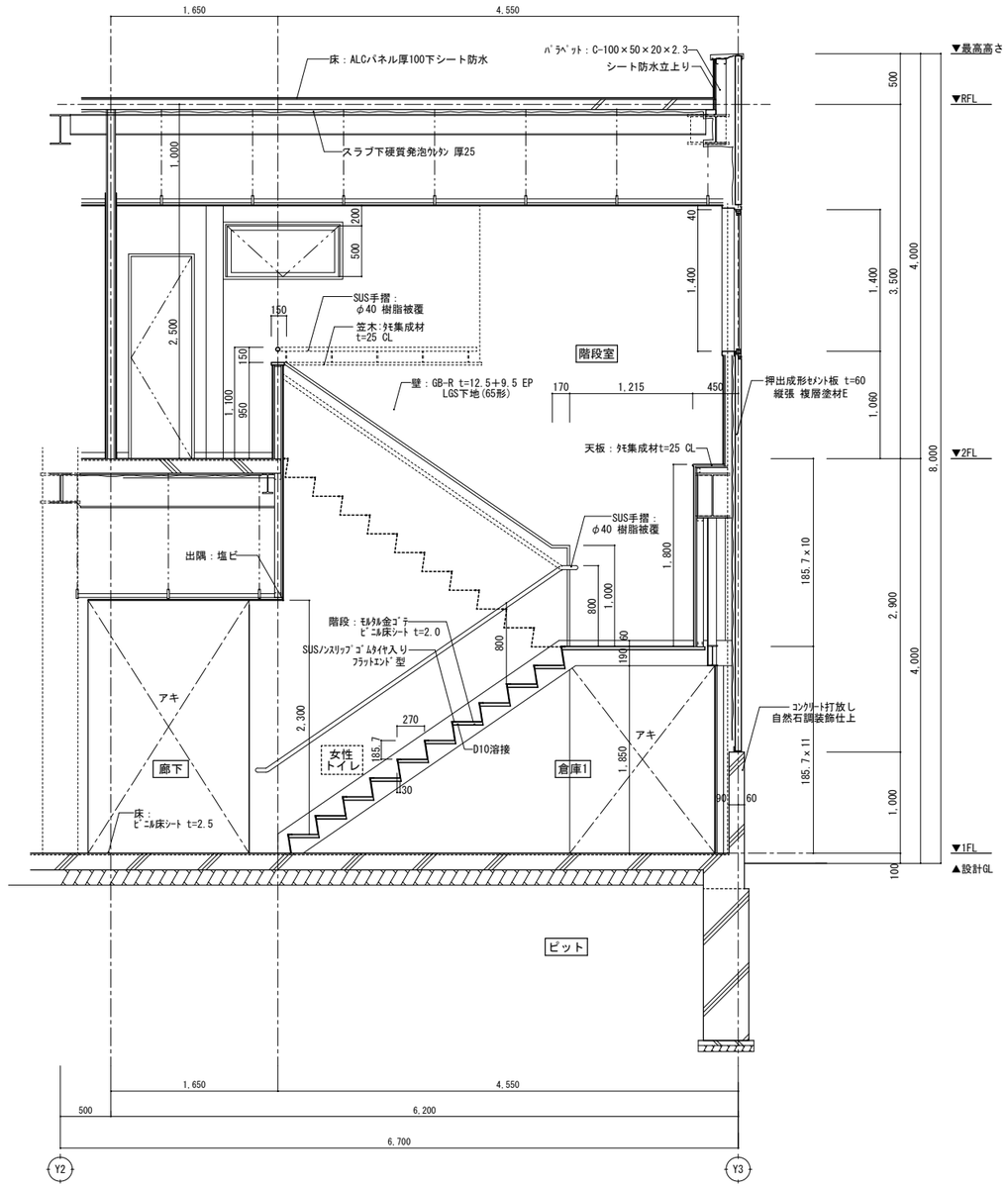
| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&ASSOCIATES 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | 千葉県知事登録 No.1-1709-4702 | APPR / CHKD / DRAWN | 本社 千葉市中央区栄町36番10号 TEL 043-201-1277 FAX 043-201-1280 東京事務所 東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号 TEL 03-3510-1338 FAX 03-5201-1013 | 工事名 (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 | S= A1：1/30 A3：1/60 | |
| | | | | 図名 矩計図（2） | DATE ****** | |
| | | | | | No. A-017 | |




２階　階段平面詳細図　S=1/30




１階　階段平面詳細図　S=1/30



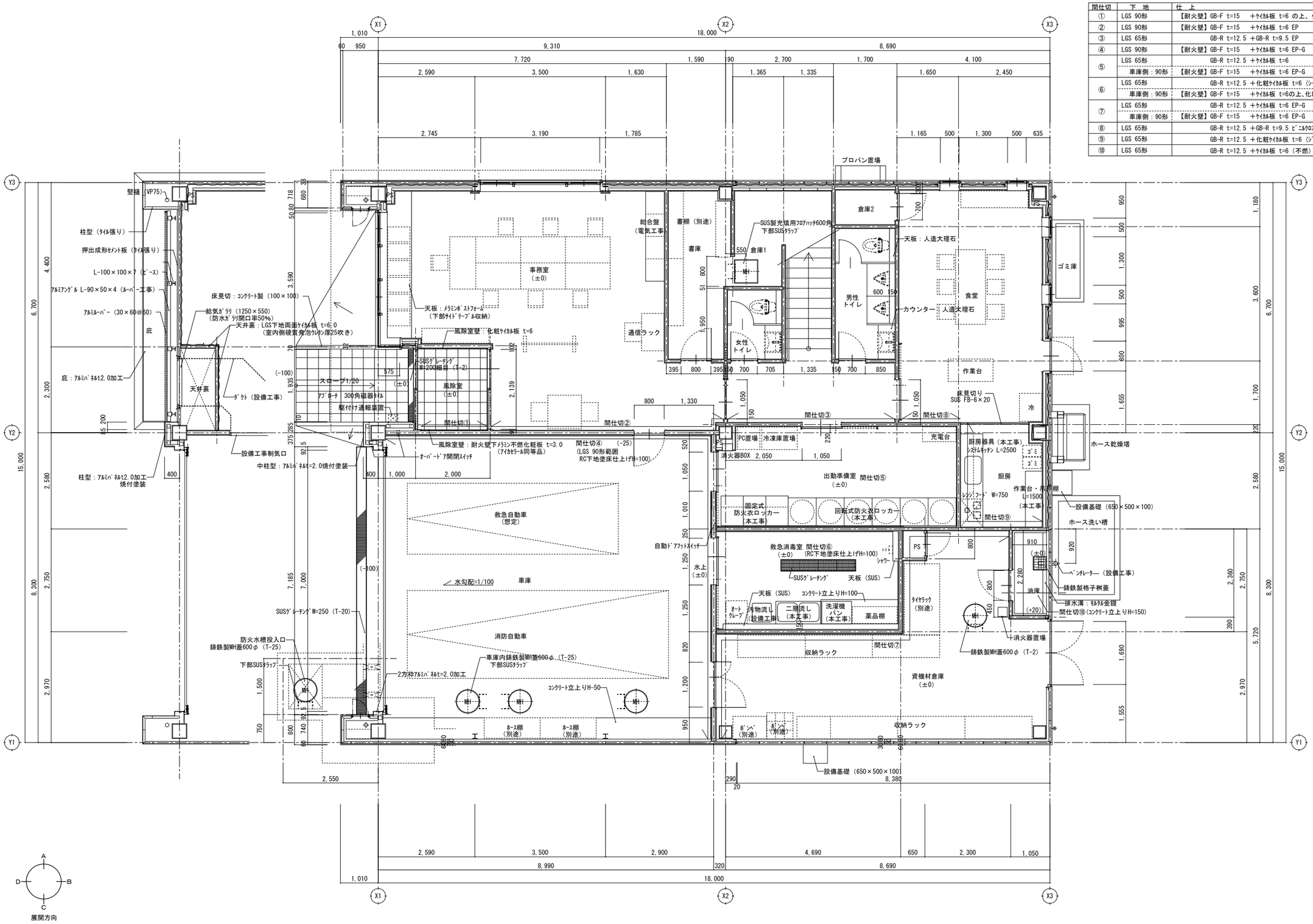

階段断面詳細図　S=1/30

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&STUDIO 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | 千葉県知事登録 No.1-1709-4702 | APPR | CHKD | DRAWN | 本社 千葉市中央区栄町36番10号 TEL 043-201-1277 FAX 043-201-1280 東京事務所 東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号 TEL 03-3510-1336 FAX 03-5201-1013 | 工事名 (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 |
| | | | | | | 図名 階段詳細図 |

S= A1：1/30 A3：1/60
DATE ******
No. A-018

【凡 例】

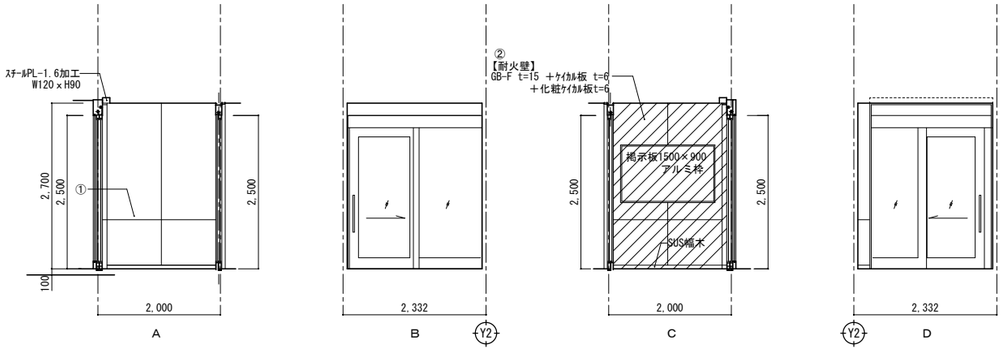
| 間仕切 | 下 地 | 仕 上 |
|---|---|---|
| ① | LGS 90形 | 【耐火壁】GB-F t=15 ＋ｹｲｶﾙ板 t=6 の上、化粧ｹｲｶﾙ板t=6（ｼﾞｮｲﾅｰ工法） |
| ② | LGS 90形 | 【耐火壁】GB-F t=15 ＋ｹｲｶﾙ板 t=6 EP |
| ③ | LGS 65形 | GB-R t=12.5 ＋GB-R t=9.5 EP |
| ④ | LGS 90形 | 【耐火壁】GB-F t=15 ＋ｹｲｶﾙ板 t=6 EP-G |
| ⑤ | LGS 65形 | GB-R t=12.5 ＋ｹｲｶﾙ板 t=6 |
| | 車庫側：90形 | 【耐火壁】GB-F t=15 ＋ｹｲｶﾙ板 t=6 EP-G |
| ⑥ | LGS 65形 | GB-R t=12.5 ＋化粧ｹｲｶﾙ板 t=6（ｼｰﾘﾝｸﾞ工法） |
| | 車庫側：90形 | 【耐火壁】GB-F t=15 ＋ｹｲｶﾙ板 t=6の上、化粧ｹｲｶﾙ板 t=6（ｼｰﾘﾝｸﾞ工法） |
| ⑦ | LGS 65形 | GB-R t=12.5 ＋ｹｲｶﾙ板 t=6 EP-G |
| | 車庫側：90形 | 【耐火壁】GB-F t=15 ＋ｹｲｶﾙ板 t=6 EP-G |
| ⑧ | LGS 65形 | GB-R t=12.5 ＋GB-R t=9.5 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 |
| ⑨ | LGS 65形 | GB-R t=12.5 ＋化粧ｹｲｶﾙ板 t=6（ｼﾞｮｲﾅｰ工法：不燃） |
| ⑩ | LGS 65形 | GB-R t=12.5 ＋ｹｲｶﾙ板 t=6（不燃） |



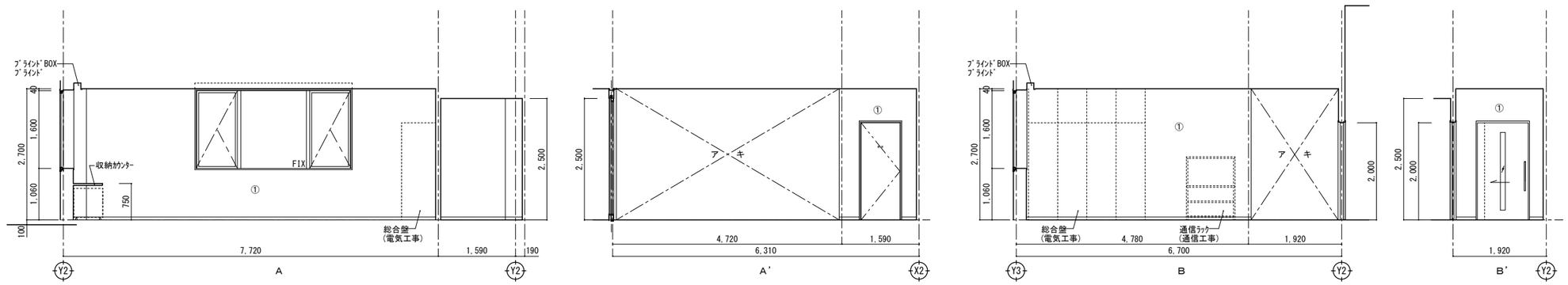

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIOS 千葉県知事登録 No.1-1709-4702 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | APPR | CHKD | DRAWN | 本 社 千葉市中央区栄町36番10号 TEL 043-201-1277 FAX 043-201-1280 東京事務所 東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号 TEL 03-3510-1336 FAX 03-5201-1013 |

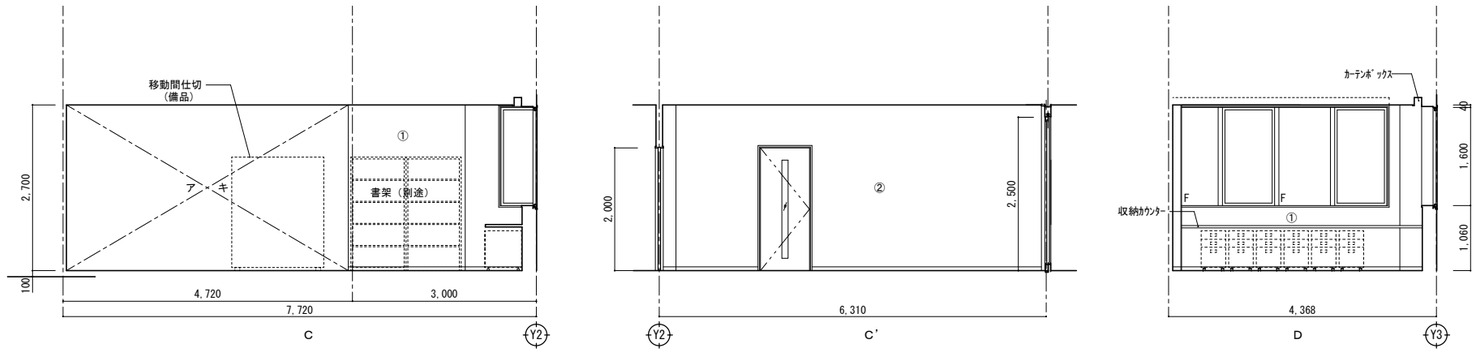
| | |
|---|---|
| 工事名 | (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 |
| 図 名 | 1階平面詳細図 |
| S= | A1：1/50 A3：1/100 |
| DATE | ****** |
| No. | A-019 |

| | |
|---|---|
| 室　名 | 風除室 |
| 床 | ﾓﾙﾀﾙ下地<br>300角 磁器質ﾀｲﾙ |
| 幅　木 | SUS巾木 H= 60 |
| 壁 | ①(LGS65形下地) GB-R t=12.5+9.5の上、<br>化粧ｹｲｶﾙ板t=6(ｼﾞｮｲﾅｰ工法)<br>②(LGS65形下地) GB-F t=15<br>ｹｲｶﾙ板t=6の上、化粧ｹｲｶﾙ板t=6(ｼﾞｮｲﾅｰ工法) |
| 天　井 | (LGS下地)GB-R t=9.5+岩綿吸音板 t=9 |
| 備　考 | 廻り縁：塩ﾋﾞ製<br>掲示板 |

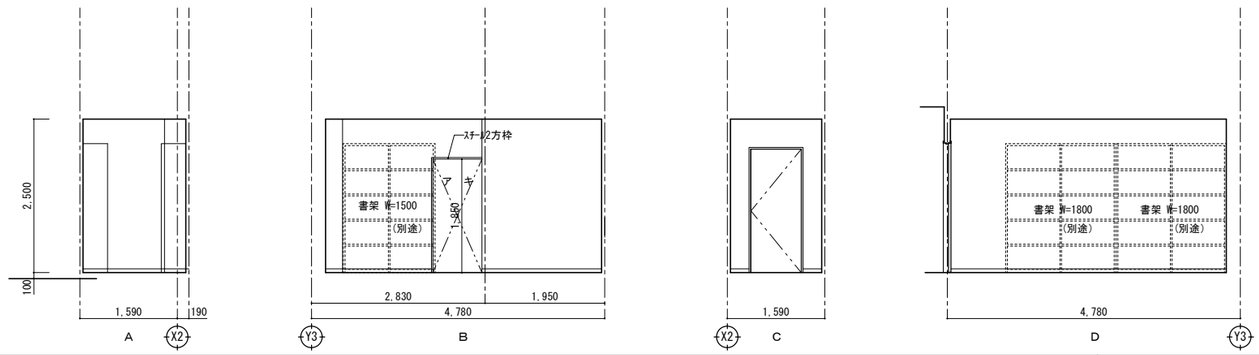



| | |
|---|---|
| 室　名 | 事務室 |
| 床 | OAﾌﾛｱ下地 H=100<br>置敷ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t=5.0（床見切：SUS） |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | ①(LGS65形下地) GB-R t=12.5+9.5 EP<br>②(LGS65形下地) GB-F t=15 ＋ｹｲｶﾙ板 t=6 EP |
| 天　井 | GB-R t=9.5の上、岩綿吸音板 t=9 |
| 備　考 | 廻り線：塩ﾋﾞ製<br>収納ｶｳﾝﾀｰ |



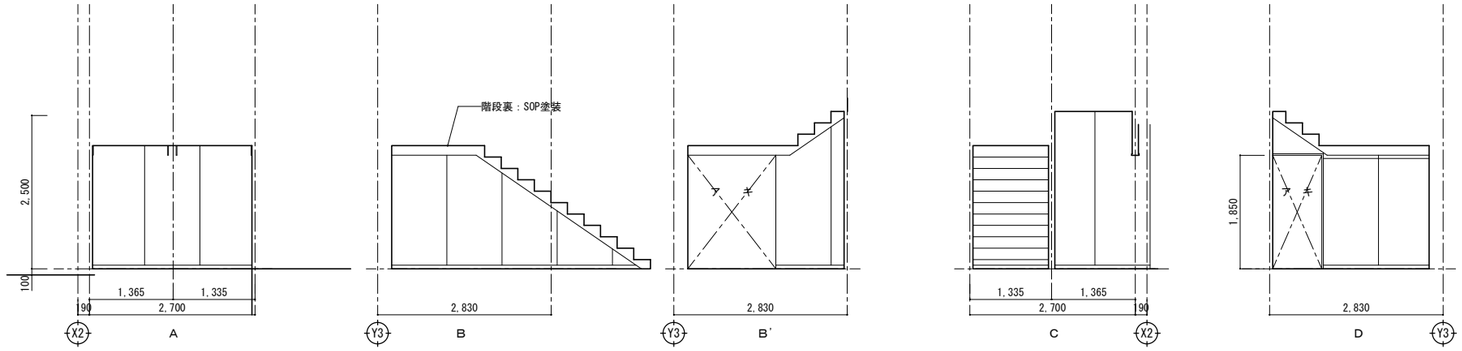




| | |
|---|---|
| 室　名 | 書　庫 |
| 床 | ｺﾝｸﾘｰﾄﾙ金ｺﾞﾃ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地) GB-R t=12.5の上、<br>ｹｲｶﾙ板 t=6 EP-G（目透し） |
| 天　井 | GB-D t=9.5 |
| 備　考 | 廻り線：塩ﾋﾞ製　書架（W=1500、1800×2） |

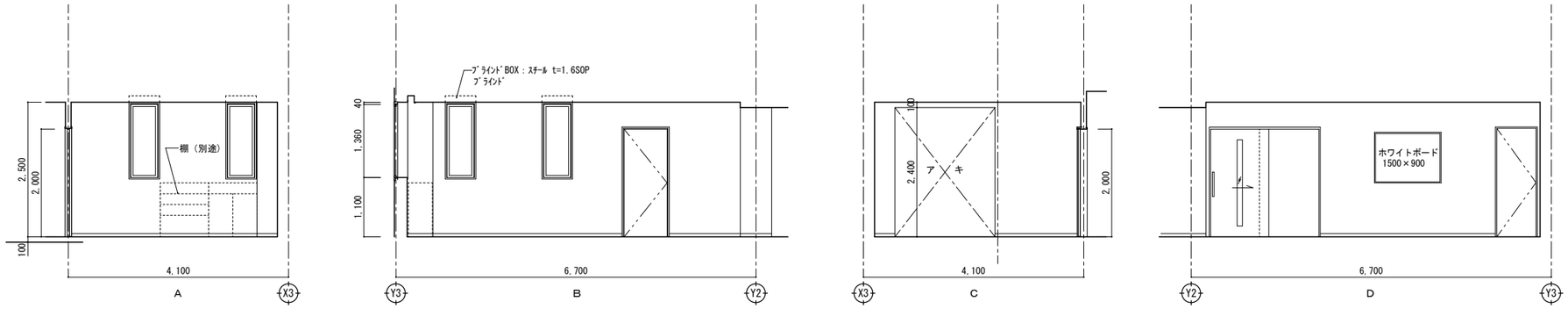



| | |
|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&ASSOCIATES | 千葉県知事登録　No.1-1709-4702<br>株式会社　カトウ建築事務所<br>一級建築士 NO.130206　加藤　義道 |
| APPR | |
| CHKD | |
| DRAWN | |
| 本　社 | 千葉市中央区栄町36番10号<br>TEL 043-201-1277<br>FAX 043-201-1280 |
| 東京事務所 | 東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号<br>TEL 03-3510-1336<br>FAX 03-5201-1013 |
| 工事名 | (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 |
| 図　名 | 1階展開図（1） |
| S=A1：1/50<br>A3：1/100 | |
| DATE | ****** |
| No. | A-020 |

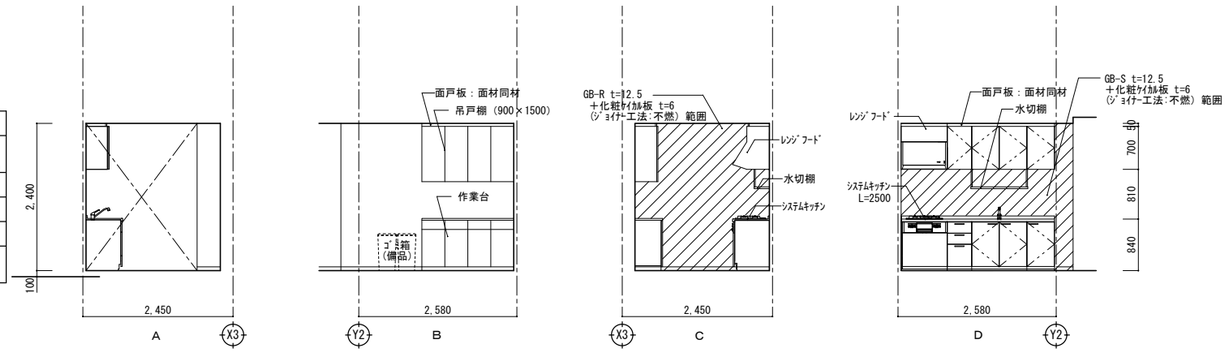
| | |
|---|---|
| 室　名 | 倉　庫1 |
| 床 | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-R t=12.5の上、<br>ｹｲｶﾙ板 t=6 EP-G(目透し) |
| 天　井 | GB-D t=9.5の一部階段裏SOP塗装 |
| 備　考 | SUS製MH 600角 |



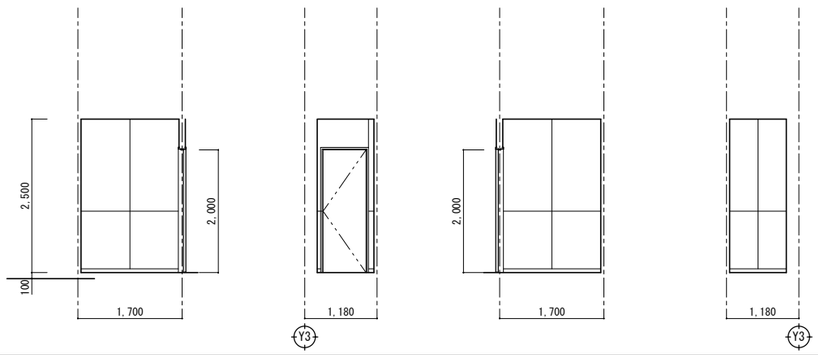

| | |
|---|---|
| 室　名 | 食　堂 |
| 床 | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-R t=12.5+9.5<br>ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 |
| 天　井 | GB-R t=9.5の上、岩綿吸音板 t=9 |
| 備　考 | 廻り縁：塩ﾋﾞ製、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ |




| | |
|---|---|
| 室　名 | 厨　房 |
| 床 | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ下地<br>厨房用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0（耐熱性、水はけ性、防滑性）<br>（床見切(厨房～食堂)：SUS製） |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-S t=12.5<br>化粧ｹｲｶﾙ板 t=6（ｼﾞｮｲﾅｰ工法：耐火） |
| 天　井 | GB-R t=9.5の上、岩綿吸音板 t=9 |
| 備　考 | 流し台、ｶﾞｽﾃｰﾌﾞﾙ、作業台<br>水切棚 W=900(SUS製)、<br>廻り縁：塩ﾋﾞ製、床見切り：SUS FB-6×20 |




| | |
|---|---|
| 室　名 | 倉　庫2 |
| 床 | ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-R t=12.5<br>ｹｲｶﾙ板 t=6 目透し EP-G |
| 天　井 | GB-D t=9.5 |
| 備　考 | |




一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&ASSOCIATES
千葉県知事登録　No.1-1709-4702
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206　加藤 義道

| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |

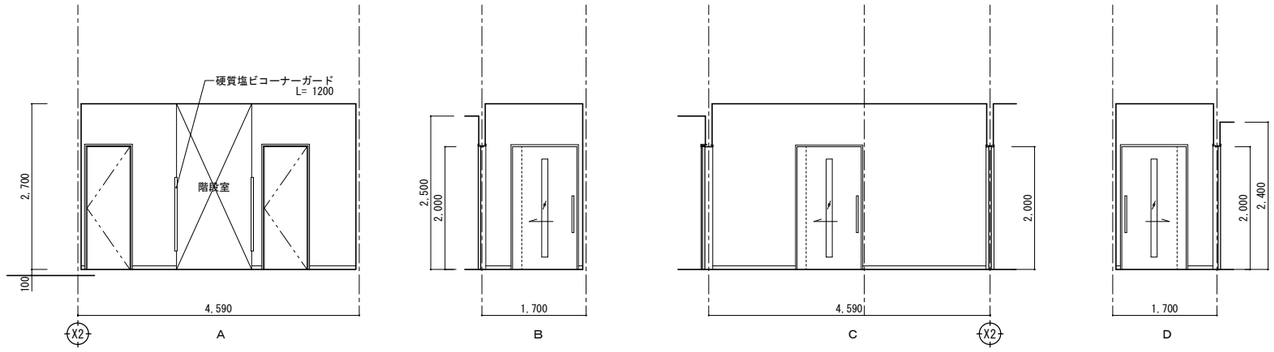
本　　社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1336
FAX 03-5201-1013

工事名：(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事

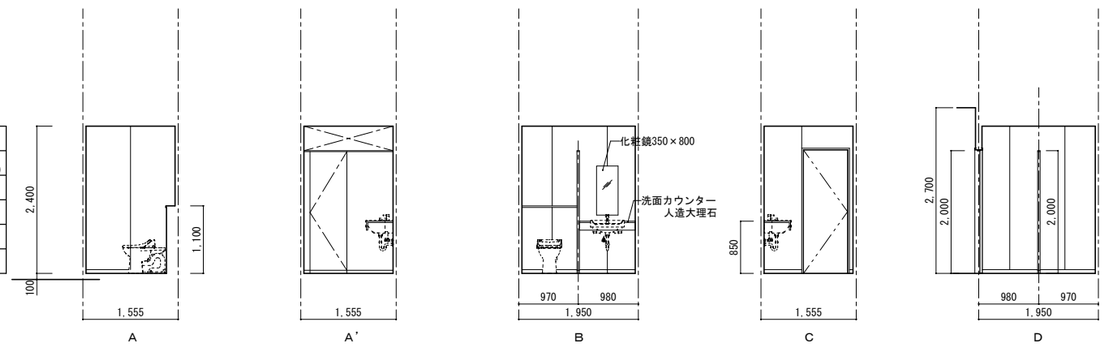
図名：1階展開図(2)

S=A1：1/50
A3：1/100
DATE ******
No. A-021

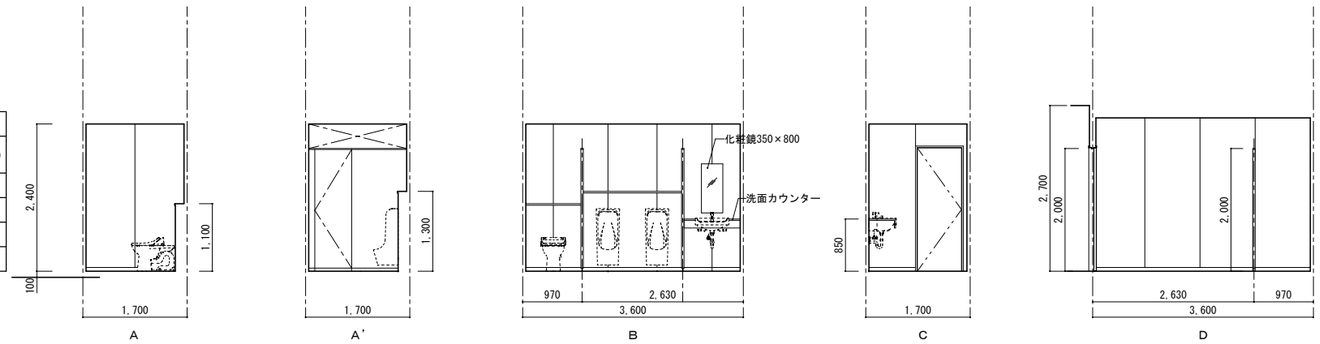
| | |
|---|---|
| 室　名 | 廊下 |
| 床 | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-R t=12.5+9.5 EP |
| 天　井 | GB-D t=9.5 |
| 備　考 | コーナーガード L=1200 |




| | |
|---|---|
| 室　名 | 女性ﾄｲﾚ |
| 床 | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ下地<br>ﾄｲﾚ用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0（防滑性、防湿性、耐尿汚染性） |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-S t=12.5<br>化粧ｹｲｶﾙ板 t=6(ｼﾞｮｲﾅｰ工法) |
| 天　井 | GB-D t=9.5 |
| 備　考 | 廻り縁：塩ﾋﾞ製、洗面ｶｳﾝﾀｰ、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ<br>ﾗｲﾆﾝｸﾞ天板：人造大理石、化粧鏡 |




| | |
|---|---|
| 室　名 | 男性ﾄｲﾚ |
| 床 | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ下地<br>ﾄｲﾚ用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0（防滑性、防湿性、耐尿汚染性）<br>一部 汚垂ﾀｲﾙ t=5.5 |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-S t=12.5<br>化粧ｹｲｶﾙ板 t=6(ｼﾞｮｲﾅｰ工法) |
| 天　井 | GB-D t=9.5 |
| 備　考 | 廻り縁：塩ﾋﾞ製、洗面ｶｳﾝﾀｰ、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、汚垂石<br>ﾗｲﾆﾝｸﾞ天板：人造大理石、化粧鏡 |




一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&STUDIO

千葉県知事登録　No. 1-1709-4702

株式会社　カトウ建築事務所

一級建築士 NO.130206　加藤 義道

| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |

本　社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280

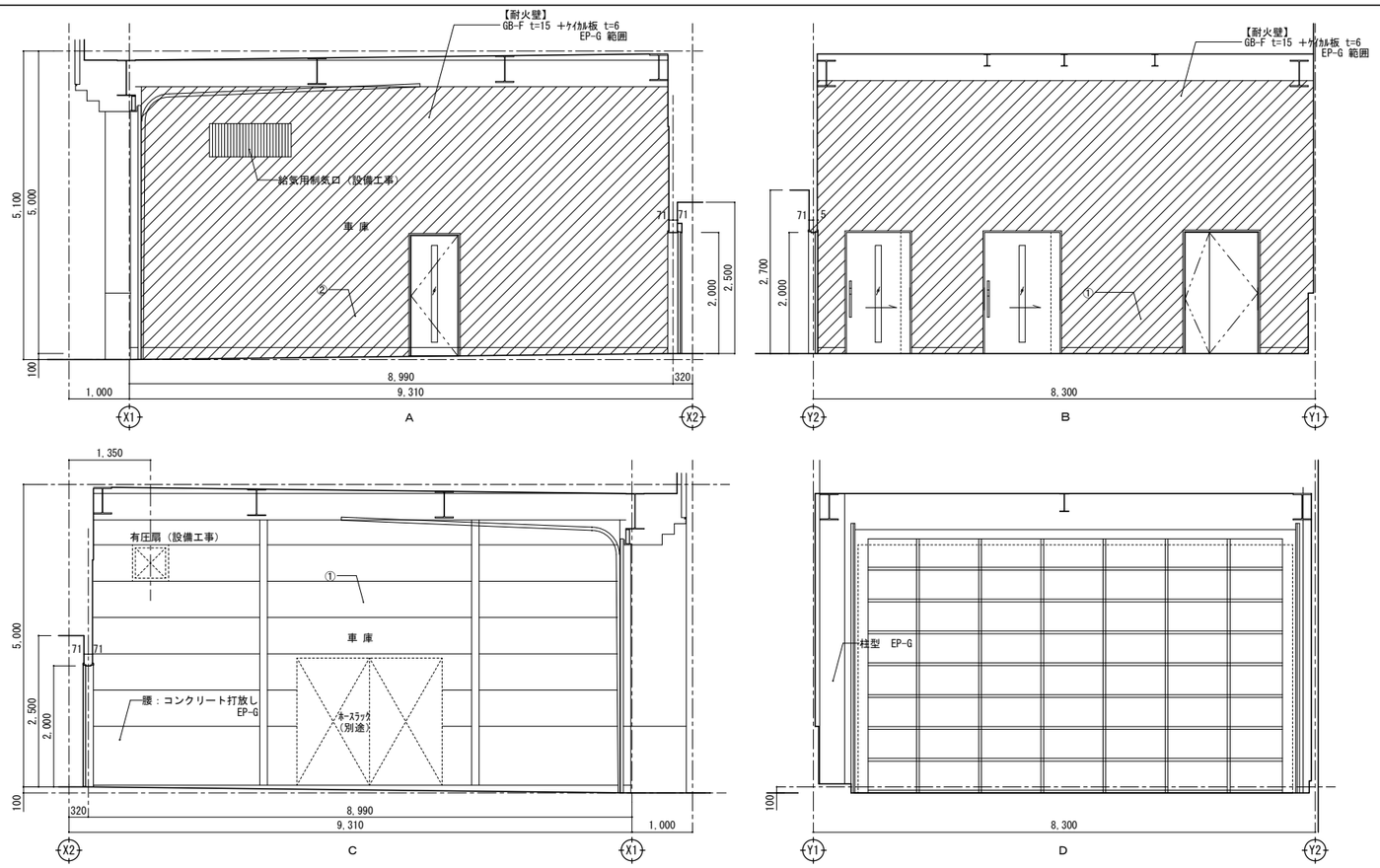
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1336
FAX 03-5201-1013

工事名　(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事

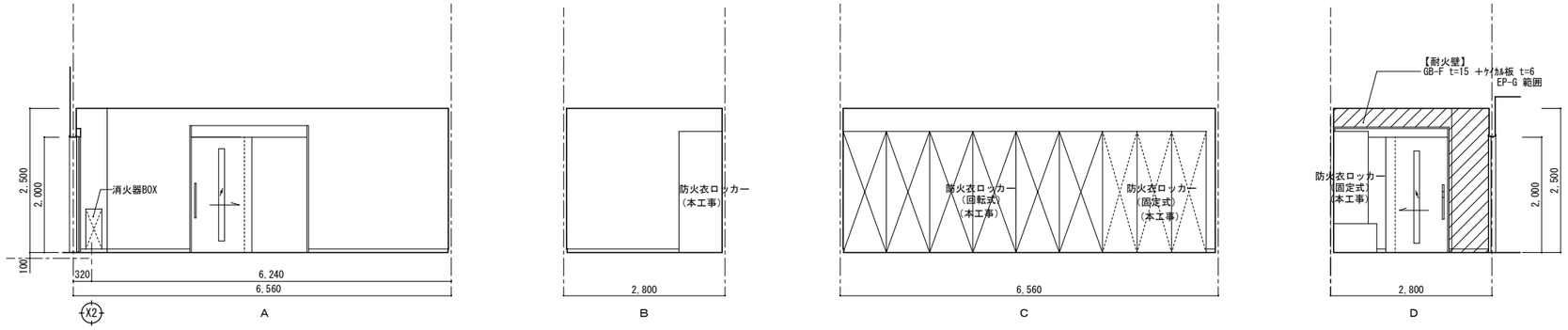
図　名　1階展開図(3)

S=A1：1/50
A3：1/100
DATE ******
No. A-022

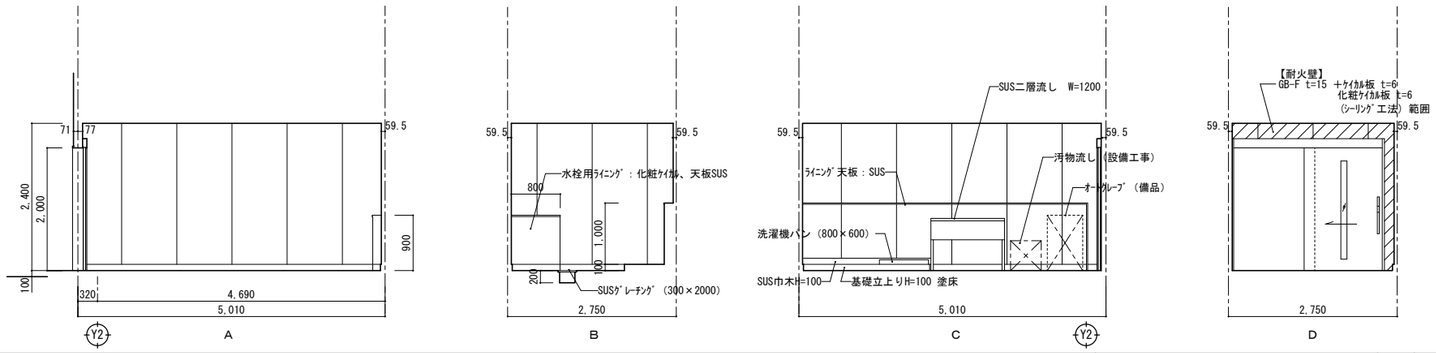
| | |
|---|---|
| 室　名 | 車　庫 |
| 床 | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ下地<br>ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗床(白線引：溶融式 線幅 100) |
| 幅　木 | 塗床仕上 |
| 壁 | ①押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t=60 EP-G<br>②ｹｲｶﾙ板 t=6目透し EP-G<br>腰壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 EP-G |
| 天　井 | ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ表し |
| 備　考 | |




| | |
|---|---|
| 室　名 | 出動準備室 |
| 床 | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ下地<br>ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗床 |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-R t=12.5<br>ｹｲｶﾙ板 t=6 EP-G |
| 天　井 | GB-D t=9.5 |
| 備　考 | 廻り縁：塩ﾋﾞ製　防火衣収納ロッカー |

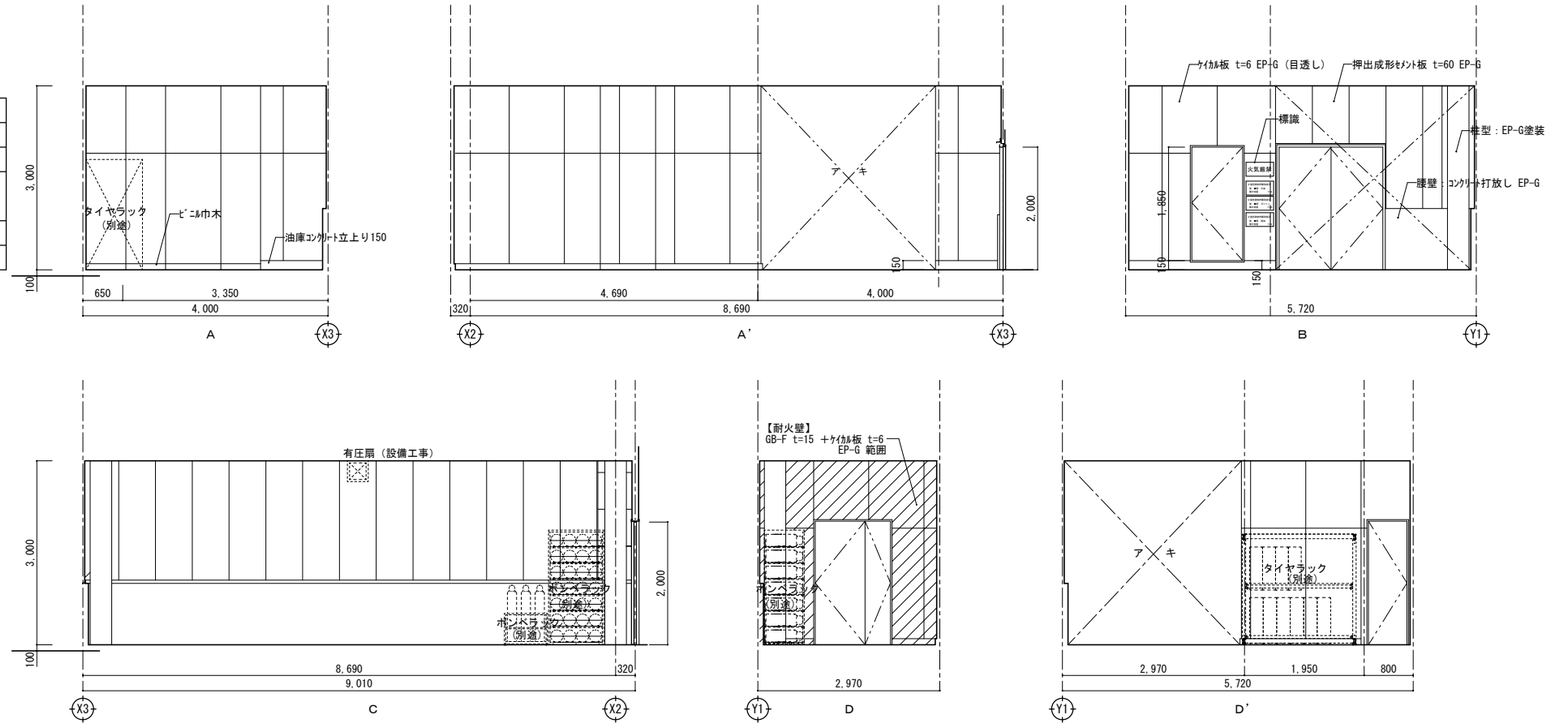



| | |
|---|---|
| 室　名 | 救急消毒室 |
| 床 | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ<br>ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗床 |
| 幅　木 | 塗床仕上 |
| 壁 | (LGS65形下地) GB-R t=12.5<br>化粧ｹｲｶﾙ板 t=6 (ｼｰﾘﾝｸﾞ工法) |
| 天　井 | ｹｲｶﾙ板 t=6 EP |
| 備　考 | 廻り縁：塩ﾋﾞ製、洗濯機パン、SUS製二槽流し<br>排水溝：SUSｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ、ライニング天板：SUS |

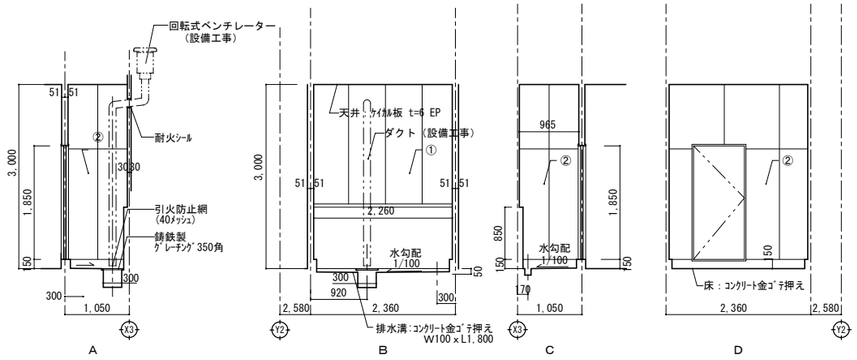



| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&ASSOCIATES | 千葉県知事登録 No.1-1709-4702<br>株式会社 カトウ建築事務所<br>一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | APPR | CHKD | DRAWN | 本　社<br>千葉市中央区栄町36番10号<br>TEL 043-201-1277<br>FAX 043-201-1280<br>東京事務所<br>東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号<br>TEL 03-3510-1336<br>FAX 03-5201-1013 | 工事名<br>(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事<br>図　名<br>1階展開図(4) | S=A1：1/50<br>A3：1/100<br>DATE<br>******<br>No.<br>A-023 |

| | |
|---|---|
| 室　名 | 資機材倉庫 |
| 床 | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ下地<br>ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗床 |
| 幅　木 | 塗床仕上一部ビニル巾木 H=100 |
| 壁 | 押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t=60 EP-G<br>一部(LGS65形下地)GB-R t=12.5の上、<br>ｹｲｶﾙ板 t=6 EP-G (目透し)<br>腰壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し EP-G |
| 天　井 | GB-D t=9.5 |
| 備　考 | 廻り縁：塩ﾋﾞ製、タイヤラック、ボンベラック |




| | |
|---|---|
| 室　名 | 油 庫 |
| 床 | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ |
| 幅　木 | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ H＝250 |
| 壁 | ①押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t=60<br>腰壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ下地<br>②GB-R t=12.5 の上、ｹｲｶﾙ板 t=6 EP-G |
| 天　井 | ｹｲｶﾙ板 t=6 EP |
| 備　考 | 防爆仕様：ﾍﾞﾝﾁﾚｰﾀｰ・照明器具 |





一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&ASSOCIATES
千葉県知事登録 No.1-1709-4702
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206 加藤 義道

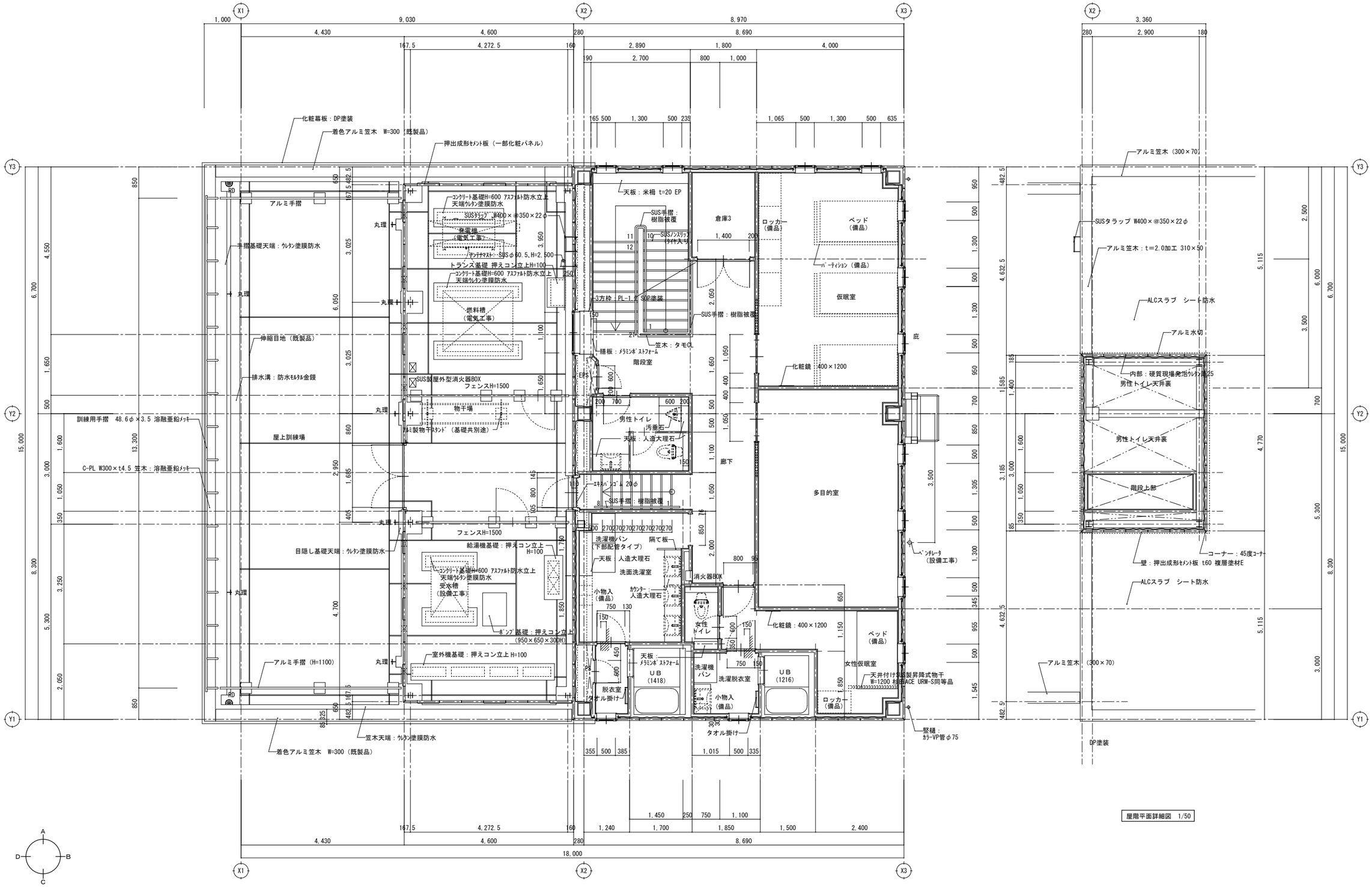

| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |


本　社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1336
FAX 03-5201-1013


工事名：(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事

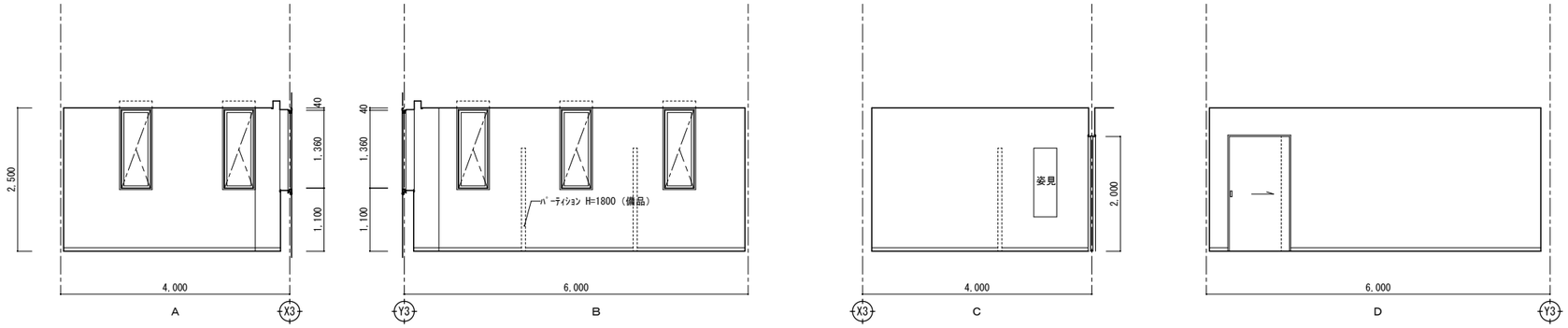
図名：1階展開図(5)

S=A1：1/50
A3：1/100
DATE ******
No. A-024

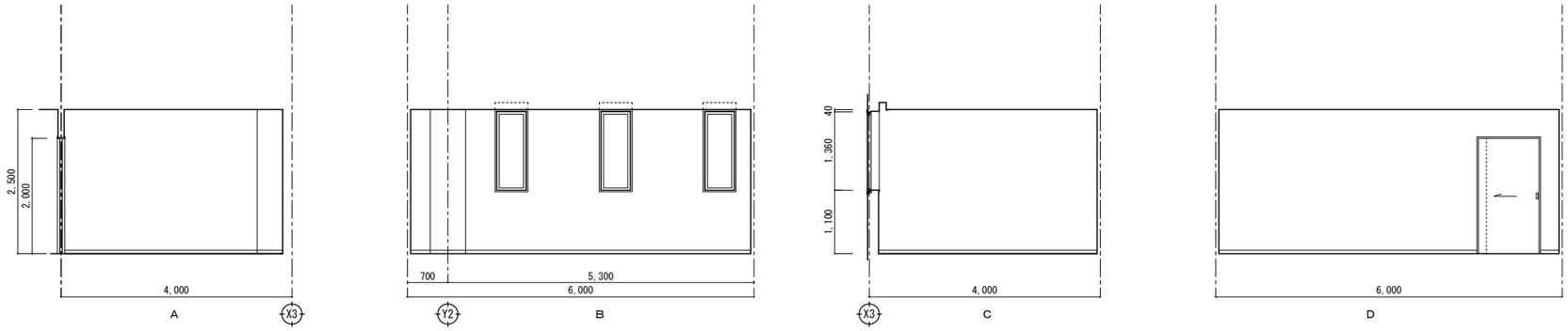



| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&ARCHITECTURE | 千葉県知事登録　No.1-1709-4702<br>株式会社　カトウ建築事務所<br>一級建築士 NO.130206　加藤 義道 | APPR | CHKD | DRAWN | 本　社 千葉市中央区栄町36番10号 TEL 043-201-1277 FAX 043-201-1280<br>東京事務所 東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号 TEL 03-3510-1336 FAX 03-5201-1013 | 工事名 (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事<br>図名 2階平面詳細図 | S= A1：1/50 A3：1/100<br>DATE ******<br>No. A-025 |

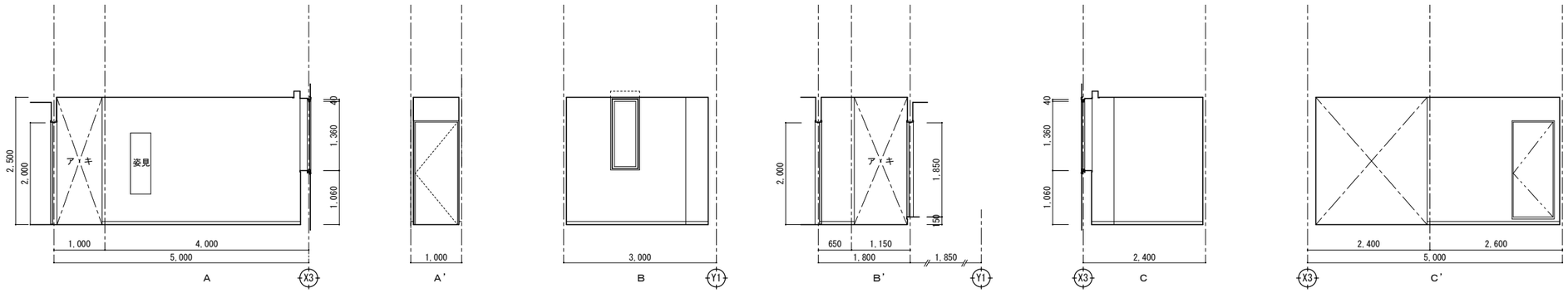
| | |
|---|---|
| 室　名 | 仮眠室 |
| 床 | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-R t=12.5+9.5<br>ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 |
| 天　井 | GB-R t=9.5の上、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 |
| 備　考 | ｽﾁｰﾙﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ<br>ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ、姿見（400×1200） |

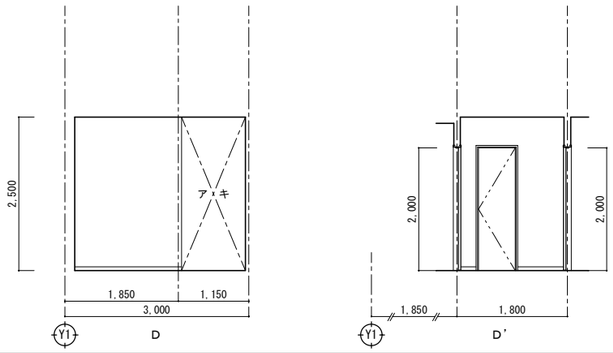



| | |
|---|---|
| 室　名 | 多目的室 |
| 床 | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-R t=12.5+9.5<br>ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 |
| 天　井 | GB-R t=9.5の上、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 |
| 備　考 | ｽﾁｰﾙﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ<br>ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ |




| | |
|---|---|
| 室　名 | 女性仮眠室 |
| 床 | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-R t=12.5+9.5<br>ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 |
| 天　井 | GB-R t=9.5の上、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 |
| 備　考 | ｽﾁｰﾙﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ<br>ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、姿見（400×1200）、昇降式物干 |




一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&ASSOCIATES

千葉県知事登録　No.1-1709-4702

株式会社　カトウ建築事務所

一級建築士 NO.130206　加藤 義道

| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |


本　　社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1336
FAX 03-5201-1013


工事名　(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事

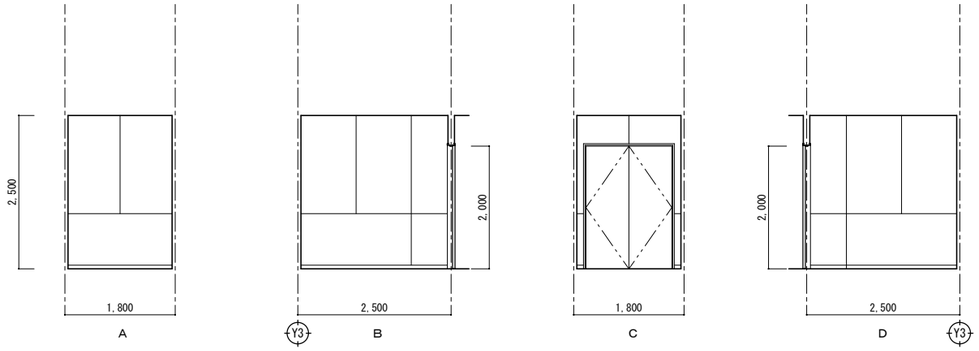
図名　2階展開図（1）

S=A1：1/50
A3：1/100

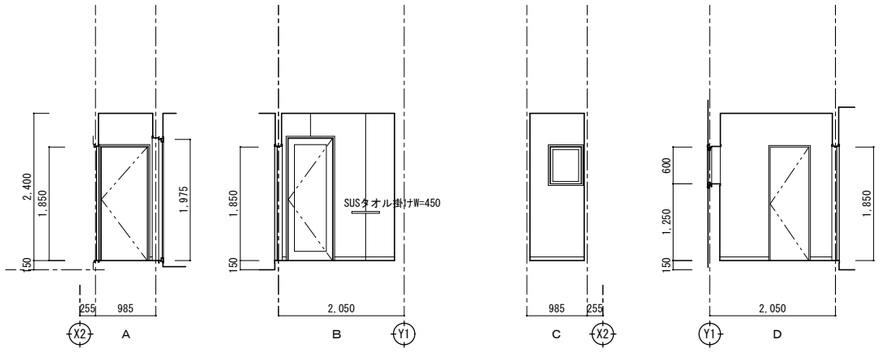
DATE　******

No.　A-026

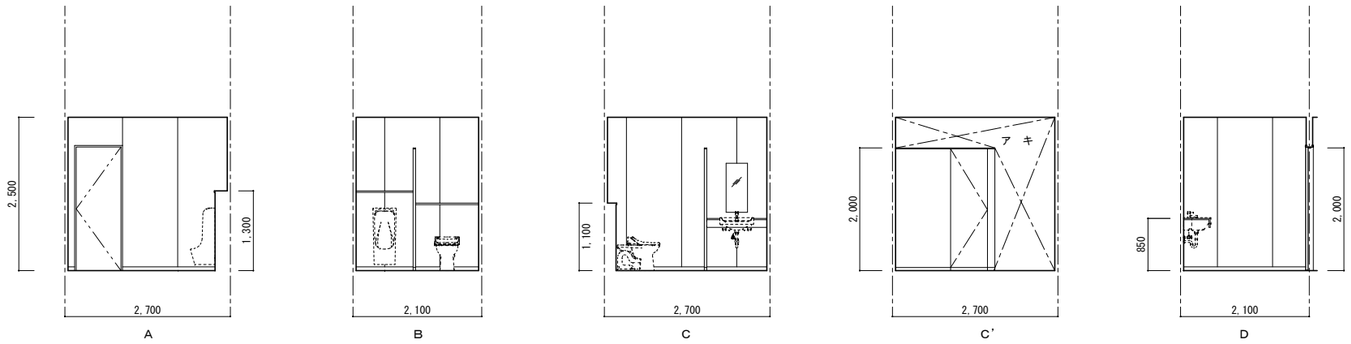
| | |
|---|---|
| 室　名 | 倉 庫３ |
| 床 | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-R t=12.5<br>ｹｲｶﾙ板 t=6 目透し EP-G |
| 天　井 | GB-D t=9.5 |
| 備　考 | 廻り縁：塩ﾋﾞ製 |



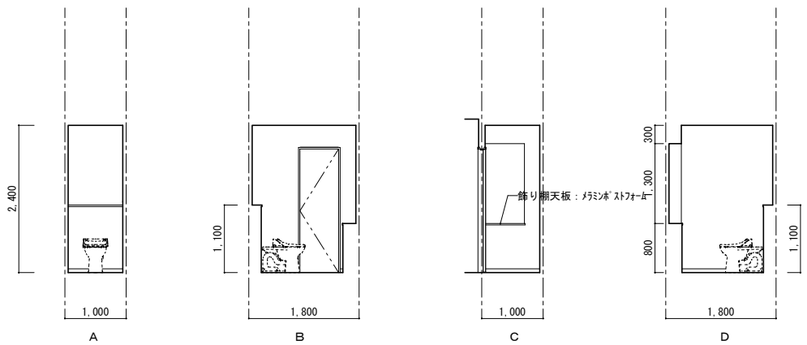

| | |
|---|---|
| 室　名 | 脱衣室 |
| 床 | ユニットフロア H=150 耐水合板t=15下<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-S t=12.5<br>化粧ｹｲｶﾙ板 t=6 |
| 天　井 | GB-D t=9.5 |
| 備　考 | 廻り縁：塩ﾋﾞ製、タイル掛け |




| | |
|---|---|
| 室　名 | 男性ﾄｲﾚ |
| 床 | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ下地<br>ﾄｲﾚ用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0（防滑性、防湿性、耐尿汚染性）<br>一部 汚垂ﾀｲﾙ t=5.5 |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-S t=12.5<br>化粧ｹｲｶﾙ板 t=6(ｼﾞｮｲﾅｰ工法) |
| 天　井 | GB-D t=9.5 |
| 備　考 | 廻り縁：塩ﾋﾞ製、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、洗面カウンター、化粧鏡<br>ﾗｲﾆﾝｸﾞ天板：人造大理石 |




| | |
|---|---|
| 室　名 | 女性ﾄｲﾚ |
| 床 | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ下地<br>ﾄｲﾚ用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0（防滑性、防湿性、耐尿汚染性） |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-S t=12.5+9.5<br>ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 |
| 天　井 | GB-D t=9.5 |
| 備　考 | 廻り縁：塩ﾋﾞ製、<br>飾り棚、ライニング天板：ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ |





一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&ASSOCIATES
千葉県知事登録 No.1-1709-4702
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206 加藤 義道


| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |

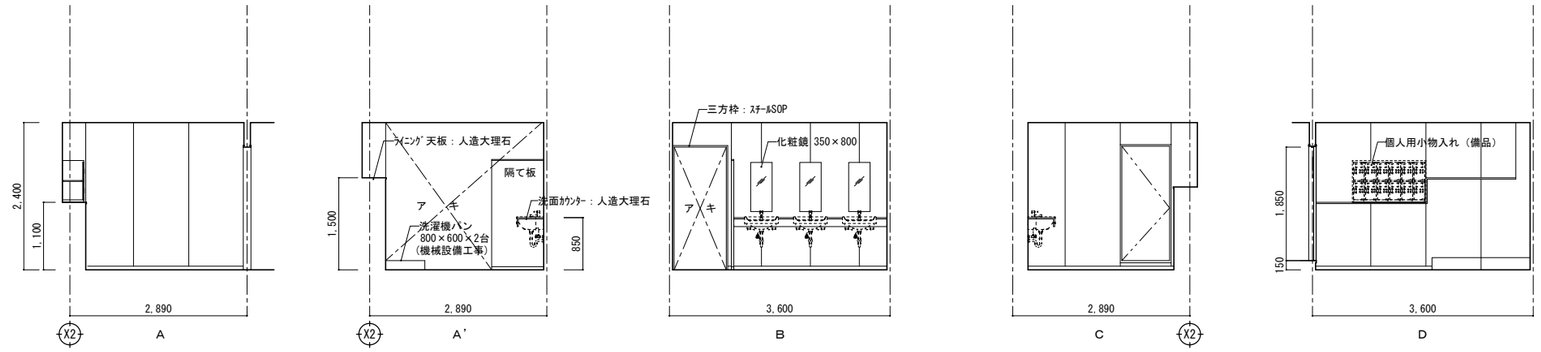

本　社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1336
FAX 03-5201-1013


工事名 (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事

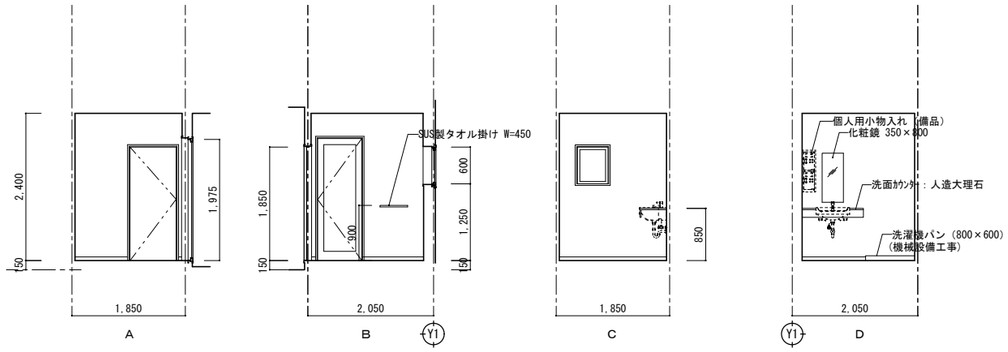
図名 2階展開図（２）

S=A1：1/50
A3：1/100
DATE ******
No. A-027

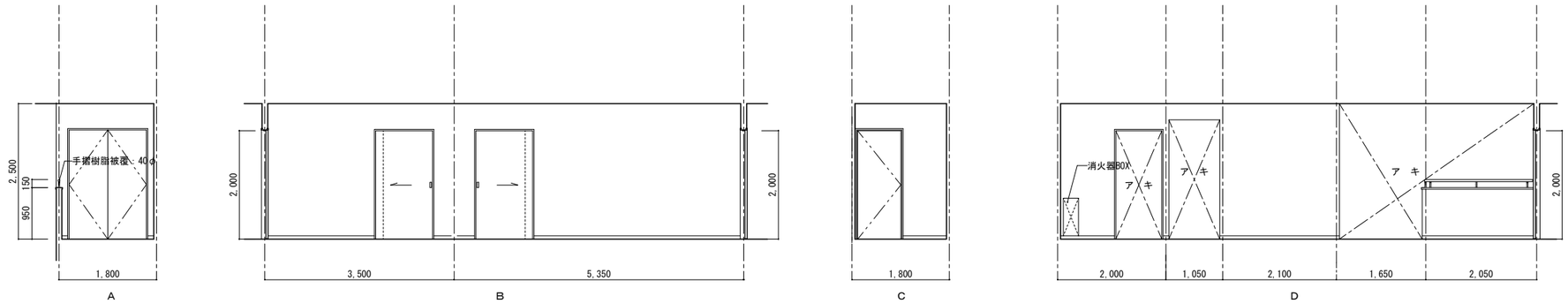
| | |
|---|---|
| 室　名 | 洗面洗濯室 |
| 床 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-R t=12.5<br>化粧ｹｲｶﾙ板t=6 (ｼﾞｮｲﾅｰ工法) |
| 天　井 | GB-D t=9.5 |
| 備　考 | 廻り縁：塩ﾋﾞ製、トイレブース<br>洗面ｶｳﾝﾀｰ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ天板：人造大理石、化粧鏡 |



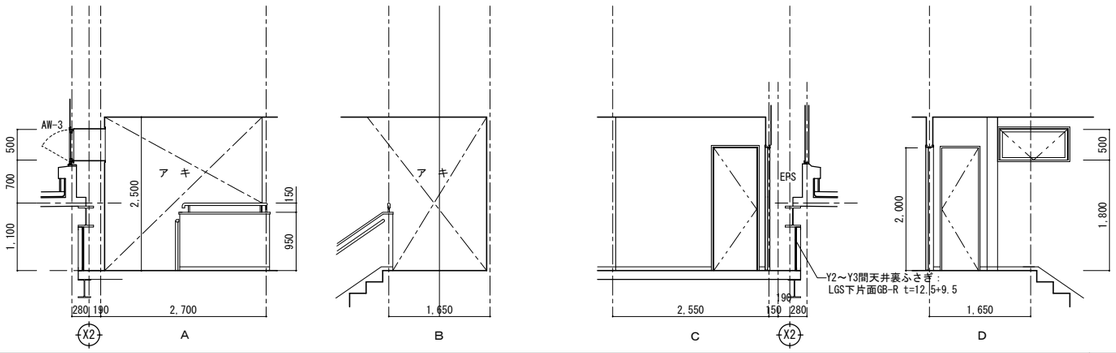

| | |
|---|---|
| 室　名 | 洗濯脱衣室 |
| 床 | ﾕﾆｯﾄﾌﾛｱ、耐水合板t=15下<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 (H=150) |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-S t=12.5+9.5<br>ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 |
| 天　井 | ｹｲｶﾙ板 t=6 EP |
| 備　考 | 廻り縁：塩ﾋﾞ製、タオル掛け<br>洗面ｶｳﾝﾀｰ：人造大理石、化粧鏡 |




| | |
|---|---|
| 室　名 | 廊　下 |
| 床 | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-R t=12.5+9.5 EP |
| 天　井 | GB-D t=9.5 |
| 備　考 | |

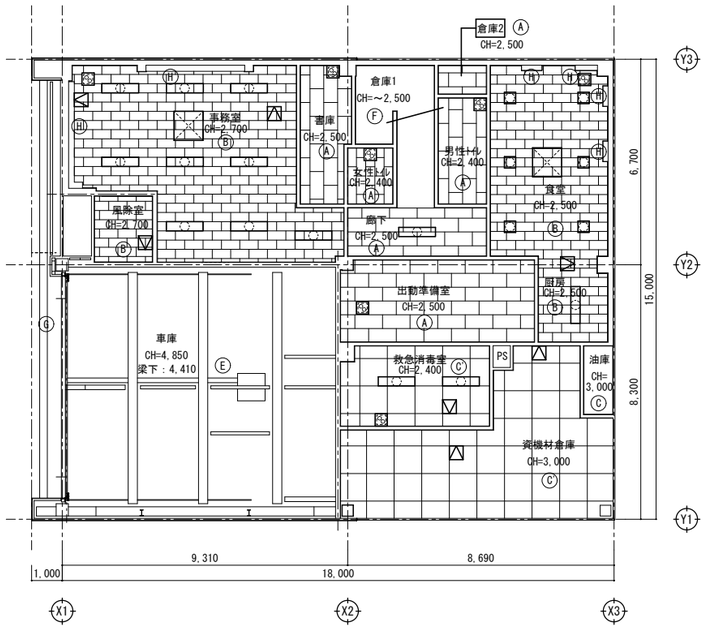



| | |
|---|---|
| 室　名 | 階段室 |
| 床 | ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0 |
| 幅　木 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60 |
| 壁 | (LGS65形下地)GB-R t=12.5+9.5 EP |
| 天　井 | GB-D t=9.5 |
| 備　考 | |

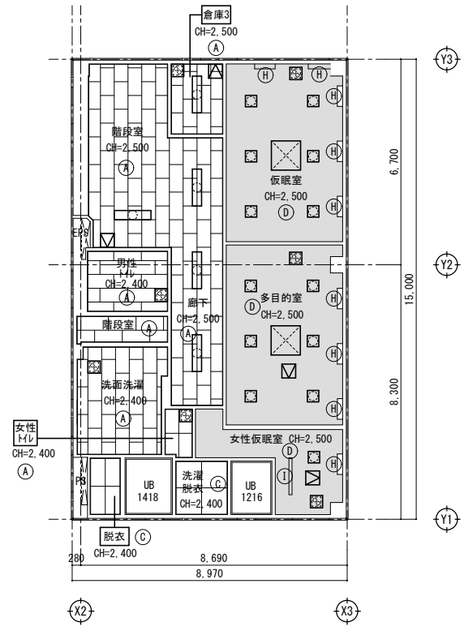



| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&ASSOCIATES<br>株式会社 カトウ建築事務所<br>一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | 千葉県知事登録 No.1-1709-4702 | APPR | CHKD | DRAWN | 本　社<br>千葉市中央区栄町36番10号<br>TEL 043-201-1277<br>FAX 043-201-1280<br>東京事務所<br>東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号<br>TEL 03-3510-1336<br>FAX 03-5201-1013 |

| | |
|---|---|
| 工事名 | (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 |
| 図　名 | 2階展開図(3) |
| S=A1：1/50<br>A3：1/100 | |
| DATE | ****** |
| No. | A-028 |




1階天井伏図　S=1/100




2階天井伏図　S=1/100

仕上 凡例

| | | |
|---|---|---|
| Ⓐ | GB-D t=9.5 | 廻り縁：塩ビ製 |
| Ⓑ | GB-R t=9.5<br>岩綿吸音板t=12 | 廻り縁：塩ビ製 |
| Ⓒ | ｹｲｶﾙ板t=6 EP | 廻り縁：塩ビ製 |
| Ⓒ' | ｹｲｶﾙ板t=6 EP 目透し | 廻り縁：塩ビ製 |
| Ⓓ | GB-R t=9.5<br>ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 | |
| Ⓔ | ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ表し | |
| Ⓕ | 鋼板 t=4.5 SOP | |
| Ⓖ | ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t=2.0 | |
| Ⓗ | ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ＋ 鋼製SOP ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ | |
| Ⓘ | 室内物干し | |

開口補強 凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 照明器具 | 370 × 370 | 19か所 |
| | 照明器具 | 1200 × 300 | 18か所 |
| | 天井点検口 | 450 × 450 | 11か所 |
| | 換気扇 | 400 × 400 | 14か所 |
| | 空調設備 | 900 × 900 | 4か所 |


一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&ASSOCIATES
千葉県知事登録 No.1-1709-4702
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206 加藤 義道
本　社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1336
FAX 03-5201-1013


| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |

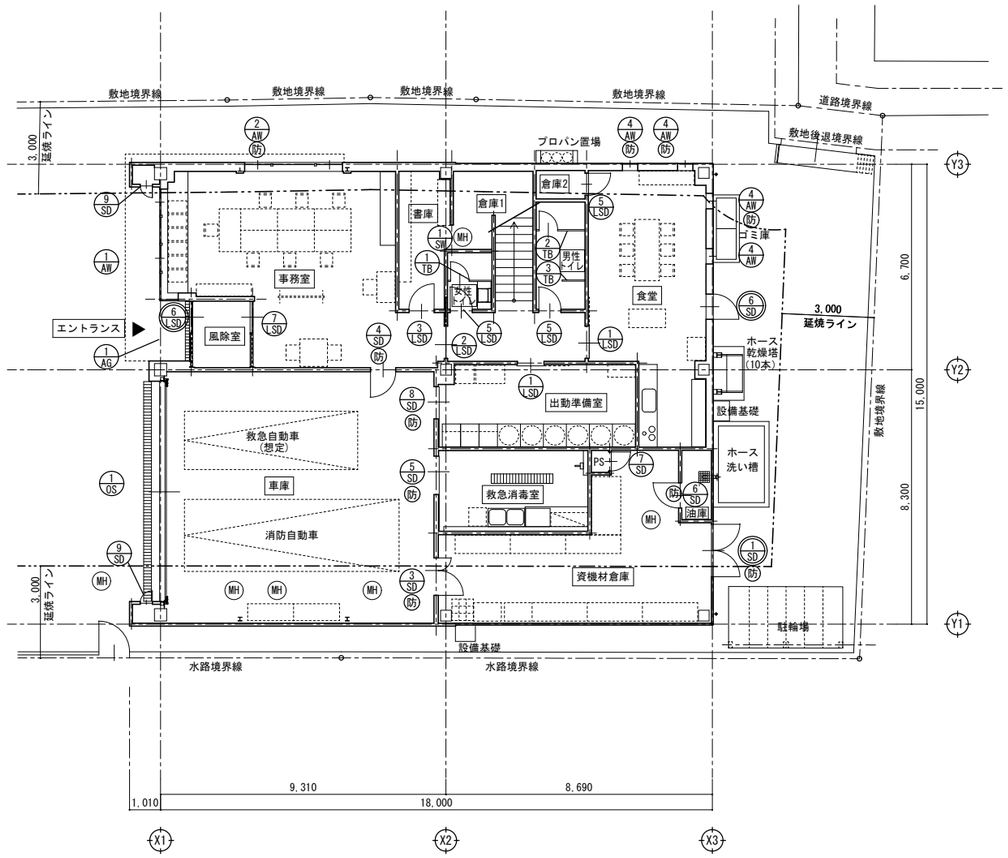
工事名 (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事

S=A-1：1/100
A-3：1/200

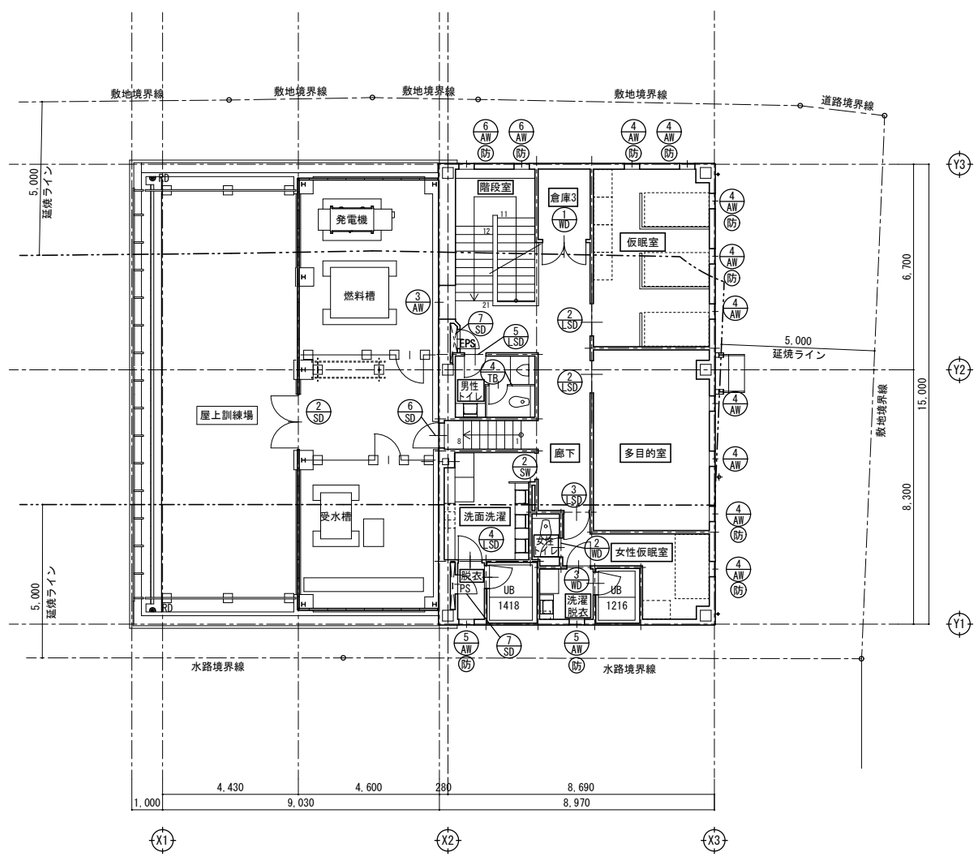
DATE ******

図名 天井伏図

No. A-029




1階平面図　S=1/100




2階平面図　S=1/100

【凡例】

| | |
|---|---|
| 材種 / 建具形式 / 材種 / 二重丸は電気錠 | 【特記事項】<br>特　特定防火設備<br>防　防火設備 |

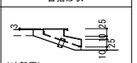
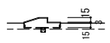
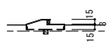
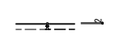
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS<br>一級建築士 NO.130206　加藤 義道 | 千葉県知事登録　No.1-1709-4702<br>株式会社　カトウ建築事務所 | APPR | CHKD | DRAWN | 本　社<br>千葉市中央区栄町36番10号<br>TEL 043-201-1277<br>FAX 043-201-1280<br>東京事務所<br>東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号<br>TEL 03-3510-1335<br>FAX 03-5201-1013 |

| | |
|---|---|
| 工事名 | (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 |
| 図名 | 建具キープラン |
| S= | A1：1/100<br>A3：1/200 |
| DATE | ****** |
| No. | A-030 |

# 建具特記仕様

【鋼製建具特記仕様】

1．沓摺の形状は以下の通りとする

| 型 | 沓摺形状 | 型 | 沓摺形状 |
|---|---|---|---|
| A | SUSt2.0　40×20 （内部用） | D |  （外部用） |
| B |  （内部用） | E | （外部気密用） |
| C |  （内部気密用） | F |  （内部用：目地棒） |

※FはSUS304　4×12とする
※A～EはSUS304　t2.0Hとする

2．建具金物凡例

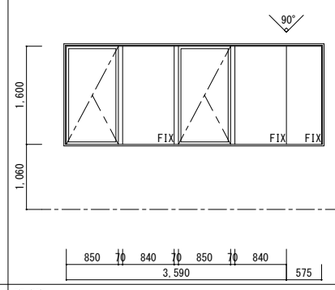
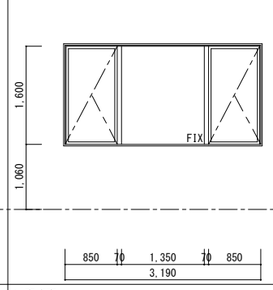
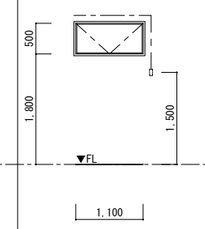
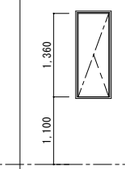
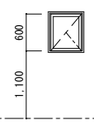
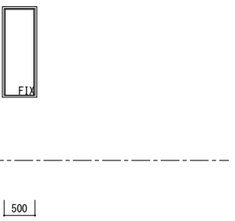
| | 金物名称 | 記号 |
|---|---|---|
| 支持金物 | 丁番<br>ピボットヒンジ<br>スプリングヒンジ<br>オートヒンジ | 丁番<br>PH<br>SH<br>AH |
| 開角調整金物 | ドアチェック<br>フロアヒンジ<br>戸当り | DC<br>FH<br>戸当 |
| 把手類 | レバーハンドル<br>カムラッチハンドル<br>ケースハンドル<br>グレモンハンドル<br>引戸用大型引棒<br>握込引手 | LH<br>KH<br>CH<br>GH<br>引棒<br>握込引手 |
| 閉鎖装置金物 | シリンダー錠<br>表示錠<br>錠錠（引戸用）<br>電気錠（通電金物共）<br>フランス落し<br>クレセント | シ錠<br>表示錠<br>錠錠<br>電気錠<br>フ落<br>クレ |
| その他 | 排煙オペレーター<br>SUS製網戸 | OP<br>SUS網戸 |

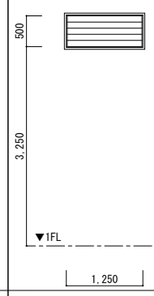
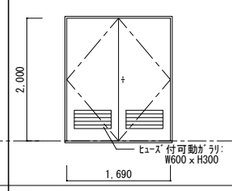
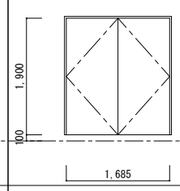
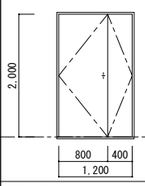
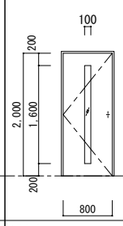
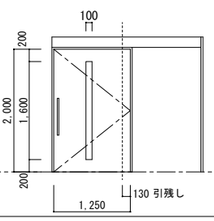
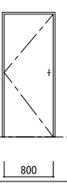
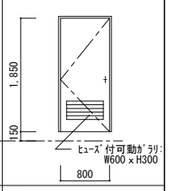
3．ガラス凡例

| 記号 | ガラス名称 |
|---|---|
| A | 中空層 |
| FL | フロートガラス |
| F | 型板ガラス |
| ST | 学校用強化ガラス |
| FST | 学校用強化型板ガラス |
| TP | 強化ガラス |
| FTP | 強化型板ガラス |
| FW | 網入型板ガラス |
| PW | 網入磨き板ガラス |
| PW線 | 線入磨き板ガラス |
| FR | 耐熱強化ガラス |
| G | ガラリ |
| P | アルミパネルt3 |
| FIX | ハメコロシ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 建具見込み寸法（mm） | SD　40　(H=2,400未満、扉一枚の幅=1,050以下)<br>50　(H=2,400以上、扉一枚の幅=1,600以下) | LSD　36<br>H　21<br>P　28<br>WD　36 | |
| 形　状 | (1)　AW(H=1,600以下)は中桟無しとする。<br>(2)　SDのうち、点検扉は片面フラッシュ戸とする。<br>(3)　ダクト接続のガラリには四方枠(PL-t2.3加工、見込み70mm、見付25mm、DP塗装1級)を付ける。 | | |
| 仕　上　げ | (1)　LSDの召合わせおよび縦小口包み板はステンレス鋼板とする。<br>(2)　ドアガラリは、SD及びLSDは建具表面仕上と同材とする。<br>(3)　SSD及びSSOのステンレス製方立ては、特記なき限りステンレスバイブレーション仕上とする。 | | |
| 建具金物 | (1)　支持金物及び開角調整金物は建具表による。<br>(2)　壁当たりとなる開き戸は壁面からの逃げ寸法を100mm程度とし、ドアクローザの有無にかかわらず戸当たりを設ける。戸当たりは原則として床付けとするが、巾木付との別は現場指示による。<br>(3)　排煙窓のクレセントおよび操作レバーの位置は床面から1,500mm以下とする。<br>(4)　扉の握り玉、把手類は原則として床面から1,000mmとし、押板類は1,100mmとする。<br>(5)　外部に面するAW、ACW、SCWは結露受及び水切を設ける。<br>(6)　衝突防止ＳＵＳシールは、特記なき限り丸型とし、ガラス両面施工とする。<br>(7)　一般開戸は、特記なき限り、以下の仕様とする。<br>・両開戸に取付けるDCは順位調整器付とする。<br>・特定防火設備および防火設備のDCはストッパーなしとする。 | | |
| 防音・遮音 | 防音仕様(AT) | グラスウール充填、4周ネオプレンゴム付、グレモン締り（GH） | |
| | 遮音仕様(SAT) | グラスウール充填、4周ネオプレンゴム付 | |

【特記事項】
(1)　特記無き限り、クレセント、鎌錠及びシリンダー錠はＦＬ＋800～1500に設けること。（共通）
(2)　特記なき限り、指詰防止機構は、指詰防止金具・ゴムストッパー・ゴム製戸当・戸先クッション(FL+1500mmまで欠込み)付とする。
(3)　排煙対象建具等の手動開放装置のうち、手で操作する部分はＦＬ＋800～1500の位置とする（共通）
(4)　煙感連動の防火防煙シャッターは障害物検知装置付とする。（煙感連動装置は連続通電仕様とする）
(5)　煙感連動の防火防煙シャッターは降下時　音声発生装置付とする。
(6)　内装建具の建築材料（接着材を含む）についてはＦ☆☆☆☆の認定品を使用すること。
(7)　金属製建具の枠まわりは外部建具：防水モルタル詰、内部建具：モルタル詰とする。
(8)　特記なき限り、扉を開放する時、壁に当たる場所には床付戸当りを設置すること。
(9)　ガラス押えは特記なき限りシール押えとする
(10)　鋼製建具の特定防火設備は、「平成12年建設省告示第1369号」の規定を満たすものとする。
　　また、防火設備は、「平成12年建設省告示第1360号」の規定を満たすものとする。
(11)　特定防火設備及び防火設備の遮煙性能は、幅≦５ｍ以下の場合、「昭和４８建設省告示第２５６４号」の規定を満たすものとする。
(12)　防火シャッターに関して、座板・レール・まぐさは全てSUS製・塗装無しとする。
(13)　特記無き限り、一般建具のDC、KH等はストッパー付とし、防火戸はストッパー無しとする。
(14)　オペレーター附属金物(ステイ、滑車、ダンパー、ワイヤー等）は全て隠蔽式（アルミ化粧カバー付）とする。
(15)　外部に面するガラリは特記無き限り防虫網付とし、開口率は35%内外とする。（内部ガラリは50%内外）
(16)　水切小口塞ぎ材を設け、端部RC壁に水が伝わらないようにすること。
(17)　建具レールは全てSUSt=2.0とする。
(18)　特記なき限り、シリンダー錠は、「外：シリンダー　内：サムターン」とする。
(19)　特記なき限り、衝突防止シールは、ステンレス製とし、ガラス１枚につき２枚×両面とする。
(20)　強化ガラスはヒートソーク処理を行うものとする。

| 記号数量 | 1 AW | 1 | 2 AW | 1 | 3 AW | 1 | 4 AW | 13 | 5 AW | 2 | 6 AW | 2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 種別方式 | アルミ製縦すべり出し窓＋FIX窓 | | アルミ製縦すべり出し窓＋FIX窓 | | アルミ製外倒し窓 | | アルミ製縦すべり出し窓 | | アルミ製縦すべり出し窓 | | アルミ製FIX窓 | |
| 形状寸法 |  | | ≪防火設備≫  | |  | | ≪防火設備≫  | | ≪防火設備≫  | | ≪防火設備≫  | |
| 使用場所 | 事務室 | | 1F事務室 | | 2F廊下 | | 1F食堂・2F仮眠室・2F多目的室・2F女性仮眠室 | | 2F脱衣室、2F洗濯脱衣室 | | 階段踊り場 | |
| 仕上見込 | ｱﾙﾐ、二次電解着色 | 枠：70　扉： | ｱﾙﾐ、二次電解着色 | 枠：70　扉： | | 枠：70　扉： | ｱﾙﾐ、二次電解着色 | 枠：70　扉： | ｱﾙﾐ、二次電解着色 | 枠：70　扉： | ｱﾙﾐ、二次電解着色 | 枠：70　扉： |
| 硝　子 | FL6 +A6 +FL6 | | PW6.8 +A6 +FL6 | | F6.8 +A6 +FL5 | | PW6.8 +A6 +FL6、北側4枚：FW6.8 +A6 +FL6 | | FW6.8 +A6 +F4 | | FW6.8 +A6 +FL5 | |
| 金　物 | ﾊﾝﾄﾞﾙ、ﾌﾘｸｼｮﾝｽﾃｲ、四方枠、付属金物一式、ｽﾁｰﾙ額縁（SOP） | | ﾊﾝﾄﾞﾙ、ﾌﾘｸｼｮﾝｽﾃｲ、四方枠、付属金物一式、ｽﾁｰﾙ額縁（SOP） | | ｽﾁｰﾙ額縁（SOP）、水切 | | ﾊﾝﾄﾞﾙ、ﾌﾘｸｼｮﾝｽﾃｲ、水切、付属金物一式、ｽﾁｰﾙ額縁（SOP） | | ﾊﾝﾄﾞﾙ、ﾌﾘｸｼｮﾝｽﾃｲ、水切、付属金物一式、ｽﾁｰﾙ額縁（SOP） | | 水切、付属金物一式、ｽﾁｰﾙ額縁（SOP） | |
| 備　考 | 解放角度45度、ﾌﾞﾘｰﾂ網戸 | オペレーター付き | 解放角度45度、ﾌﾞﾘｰﾂ網戸 | 解放角度45度、ﾌﾞﾘｰﾂ網戸 | 解放角度45度、ﾌﾞﾘｰﾂ網戸 | | ﾌﾞﾘｰﾂ網戸 | | | | | |

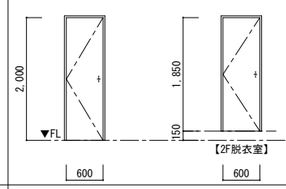
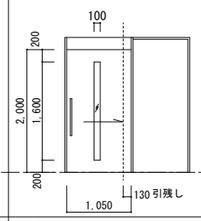
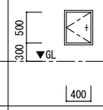
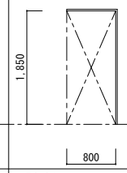
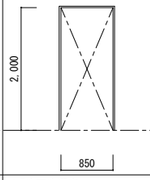
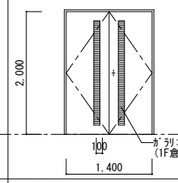
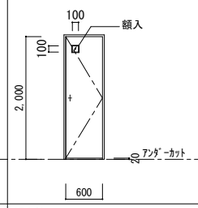
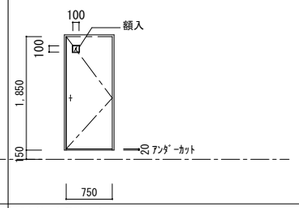
| 記号数量 | 1 AG | 1 | 1 SD | 1 | 2 SD | 1 | 3 SD | 1 | 4 SD | 1 | 5 SD | 1 | 6 SD | 2 | 6 SD | 1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 種別方式 | アルミ製ガラリ | | 鋼製両開きフラッシュドア | | 鋼製両開き扉 | | 鋼製親子フラッシュドア | | 鋼製片開額入ドア | | 鋼製額入ハンガー自閉式片引ドア | | 鋼製片開きフラッシュドア | | 鋼製片開きフラッシュドア | |
| 形状寸法 |  | | ≪防火設備≫  | |  | | ≪防火設備≫  | | ≪防火設備≫  | | ≪防火設備≫  | |  | | ≪防火設備≫  | |
| 使用場所 | 風除室 | | 1F資機材倉庫 | | 2F屋上訓練場 | | 1F資機材倉庫 | | 1F車庫 | | 救急消毒室 | | 1F食堂・2F廊下 | | 1F油庫 | |
| | | | | | | | | | PW6.8 | | | | | | | |
| 仕上見込 | ｱﾙﾐ、二次電解着色 | 枠：125　扉： | 扉・枠：SOP | 枠：100　扉：40 | 扉・枠：DP | 枠：100　扉：40 | 扉・枠：SOP | 枠：150　扉：40 | 扉・枠：SOP | 枠：150　扉：40 | 扉・枠：SOP | 枠：130　扉：40 | 扉・枠：SOP | 枠：260　扉：40 | 扉・枠：SOP | 枠：120　扉：40 |
| 硝　子 | | | 電気錠組込み(制御は電気工事とする)、LH、丁番、ﾌ落 | | | | ｼ錠、LH、PH、ﾌ落、順位調整器 | | ｼ錠、LH、PH、 | | PW6.8 | | | | | |
| 金　物 | 防虫網、水切、四方ﾀﾞｸﾄ受ｱﾝｸﾞﾙ | | SUS沓摺E、DC、付属金物一式 | | ｼ錠（片ｻﾑﾀｰﾝ）、LH | | SUS沓摺A、DC、付属金物一式 | | SUS沓摺C、DC、付属金物一式 | | ﾊﾝｶﾞｰ機構、大型引棒、SUS沓摺 | | 1F食堂：電気錠、2F廊下：ｼ錠、LH | | ｼ錠、LH | |
| | | | | | DC、丸落、付属金物一式 | | | | | | | | PH、SUS沓摺A、DC、付属金物一式 | | PH、SUS沓摺E、DC、付属金物一式 | |
| 備　考 | 有効開口率50% | | | | | | | | | | | | | | | |

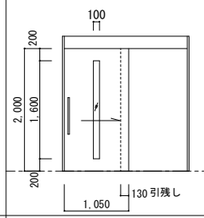
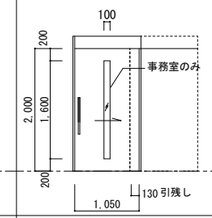
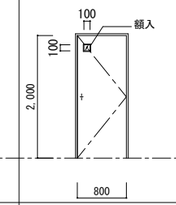
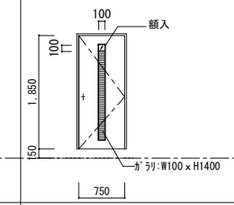
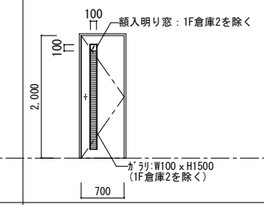
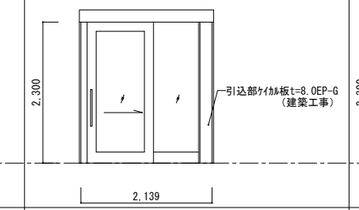
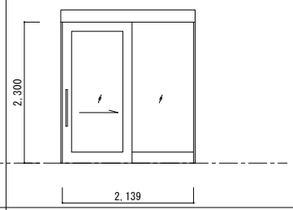

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&ASSOCIATES
千葉県知事登録　No.1-1709-4702
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206　加藤 義道

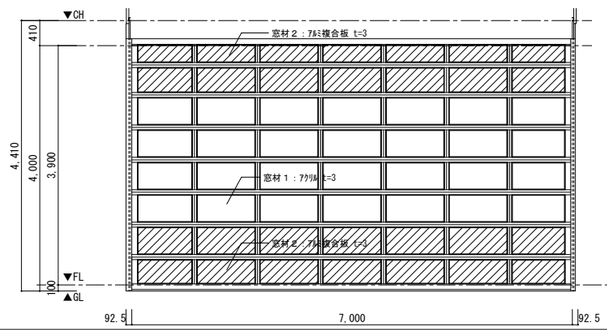
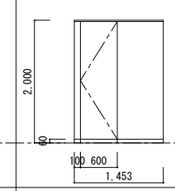
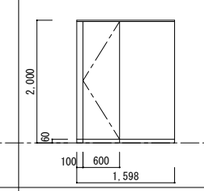
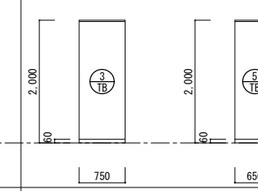
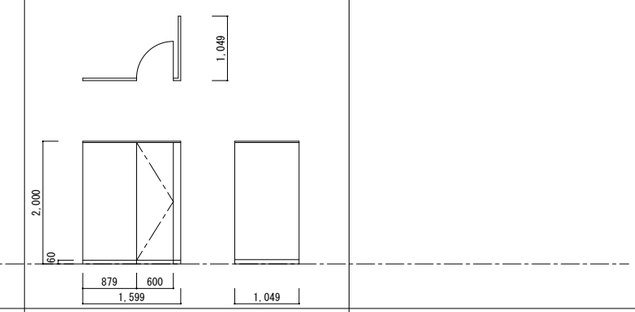

| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |


本　　社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1336
FAX 03-5201-1013


工事名　(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事
図名　建具表（１）
S= A1：1/50　A3：1/100
DATE　******
No.　A-031

| 記号数量 | 7 SD | 3 | 8 SD | 1 | 9 SD | 2 | 1 SW | 1 | 2 SW | 1 | 1 WD | 1 | 2 WD | 1 | 3 WD | 1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 種別方式 | 鋼製片開き片面フラッシュ戸 | | 鋼製額入片ハンガー自閉式引戸<br>≪防火設備≫ | | 鋼製片開き点検扉 | | 鋼製二方枠 | | 鋼製三方枠 | | 木製両開きフラッシュドア | | 木製片開きフラッシュドア | | 木製片開きフラッシュドア | |
| 形状寸法 |  | |  | |  | |  | |  | |  | |  | |  | |
| 使用場所 | 1F PS ・ 2F PS | | 1F出勤準備室 | | 1F外部 | | 1F倉庫1 | | 2F洗面洗濯室 | | 2F倉庫3 | | 2F女性トイレ | | 2F女性 洗濯脱衣室 | |
| 仕上見込 | 扉・枠：SOP | 枠：80 / 扉：40 | 扉・枠：SOP | 枠：220(SOP) / 扉：40 | 扉・枠：SOP | 枠：60(SOP) / 扉：40 | 扉・枠：SOP | 枠：130 | 扉・枠：SOP | 枠：130 | 扉・枠：EP | 枠：130 / 扉：40 | 扉・枠：ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 | 枠：130 / 扉：40 | 扉・枠：ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 | 枠：130 / 扉：40 |
| 硝　子 | | | PW6.8 | | | | | | | | | | F4 | | F4 | |
| 金　物 | 点検口錠、PH、SUS沓掛A | | ｼ錠、SUS引棒、SUS沓摺A、 | | 点検口錠、中心吊、PH、付属金物一式 | | | | | | ｼ錠、LH、丁番、DC、付属金物一式 | | ｼ錠、LH、PH、 | | ｼ錠、LH、PH、 | |
| | 付属金物一式 | | ﾊﾝｶﾞｰ機構、付属金物一式 | | | | | | | | | | DC、付属金物一式 | | DC、付属金物一式 | |
| 備　考 | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 記号数量 | 1 LSD | 2 | 2 LSD | 3 | 3 LSD | 2 | 4 LSD | 1 | 5 LSD | 4 | 6 LSD | 1 | 7 LSD | 1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 種別方式 | 軽量スチール製片引ハンガー自閉式額入ドア | | 軽量スチール製ハンガー自閉式片引ドア（事務室のみ額入） | | 軽量スチール製片開きフラッシュドア | | 軽量スチール製片開きフラッシュドア | | 軽量スチール製片開きフラッシュドア | | 軽量スチール製片引ハンガー自閉式框ドア（外部用） | | 軽量スチール製片引ハンガー自閉式框ドア | |
| 形状寸法 |  | |  | |  | |  | |  | |  | |  | |
| 使用場所 | 1F 出勤準備室・食堂 | | 1F事務室・2F仮眠室・2F多目的室 | | 1F書庫、2F女性仮眠室 | | 2F洗濯脱衣室 | | 1F女性トイレ・1F男性トイレ・1F倉庫2・2F男性トイレ | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 風除室 | | 風除室 | |
| 仕上見込 | 扉・枠：焼付塗装 | 枠：190(SOP) / 扉：40 | 扉・枠：焼付塗装 | 枠：130(SOP) / 扉：40 | 扉・枠：焼付塗装 | 枠：130(SOP) / 扉：40 | 扉・枠：焼付塗装 | 枠：130 / 扉：40 | | 枠：130 / 扉：40 | 扉・枠：焼付塗装 | 枠：135(SOP) / 扉：40 | 扉・枠：焼付塗装 | 枠：135(SOP) / 扉：40 |
| 硝　子 | FL6 | | F6 | | F4 | | F4 | | F4 | | FL6+AG+FL6 | | FL6 | |
| 金　物 | ｼ錠、SUS引棒、SUS沓摺A、付属金物一式 | | ｼ錠、SUS引棒、SUS沓摺A、付属金物一式 | | ｼ錠、LH、PH、 | | ｼ錠、LH、PH、 | | ｼ錠、LH、PH、 | | 電気錠、SUS引棒、SUSガイドレール、付属金物一式 | | SUS引棒、SUSガイドレール、付属金物一式 | |
| | | | | | SUS沓摺A、DC、付属金物一式 | | SUS沓摺B、DC、付属金物一式 | | SUS沓摺A、DC、付属金物一式 | | | | | |
| 備　考 | | | | | | | | | | | | | | |

| 記号数量 | 1 DS | 1 | 1 TB | 1 | 2 TB | 1 | 3 TB 5 TB | 1 | 4 TB | 1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 種別方式 | 電動式オーバードア | | 1階トイレブース | | 1階トイレブース | | 衝立 | | 2階トイレブース | |
| 形状寸法 |  | |  | |  | |  | |  | |
| 使用場所 | 1F車庫 | | 1F女性トイレ | | 1F男性トイレ | | 1階トイレブース、２階洗面洗濯室 | | 2F男性トイレ | |
| 仕上見込 | 扉・枠：ｱﾙﾐ電解二次着色 | | 高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂板(下地MDF) | 枠： / 扉：40 | 高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂板(下地MDF) | 枠： / 扉：40 | 高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂板(下地MDF) | 枠： / 扉：40 | 高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂板(下地MDF) | 枠： / 扉：40 |
| 硝　子 | 窓材１：ｱｸﾘﾙ t=3<br>窓材２：ｱﾙﾐ複合板 t=3 | | | | | | | | | |
| 金　物 | 電動機構一式、ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ（溶融亜鉛ﾒｯｷ処理）、ｳｴｻﾞｰｽﾄﾘｯﾌﾟ、二方枠 | | ｽﾗｲﾄﾞ錠（非常開錠付）、戸当りｽﾄｯﾊﾟｰ、 | | ｽﾗｲﾄﾞ錠（非常開錠付）、戸当りｽﾄｯﾊﾟｰ、 | | | | ｽﾗｲﾄﾞ錠（非常開錠付）、戸当りｽﾄｯﾊﾟｰ、 | |
| | 付属金物一式、開閉ｽｲｯﾁ2か所（外部側：鍵ﾎﾞｯｸｽ付）、ｼｬｯﾀｰ引棒 | | 戸当り帽子掛け、付属金物一式(笠木・ｺｰﾅｰ・ﾚｰﾙ：ｱﾙﾐ押出型材 ) | | 戸当り帽子掛け、付属金物一式(笠木・ｺｰﾅｰ・ﾚｰﾙ：ｱﾙﾐ押出型材 ) | | 付属金物一式(笠木・ｺｰﾅｰ：ｱﾙﾐ押出型材 ) | | 戸当り帽子掛け、付属金物一式(笠木・ｺｰﾅｰ・ﾚｰﾙ：ｱﾙﾐ押出型材 ) | |
| 備　考 | | | ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、SUS笠木、SUS巾木、ﾊﾟﾈﾙ：継ぎ目無 | | ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、SUS笠木、SUS巾木、ﾊﾟﾈﾙ：継ぎ目無 | | SUS笠木、SUS巾木、ﾊﾟﾈﾙ：継ぎ目無 | | ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、SUS笠木、SUS巾木、ﾊﾟﾈﾙ：継ぎ目無 | |

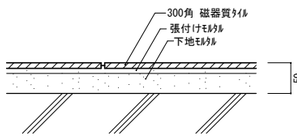

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&ASSOCIATES
千葉県知事登録 No.1-1709-4702
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206 加藤 義道


| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |

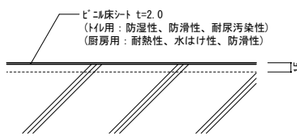

本　社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1338
FAX 03-5201-1013


| 工事名 | S= A1：1/50 A3：1/100 |
|---|---|
| (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 | DATE ****** |
| 図　名 建具表（２） | No. A-032 |

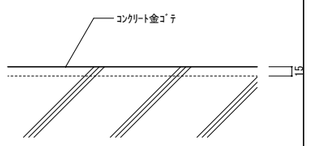
## 床 磁器質ﾀｲﾙ
S=1: 5(A1) S=1:10(A3)



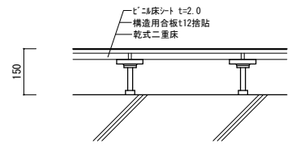

## 床 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ
S=1: 5(A1) S=1:10(A3)



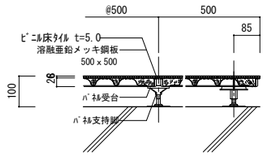

## 床 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ
S=1:10(A1) S=1:20(A3)




## 床 ユニットフロア
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

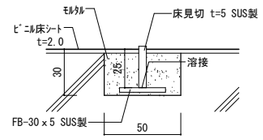



## 床 ＯＡフロア
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



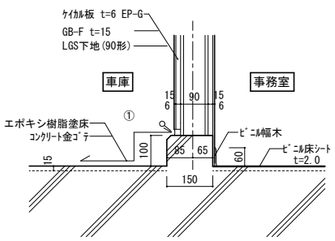

最弱部集中耐荷重：5000N

## 床 床見切
S=1:2(A1) S=1:4(A3)

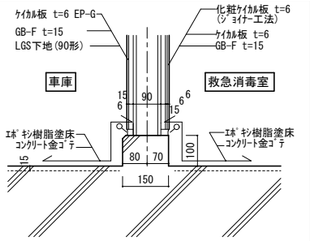



床見切 詳細図（厨房-食堂）S=1/2

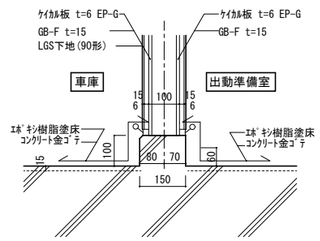
## 床 塗床立上げ
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



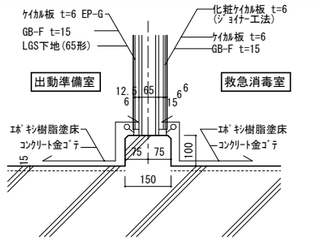

## 床 塗床立上げ
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



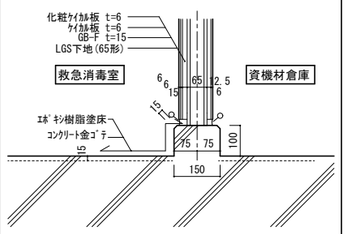

## 床 塗床立上げ
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



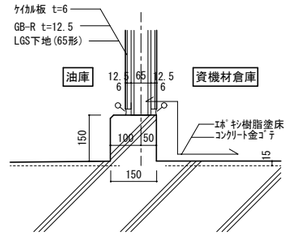

## 床 塗床立上げ
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



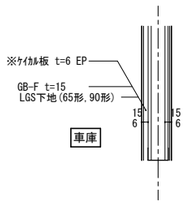

## 床 エポキシ樹脂塗床
S=1:10(A1) S=1:20(A3)




## 床 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

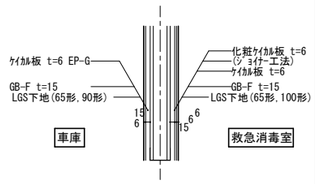



## 壁 防火区画1
※認定番号：FP060NP-0241
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

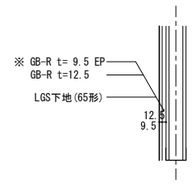



※ 1F車庫 および 出動準備室は、EPを『EP-G』とする

## 壁 防火区画2
※認定番号：FP060NP-0241
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

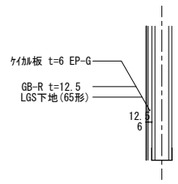



## 壁 間仕切1
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

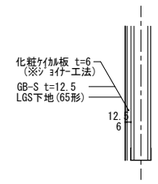



※次の室は、EPをﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ仕上げとする
(1F：食堂、2F：仮眠室,多目的室,女性仮眠室,女性ﾄｲﾚ)

## 壁 間仕切2
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

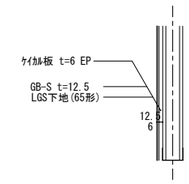



## 壁 間仕切3
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

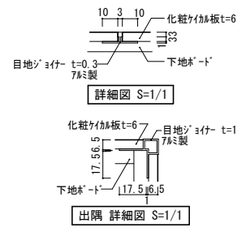



※厨房は 不燃仕様とする。

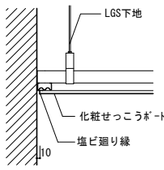
## 壁 間仕切4
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



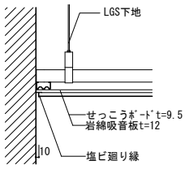

## 壁 ジョイナー工法
S=1:1(A1) S=1:2(A3)



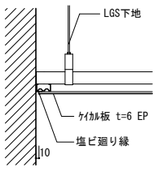

## 天井 GB-D
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



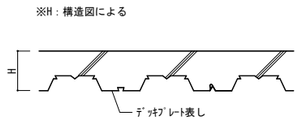

## 天井 岩綿吸音板
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



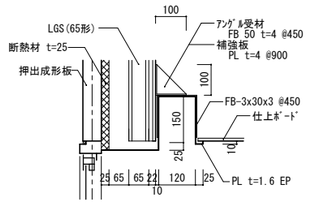

## 天井 ｹｲｶﾙ板
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



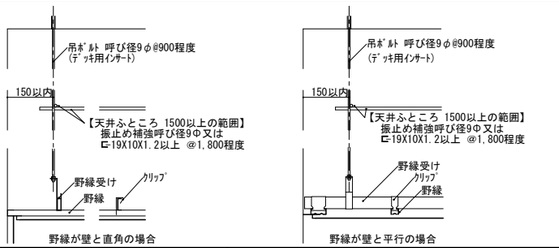

## 天井 ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ表し
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



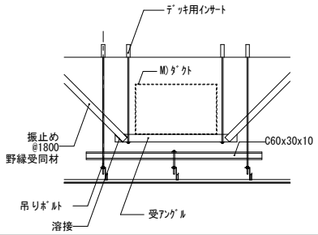

## 天井 ブラインドボックス
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



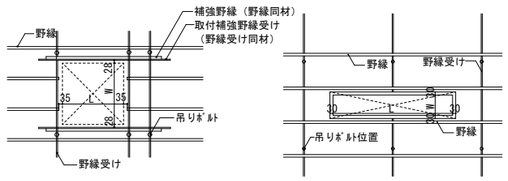

## 雑 天井下地 詳細
S=1:10(A1) S=1:20(A3)




## 雑 天井下地補強(ダクト設備類)詳細
S=1:10(A1) S=1:20(A3)




## 雑 天井開口補強（点検口等）詳細
S=1:10(A1) S=1:20(A3)





一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO
千葉県知事登録 No.1-1709-4702
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206 加藤 義道

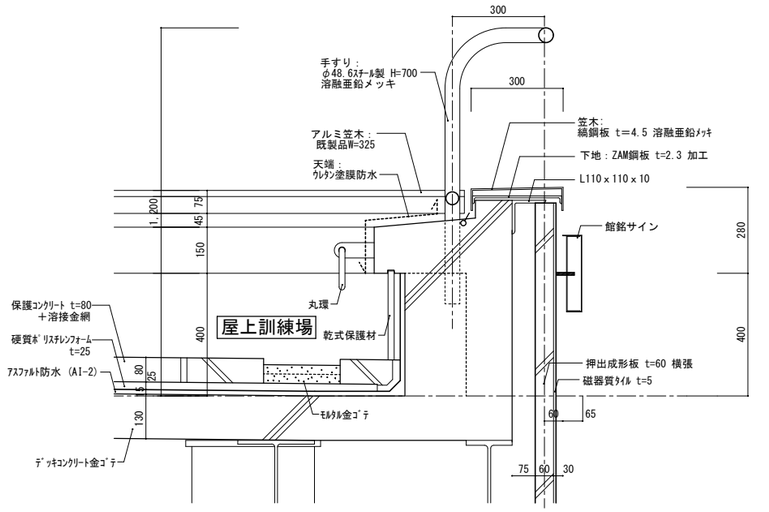

| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |


本 社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1336
FAX 03-5201-1013


| | |
|---|---|
| 工事名 | (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 |
| S= | 各図 |
| DATE | ****** |
| 図 名 | 部分詳細図（1） |
| No. | A-033 |

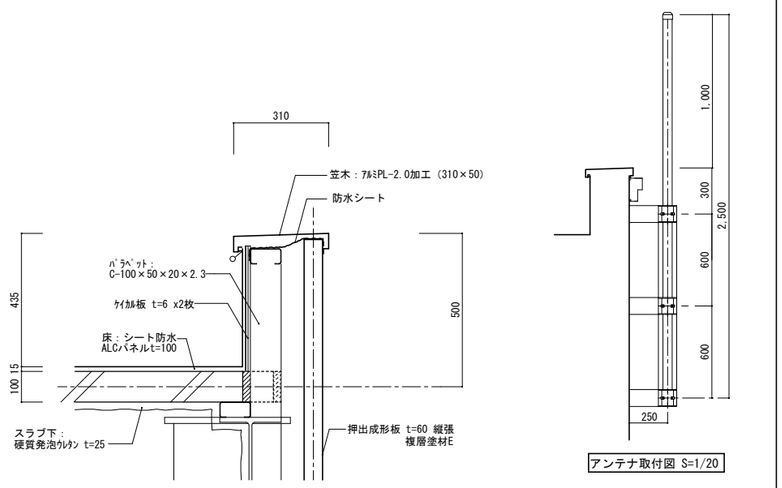
## 屋根 パラペット立上り1

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



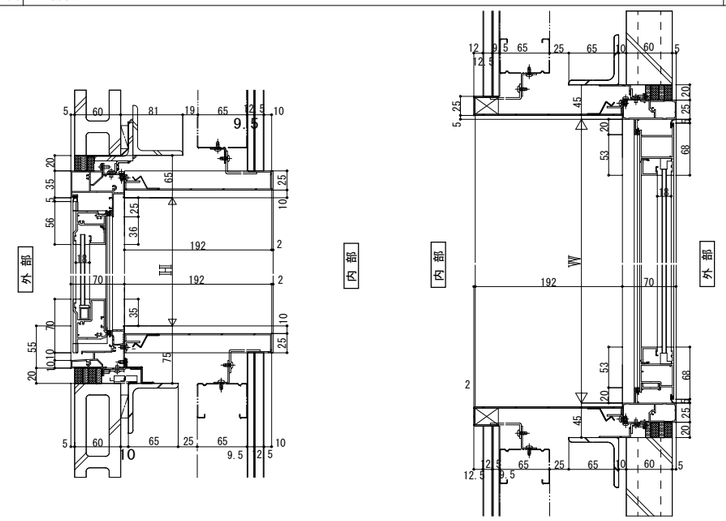

## 屋根 パラペット立上り2

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



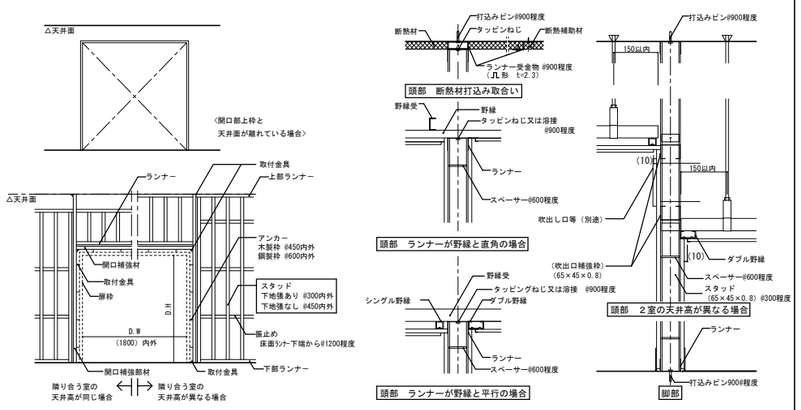

## 建具 AW4詳細図

S=1: 4(A1)
S=1: 8(A3)




## 床 内壁 軽量鉄骨下地（共通事項）詳細

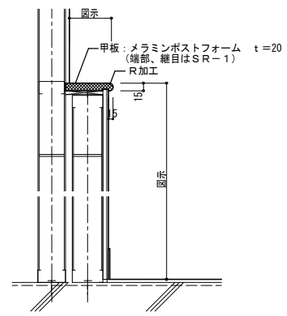
No-Scale




□注記事項
・ダクト類の小規模の補強は、各スタッド・ランナーとする。
・スタッド高に高低がある場合は、高い方に合わせる。
・スタッド・ランナー及び補強枠の切断小口及び溶接部分は、両面から防錆する。

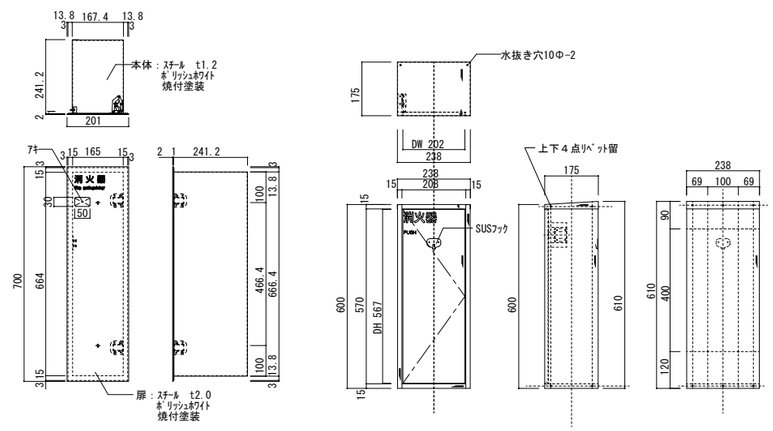
## 床 ﾗｲﾆﾝｸﾞ詳細

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



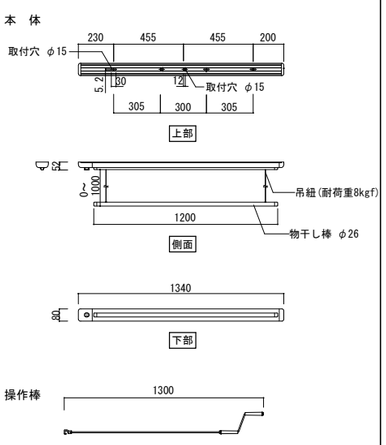

## 雑 消火器ボックス

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)




## 雑 洗濯用吊金物

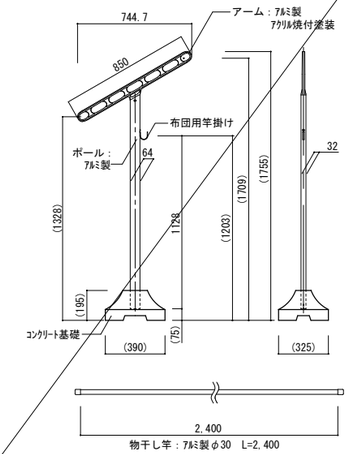
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)




※ 杉田ACE URM-S同等品

## 雑 洗濯用吊金物

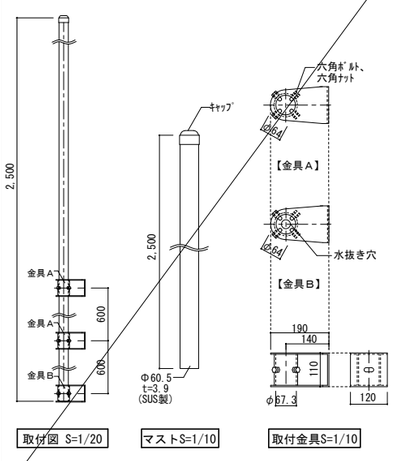
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)




※ 杉田ACE ﾎｽｸﾘｰﾝ同等品

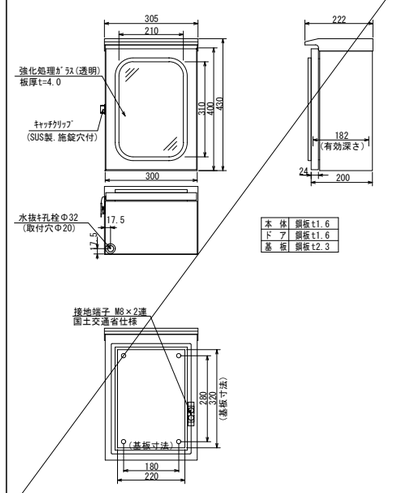
## 外壁 アンテナマスト

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)




## 外壁 駆付通報BOX

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)




日東工業株式会社製ｳｨﾝﾄﾞｳｷｬﾋﾞﾈｯﾄ(OW20-34A)同等品


一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STORE
千葉県知事登録 No.1-1709-4702
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206 加藤 義道

本 社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1336
FAX 03-5201-1013


| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |

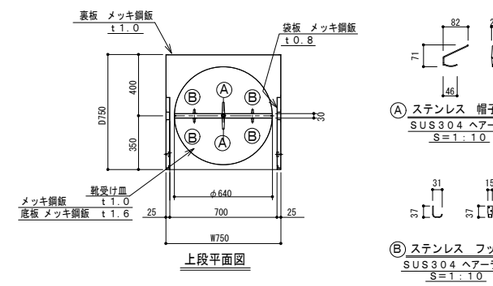
工事名：(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事

図名：部分詳細図（２）

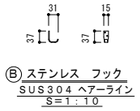
S= 各図
DATE ******
No. A-034

## 家具　防火衣ロッカー（回転式）

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



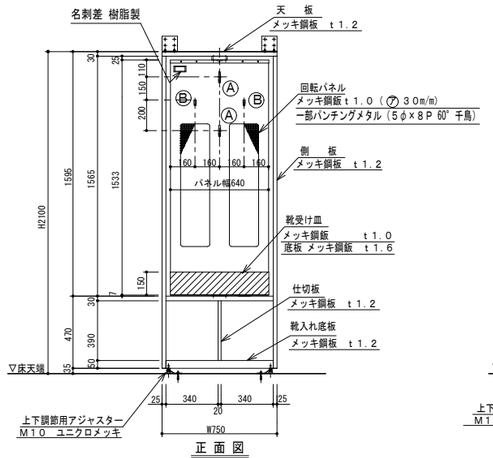
Ⓐ ステンレス　帽子掛け
SUS304 ヘアーライン
S＝1：10

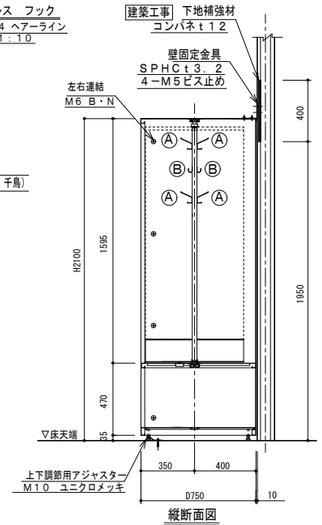



Ⓑ ステンレス　フック
SUS304 ヘアーライン
S＝1：10

※防火衣掛ロッカー（回転式２交替用）
１連式２人用（ＲⅡ－１型）
寸法：Ｗ７５０×Ｈ２１００×Ｄ７５０
塗装：粉体焼付塗装
・製作台数　６台

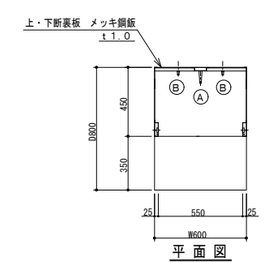
※可動フック１面に３個付

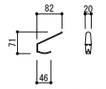


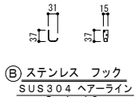

## 家具　防火衣ロッカー（固定式）

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



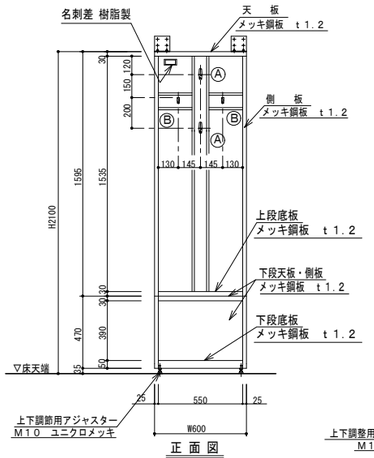



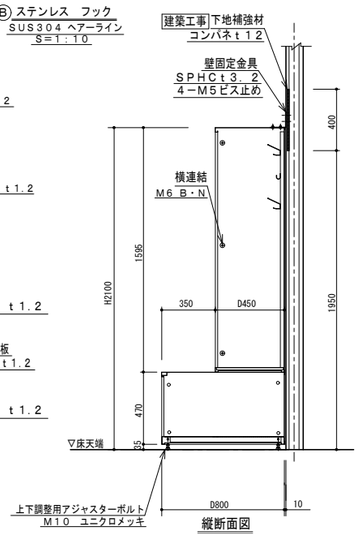

Ⓐ ステンレス　帽子掛け
SUS304 ヘアーライン
S＝1：10




Ⓑ ステンレス　フック
SUS304 ヘアーライン
S＝1：10

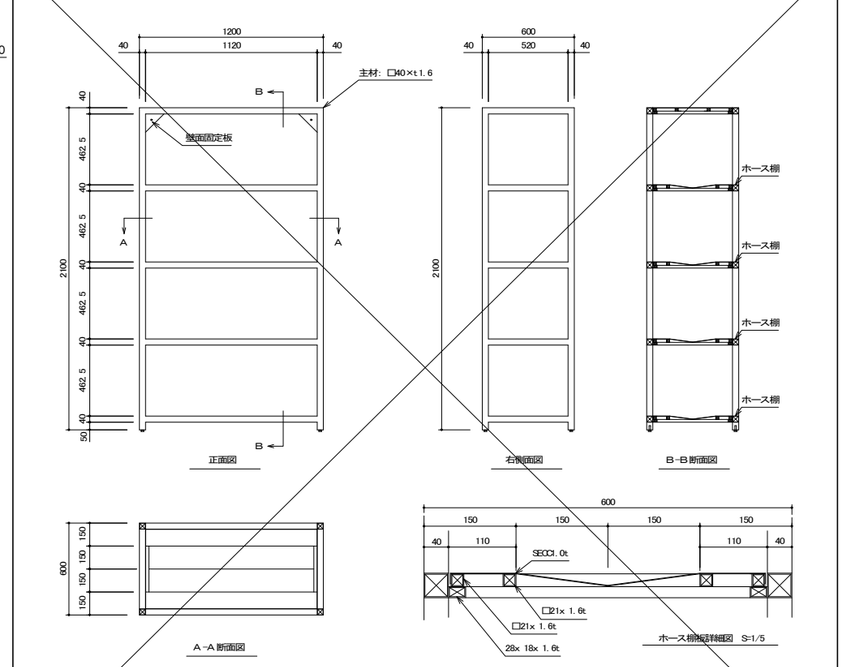
※防火衣掛ロッカー（固定式）
１連式1人用（ＲＨ型）
寸法：Ｗ６００×Ｈ２１００×Ｄ８００・Ｄ４５０
塗装：粉体焼付塗装
・製作台数　３台




## 棚　ホースラック

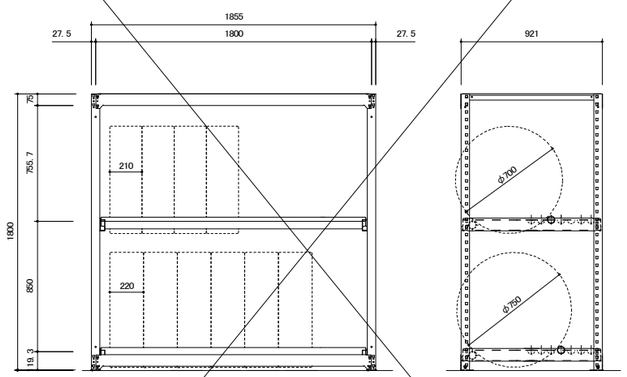
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)




| | |
|---|---|
| 天板・フレーム：鋼製 | |
| 台数 | ：２台 |
| 収納本数：40本 | |

## 棚　タイヤラック

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

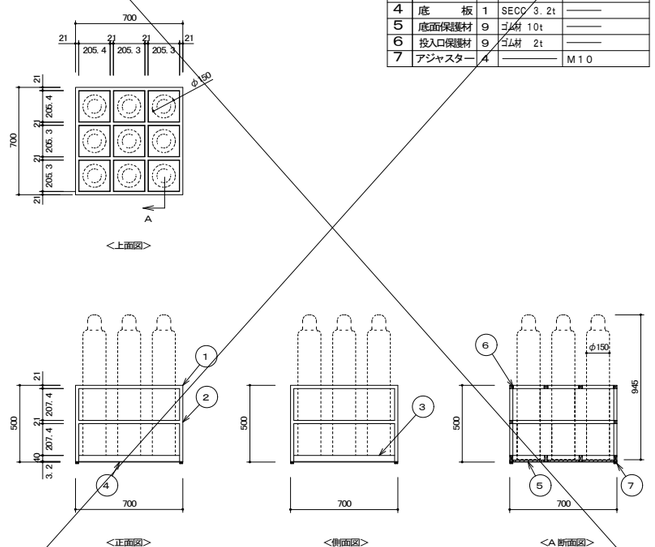



| | |
|---|---|
| 天板・フレーム：鋼製 | |
| 台数 | ：１台 |
| 段荷重 | ：300kg／段 |
| 固定 | ：壁・床アンカー固定 |

## 家具　酸素ボンベ

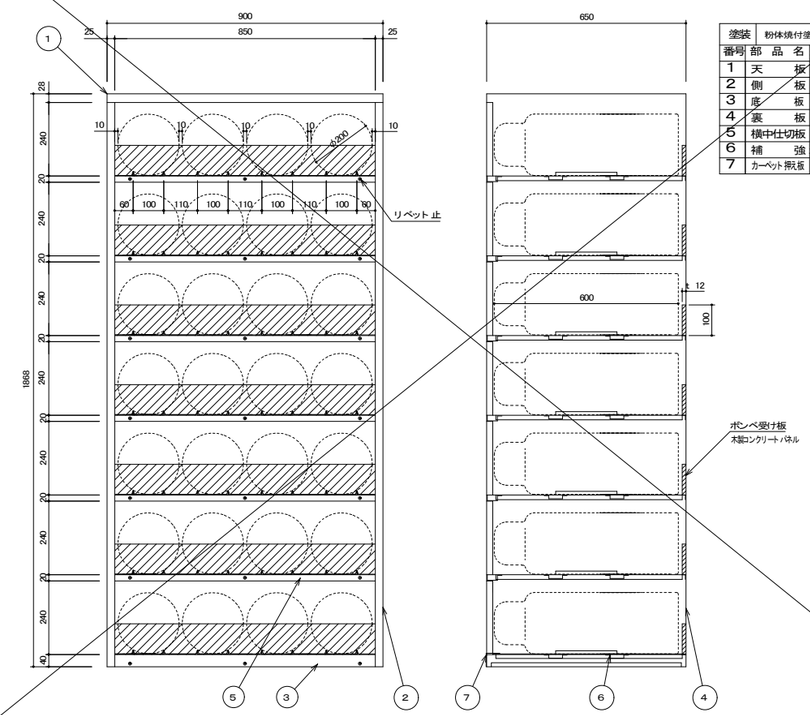
S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

| 塗装 | 粉体焼付塗装 | 数量 | １台 | |
|---|---|---|---|---|
| 番号 | 部品名 | 数量 | 材質 | 備考 |
| 1 | 上枠組 | — | 21x21x1.6t | 角パイプSS400 |
| 2 | 側枠組 | — | 21x21x1.6t | 角パイプSS400 |
| 3 | 底枠組 | — | 40x20x1.6t | 角パイプSS400 |
| 4 | 底板 | 1 | SECC 3.2t | ——— |
| 5 | 底面保護材 | 9 | ゴム材 10t | ——— |
| 6 | 投入口保護材 | 9 | ゴム材 2t | ——— |
| 7 | アジャスター | 4 | ——— | M10 |




## 家具　空気ボンベ

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)




| 塗装 | 粉体焼付塗装 | 数量 | １台 | |
|---|---|---|---|---|
| 番号 | 部品名 | 数量 | 材質 | 備考 |
| 1 | 天板 | 1 | SECC 1.0t | ——— |
| 2 | 側板 | 2 | SECC 1.0t | ——— |
| 3 | 底板 | 1 | SECC 1.0t | ——— |
| 4 | 裏板 | 1 | SECC 0.8t | ——— |
| 5 | 横中仕切板 | 6 | SECC 1.0t | ——— |
| 6 | 補強 | 20 | SECC 0.8t | ——— |
| 7 | カーペット張板 | 7 | SUS304 1.0t | リベット止 |

※数量：１台あたり


一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS
千葉県知事登録　No.1-1709-4702
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206　加藤 義道


| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |


本　社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1330
FAX 03-5201-1013


工事名　(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事

図名　部分詳細図（３）

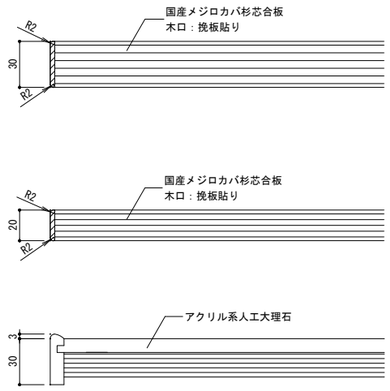
S=　各図
DATE　******
No.　A-035

## 造作家具 共通仕様　「特記なき場合は下記仕様とする」

| 天板・扉・本体：国産メジロカバ杉芯合板 | |
|---|---|
| 天板 | 国産メジロカバ杉芯合板　木口：挽板貼り |
| 本体・主材 | 国産メジロカバ杉芯合板　木口：突板テープ貼り |
| 扉 | 国産メジロカバ杉芯合板　木口：挽板貼り |
| | 扉にガラスが入る時は透明強化ガラスt4mmとする |
| 引出前板 | 国産メジロカバ杉芯合板　木口：挽板貼り |
| 棚板 | 国産メジロカバ杉芯合板　木口：突板テープ貼り |
| 側板 | 国産メジロカバ杉芯合板　木口：突板テープ貼り |
| 背板 | 国産メジロカバ突板合板 |
| 地板 | 国産メジロカバ杉芯合板　木口：突板テープ貼り |
| 台輪 | 国産メジロカバ杉芯合板 |
| 塗装 | 着色UC：ウレタン塗装仕上げＦ☆☆☆☆ |
| 接着剤 | ※接着剤・塗料は厚生労働省より室内濃度指針値が出された物質の基準値を満たしたものとする。 |

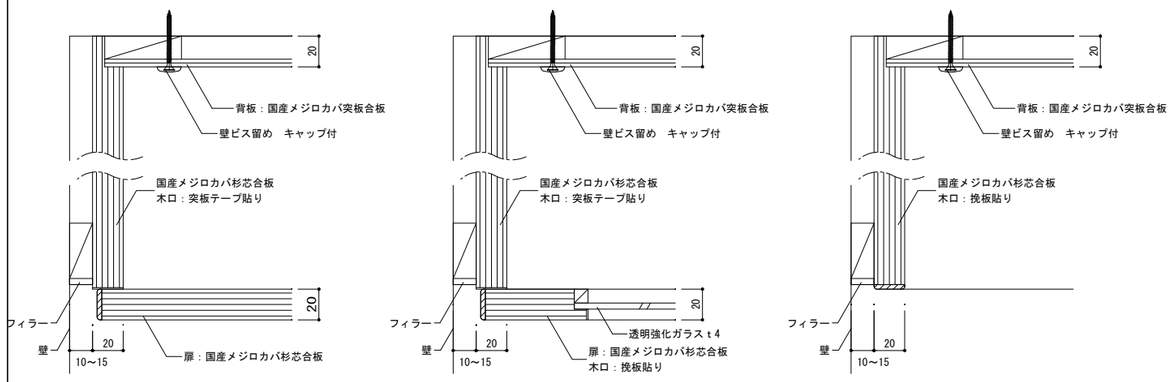
※　施工前に家具施工図を作成し監督者に提出、承認を受けた後、製作、施工すること。
※　国産メジロカバが、国産材である事を証明する「出荷証明書」を監督者に提出、承認を受けること。
※　家具の製作工場については環境に配慮し、温暖化防止や水土保全のために、
　　持続可能な森林運営を担うことを評価・認定した認証制度。
　（SGEC　又はPEFC）の認証取得企業であること。
※　また、品質確保のためＩＳＯ９００１認定取得の国内工場とすること。
※　メーカ選定の際には、仕様通りの実物サンプルを提出し、監督者承認後決定とすること。
※　杉芯合板のH1800以上の扉のみ、扉裏面に反止金具を付けること。

## 天板　S=1/2

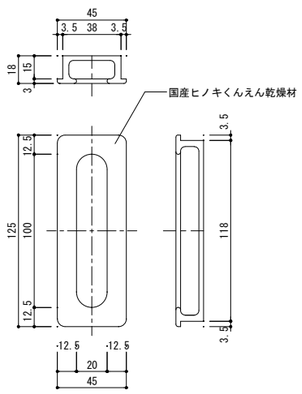



## 本体仕様　S=1/2

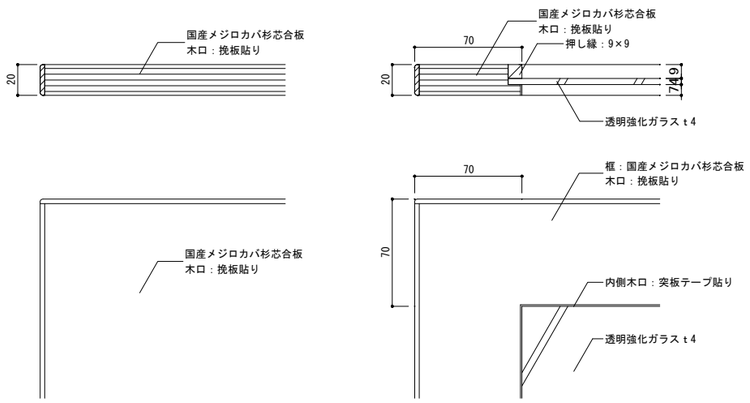
※　本体各部材の接合に関しては、いたずら防止と強度確保のため、部外者が安易に外せるノックダウン金物の使用は禁止とする。
※　造作家具は危険防止の為、床または壁面に取付・固定すること。
※　本体は、フィラー、支輪の現場加工取付込みとする。




## 掘り込み引手　S=1/2

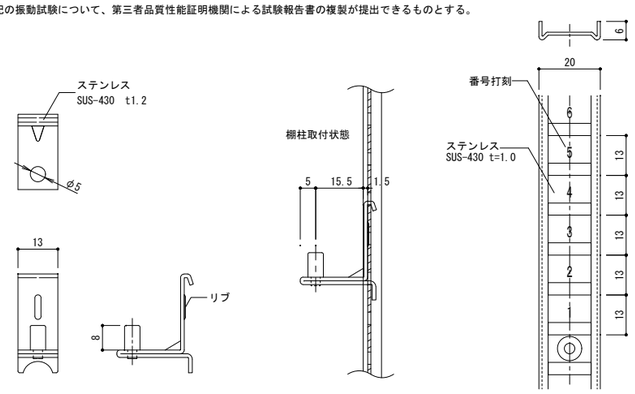



## 扉　S=1/2

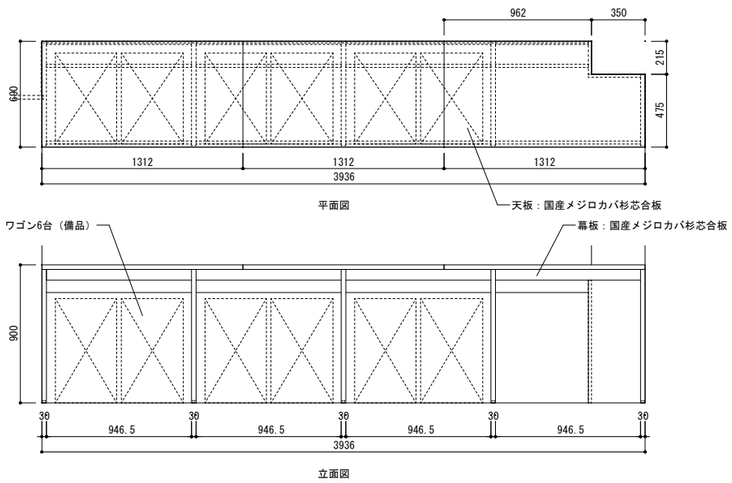


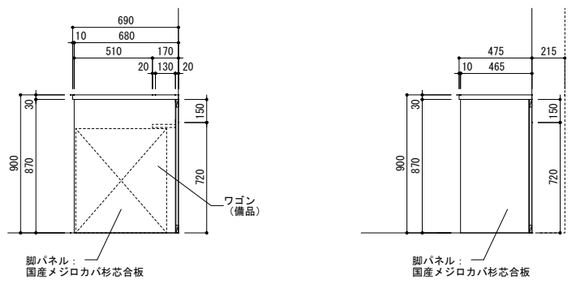

## ステンレス製耐震棚受・棚柱　S=1/1

・　可動棚板および棚柱と棚受について下記の条件を満たすものとする。
・　震度6以上（JMA神戸波）を想定した特定地震波による3D加震レベル100%の振動試験において、加震後、異常がなかったものとする。
・　上記の振動試験において可動棚板の落下が無かったことについて加震後の状況写真で確認できるものとする。
・　上記の振動試験について、第三者品質性能証明機関による試験報告書の複製が提出できるものとする。



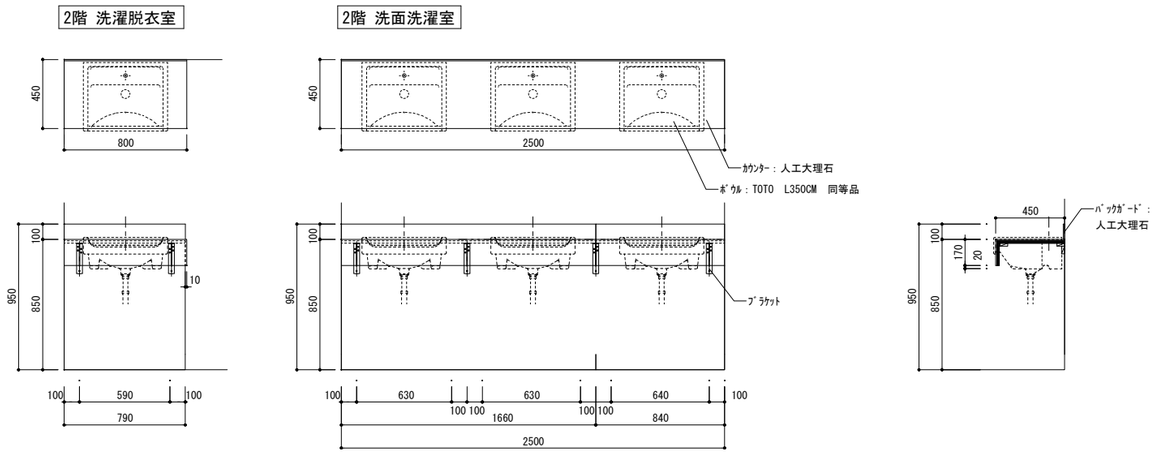

## カウンター（1階　事務室　S=1/20



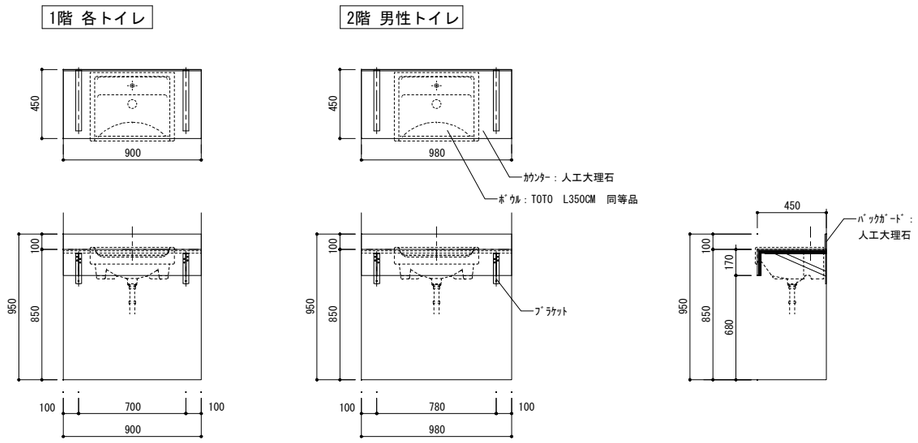

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEM | 千葉県知事登録　No.1-1709-4702<br>株式会社　カトウ建築事務所<br>一級建築士 NO.130206　加藤 義道 | APPR | CHKD | DRAWN | 本　社<br>千葉市中央区栄町36番10号<br>TEL 043-201-1277<br>FAX 043-201-1280<br>東京事務所<br>東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号<br>TEL 03-3510-1336<br>FAX 03-5201-1013 | 工事名<br>（仮称）古河消防署駅西出張所建設工事<br>図　名<br>部分詳細図（４） | S=　各図<br>DATE　******<br>No.　A-036 |

## 洗面台（２階 洗濯脱衣室ｘ1、２階 洗面洗濯室ｘ1）

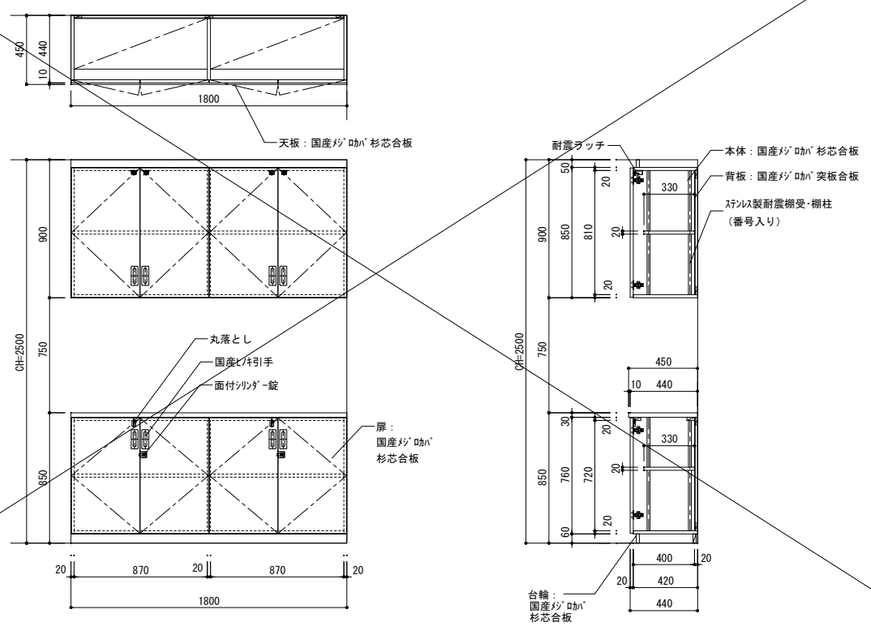



## 洗面台（１階男性トイレｘ1、１階女性トイレｘ1、２階 男性トイレｘ1）

S=1/20

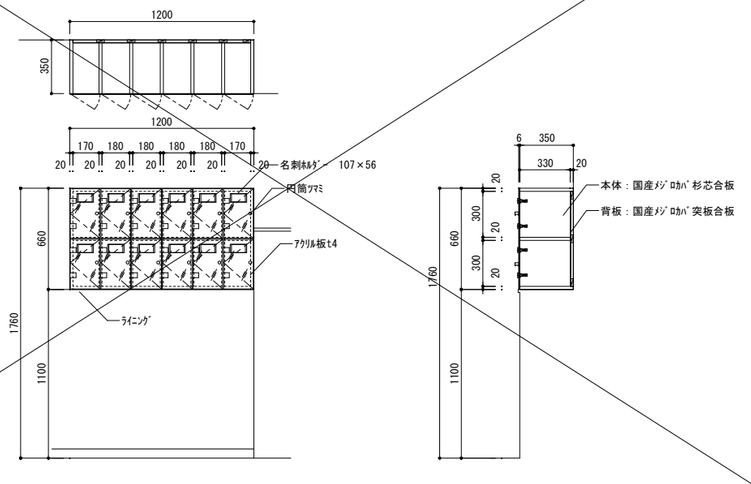



## 収納棚（１階 厨房x1）

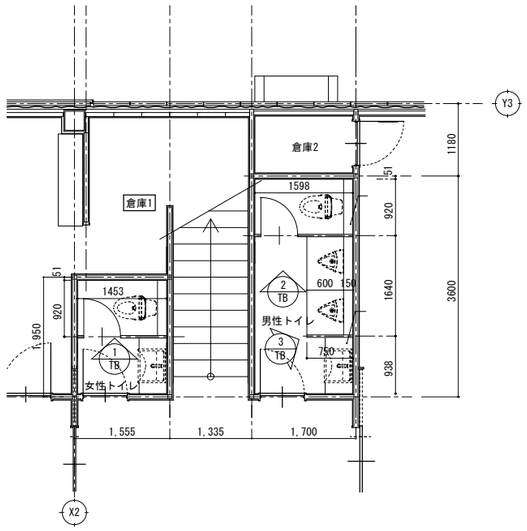


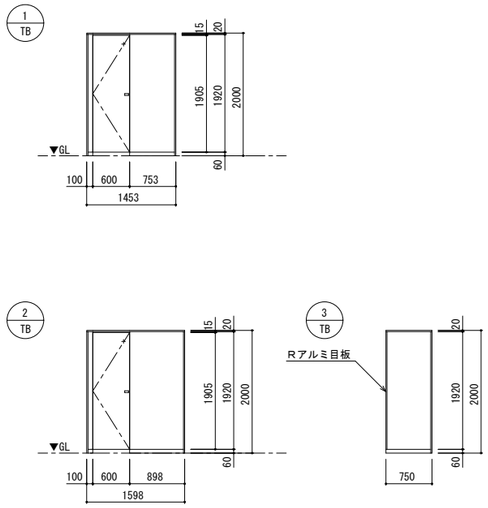

## 洗面具ロッカー （２階 洗面洗濯室ｘ1）

S=1/20

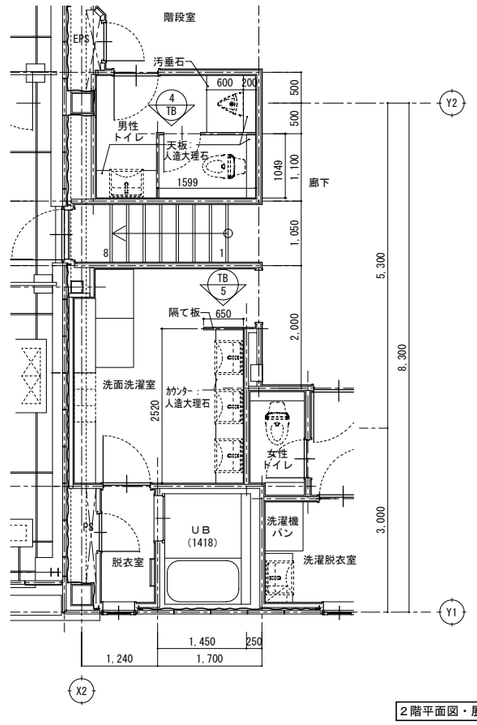


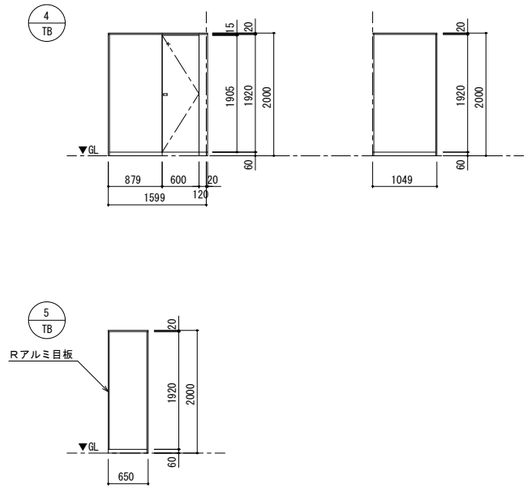

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&DESIGN 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | 千葉県知事登録 No.1-1709-4702 | APPR | CHKD | DRAWN | 本社 千葉市中央区栄町36番10号 TEL 043-201-1277 FAX 043-201-1280 東京事務所 東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号 TEL 03-3510-1338 FAX 03-5201-1013 | 工事名 (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 / 図名 部分詳細図（５） | S= 1/20 DATE ****** No. A-037 |



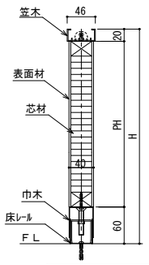




1階平面図・展開図　S=1/50

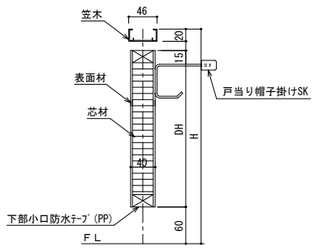



2階平面図・展開図　S=1/50




パネル詳細 S=1/5

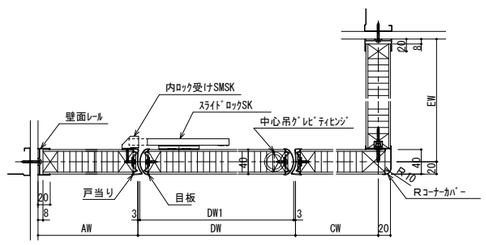



扉詳細 S=1/5

スクリーン端部 S=1/5

◇仕様表

| 項　目 | 部　材 | 材　料（板厚mm） |
|---|---|---|
| パネル | パネル表面材 | 高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF) |
| | 芯　材 | ペーパーコア |
| | 目板／戸当り | アルミ押出形材　〈アルマイトクリア処理仕上〉 |
| 付属品 | 巾木／床レール | ステンレス　0.8mm　〈ヘアライン仕上〉 |
| | 笠木 | アルミ押出形材　〈アルマイトクリア処理仕上〉 |
| | 壁面レール／コーナーカバー | アルミ押出形材　〈アルマイトクリア処理仕上〉 |
| | ヒンジ | 中心吊グレビティヒンジ |
| | ロック | スライドロックSK |
| | その他金物 | 戸当り帽子掛けSK |




内開きトイレ用扉 S=1/5


一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO
千葉県知事登録　No. 1-1709-4702
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206　加藤 義道


| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |


本　社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1336
FAX 03-5201-1013

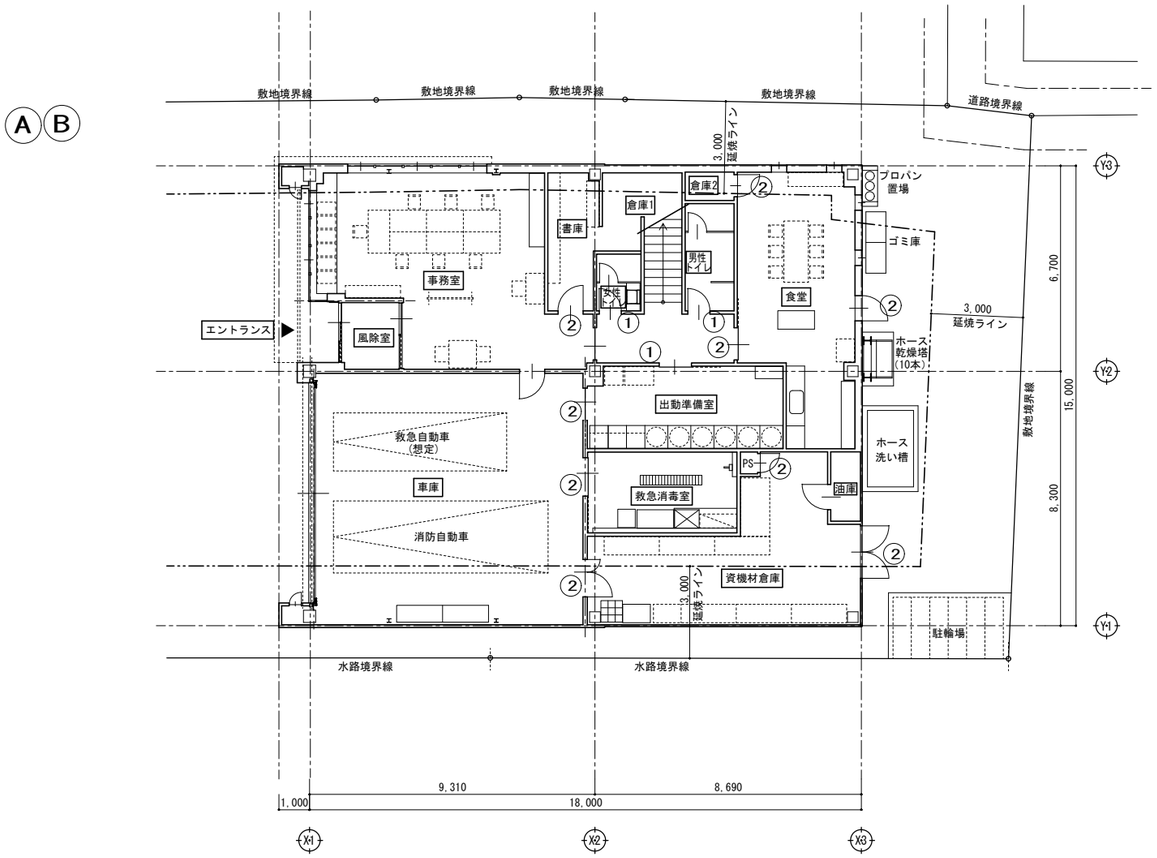

工事名　(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事

図　名　トイレブース詳細図

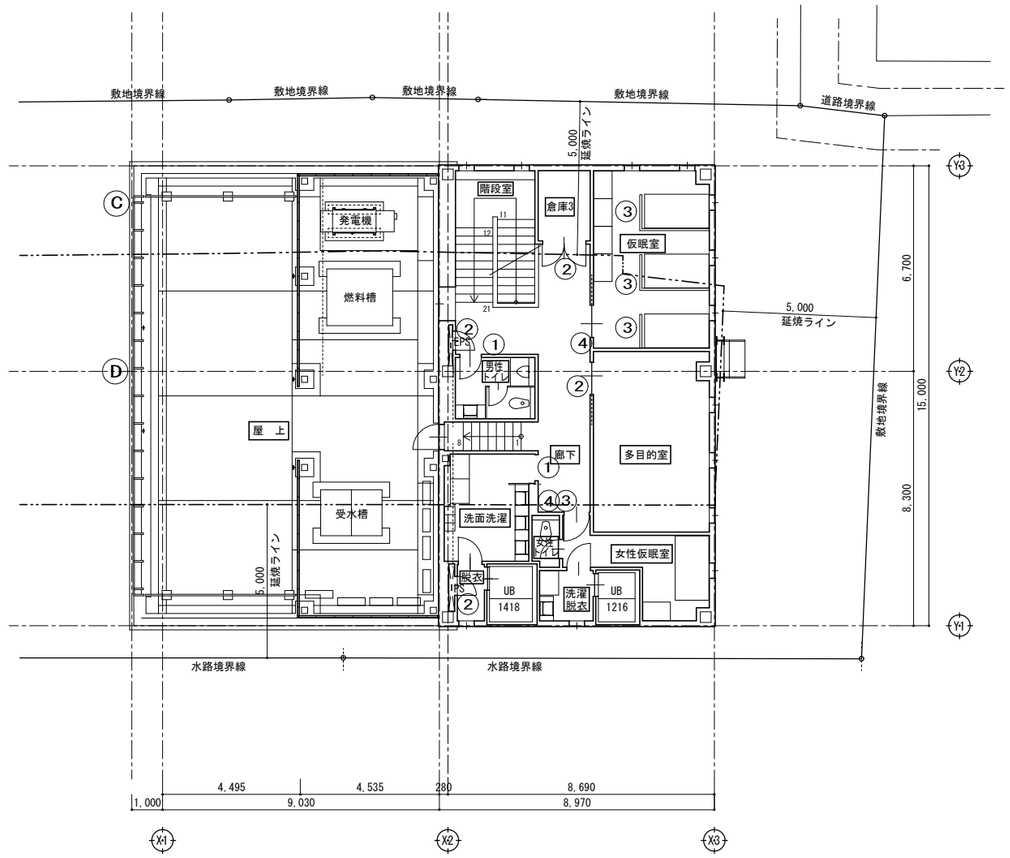
S=A1:1/50,1/5　A3:1/100,10

DATE　******

No.　A-038




1階平面図　S=1/100

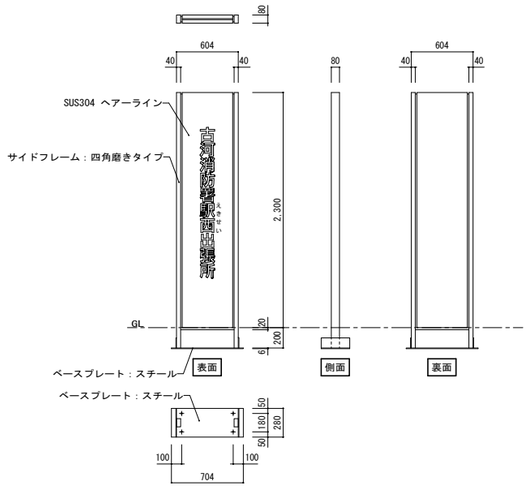



2階平面図　S=1/100

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS<br>千葉県知事登録 No.1-1709-4702<br>株式会社 カトウ建築事務所<br>一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | APPR | CHKD | DRAWN | 本社<br>千葉市中央区栄町36番10号<br>TEL 043-201-1277<br>FAX 043-201-1280<br>東京事務所<br>東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号<br>TEL 03-3510-1336<br>FAX 03-5201-1013 | 工事名<br>(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事<br>図名<br>サインキープラン | S= A1：1/100<br>A3：1/200<br>DATE<br>******<br>No.<br>A-039 |

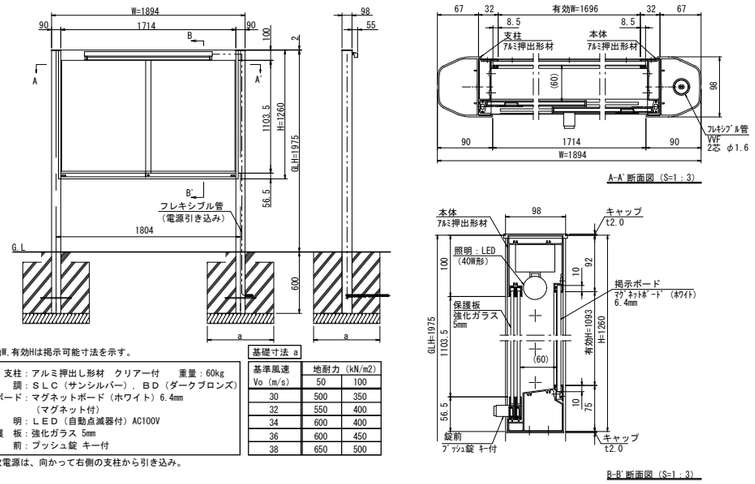
## A 館銘板

縮尺 1:30 数量 1




## B ポスターケース

縮尺 1:30、1:5 数量 1




※有効W.有効Hは掲示可能寸法を示す。

本体・支柱：アルミ押出し形材　クリアー付　　重量：60kg
色　　調：ＳＬＣ（サンシルバー）、ＢＤ（ダークブロンズ）
掲示ボード：マグネットボード（ホワイト）6.4mm
　　（マグネット付）
照　　明：ＬＥＤ（自動点滅器付）AC100V
保　護　板：強化ガラス 5mm
錠　　前：プッシュ錠 キー付

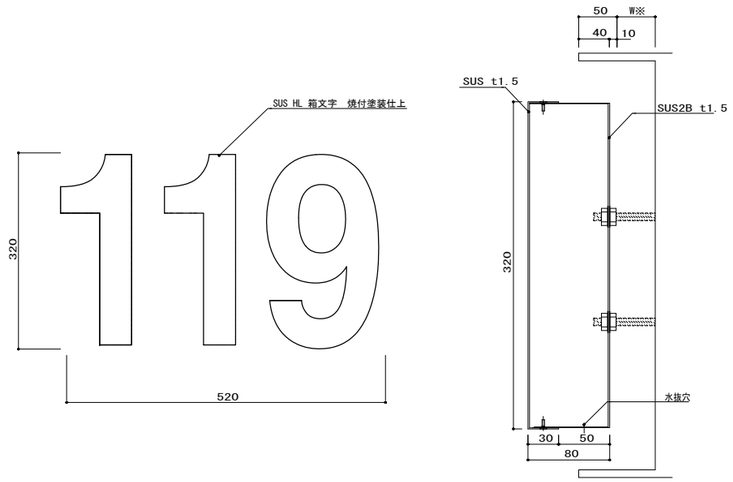
※一次電源は、向かって右側の支柱から引き込み。

基礎寸法 a

| 基準風速 | 地耐力 (kN/m2) | |
|---|---|---|
| Vo (m/s) | 50 | 100 |
| 30 | 500 | 350 |
| 32 | 550 | 400 |
| 34 | 600 | 400 |
| 36 | 600 | 450 |
| 38 | 650 | 500 |

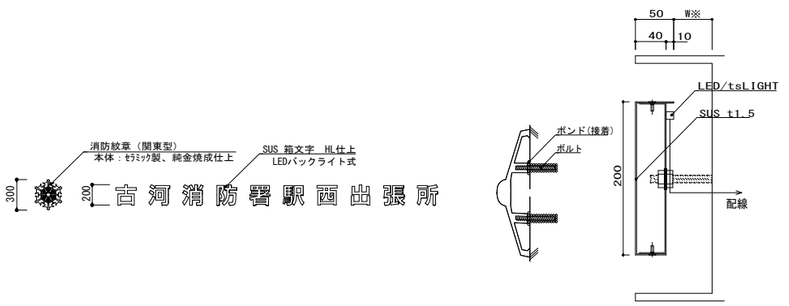
## C 119サイン

縮尺 1:3,1:5 数量 1




## D 館銘サイン

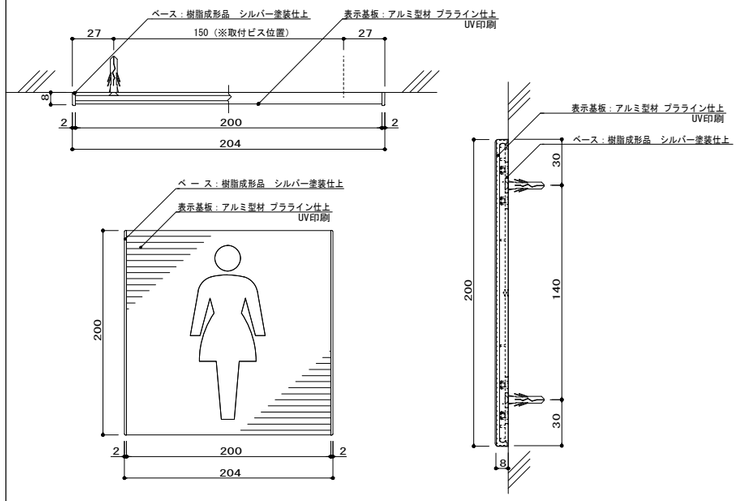
縮尺 1:2,1:30 数量 1




※浮かし寸はあくまでも目安となりますので、取り付ける壁面の状態によっては浮かしを変更しなければならない可能性があります。

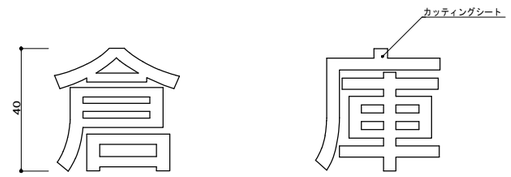
## 1 平付型ピクト

縮尺 1:2,1:3 数量 5



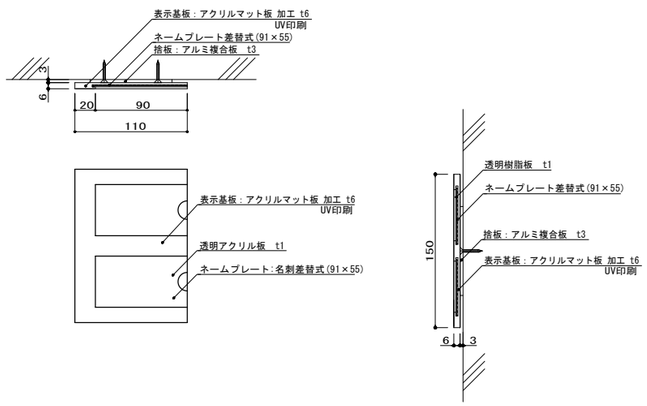

## 2 室名シートサイン

縮尺 1:1 数量 13



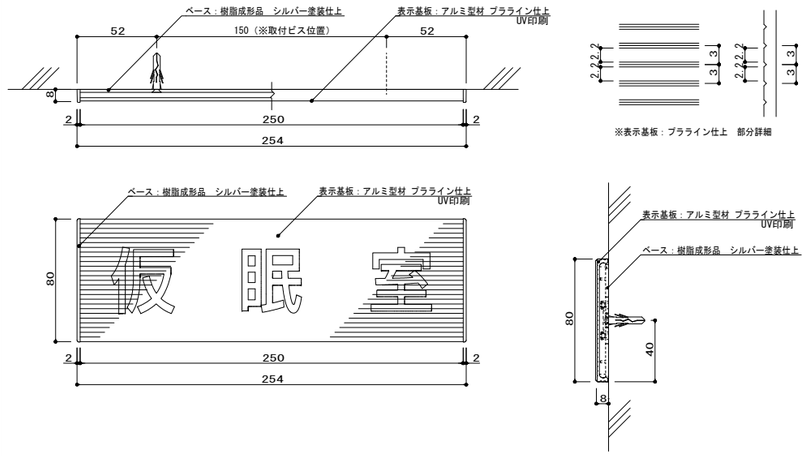

## 3 仮眠室サイン（2名用）

縮尺 1：2，1：4 数量 4




## 4 仮眠室サイン

縮尺 1：2 数量 2




■サイン特記仕様

[1]使用材料
　a．木材　　：ＶＯＣ商品（ホルムアルデヒド基準Ｆ☆☆☆☆対応）とする。
　b．アルミ　　：ＪＩＳ－Ｈ４１００　Ａ－６０６３　Ｓ－Ｔ５（アルミ押出型材）
　c．アクリル　　：ＪＩＳ－Ｋ－６７１８
　d．ステンレス　：ＪＩＳ－Ｇ４３０５　ＳＵＳ３０４、ＨＬ仕上

[2]フォント
　a．書体については、丸ゴシックは「スーラＤＢ」、角ゴシックは「新ゴＭ」を基準とする。
　　※ただし、係員より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。

[3]ピクトグラム
　a．図柄については、原稿を作成し係員の承認を受けること。

[4]カラーユニバーサル
　a．CUDカラー認証取得業者での製作とする。

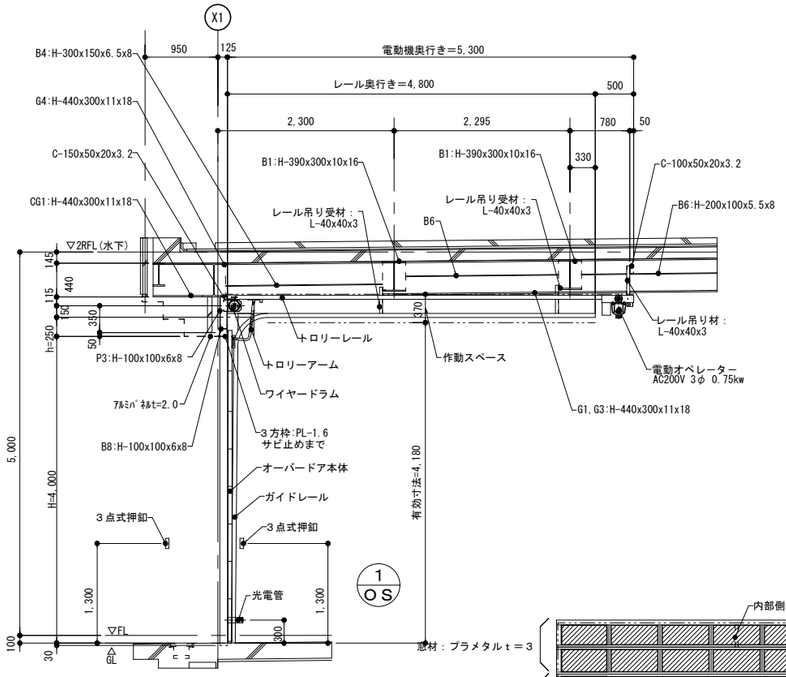
[5]取付位置・方法
　a．取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定する。
　b．取付方法については、取付位置の下地などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。
　c．障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定する。

[6]その他
　a．室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるよう脱着式を基本とする。
　　又、室名札脱着の際には　スライドロック機構、専用吸盤などを利用し
　　商品の損傷等がなくスムーズに脱着できる仕様とすること。
　b．サイン計画については、当施設の他工事と充分に調整協議をすること。

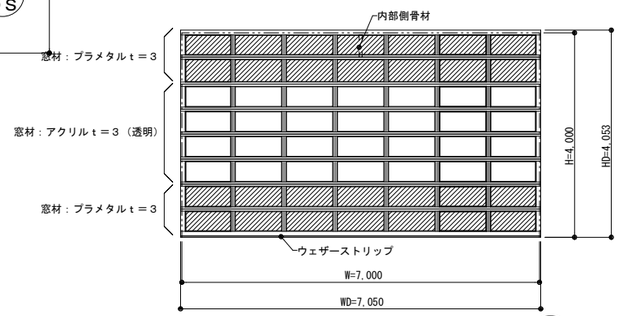

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS
千葉県知事登録　No. 1-1709-4702
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206　加藤　義道
本　社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1338
FAX 03-5201-1013


| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |

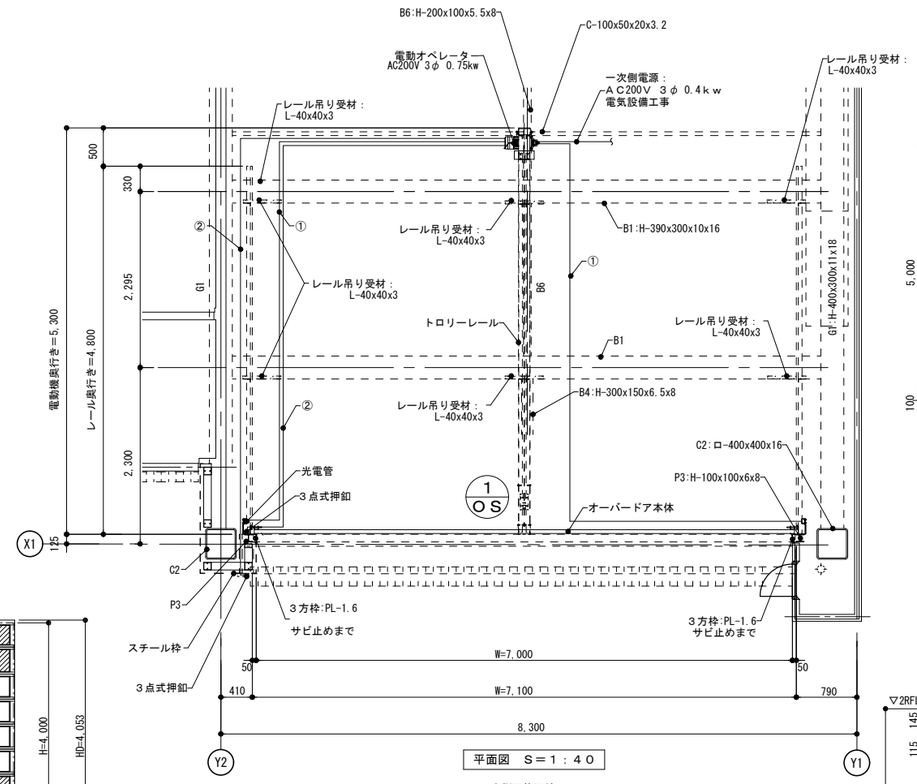
工事名：（仮称）古河消防署駅西出張所建設工事
図名：サイン詳細図
S= 各図
DATE ******
No. A-040




矩計図　S＝1：40

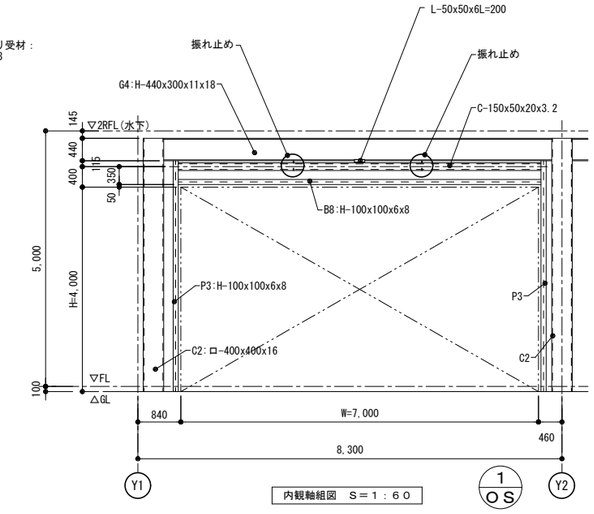



オーバードア姿図　S＝1：60

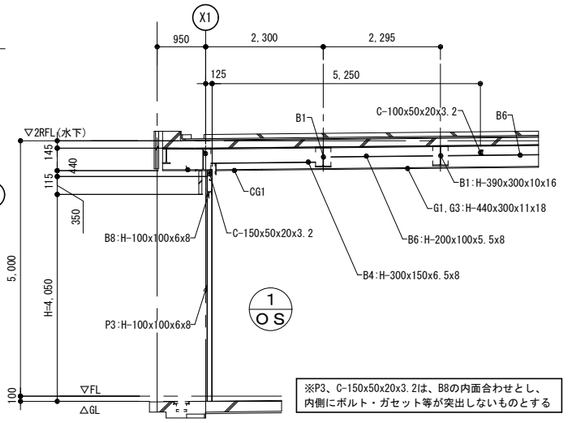



平面図　S＝1：40

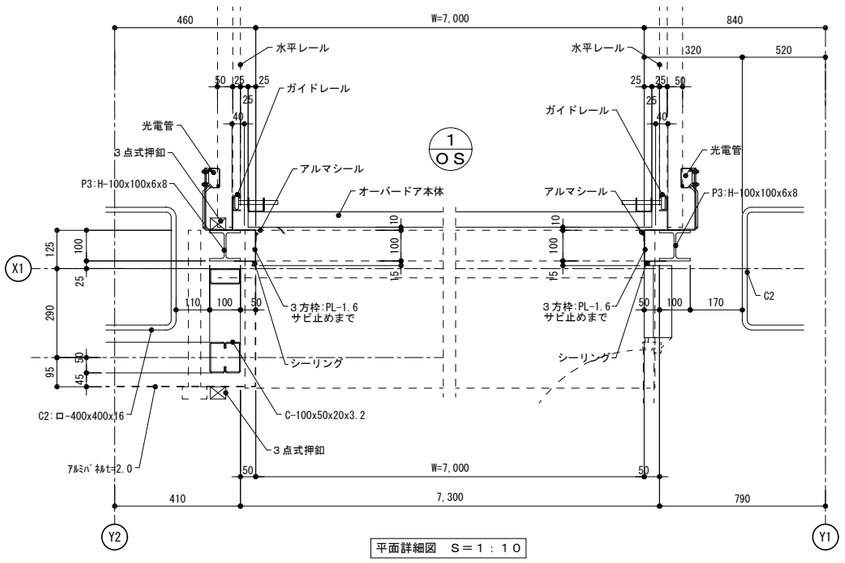
二次側配管配線
①：ＶＣＴＦ0.75-4Ｃ（φ19）
②：ＶＣＴＦ0.75-6Ｃ（φ25）
配管配線は全て電気設備工事



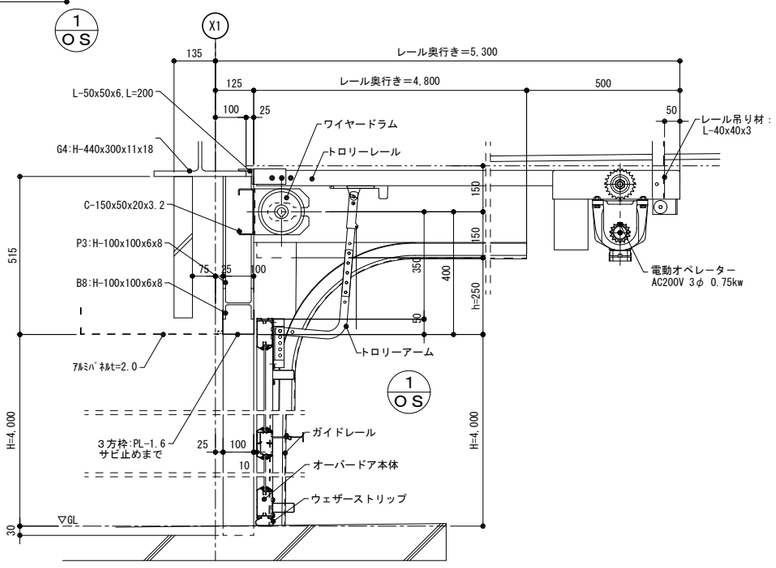

内観軸組図　S＝1：60




※P3、C-150x50x20x3.2は、B8の内面合わせとし、
内側にボルト・ガセット等が突出しないものとする




平面詳細図　S＝1：10




矩計詳細図　S＝1：10

| オーバードア仕様書 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ドアNo | Wo X Ho | WD X HD | 収納形式 | パネルタイプ | 操作方式 | 台数 |
| OS－1 | 7000 X 4000 | 7050 X 4053 | ST | コマーシャル | 電動式 | 1 |
| ドア枠材 | アルミ A－6005C T5処理 特殊押出形材 | | | | | |
| | 表面処理・・陽極酸化塗装複合被膜（JIS H8602） | | | | | |
| 窓材 | 下2段、上2段：プラメタル（アルミ複合板）3．0t | | | | | |
| | アクリル板 3t | | | | | |
| 水切 | ウェザーストリップ（EPDM）ドアー最下部　アルマシール（アルミ＋塩ビ）2方 | | | | | |
| ガイドレール | 溶融亜鉛メッキ鋼板（JIS G3302）2．3t | | | | | |
| 一次電源 | AC200V、3φ（電気設備工事） | | | | | |
| オペレーター | T－180B(容量750W／台) | | | | | |
| 二次側 | 配管（電気設備工事）　配線（電気設備工事） | | | | | |
| 押釦 | 3点式押釦（外部側：カギ付防水型、内部側：露出・乾式型） | | | | | |
| その他 | 附属金具一式 | | | | | |
| 特記事項 | 耐風圧強度 1000Pa | | | | | |
| | 障害物感知装置（光電管）付 | | | | | |
| | 3点式押釦内外取付（外部側：カギ付防水型、内部側：露出・乾式型） | | | | | |

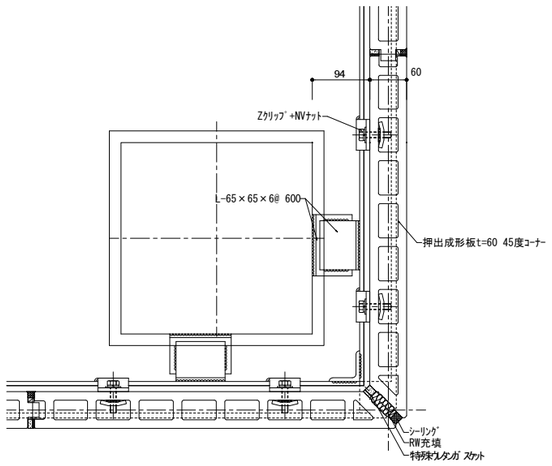

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&ASSOCIATES
千葉県知事登録 No.1-1709-4702
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206 加藤 義道
本社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1336
FAX 03-5201-1013


| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |

工事名：(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事
図名：オーバードア詳細図
S= 各図
DATE ******
No. A-041

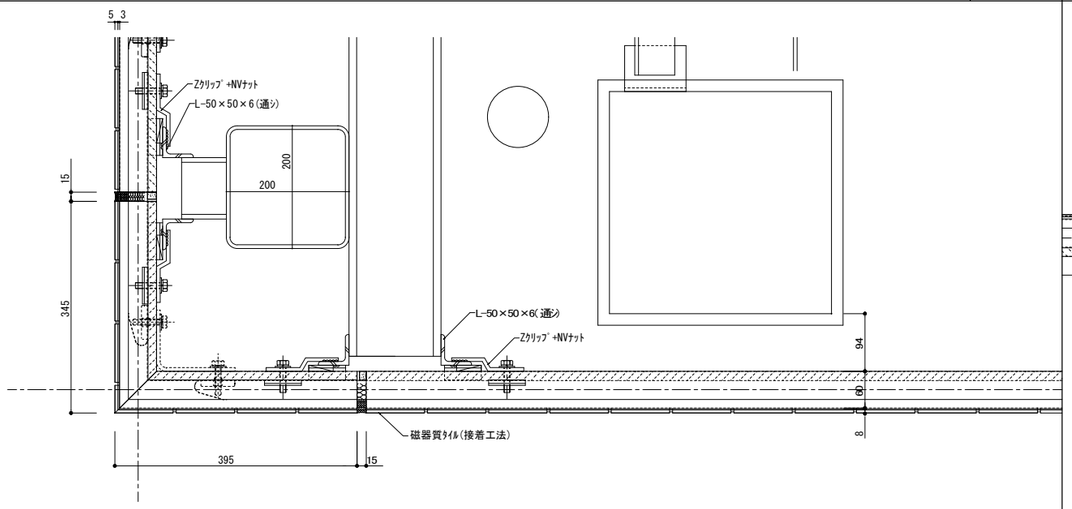
## 押出成形板 出隅部

1: 5(A1)
1:10(A3)



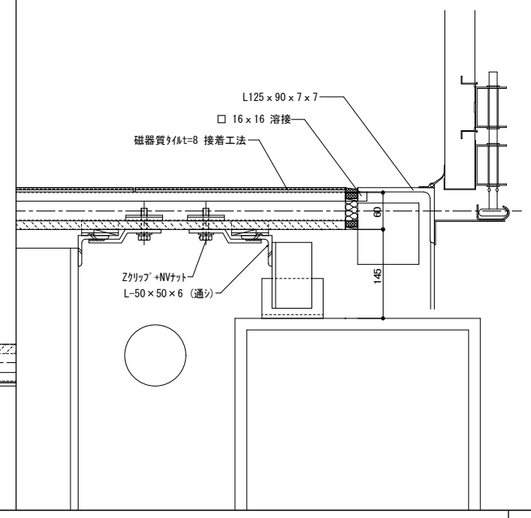

## せっ器質タイル 出隅部

1: 5(A1)
1:10(A3)



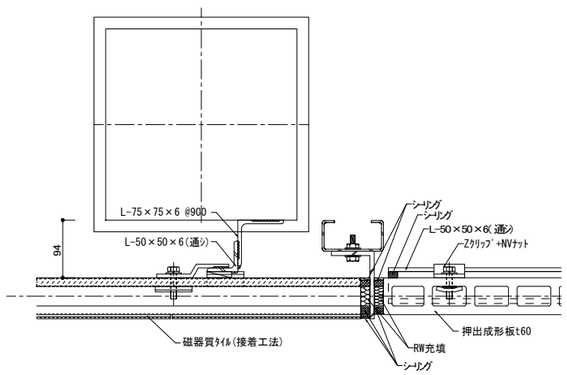

## オーバードア 端部

1: 5(A1)
1:10(A3)



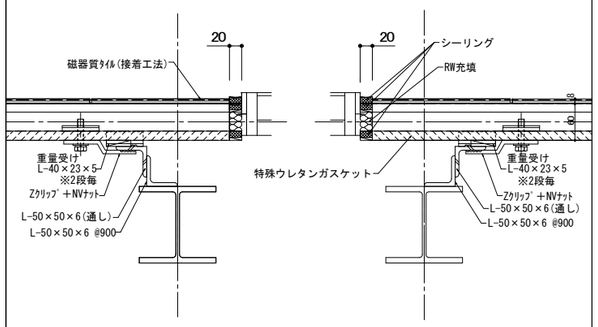

## せっ器質タイル 切換え部

1: 5(A1)
1:10(A3)



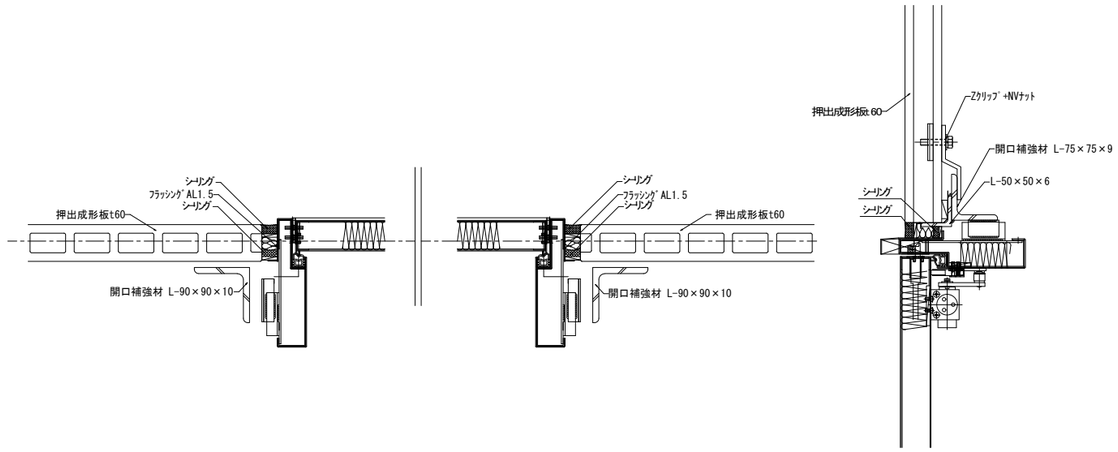

## 磁器質タイル サッシ開口部

1: 5(A1)
1:10(A3)



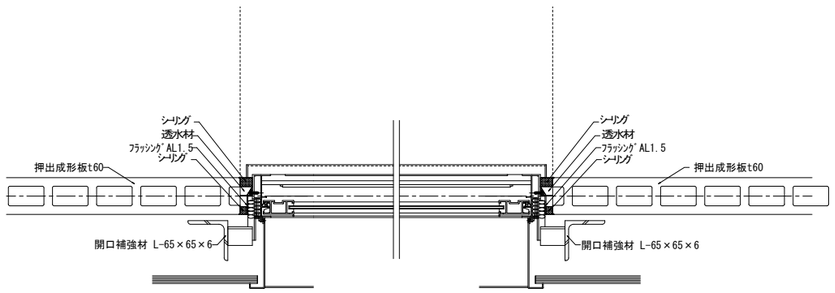

## 押出成形板 サッシ開口部

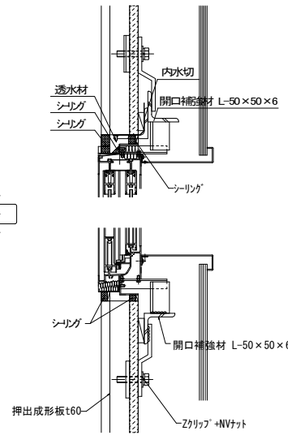
1: 5(A1)
1:10(A3)




## 押出成形板 ドア開口部

1: 5(A1)
1:10(A3)

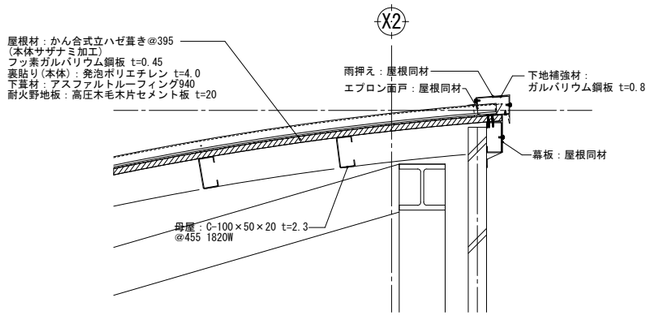



| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&DESIGN 一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | 千葉県知事登録 No.1-1709-4702 株式会社 カトウ建築事務所 | APPR | CHKD | DRAWN | 本社 千葉市中央区栄町36番10号 YS千葉中央ビル TEL 043-201-1277 FAX 043-201-1280 東京事務所 東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号 TEL 03-5510-1338 FAX 03-5201-1013 | 工事名 (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 / 図名 押出成形セメント板詳細図 | S= A1:1/5 A3:1/10 DATE ****** No. A-042 |

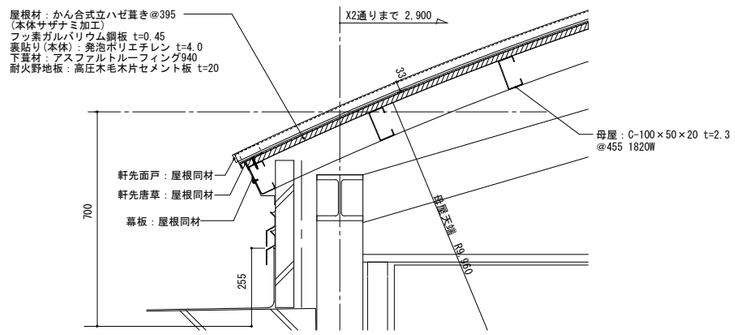
## 越屋根　縦ハゼ葺き（桁行方向　水上側）

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



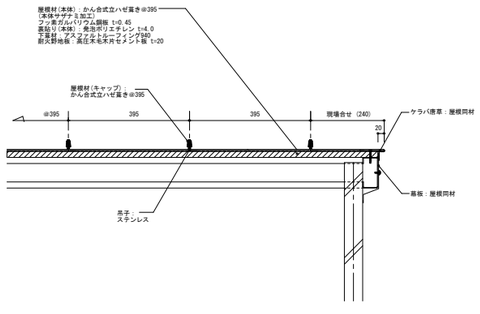

## 越屋根　縦ハゼ葺き（桁行方向　水下側）

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



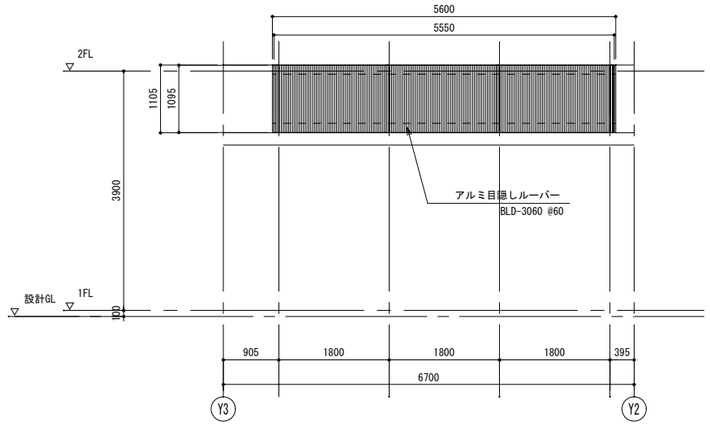

## 越屋根　縦ハゼ葺き（妻側）

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

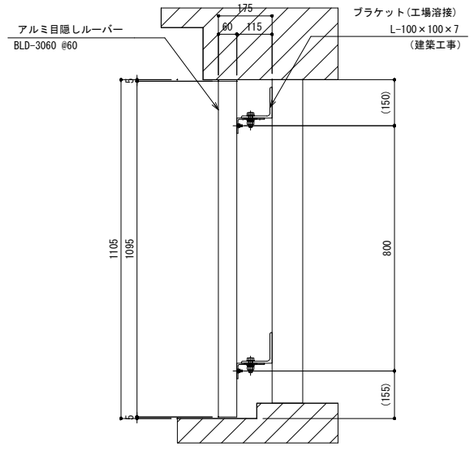



## アルミ目隠しルーバー納まり図

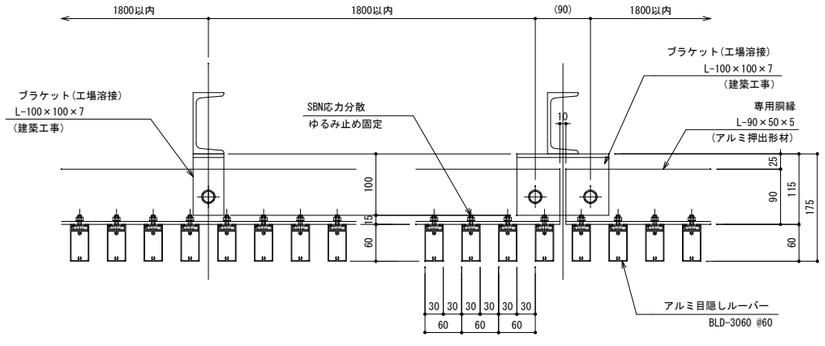
図示




立面図
S=1:50



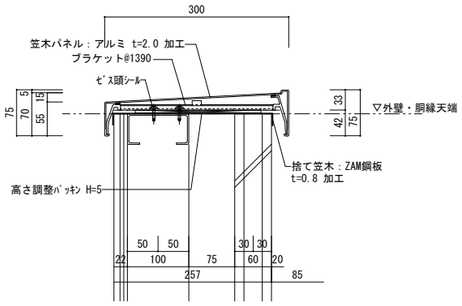

断面図
S=1:10



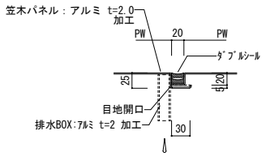

平面詳細図
S=1:5

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEM<br>株式会社 カトウ建築事務所<br>一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | 千葉県知事登録 No.1-1709-4702 | APPR | CHKD | DRAWN | 本社 千葉市中央区栄町36番10号 TEL 043-201-1277 FAX 043-201-1280<br>東京事務所 東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号 TEL 03-3510-1336 FAX 03-5201-1013 | 工事名 (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 | S= 各図<br>DATE ******* |
| | | | | | | 図名 越屋根詳細図、ルーバー詳細図 | No. A-043 |

## アルミ製作笠木　詳細図　S=1/5

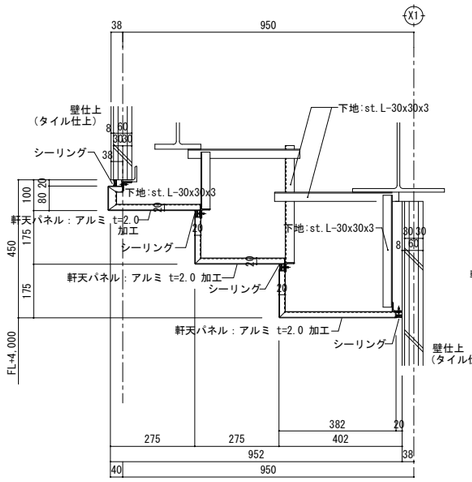



断　面　・　詳　細　図

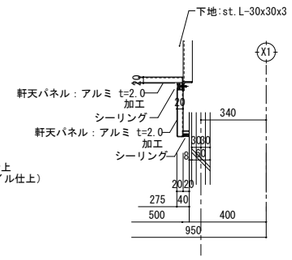



天端目地詳細

## 軒天-１　詳細図　S=1/10

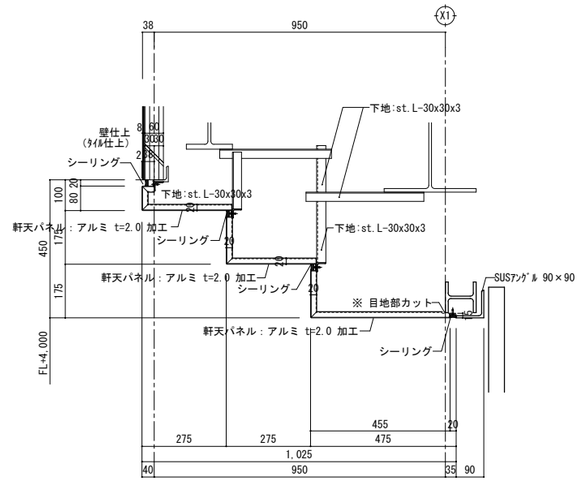



A　断　面　図



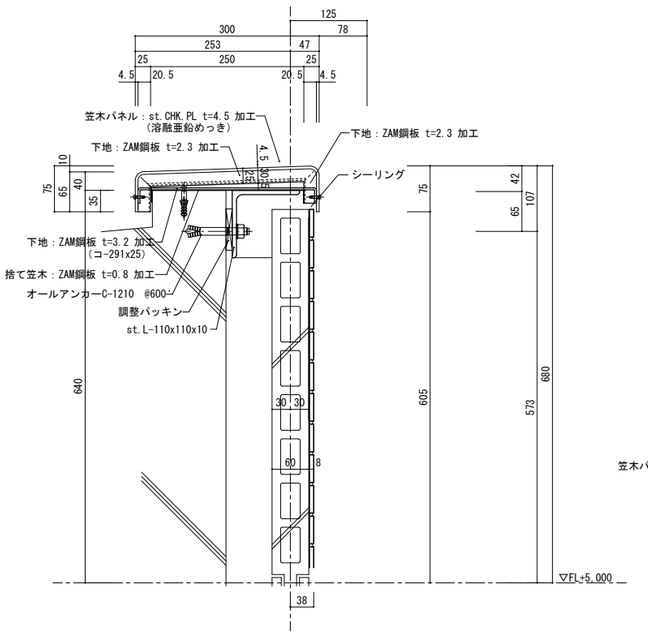

C　断　面　図

## 軒天-２　詳細図　S=1/10

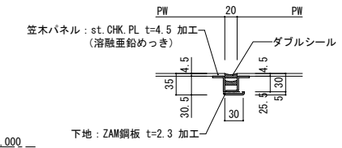



B　断　面　図

## 縞鋼板訓練用笠木　詳細図　S=1/5

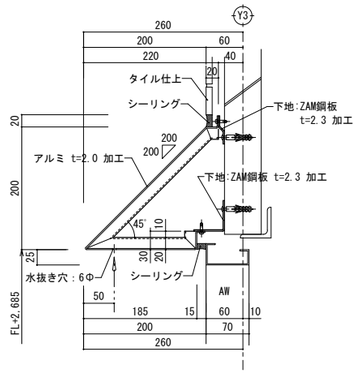


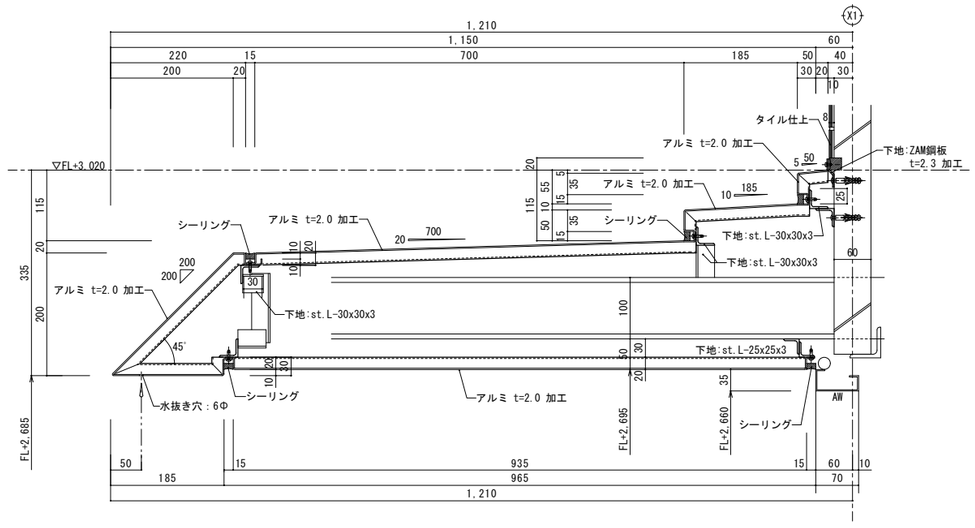

断　面　・　詳　細　図




天端目地詳細

## 庇　詳細図　S=1/5




庇パネル　断　面　図


一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEM
千葉県知事登録　No. 1-1709-4702
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206　加藤　義道


| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |


本　　社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1336
FAX 03-5201-1013

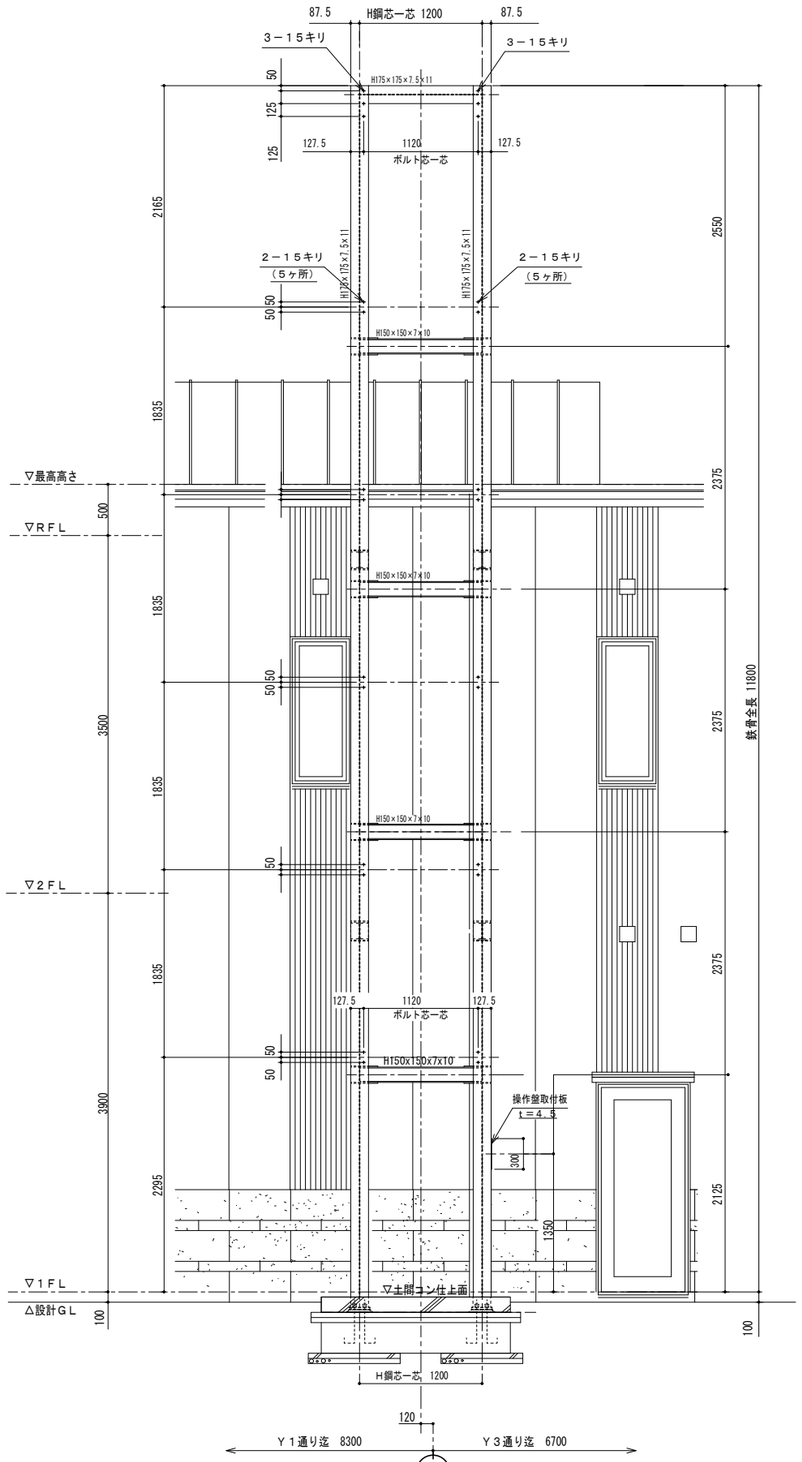

工事名：(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事

図名：庇・笠木・軒裏詳細図

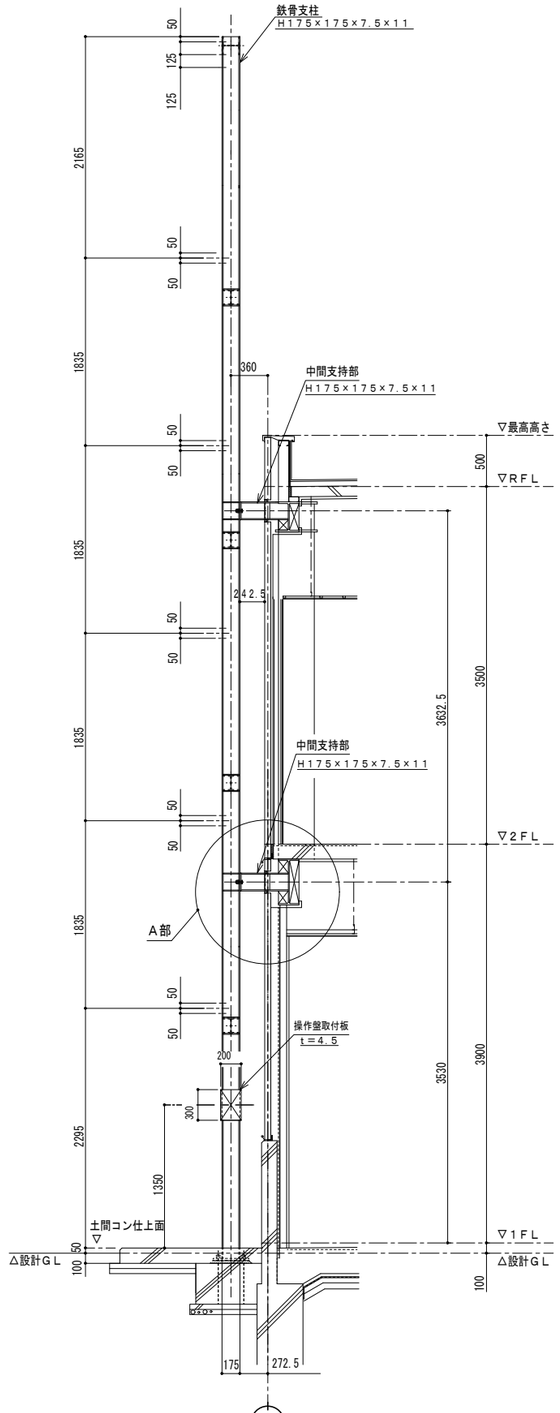
S= 図示

DATE ******

No. A-044



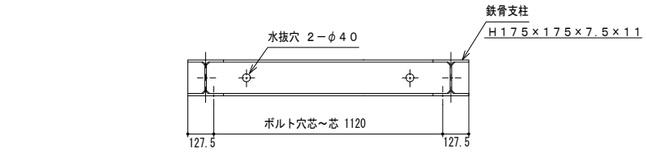

正面図

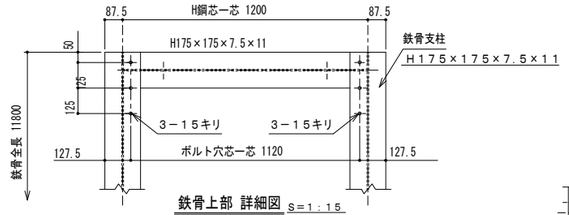



側面図

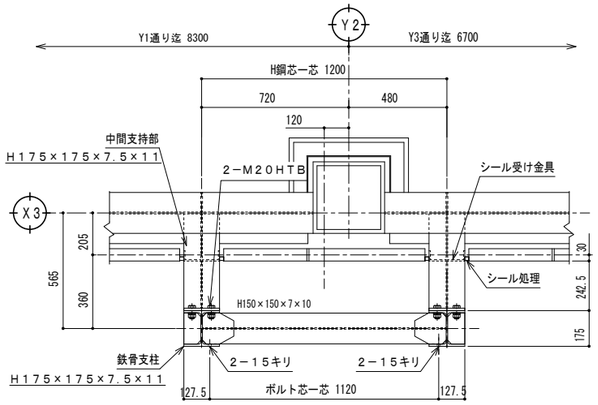
ホースリフターFH110型
鉄骨支柱穴あけ位置図 S＝1：30

溶融亜鉛メッキ仕上げとする
（2種 HDZ55）

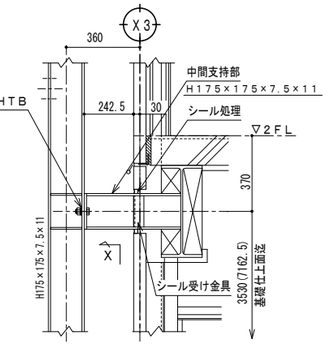


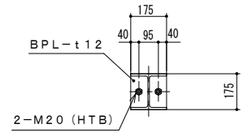

鉄骨上部 詳細図 S＝1：15



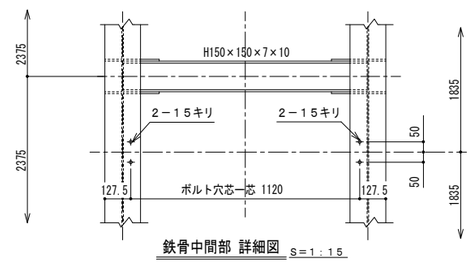

鉄骨中間支持部 詳細図 S＝1：15



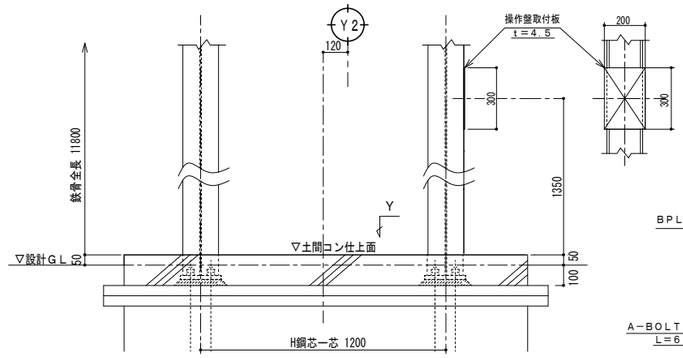

A部 詳細図 S＝1：15

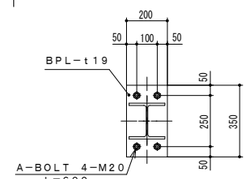



X－矢視図
S＝1：15




鉄骨中間部 詳細図 S＝1：15




Y－矢視図
S＝1：15

鉄骨下部 詳細図 S＝1：15

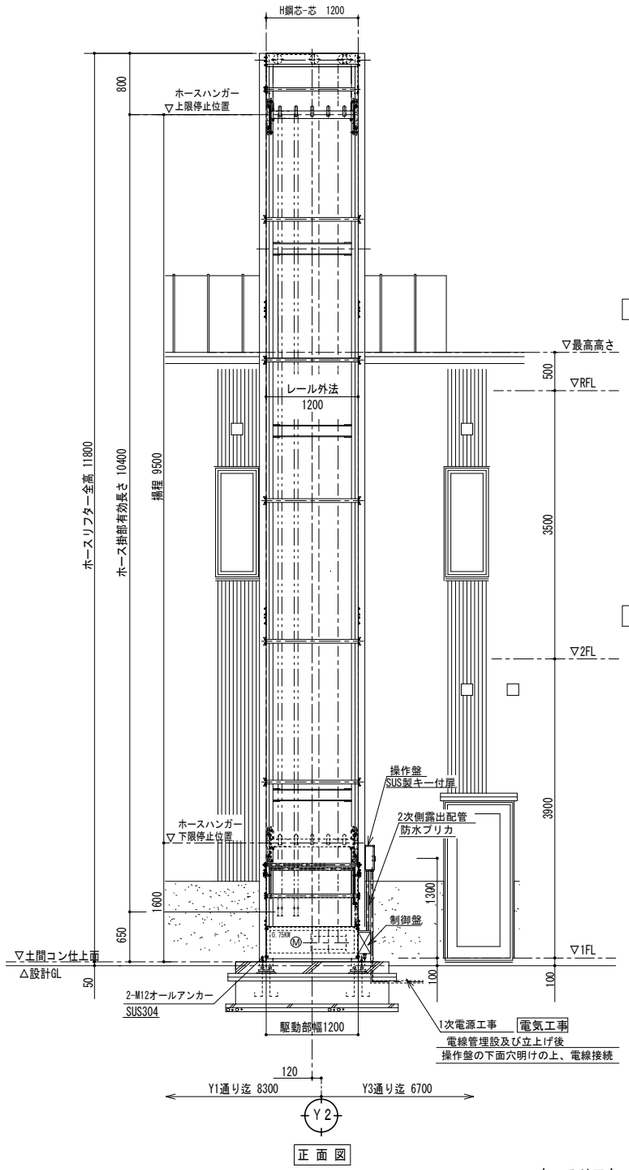
| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS<br>株式会社 カトウ建築事務所<br>一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | 千葉県知事登録 No.1-1709-4702 | APPR | CHKD | DRAWN | 本 社<br>千葉市中央区栄町36番10号<br>TEL 043-201-1277<br>FAX 043-201-1280<br>東京事務所<br>東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号<br>TEL 03-3510-1330<br>FAX 03-5201-1013 | 工事名 (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 | S= A1:1/30,1/15 A3:1/60,1/30 |
| | | | | | | | DATE ****** |
| | | | | | | 図 名 ホースタワー詳細図（1） | No. A-045 |

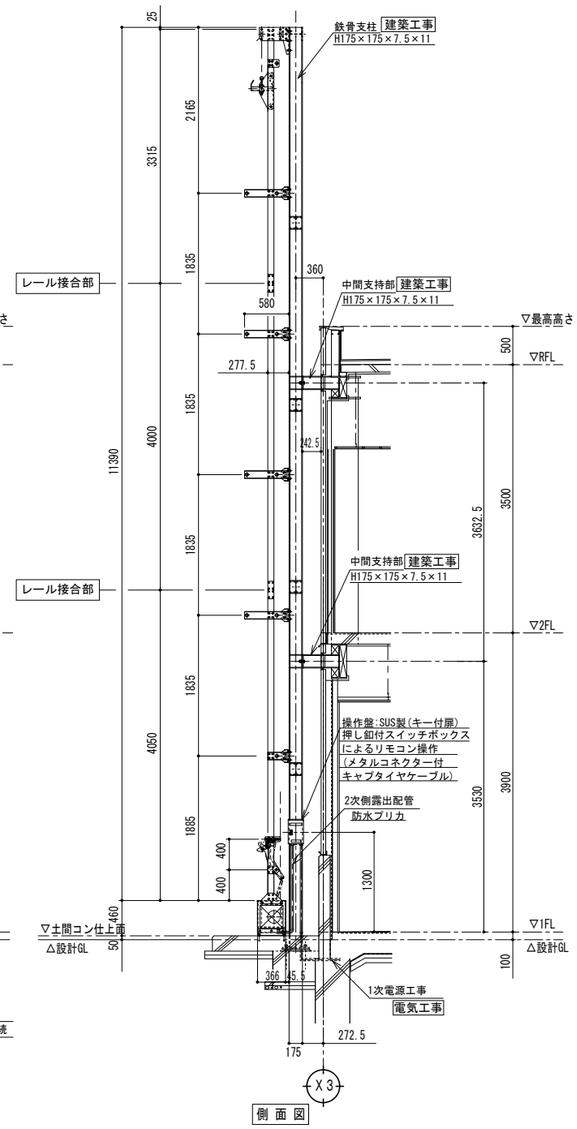
## 仕様概略

| 項　目 | 仕　　様 | 各部材質及び防錆処理 | |
|---|---|---|---|
| 型　式 | ＦＨ１１０ | ガイドレール | 耐蝕アルミ合金Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５ |
| 台　数 | １　基 | ガイドローラ | ＭＣナイロン 軸ＳＵＳ３０４ |
| 外形寸法 | １２００Ｗ×１１８００Ｈ | レールブラケット | ＳＳ材　溶融亜鉛メッキ |
| ホース収容本数 | 前後列　各５　計１０本 | ホースハンガー | ＳＳ材　溶融亜鉛メッキ |
| 巻上能力 | ２００ｋｇ（２０ｋｇ×１０本） | ウインチボックス | 骨格ＳＳ材溶融亜鉛メッキ、外板ＳＵＳ |
| 昇降速度 | ６．３ｍ／ｍｉｎ　５０ＨＺ | 同上内部機器 | 生地のまま |
| 電 動 機 | ０．７５ＫＷ　ブレーキ付 | 吊りワイヤー | ２×φ６　ステンレスワイヤー |
| 電　源 | ２００Ｖ　３相　５０ＨＺ | ボルト類 | オールアンカー共全てＳＵＳ３０４ |
| 操作回路電源 | ＡＣ２４Ｖ | | |

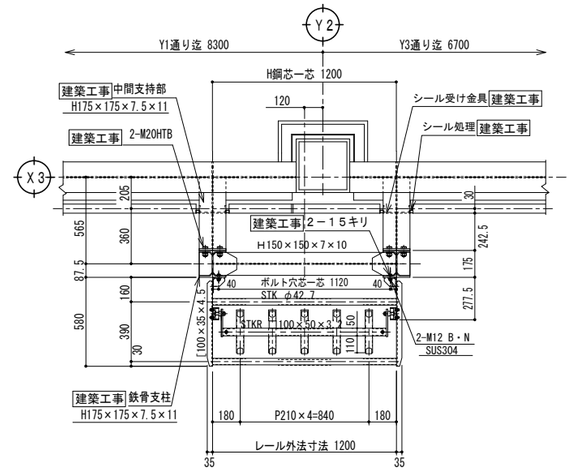
建築工事
1）基礎工事
2）鉄骨工事

電気工事
1）１次電源工事



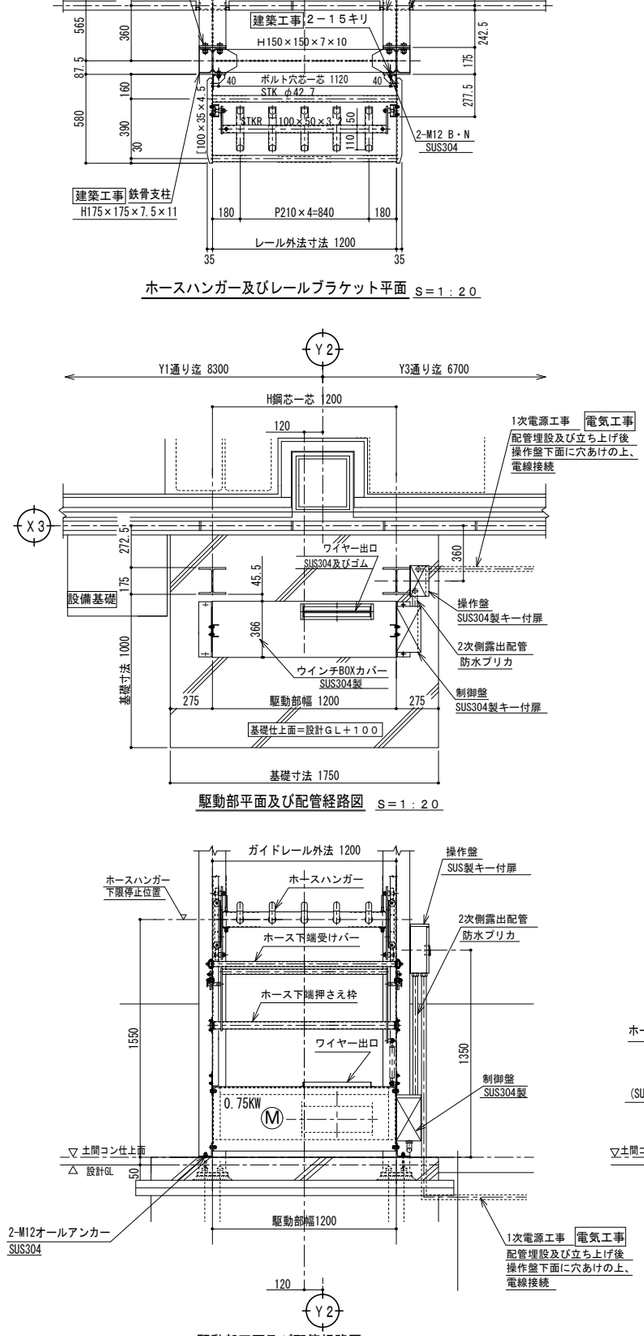

ホースリフターＦＨ１１０型組立図
Ｓ＝１：４０



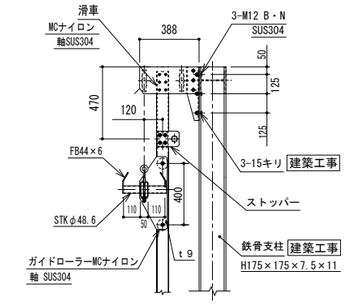

ホースハンガー及びレールブラケット平面 Ｓ＝１：２０



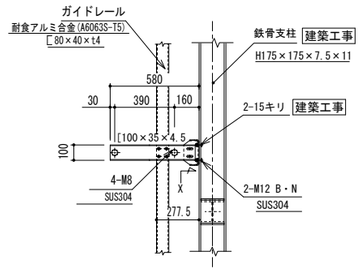

駆動部平面及び配管経路図 Ｓ＝１：２０



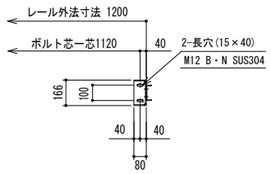

駆動部正面及び配管経路図 Ｓ＝１：２０



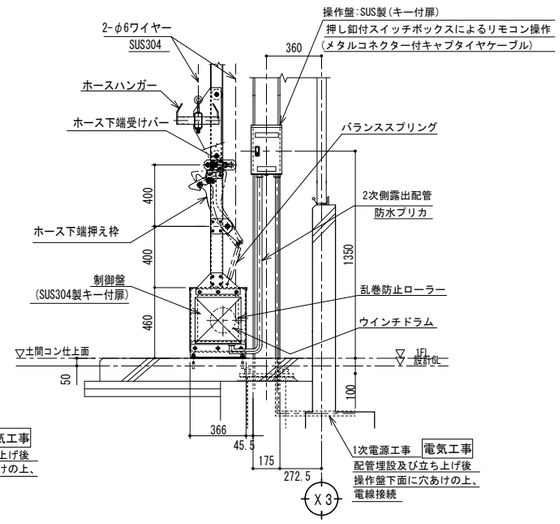

ホースハンガー詳細 Ｓ＝１：２０




レールブラケット詳細 Ｓ＝１：２０



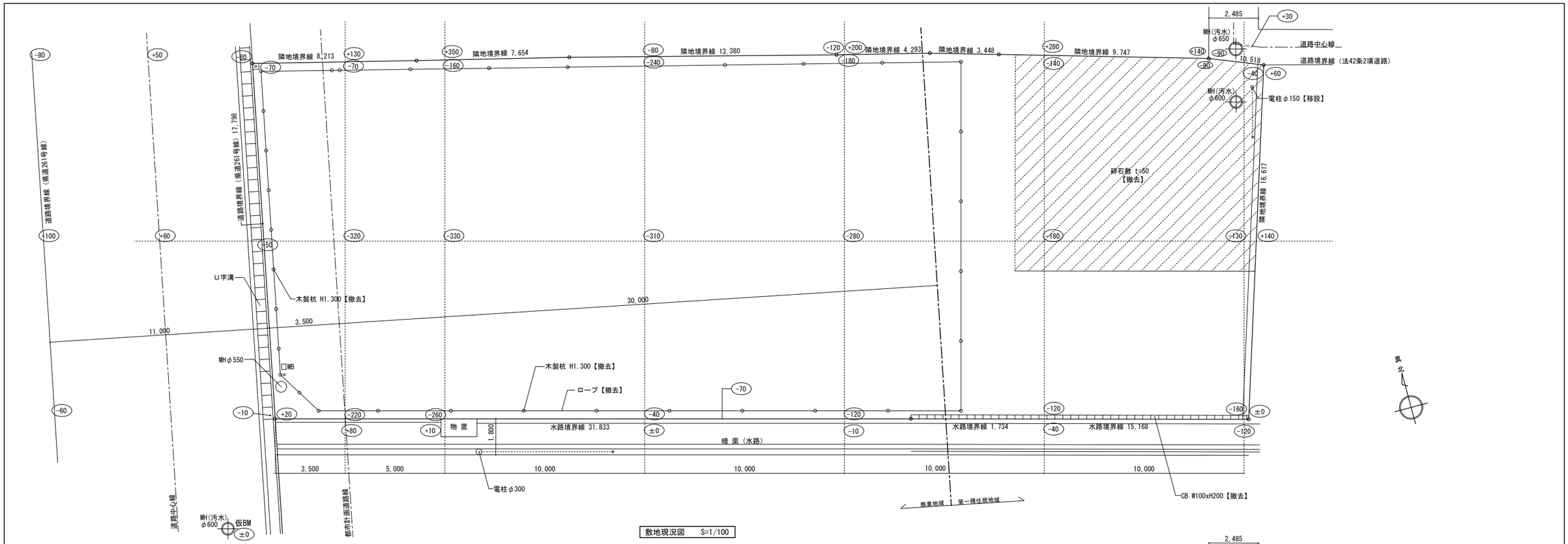

Ｘ－矢視図 Ｓ＝１：２０



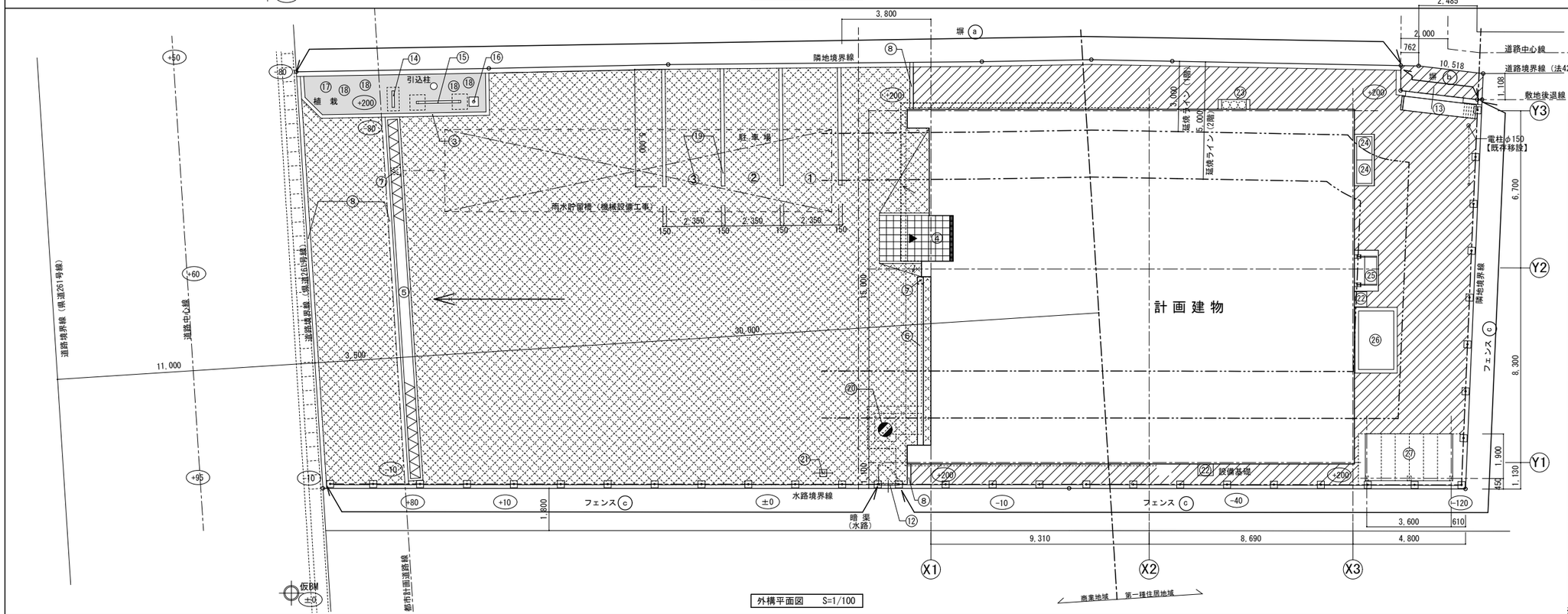

下部側面 詳細図 Ｓ＝１：２０

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&ENGINEERS 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | 千葉県知事登録 No.1-1709-4702 | APPR | CHKD | DRAWN | 本　社 千葉市中央区栄町36番10号 TEL 043-201-1277 FAX 043-201-1280 東京事務所 東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号 TEL 03-5510-1338 FAX 03-5201-1013 | 工事名 (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 |
| | | | | | | 図　名 ホースタワー詳細図（２） |

S= A1:1/40,1/20 A3:1/80,1/40
DATE ******
No. A-046




敷地現況図　S=1/100




外構平面図　S=1/100

外構関連一覧表

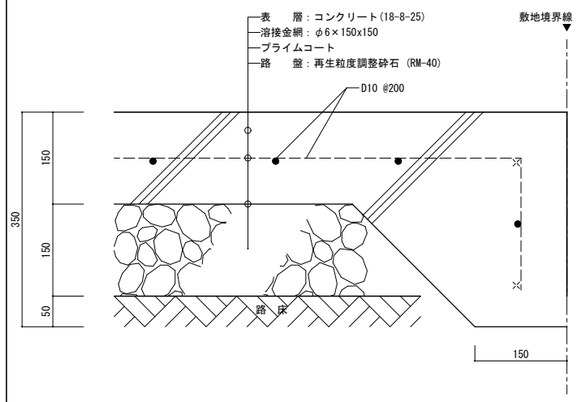
| 番号 | 凡例 | |
|---|---|---|
| ① | | コンクリート舗装（大型車進入） |
| ② | | 透水性アスファルト舗装 |
| ③ | | 植栽（周囲：縁石立上り） |
| ④ | | 磁器質タイル、グレーチング |
| ⑤ | | 鋳鉄製３点支持式グレーチング（T-25） |
| ⑥ | | ステンレス製グレーチング（T-20） |
| ⑦ | | 集水桝 |
| ⑧ | | 地先境界ブロック（150×150） |
| ⑨ | 塀 ⓐ | コンクリートブロック塀（H=0.8m）<br>＋目隠しパネル（H=1.2m） |
| ⑩ | 塀 ⓑ | コンクリートブロック塀（H=1.2m）<br>＋メッシュフェンス（H=0.8m） |
| ⑪ | フェンス ⓒ | スチール製メッシュフェンス（H=2m） |
| ⑫ | | メッシュフェンス片開き扉（900W×2000） |
| ⑬ | | アルミ製門扉（2500W×1800H） |
| ⑭ | | 館銘サイン |
| ⑮ | | 掲示板 |
| ⑯ | | フラッグポール（H=5m） |
| ⑰ | | ハナミズキ |
| ⑱ | | クチナシ |
| ⑲ | | 駐車場白線引き |
| ⑳ | | 防火水槽 採水口（MH600φ T-25） |
| ㉑ | | 防火水槽標識 |
| ㉒ | | 給湯器基礎 |
| ㉓ | | プロパン置場 |
| ㉔ | | ゴミ庫 |
| ㉕ | | ホース乾燥塔 |
| ㉖ | | ホース洗い槽 |
| ㉗ | | 駐輪場 |

※敷地境界ポイント および 敷地後退ポイント には境界石を設置のこと

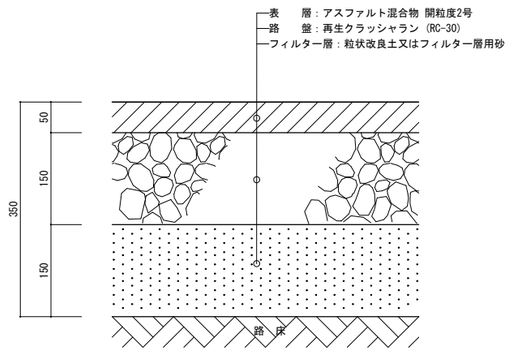
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS | 千葉県知事登録 No.1-1709-4702<br>株式会社 カトウ建築事務所<br>一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | APPR | CHKD | DRAWN | 本 社 千葉市中央区栄町36番10号 TEL 043-201-1277 FAX 043-201-1280<br>東京事務所 東京都中央区日本橋太町4丁目7番10号 TEL 03-3510-1330 FAX 03-5201-1013 |

| | |
|---|---|
| 工事名 | (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 |
| 図名 | 外構平面図 |
| S= | A1:1/100 A3:1/200 |
| DATE | ****** |
| No. | A-047 |

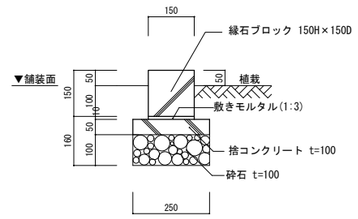
## ① コンクリート舗装 (1/5(A1) 1/10(A3))



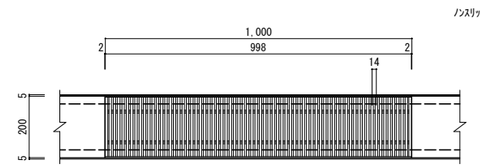

## ② 透水性アスファルト舗装 (1/5(A1) 1/10(A3))



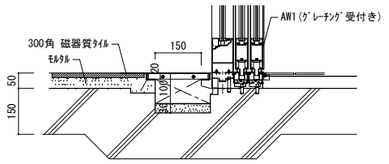

## ③ 植栽縁石立上り (1/10 (A1) 1/20 (A3))




## ④ 磁器質タイル、グレーチング (1/10 (A1) 1/20 (A3))



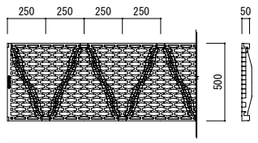

グレーチング平面図　S=1/10



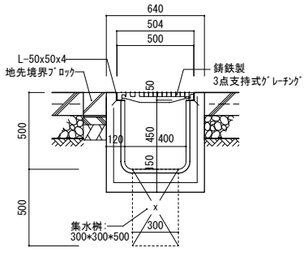

エントランス周り断面図　S=1/10

## ⑤、⑦ 横断側溝400型 T-25 3点支持式ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ、集水桝 (1/10 (A1) 1/20 (A3) / 1/20 (A1) 1/40 (A3))

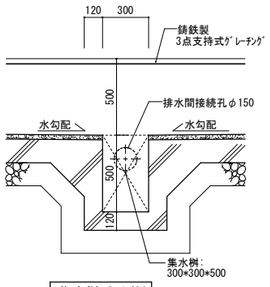
T-20仕様




グレーチング平面図　S=1/10



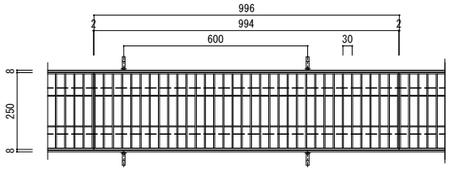

側溝 横断面図　S=1/20



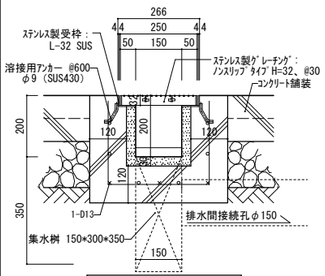

集水桝 S=1/20

## ⑥、⑦ SUS製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ：T-20 (W=250)、集水桝 (1/10 (A1) 1/20 (A3) / 1/20 (A1) 1/40 (A3))

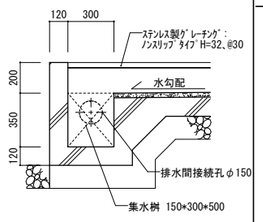
ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ T-20仕様




グレーチング平面図　S=1/10

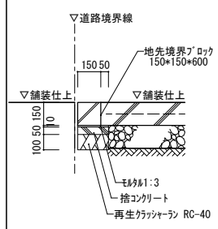



側溝 横断面図　S=1/10

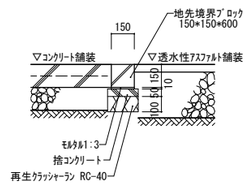



端部集水桝 S=1/20

## ⑧ 地先境界ブロック 150*150*600 (1/20 (A1) 1/40 (A3))

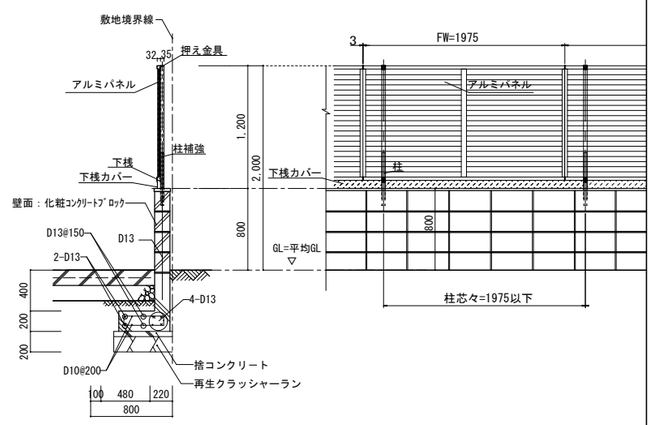



【道路境界】

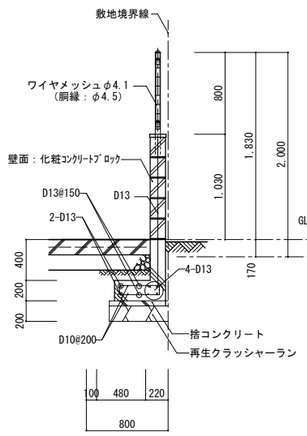


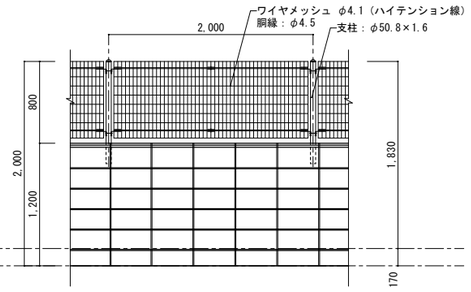

【舗装取合い】

## ⑨ 塀ⓐコンクリートブロック塀 ＋ 目隠しフェンス H=1,200 (1/30 (A1) 1/60 (A3))




## ⑩ 塀ⓑコンクリート塀＋メッシュフェンス H=2,000 (1/30 (A1) 1/60 (A3))

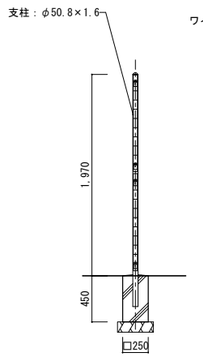


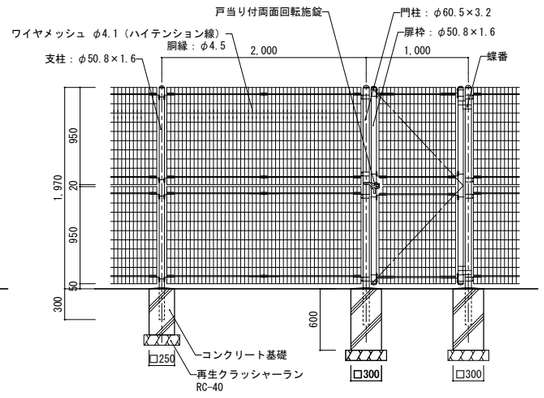




フェンス設計条件
設計荷重・・・昭和５７年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力 ９８ｋＮ／㎡（１０ｔ／㎡）

備考
1．外装について
・主　柱
パネル取付金具類 ・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装
・ワイヤメッシュ ・・・亜鉛めっきの上ＰＶＣ樹脂静電粉体塗装
・胴　縁 ・・・亜鉛めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装
・ボルト、ナット類 ・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし、ワッシャは溶融亜鉛めっきのみ

## ⑪、⑫ フェンスⓒメッシュフェンス＋片開き門扉 H=2,000 (1/30 (A1) 1/60 (A3))




フェンス設計条件
設計荷重・・・昭和５７年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力 ９８ｋＮ／㎡（１０ｔ／㎡）

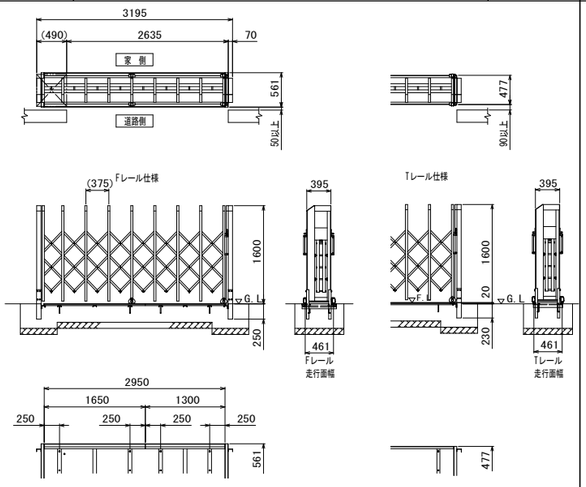
備考
1．外装について
・主　柱
パネル取付金具類 ・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装
・ワイヤメッシュ ・・・亜鉛めっきの上ＰＶＣ樹脂静電粉体塗装
・胴　縁 ・・・亜鉛めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装
・ボルト、ナット類 ・・・SUS品を除き、溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とする。但し、ワッシャは溶融亜鉛めっきのみ。
・戸当り付両面回転施錠・・・溶融亜鉛めっきのみ
2．本図門扉は片側１８０°開きとする。

朝日スチール工業株式会社製 ＡＲフェンス　同等品

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS<br>株式会社 カトウ建築事務所<br>一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | 千葉県知事登録 No.1-1709-4702 | APPR / CHKD / DRAWN | 本　社<br>千葉市中央区栄町36番10号 YS千葉中央ビル<br>TEL 043-201-1277<br>FAX 043-201-1280<br>東京事務所<br>東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号<br>TEL 03-3510-1335<br>FAX 03-5201-1013 | 工事名<br>(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 | S= 各図<br>DATE ******<br>No. A-048 |
| | | | | 図　名<br>外構詳細図（１） | |

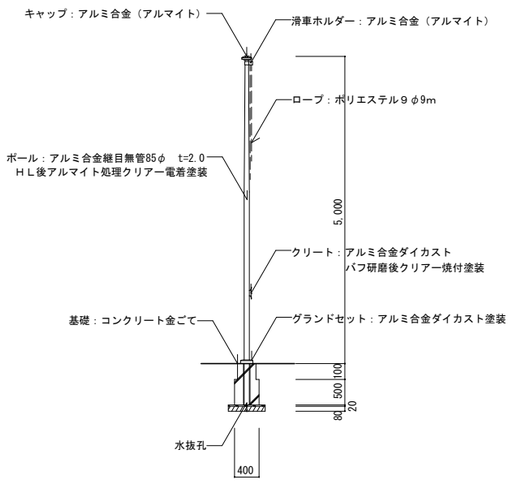
## ⑯ アルミ製門扉

1:50(A1)
1:100(A3)



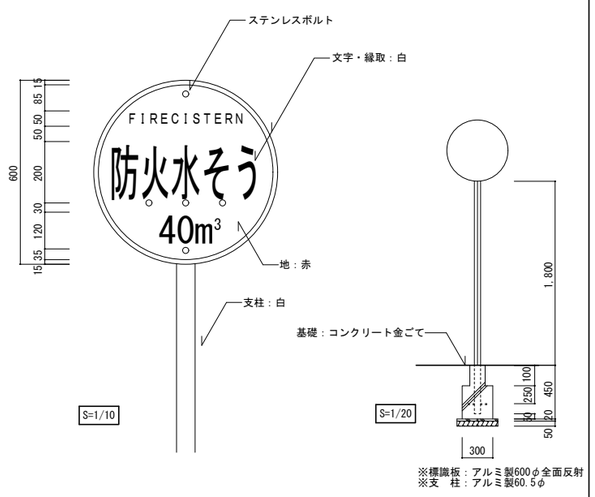

## ⑯ フラッグポール：アルミ製（ロープ式）H=5,000

1:50(A1)
1:100(A3)



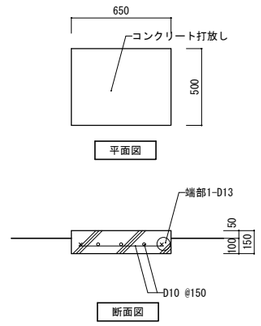

## ㉑ 防火水槽標識 φ600アルミ製（全面反射）

1:10、1:30(A1)
1:20、1:60(A3)



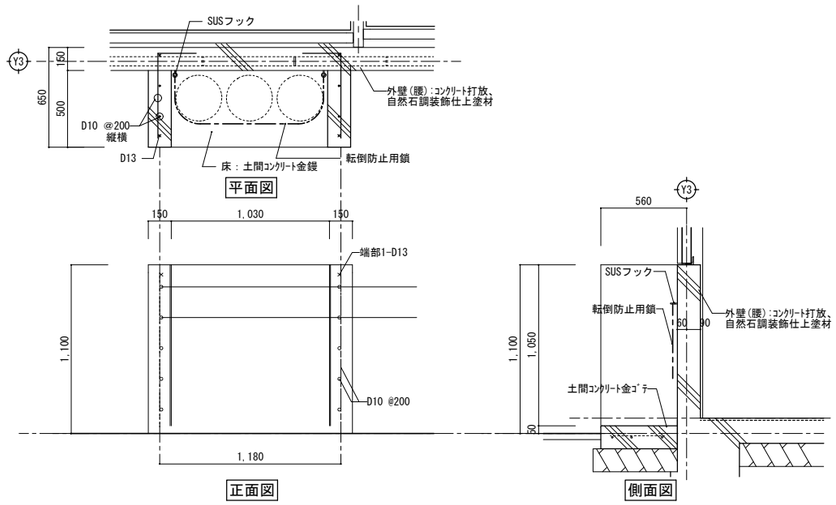

## ㉒ 給湯器基礎

1/20 (A1)
1/40 (A3)



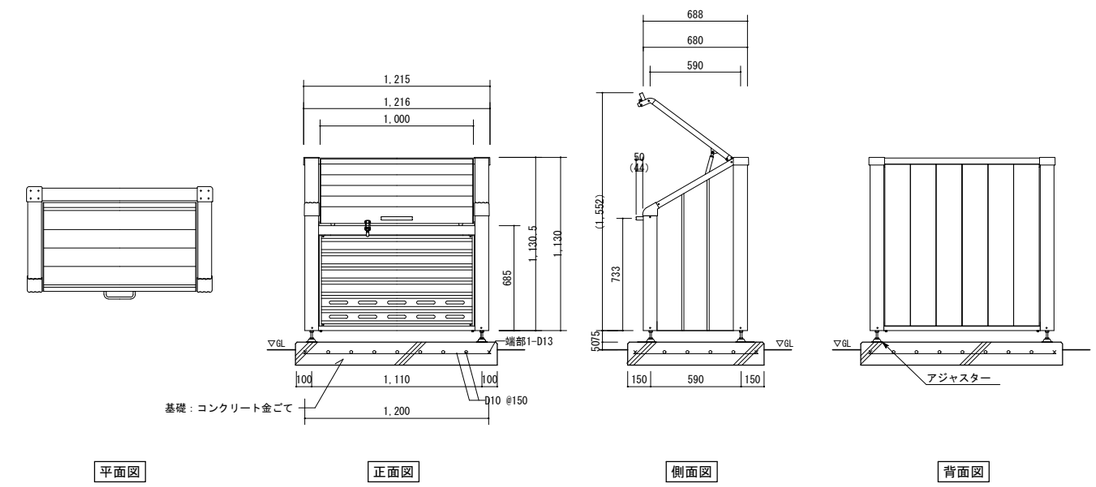

## ㉓ プロパン置場

1:20(A1)
1:40(A3)



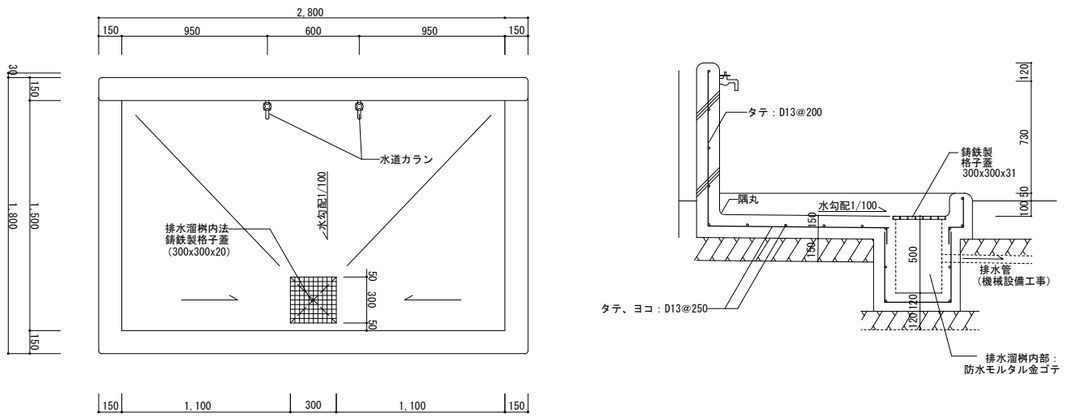

## ㉔ ゴミ庫

1:20(A1)
1:40(A3)



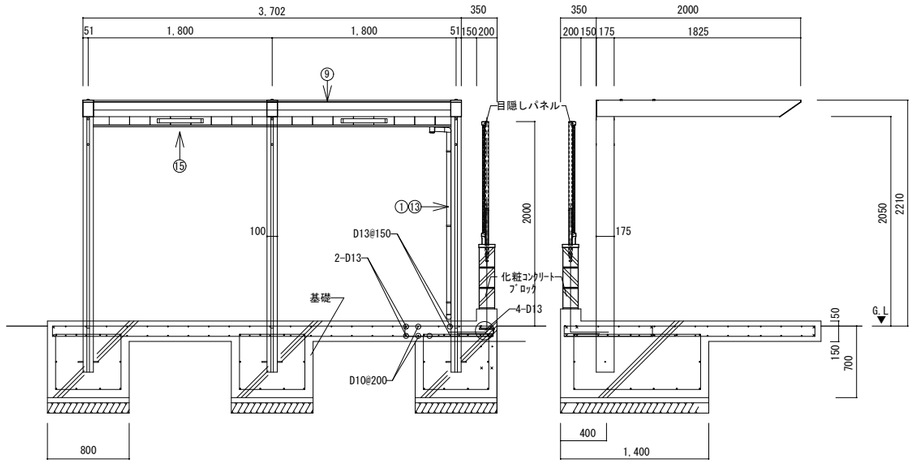

## ㉖ ホース洗い槽

1:20(A1)
1:40(A3)




## ㉗ 駐輪場

1/30 (A1)
1/60 (A3)




| | | |
|---|---|---|
| ① 支柱 | | 7ﾐﾘ押出形材<br>陽極酸化<br>・塗装複合被膜 |
| ② 梁 | 梁 | |
| | 梁カバー | |
| ③ 桁 | 桁 | |
| | 桁カバー | |
| ④ 正面水切 | | |
| ⑤ 正面水切 | | |
| ⑥ 中間梁 | | |
| ⑦ 屋根押え | | |
| ⑧ 端部屋根取付材 | | |
| ⑨ 屋根材 | | |
| ⑩ 端部屋根材 | | |
| ⑪ 中間梁カバー | | |
| ⑫ アルミ屋根カバー | | |
| ⑬ 縦樋 | | |
| ⑭ 雨樋用落ち葉ネット | 樹脂製 | |
| ⑮ LED照明（人感ｾﾝｻｰ付） | LED照明x2台、ｾﾝｻｰ x 1台 | |
| ｷｬｯﾌﾟ類 ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ・座金 | ASA ステンレス鋼材 | |

四国化成工業株式会社 サイクルポートＬＩＦＴ同等品


一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS
千葉県知事登録　No. 1-1709-4702
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.130206　加藤 義道

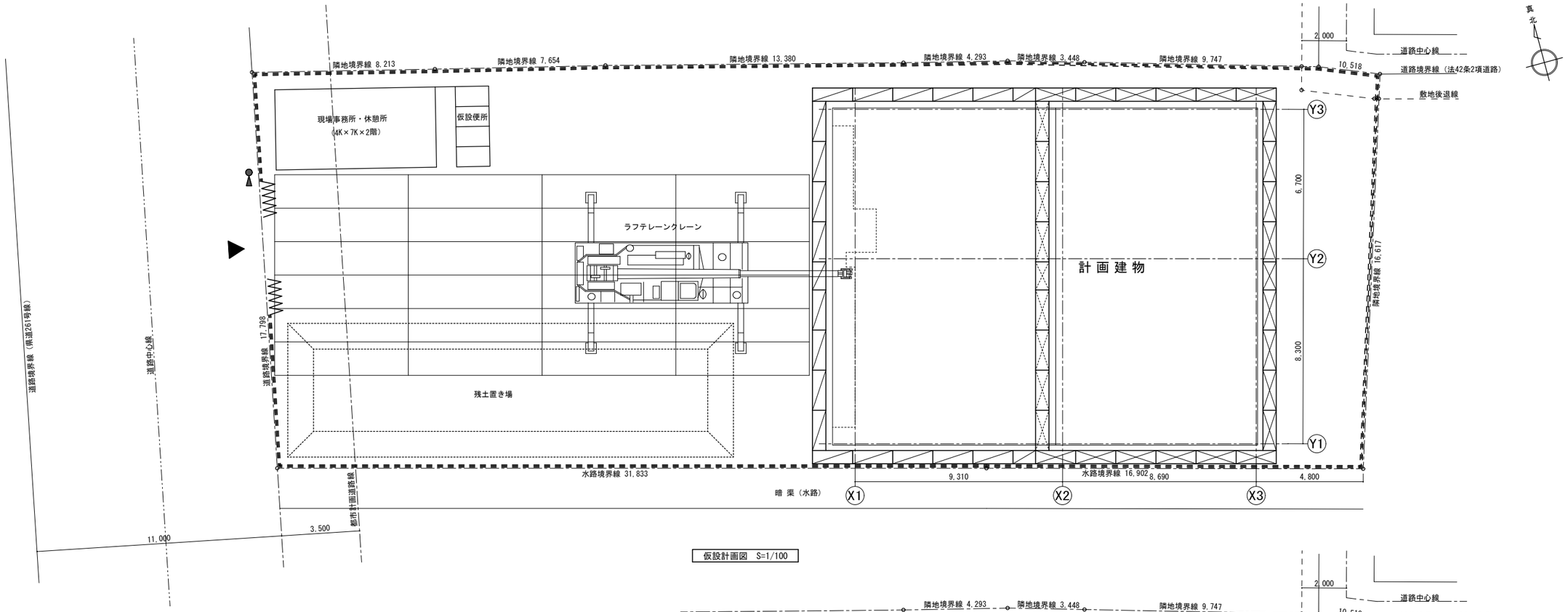
本　社
千葉市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280
東京事務所
東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1338
FAX 03-5201-1013


| APPR | CHKD | DRAWN |
|---|---|---|
| | | |

工事名：（仮称）古河消防署駅西出張所建設工事

図名：外構詳細図（２）

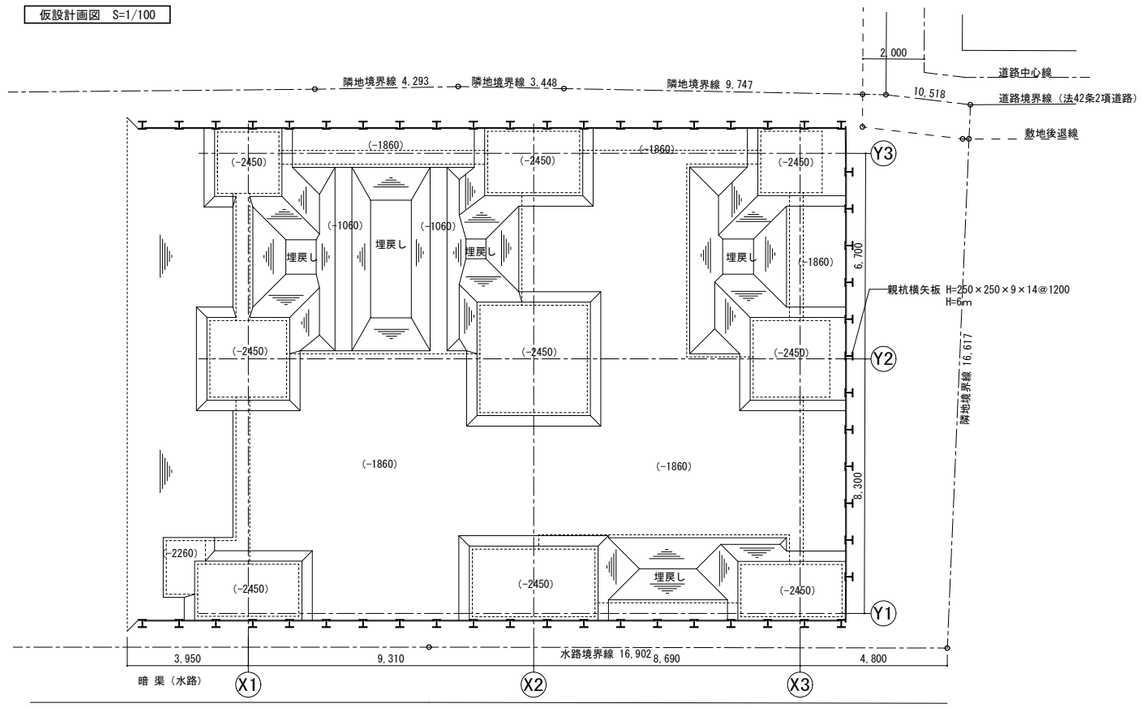
S= 各図
DATE ******
No. A-049




仮設計画図　S=1/100

仮設凡例

| | | |
|---|---|---|
| | 仮囲い：成形鋼板　H=2m | (8.5か月) |
| | ゲート：キャスターゲート W6.0×H1.8 | (8.5か月) |
| | 手摺先行枠組足場：W900、H9.0m、ネット状養生シート | (3.5か月) |
| | 手摺先行枠組足場：W900、H3.9m、ネット状養生シート | (3.5か月) |
| | 手摺先行枠組足場：W900、H6.0m、ネット状養生シート | (3.5か月) |
| | 敷鉄板 t=22mm | (6.0か月) |
| | 交通誘導員 | (10か月) |




山留・根切計画図　S=1/100

※図中レベルは設計ＧＬよりの根切深さ
※土質調査含む

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&STUDIO 千葉県知事登録 No.1-1709-4702 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.130206 加藤 義道 | APPR | CHKD | DRAWN | 本社 千葉市中央区栄町36番10号 TEL 043-201-1277 FAX 043-201-1280 東京事務所 東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号 TEL 03-3510-1330 FAX 03-5201-1013 | 工事名 (仮称)古河消防署駅西出張所建設工事 | S= A1:1/100 A3:1/200 DATE ****** |
| | | | | | 図名 仮設計画図（参考図） | No. A-050 |